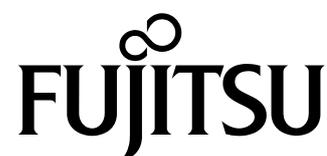


Fujitsu Printer
VSP4540C プリント装置
取扱説明書



安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

このマニュアルには、本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている『安全上の注意事項』をよく読み、理解された上で当製品をご使用ください。また、このマニュアルは、本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っております。本製品を使用する際は、このマニュアルの説明に従ってください。

はじめに

Fujitsu Printer VSP4540Cプリンタ装置は、富士通メインフレーム、PRIMERGY 6000、SPARC Servers、PRIMEQUEST、PRIMERGYに加えWindowsアプリケーションから印刷することが可能なVSP (Virtual System Printer) の小型、卓上型のカット紙ページプリンタです。

このマニュアルは、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

このマニュアルの内容についてよくご理解いただいた上でご使用ください。特に、オペレータの方は「第3章 操作説明」をご一読の上ご使用ください。

2023年3月

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、きわめて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続をしないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、日本国外でのご使用はできません。

部品故障に伴う交換を行う場合、保守員により設定情報の反映を行いますが、お客様にて設定された内容等、完全に反映できない場合があります。

その際は設定情報のご確認、再設定をお願いいたします。

またファームウェアについても、ご了承いただいた上で最新版を適用させていただく場合があります。

すべての SPARC 商標は、SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

QRコードは、(株)デンソーウェアの登録商標です。

Monotype is a trademark of Monotype Imaging Inc. registered in the U.S. Patent & Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions. Dntellifont, MicroType and UFST are trademarks of Monotype Imaging Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions. ÚCT, Asian Compression for TrueType, Universal Font Scaling Technology, the UFST logo, WorldType and the WorldType Layout Engine logo are trademarks of Monotype Imaging Inc. and may be registered in certain jurisdictions.

その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。

本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示 ((R)、TM) を付記していません。

※Oracle Solarisを、本書では『Solaris』、『Solarisオペレーティングシステム』、『Solaris Operating System』、『Solaris OS』と記載することがあります。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

(1) 製品寿命(耐用期間)について

本製品の耐用期間(寿命)は、次のいずれか早い方です。

- ・180万ページ(A4換算)
- ・5年

■ 重要

- ・耐用期間は、プリンタの設置環境や使用頻度により大幅に変動します。
- ・用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源ON・OFFの頻度などにより、耐用期間までの印刷枚数が減少します。
- ・A4サイズより大きい用紙を使用した場合、耐用期間はA4時の半分程度が目安になります。
- ・600K交換キット(定期交換部品)を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が60万ページ(1度交換した場合は120万ページ)になります。また、定期交換キット(定期交換部品)を交換しない場合は、10万ページ(交換する毎に10万ページ延長)になります。

(2) 消耗品について

富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。

非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

(3) 定期交換部品について

本製品では、印刷量に応じて定期的に交換が必要な「定期交換部品」があります。

定期交換部品を交換しない場合は、製品本来の性能や品質を維持できないだけでなく、装置寿命も短くなります。

このため、定期交換部品の寿命に関するメッセージが表示された場合は、すみやかに保守員に交換を依頼してください。

定期交換部品	交換時期の目安
定期交換キット	10万ページ印刷を目安に交換
600K交換キット	60万ページ印刷を目安に、装置寿命まで2回交換

[注] 上記はA4サイズでの目安であり、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源ON・OFFの頻度などにより減少します。

(4) 両面印刷設定について

本製品では、プリンタドライバや装置での印刷面の初期設定は「両面」となっています。

主に片面でお使いになる場合は、プリンタドライバや装置の印刷面に関する設定を「片面」に変更してお使いください。

(装置設定については、一括して片面に設定する「両面印刷互換設定」もご参照ください。)

(5) 用紙の取り扱いについて

一般に市販されている用紙の中には本製品に適さないものがあります。

特にカット紙の場合は、用紙搬送性や印刷品質は用紙特性に大きく依存し、用紙もハードウェアといえるほどの重要性を持っています。

このため、本書の「第6章 用紙仕様および帳票設計」をお読みいただき、注意事項を守っていただくと共に、運用に先立ち十分な事前確認を実施願います。

製品などの呼び方について

この取扱説明書では製品名称などを、次のように略して表記している場合があります。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter	Windows Server	
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation		
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation		
Windows® 11 Education	Windows	
Windows® 11 Enterprise		
Windows® 11 Pro for Workstations		
Windows® 11 Pro		
Windows® 11 Home		
Windows® 10 Education 64ビット版		
Windows® 10 Enterprise 64ビット版		
Windows® 10 Pro for Workstations 64ビット版		
Windows® 10 Pro 64ビット版		
Windows® 10 Home 64ビット版		
Windows® 10 Enterprise LTSC 2021 64ビット版		
Windows® 10 Enterprise LTSC 2019 64ビット版		
Windows® 10 Enterprise LTSB 2016 64ビット版		
Windows® 10 Enterprise LTSB 2015 64ビット版		
Windows® 10 Education		
Windows® 10 Enterprise		
Windows® 10 Pro for Workstations		
Windows® 10 Pro		
Windows® 10 Home		
Windows® 10 Enterprise LTSC 2021		
Windows® 10 Enterprise LTSC 2019		
Windows® 10 Enterprise LTSB 2016		
Windows® 10 Enterprise LTSB 2015		
Windows® 8.1 Enterprise 64ビット版		
Windows® 8.1 Pro 64ビット版		
Windows® 8.1 64ビット版		
Windows® 8.1 Enterprise		
Windows® 8.1 Pro		
Windows® 8.1		
FUJITSU Cloud Service for オフコン		PRIMERGY 6000

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、色々な絵記号を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重症を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、物質的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が表示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中や、その脇には、具体的な禁止内容が表示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上の注意事項

安全に関する注意事項を説明します。

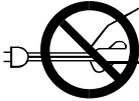
(1) 使用環境について

使用環境について守っていただきたいことを説明します。

 警告		<ul style="list-style-type: none">・プリンタの近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。・プリンタの上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。・梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないように、注意してください。窒息の原因になります。
 注意		<ul style="list-style-type: none">・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。・直射日光のあたる場所への設置や高温になる場所に長時間放置は避けてください。動作不良や故障の原因となります。・低温設置での起動や結露等に注意してください。動作不良や故障の原因となります。
		<ul style="list-style-type: none">・換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

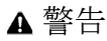
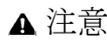
(2) 電源プラグ、電源ケーブルの取り扱いについて

電源プラグ、電源ケーブルの取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  警告 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。 ・延長コードの使用は避けてください。 ・電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルをいため、火災や感電の原因になります。 ・電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同梱されている電源ケーブルは本製品専用です。本製品以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源ケーブル以外の電源ケーブルは、本製品には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  注意 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ・お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
		<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグ差込み部を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグ差込み部を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

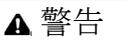
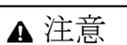
(3) 本体の取り扱いについて

本製品の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  警告 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタは電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。 ・電源ケーブルが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られる場合は保守員に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。その後保守員に連絡してください。プリンタが故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。 ・万一、金属、水、液体などの異物がプリンタ内部に入った場合は、まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて保守員に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  注意 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。そのままの状態では移動させるとコードが傷つき、火災や感電の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・移動・移設を行うときは、保守員にご連絡ください。 ・構成変更を行うときは、保守員にご連絡ください。
		<ul style="list-style-type: none"> ・給紙カセットを引き出した状態や、後ろに延長した状態で、前カバー、後カバーを開ける場合は、給紙カセットと開けたカバーの間に手などはさまないように注意してください。

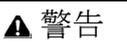
(4) プリンタ内部の取り扱いについて

プリンタ内部の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

 警告		<ul style="list-style-type: none">・本書で指定している部分以外のカバーは外さないでください。プリンタ内部には電圧の高い部分やLED光源があり、感電や失明の原因になります。プリンタ内部の点検・調整・修理は保守員に依頼してください。・本製品を改造しないでください。火災や感電の原因になります。
 注意		<ul style="list-style-type: none">・プリンタ内部には高温の部分があります。用紙づまりの処置の際は、このマニュアルで指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。・用紙送りローラー周辺の清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。
		<ul style="list-style-type: none">・用紙を送るためのローラー等がプリンタ動作中は、回転していますのでプリンタ動作中は、触れないようご注意ください。
		<ul style="list-style-type: none">・定着器は高温になります。定着器やその周辺には絶対に触れないでください。やけどの原因となります。定着器を取り出すときには、必ず電源を切って40分後、定着器が冷めていることを確認してから取り外してください。

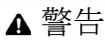
(5) 心臓ペースメーカーをお使いの方へ

心臓ペースメーカーをお使いの方に守っていただきたいことを説明します。

 警告		<ul style="list-style-type: none">・プリンタから微弱な磁気が出ています。植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーおよび除細動器）をご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。
---	---	---

(6) 消耗品の取り扱いについて

消耗品の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  警告 </div>		<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ (使用済みカートリッジを含む) は、絶対に火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどや粉じん爆発の原因になります。 使用済みのカートリッジを処分するときは、富士通コワーコの回収サービスをご利用ください。
		<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ (使用済みカートリッジを含む) を、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  注意 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ステープル針が付いたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、子どもの手が届かないところに保管してください。もし子どもが誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。 トナー (使用済みトナーを含む) を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診察を受けてください。 トナー (使用済みトナーを含む) が目に入った場合は、直ちに15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受けてください。 トナー (使用済みトナーを含む) を飲み込んだ場合は、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませ、医師の診察を受けてください。 用紙づくりの処置やトナーカートリッジ、ドラムカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石鹼水でよく洗い流してください。 衣服に付いた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。 使用済みのカートリッジは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。 トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。
		<ul style="list-style-type: none"> 用紙交換やカートリッジ交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

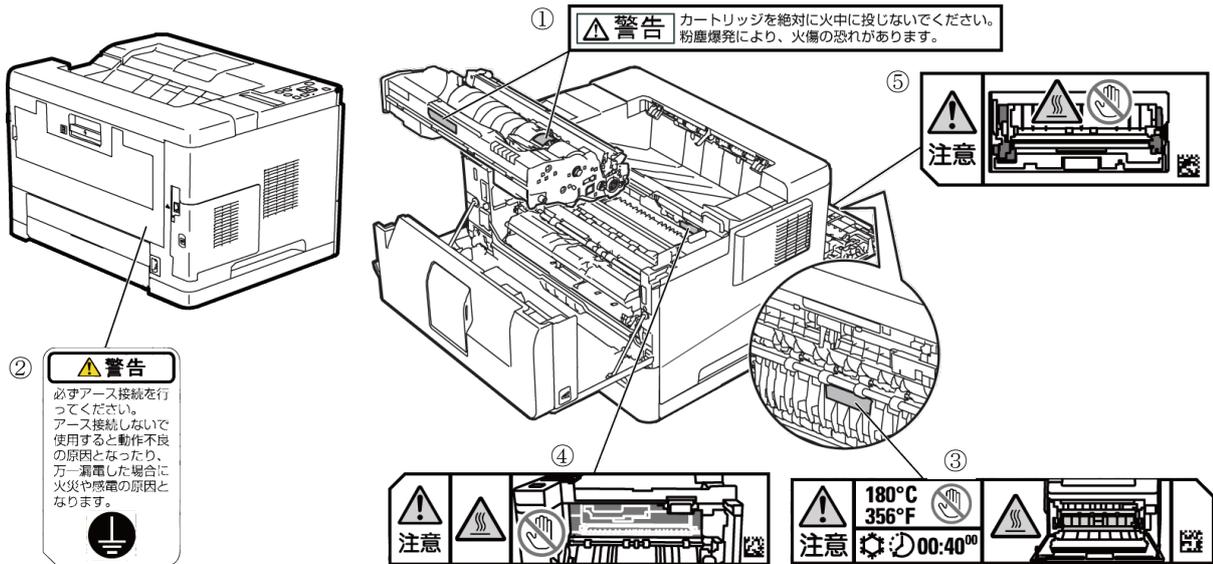
(7) 安全に関する本製品の表示について

本製品に表示されている安全に関する情報です。

◆ 警告、注意のラベル位置

本製品には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**警告**、**注意**のラベルがあります。表示に従って安全にお使いください。

なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



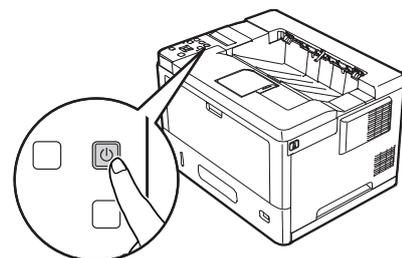
- ① アース警告ラベル
必ずアース接続を行ってください。アース接続をしないで使用すると動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。
- ② トナーの火中投棄警告
カートリッジを絶対に火中に投げないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- ③ 定着器の高温注意（本体後カバーを開けたところから見える定着器に貼られています）
- ④ 定着器の高温注意（ドラムカートリッジを外して見える位置にあります）
- ⑤ 定着器の高温注意（後カバーを開けたところにあります）
（プリンタ内部には）高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけど（けが）の原因になります。

(8) 電源スイッチについて

本製品の電源スイッチは、オペレータパネルにあります。

- ・ : 電源/省エネ解除スイッチ

電源オンおよび、電源オフは  を押します。



目 次

安全な使用のために

はじめに.....	i
製品に関する注意事項.....	iii
製品などの呼び方について.....	v
安全にお使いいただくための絵記号について.....	vii
安全上の注意事項.....	ix

第1章 概要.....	1
1.1 概 要.....	1
1.2 接続形態と装置構成.....	2
1.2.1 Windows Server接続.....	2
1.2.2 SPARC Servers接続.....	3
1.2.3 PRIMERGY 6000接続.....	4
1.2.4 Windows PC接続.....	5
1.2.5 Linux接続.....	5
1.2.6 LAN接続時の設定一覧.....	6
1.2.7 各部の名称とはたらき.....	8
1.3 装置仕様.....	13
1.3.1 基本仕様.....	13
1.3.2 66XXエミュレーション機能仕様.....	15
1.3.3 69XXエミュレーション機能仕様.....	16
1.3.4 FMエミュレーション機能仕様.....	17
1.3.5 FNPエミュレーション機能仕様.....	18
1.4 オプション.....	19
1.4.1 オプション.....	19
1.4.2 オプションの仕様.....	19
1.4.3 オプションと論理プリンタ設定数.....	20
1.5 複数の論理プリンタを定義した場合の排紙について.....	21
1.5.1 NMC代替連携を行う(HOST PRINT<VSPサービス>からの印刷を行う)場合.....	21
1.5.2 NMC代替連携を行わない(サポートサーバ=“6680-NMC”の論理プリンタを設定しない)場合.....	21
1.6 6680-NMC 優先印刷と割込印刷機能.....	22
1.6.1 6680-NMC優先印刷について.....	22
1.6.2 割込印刷機能について.....	22
1.6.3 割込印刷の操作手順.....	23
1.6.4 6680-NMC優先状態および割込印刷時の注意事項.....	25
1.7 Windows 環境で使用するソフトウェア.....	26
1.7.1 VSPリクエスト.....	26
1.7.2 VSP4540Cプリンタドライバ.....	26
1.7.3 PrintWalker/PM.....	26
1.7.4 外字フォント登録コマンド.....	26

1.7.5	ポート構成コマンド	26
1.7.6	PrintWalker/EM	26
1.8	UNIX(Solaris)/Linux環境で使用するソフトウェア	27
1.8.1	PrintWalker/BPC	27
1.8.2	PrintWalker/LXE	27
1.9	注意事項	28
1.9.1	バーコード印刷について	28
1.9.2	二次元コード (QRコード/マイクロQRコード) について	28
1.9.3	スイッチングハブとの接続について	30
1.9.4	その他の注意事項	30
第2章	準備	33
2.1	用紙について	33
2.1.1	使用できる用紙の種類とサイズ	33
2.1.2	用紙の種類ごとの注意	35
2.1.3	印刷保証範囲	36
2.2	用紙をセットする	37
2.3	電源ケーブルとLANケーブルの接続	49
2.3.1	電源ケーブルの接続	49
2.3.2	LANケーブルの接続	50
第3章	操作説明	51
3.1	電源の投入と切断	51
3.1.1	電源の投入	51
3.1.2	電源の切断	51
3.2	操作パネルの配置と機能	52
3.2.1	操作パネルの配置	52
3.3	動作モードと操作パネル	56
3.3.1	動作モード	56
3.3.2	共通スタート画面	58
3.3.3	共通ストップ画面	59
3.3.4	装置情報表示画面	60
3.3.5	66XX・69XXスタート画面 (エミュレーション個別画面)	64
3.3.6	66XX・69XXストップ画面 (エミュレーション個別画面)	65
3.3.7	FM/FNPオンライン画面 (エミュレーション個別画面)	66
3.3.8	FM/FNPオフライン画面 (エミュレーション個別画面)	70
3.4	共通セットアップ	74
3.4.1	画面遷移	75
3.4.2	メニュー画面	76
3.4.3	テストプリント (共通設定→1. テストプリント)	77
3.4.4	濃度設定 (共通設定→2. 濃度設定)	79
3.4.5	消耗品 (共通設定→3. 消耗品)	80
3.4.6	ブザー設定 (共通設定→4. ブザー設定)	82
3.4.7	GS1-128設定 (共通設定→5. GS1-128設定)	84
3.4.8	プリントカウンタ (共通設定→6. プリントカウンタ)	85
3.4.9	メディアタイプ (共通設定→7. メディアタイプ)	86
3.4.10	手差し設定 (共通設定→8. 手差し設定)	88
3.4.11	環境設定 (共通設定→9. 環境設定)	90
3.4.12	設定印刷 (共通設定→9. 環境設定→1. 設定印刷)	92

3.4.13	環境初期化（共通設定→9.環境設定→2.環境初期化）	97
3.4.14	装置環境（共通設定→9.環境設定→3.装置環境）	99
3.4.15	管理コード（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→1.管理コード）	100
3.4.16	日付／時間設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→2.日付・時間）	101
3.4.17	MACアドレス（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→3.MACアドレス）	102
3.4.18	ネットワーク設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定）	103
3.4.19	データレート（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→5.データレート）	113
3.4.20	DS-LINK（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK）	114
3.4.21	マシンネーム（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→7.マシンネーム）	127
3.4.22	SNMP（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP）	128
3.4.23	省エネモード設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→9.省エネモード）	138
3.4.24	綴じ揃え設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→10.綴じ揃え設定）	140
3.4.25	両面印刷互換設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→11.両面印刷互換設定）	141
3.4.26	ソフトスイッチ（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→12.ソフトスイッチ）	142
3.4.27	綴じ向き揃え（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→13.綴じ向き揃え）	144
3.4.28	論理プリンタ（共通設定→9.環境設定→4.論理プリンタ）	146
3.4.29	電源投入時の論理プリンタ設定変更について	158
3.4.30	エンジン調整（共通設定→9.環境設定→5.エンジン調整）	160
3.5	論理プリンタセットアップ（66XX/69XX）	162
3.5.1	メニュー画面（66XX、69XXエミュレーション個別設定）	163
3.5.2	ホッパ設定（66XX、69XXエミュレーション個別設定→1.ホッパ）	164
3.6	論理プリンタセットアップ（FM）	166
3.6.1	画面遷移	167
3.6.2	メニュー画面（FMエミュレーション個別設定）	168
3.6.3	メニュー印刷（FMエミュレーション個別設定→1.メニュー印刷）	169
3.6.4	環境設定（FMエミュレーション個別設定→2.環境設定）	171
3.6.5	FM設定（FMエミュレーション個別設定→3.FM設定）	184
3.6.6	補助機能（FMエミュレーション個別設定→4.補助機能）	192
3.6.7	登録（FMエミュレーション個別設定→5.登録）	199
3.7	セットアップ一覧	200
3.8	LAN接続	208
3.8.1	LAN接続するための基本設定	208
3.8.2	ゲートウェイについての補足	219
3.8.3	SNMP機能について	221
第4章	消耗品の交換	223
4.1	トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する	225
4.2	トナーカートリッジを交換する	226
4.3	ドラムカートリッジを交換する	228
4.4	トナーカートリッジ寿命および、ドラムカートリッジ寿命について	234
4.4.1	カスタムモードについて	234
4.4.2	カスタムモードの設定/解除について	234
第5章	異常発生時の操作	237
5.1	電源が入らない、印刷が始まらないとき	237
5.2	正しく印刷できないとき	238
5.2.1	きれいに印刷できないとき	238
5.2.2	給紙がうまくいかないとき	245

5.3	用紙切れ	247
5.4	排紙トレイでの用紙フル	248
5.5	用紙づまり	249
5.6	用紙づまりが発生したとき	251
5.6.1	前カバー[A]での用紙づまり (用紙づまり 1)	253
5.6.2	用紙送りローラーに用紙がつまっている場合 (用紙づまり 2)	260
5.6.3	後カバー[B]での用紙づまり (用紙づまり 3)	262
5.6.4	給紙カセット1での用紙づまり (用紙づまり 4)	264
5.6.5	給紙カセット2~4での用紙づまり (用紙づまり 5)	267
5.6.6	手差しトレイでの用紙づまり (用紙づまり 6)	269
5.7	装置のカバーオープン	270
5.8	カセットオープン	271
5.9	インターロックエラー	272
5.10	受信データの異常 (66XX・69XX 時)	273
5.11	メカ系の障害	274
5.12	ハードウェアの障害	275
5.13	IP アドレス設定異常	276
5.14	消耗部品メッセージ	277
5.15	消耗品の劣化 (トナーカートリッジ/ドラムカートリッジ)	280
5.16	SNDCG に関する異常 (69XX 時)	281
5.17	リクエストサーバ接続異常 (66XX 時)	282
5.18	トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ異常	283
5.18.1	非純正トナーカートリッジ・ドラムカートリッジを使用した場合	283
5.18.2	トナーカートリッジ・ドラムカートリッジのセット不良	284
5.18.3	トナーシール引抜き忘れ	285
5.19	MAC アドレス設定異常	286
第6章	用紙仕様および帳票設計	287
6.1	用紙の規格	287
6.2	特殊用紙の取り扱いと制約事項	289
6.3	再生紙の取り扱い	289
6.4	用紙の取り扱いと保管	290
6.4.1	用紙の取り扱い上の注意	290
6.4.2	用紙の保管上の注意	290
6.4.3	使用できない用紙	291
6.5	帳票設計上の注意	292
6.5.1	注意事項	292
6.5.2	印刷領域	292
第7章	消耗品	293
7.1	消耗品	293
第8章	設置諸元	295
8.1	設置仕様	295
8.2	外形寸法と保守スペース	296

第9章	使用上の注意	299
9.1	使用上の注意	299
9.2	廃棄	302
9.3	受信障害	302
9.4	移動、移設	302
第10章	清掃	303
10.1	清掃するときの注意	303
10.2	給紙カセットの用紙送りローラーを清掃する	304
10.3	手差しトレイの用紙送りローラーを清掃する	308
付録1	メッセージ一覧	313
付1.1	通常動作	313
付1.2	共通ストップ画面	314
付1.3	異常メッセージ (消耗品)	315
付1.4	異常メッセージ (受信データ 66XX/69XX)	316
付1.5	異常メッセージ (オペレータコール)	317
付1.6	異常メッセージ (メカエラー CE コール)	319
付1.7	異常メッセージ (電源投入時/通常動作中)	320
付1.8	異常メッセージ (セットアップ)	321
付録2	PrintWalker/EM のご紹介	323
付録3	リモート電源制御機能	325
付録4	外字登録(TrueType) ツールのご紹介	327
付4.1	インストール	327
付4.2	動作概要	327
付4.3	外字フォントファイルの登録手順	328
付4.3.1	外字の作成	328
付4.3.2	登録情報定義ファイルの作成	328
付4.3.3	登録コマンドにより外字フォントをプリンタ装置へ登録	331
付4.4	コマンド起動形式	332
付4.5	メッセージ一覧	333
付4.5.1	登録動作時に表示するメッセージ	333
付4.5.2	削除動作時に表示するメッセージ	334
付4.5.3	確認動作時に表示するメッセージ	334
付4.5.4	その他のメッセージ	335
付録5	PrintWalker/LXE のご紹介	337
付5.1	PrintWalker/LXE の概要	337
付5.1.1	概要	337
付5.1.2	機能	337
付5.2	動作環境	338
付5.3	システム構成	339
付5.4	留意事項	340

付録 6	リクエスト未接続モード立ち上げ	341
付 6.1	リクエスト未接続モード	341
付 6.2	立ち上げ方法	341
付 6.3	解除方法	341
付 6.4	リクエスト未接続モードでの注意事項	342
付録 7	6680-NMC 未接続モード立ち上げ	343
付 7.1	6680-NMC 未接続モード	343
付 7.2	立ち上げ方法	344
付 7.3	解除方法	344
付 7.4	6680-NMC 未接続モードでの注意事項	345
付録 8	綴じ方向揃えについて	347
付録 9	綴じ向き揃えについて	357
付 9.1	カセットと排紙トレイとの用紙位置関係	358
付 9.2	綴じ向き揃え機能による描画回転処理	360
付録 10	CS-SAVE の採取方法	361
付録 11	安全データシート	363

図目次

図 1.1	外 観.....	1
図 3.1	電源投入後の動作モード変化.....	57
図 3.2	ゲートウェイ.....	219
図 3.3	ゲートウェイ接続の例.....	219
図 3.4	SNMP.....	221
図 5.1	用紙づまり発生箇所.....	252
図 6.1	印刷領域.....	292
図 8.1	温室度条件.....	295
図 8.2	外形寸法 [単位:mm]	296
図 8.3	本体設置スペース [単位:mm]	297
図 8.4	保守スペース [単位:mm]	297

表目次

表 1.1	66XXエミュレーション機能仕様	15
表 1.2	69XXエミュレーション機能仕様	16
表 1.3	FMエミュレーション機能仕様	17
表 1.4	FNPエミュレーション機能仕様	18
表 5.1	エラーコード一覧表	250
表 6.1	推奨用紙	287
表 6.2	用紙の規格	288
表 7.1	消耗品	293
表 8.1	設置仕様	295

第1章 概要

本章では、本装置の概要、構成、動作概要、仕様、オプションおよび使用するソフトウェアについて説明します。

1.1 概要

本装置はLEDを使用した電子写真式の卓上型カット紙プリンタであり、両面印刷機構が搭載されています。A4サイズ・横送りで片面連続印刷時は毎分最大46ページ、両面連続印刷時は毎分最大32ページ印刷を行うことができます。

本装置の外観を図1.1に示します。

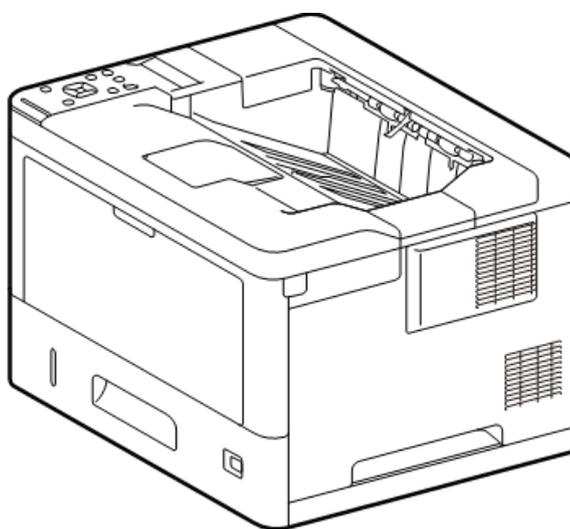
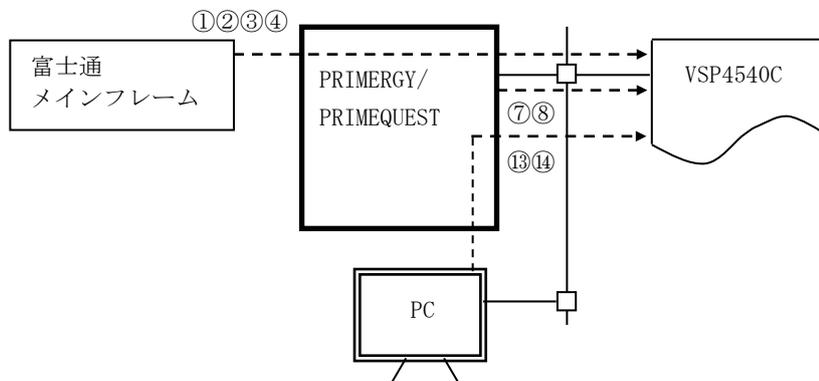


図 1.1 外観

1.2 接続形態と装置構成

本装置の接続形態、装置の構成、各部の名称について説明します。

1.2.1 Windows Server接続

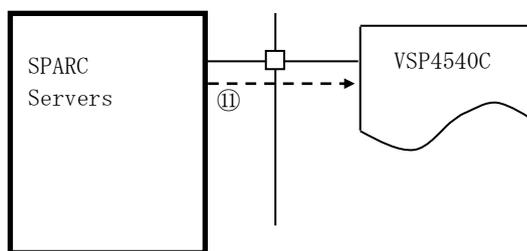


ホスト	サーバ		プリンタ		設定	備考
			エミュレーション	サポートサーバ / 伝送経路		
富士通メイン フレーム	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	HOST PRINT DS-LINK	66XX	サポートサーバ : 6680-NMC 伝送経路 : DS-LINK	①	GS連携機構 オプション が必要
		HOST PRINT TCP/IP		サポートサーバ : 6680-NMC 伝送経路 : TCP/IP	②	
		HOST PRINT lpd		サポートサーバ : lpd 伝送経路 : TCP/IP	③	
		HOST PRINT PrintWalker /PM TCP/IP		サポートサーバ : PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP	④	
PRIMERGY/ PRIMEQUEST *2 *3	---	lpd TCP/IP	FM	サポートサーバ : lpd 伝送経路 : TCP/IP	⑦	
		PrintWalker /PM TCP/IP		サポートサーバ : PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP	⑧	
		PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	lpd TCP/IP	FM	
*2	*3	PrintWalker /PM TCP/IP	サポートサーバ : PrintWalker/PM 伝送経路 : TCP/IP	⑭		

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

- *1) Itaniumサーバは接続できません。
- *2) DOSアプリケーションからの直接印刷はできません。
- *3) Windows Serverでのlpd印刷は、OS標準機能のみサポートしています。

1.2.2 SPARC Servers接続



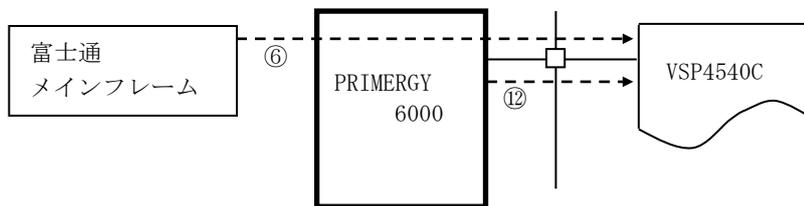
ホスト	サーバ		プリンタ		設定	備考
			エミュレーション	サポートサーバ / 伝送経路		
SPARC Servers *1	—	PrintWalker /BPC TCP/IP	FM	サポートサーバ : BSNPS 伝送経路 : TCP/IP	①	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) サポートOSは『Solaris 11』です。また、Solaris 11ではlpd接続は未サポートです。

第1章 概要

1.2.3 PRIMERGY 6000接続

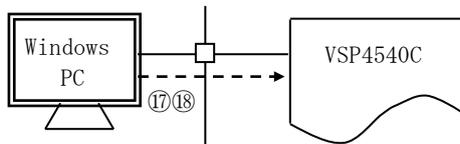


ホスト	サーバ		プリンタ		設定	備考
			エミュレーション	サポートサーバ /伝送経路		
富士通メイン フレーム	PRIMERGY 6000	LANプリンタ 制御 オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ :BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	⑥	拡張出力機構 オプションが 必要
PRIMERGY 6000	—	LANプリンタ 制御 オプション TCP/IP		サポートサーバ :BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	⑫	拡張出力機構 オプションが 必要

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) サポートOSは『ASP V29以降』です。

1.2.4 Windows PC接続

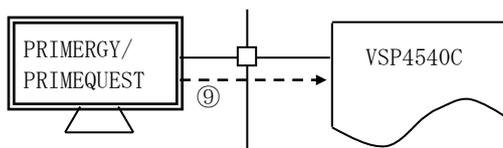


ホスト		プリンタ		設定	備考
		エミュレーション	サポートサーバ / 伝送経路		
Windows PC	PrintWalker/PM TCP/IP	FM	サポートサーバ : PrintWalker/PM 伝送経路:TCP/IP	⑰	
	lpd *1 TCP/IP		サポートサーバ : lpd 伝送経路:TCP/IP	⑱	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) Windowsでのlpd印刷は、OS標準機能のみサポートしています。

1.2.5 Linux接続



ホスト		プリンタ		設定	備考
		エミュレーション	サポートサーバ / 伝送経路		
PRIMERGY/ PRIMEQUEST *1	PrintWalker/LXE TCP/IP	FM	サポートサーバ :BSNPS 伝送経路 :TCP/IP	⑨	

※ 本表の設定番号は、「1.2.6 LAN接続時の設定一覧」に対応しています。

*1) Itaniumサーバは接続できません。サポートOSは『Red Hat Enterprise Linux 6 以降』です。

注) lpd 接続は未サポートです。

第1章 概要

1.2.6 LAN接続時の設定一覧

以下に本装置をLAN接続するための基本設定例を示します。

設定手順については「第3章 3.4 共通セットアップ」を参照してください。

また、本表で示す設定番号の接続形態については「1.2.1～1.2.5項」を参照してください。

設定番号	ホスト/クライアント	サーバ			プリンタの設定	
		ハード	ソフト	プロトコル		
①	富士通 メイン フレーム	PRIMERGY PRIMEQUEST	HOST PRINT	DS-LINK	⇒ サポートサーバ： 6680-NMC 伝送経路： DS-LINK エミュレーション： 66XX	
②				*1	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： 6680-NMC 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： 66XX
③					lpd	⇒ サポートサーバ： lpd 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： 66XX
④			HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： PrintWalker/PM 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： 66XX	
⑥		PRIMERGY 6000	LANプリンタ制御 オプション	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： BSNPS 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： 69XX	
⑦		PRIMERGY PRIMEQUEST		lpd	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： lpd 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM
⑧	*1		PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： PrintWalker/PM 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM	
⑨			PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： BSNPS 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM	
⑪	SPARC Servers SPARC Enterprise		PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： BSNPS 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM	
⑫	PRIMERGY 6000		LANプリンタ制御 オプション	TCP/IP	⇒ サポートサーバ： BSNPS 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： 69XX	

(続く)

設定 番号	ホスト/ クライアント	サーバ				プリンタの設定
		ハード	ソフト	プロトコル		
⑬	PC	PRIMERGY/ PRIMEQUEST	lpd	TCP/IP	⇒	サポートサーバ： lpd 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM
⑭		*1	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	サポートサーバ： PrintWalker/PM 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM
⑰	Windows PC		PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	サポートサーバ： PrintWalker/PM 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM
⑱			lpd	TCP/IP	⇒	サポートサーバ： lpd 伝送経路： TCP/IP エミュレーション： FM

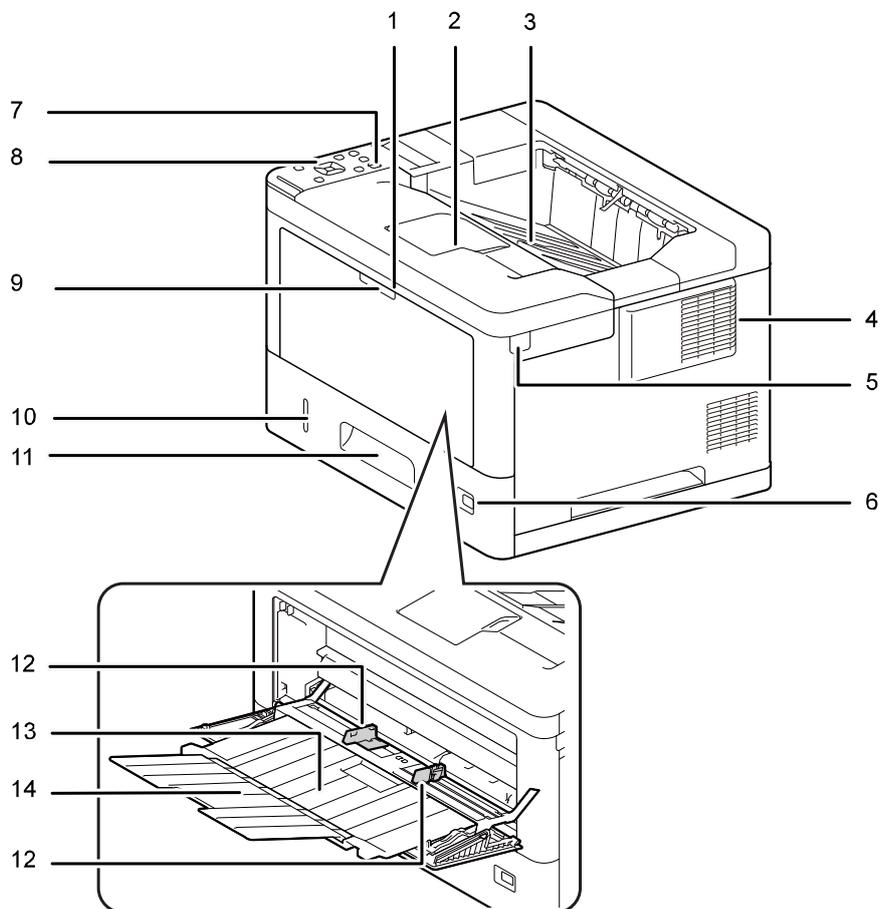
注1) (*1) Itaniumサーバは接続できません。

注2) VLAN (Virtual LAN)は未サポートです。

第1章 概要

1.2.7 各部の名称とはたらき

前面



1 前カバー

つまった用紙を取り除くときや、トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開きます。

2 延長排紙トレイ

排紙トレイから用紙が落ちないように開きます。

3 排紙トレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

4 通風口(吸気)

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。通風口をふさがないでください。

5 前カバーオープンボタン [A]

前カバーを開けるときに押します。

6 用紙サイズダイヤル

給紙カセットにセットした用紙のサイズに合わせます。

7 電源/省エネ解除スイッチ

プリンタ本体の電源をオン/オフの状態にします。また省エネモードを解除するときはこのスイッチを押します。

8 操作パネル(オペレータパネル)

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。
スイッチを使用して本装置を操作したり、液晶ディスプレイで動作状態を確認します。

9 給紙トレイオープン取っ手

給紙トレイを開けるときに手前に引きます。

10 用紙残量インジケータ

給紙カセットの中に残っている用紙のおおよその残量を示します。

11 給紙カセット(カセット1)

用紙をセットします。用紙は550枚(普通紙)までセットできます。
セットできる用紙サイズと種類については「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

12 用紙ガイド

手差しトレイに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

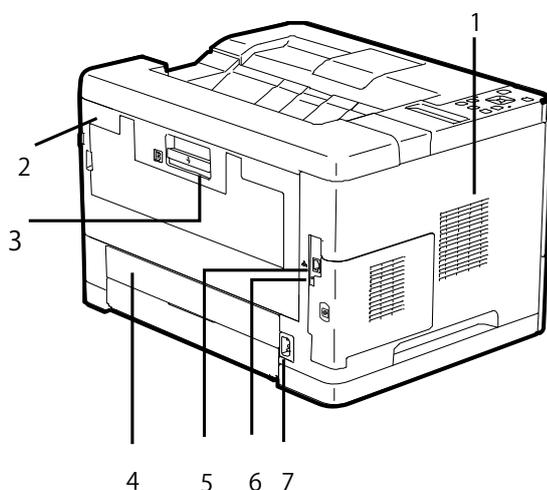
13 手差しトレイ

用紙をセットします。普通紙で最大100枚までセットできます。
セットできる用紙サイズと種類については「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

14 手差しトレイ延長ガイド

長い用紙をセットするときに延ばします。
A3、B4サイズの長い用紙を印刷するときに延ばします。

背面



1 通風口(吸気)

プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込みます。通風口をふさがないでください。

2 後カバー

つまった用紙を取り除くときに開けます。

3 後カバーオープンボタン [B]

後カバーを開けるときに押します。

4 給紙カセットカバー

給紙カセットの延長部を引き出したときに、ちりやほこりの用紙への付着を防ぎます。

5 LANケーブルコネクタ

プリンタにLANケーブルを接続するためのコネクタです。

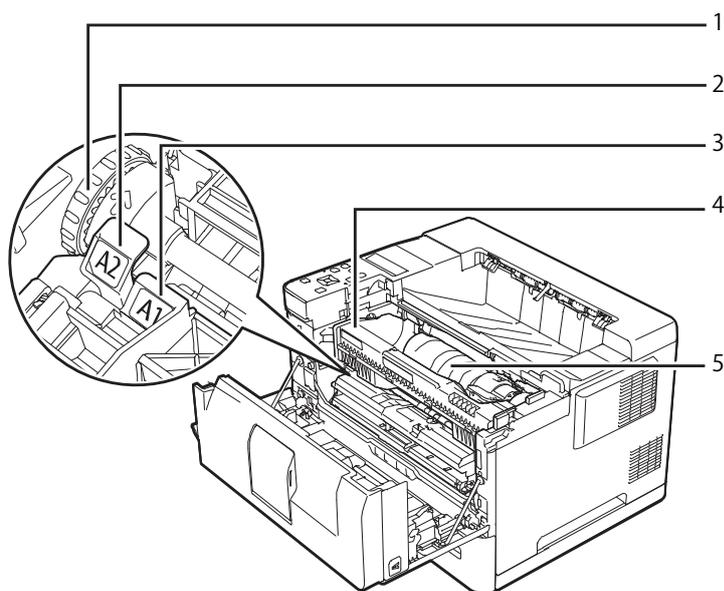
6 リンクランプ確認口

LANのリンクランプを確認するための穴です（点灯時が正常です）。

7 電源コードコネクタ

電源コードを差し込むコネクタです。電源コードの片方は、コンセントに差し込みます。

本体内部（前面）

**1 青ノブ**

つまった用紙を取り除くときに回します。

2 搬送カバー [A2]

つまった用紙を取り除くときに開けます。

3 給紙カバー [A1]

つまった用紙を取り除くときに開けます。

4 ドラムカートリッジ

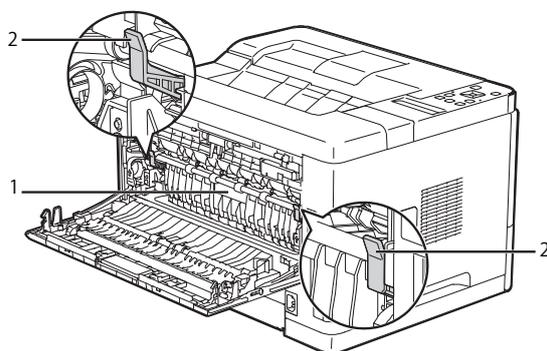
感光ドラム、現像部などで構成されているユニットです。ドラムカートリッジを交換する必要があるときは、操作パネルにメッセージが表示されます。

5 トナーカートリッジ

トナーが入っています。トナーカートリッジを交換する必要があるときは、操作パネルにメッセージが表示されます。

- ・つまった用紙を取り除くときは、ドラムカートリッジごと取り外してください。
- ・トナーカートリッジを交換する場合など、トナーカートリッジだけを取り外すときは、右側にあるトナーカートリッジのロックレバーを奥側にカチッとするまで倒してロックを解除して取り外します。

本体内部（背面）



1 定着器

用紙にトナーを定着させる機構です。プリンタ使用時は高温になっているので手を触れないように注意してください。定着器を交換する必要があるときは、オペレータパネルにメッセージが表示されます。保守員にご連絡ください。

2 定着レバー

定着器内に用紙が詰まったときは、両側にある青色のレバーを下げ、つまっている用紙を取り除きます。

通常は、定着レバーを上げた状態で使用してください。

▲ 注意

プリンタ使用時は、高温になっているので、定着器の内部に手を触れないように注意してください。

■ 重要

定着器は、プリンタから取り外さないでください。

取り外すと「6 3 - 9 1 定着器異常」が発生し、装置の電源再投入が必要となります。

1.3 装置仕様

1.3.1 基本仕様

項目		仕様																							
印刷方式		乾式電子写真方式																							
印刷速度 *1		(PPM) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">用紙</th> <th>A4</th> <th>B4</th> <th>A3</th> <th>B5</th> <th>A5</th> <th>レター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">最高速度</td> <td>片面</td> <td>46</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>両面</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	用紙		A4	B4	A3	B5	A5	レター	最高速度	片面	46	28	25	45	45	44	両面	32	16	15	33	34	31
用紙		A4	B4	A3	B5	A5	レター																		
最高速度	片面	46	28	25	45	45	44																		
	両面	32	16	15	33	34	31																		
		※上記値は、カセット1からの同一ページの複数コピー時です。																							
ウォームアップ時間		60秒以下 (23℃、AC100V) *2																							
ファーストプリント時間		6秒以下 (23℃、AC100V、A4片面印刷、カセット1/本体排紙トレイ)																							
用紙 *3	種類	カット紙 (普通紙、再生紙、中厚口/上質紙、厚紙) *4																							
	サイズ	カセット1～4 A4、B5、A5、レター・・・横送り固定 *5 A3、B4・・・縦送り固定 手差しトレイ *6 A3、B4、A4、B5、A5、レター・・・縦送り固定 *7																							
	坪量	カセット1 : 64～105g/m ² カセット2～4 (オプション) : 64～105g/m ² 手差し : 64～160g/m ²																							
給紙容量 *8, *9		カセット1 : 550枚 カセット2～4 (オプション) : 1,650枚 (550枚×3段) 手差しトレイ : 100枚																							
排紙容量 *9		本体排紙トレイ (スタッカ) : 550枚																							
接続インタフェース		LANインタフェース コネクタ : RJ45 (ツイストペアモジュラ用) サポートプロトコル : TCP/IP (IPv4/IPv6)、DS-LINK 接続速度 : 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T																							
データストリーム		JEF (F66XX:富士通メインフレーム連携、NMC代替サーバ接続) JEF (F69XX:PRIMERGY 6000連携) FM (FMLBP:UNIX (Solaris)サーバ接続、Windowsサーバ接続、Windows PC接続) FNP (FNP:UNIX (Solaris)サーバ接続、Windowsサーバ接続、Linuxサーバ接続、Windows PC接続)																							
SNMP		SNMP V1 (バージョン1) 対応 / 設定可能コミュニティ数は1件 MIB II (RFC1213)、HostResourceMIB (RFC1759の範囲)、PrinterMIB (RFC1759) をサポート																							
消耗品 *10		オペレータ交換 ・トナーカートリッジ ・ドラムカートリッジ																							

(続く)

(続き)

項目	仕様
定期交換部品	保守員交換 ・定期交換キット (10万ページ印刷ごとを目安に交換) ・600K交換キット (60万ページ印刷を目安に装置寿命まで2回交換)
寿命	180万ページ (A4換算) *11 または5年のいずれか早い方 (常温、常湿) *12
添付品	ソフトウェアCD (PrintWalker、プリンタドライバ、取扱説明書)、クイックガイド、電源ケーブル (2種)、ドラム、トナー*13、保証書、LED清掃キット

- *1 画質を維持するために、機内の温度調整やトナーの濃度調整、クリーニング動作を行うため、印刷速度が遅くなったり、印刷動作をいったん停止する場合があります。
- *2 ウォームアップ時間とは、電源スイッチを投入してから印刷可能状態までの時間です。
 なお、論理プリンタ設定はデフォルト設定 (66XX資源ロード時は対象外) で、かつIPv4設定の場合。
- *3 用紙については第6章を参照してください。
- *4 厚紙は「手差しトレイ」のみ対応。
- *5 給紙カセットからのA4、B5、A5、レターの縦送りは未サポートです。
- *6 手差しはWindowsプリンタドライバからの印刷のみサポートです。また、両面印刷は行えません。
- *7 手差しの横送りは未サポートです。
- *8 オプション製品については、1.4項を参照してください。
- *9 各枚数は、坪量:64g/m²の用紙の場合です。
- *10 手配仕様は第7章を参照してください。
- *11 600K交換キット (定期交換部品) を交換しない場合は、60万ページ (1度、交換した場合は120万ページ) になります。また、定期交換キット (定期交換部品) を交換しない場合は、10万ページ (交換する毎に10万ページ延長) になります。
 なお、本ページ数はA4サイズでの目安であり、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源ON・OFFの頻度などにより減少します。
- *12 月間印刷ページ数が30,000 ページ以下 (A4の場合)、1日の通電時間の合計が8時間程度の条件で、使用年数を5年と想定しています。月間印刷ページ数が30,000 ページを超えていたり、1日の印刷量が3,000ページを超えていたり、1日に合計8時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が1,800,000 ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。また、用紙づまりなど用紙搬送性の不具合や画像不具合の原因となります。
 A4横より長い用紙をご使用の場合は、装置寿命までに印刷できるページ数が減少します。
 記載の内容は目安であり、保証するものではありません。
- *13 装置添付のトナーカートリッジ (スターター) の印刷量の目安は約6,000ページです。

1.3.2 66XXエミュレーション機能仕様

本装置の66XXエミュレーション機能仕様を表1.1に示します。

表 1.1 66XXエミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 240×240dpi • 300×240dpi (LP-B4縮小時) • 300×300dpi (80% 縮小時) • 300×360dpi (LP-A4縮小時)
印刷文字種	<ul style="list-style-type: none"> • 明朝体 <ul style="list-style-type: none"> 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字：A/N20セット+LPモード用 • ゴシック体 <ul style="list-style-type: none"> 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字：7、9、12ポイント相当 <ul style="list-style-type: none"> 縮小文字：半角、1/4角 拡大文字：平体、長体、倍角、ラベル文字 • A/N：10、12、15字/25.4mm <ul style="list-style-type: none"> 13.3字/25.4mm (LPモード)
文字間隔	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字：7ポ相当：10字/25.4mm <ul style="list-style-type: none"> 9ポ相当：5、6、6.6、7.5、8字/25.4mm 12ポ相当：5、6字/25.4mm • A/N：10字/25.4mm <ul style="list-style-type: none"> 10、12、15字/25.4mm (文字配列テーブル使用時)
行間隔	6、8、12行/25.4mm
オーバーレイ印刷	データ形式：Write圧縮
イメージ印刷 (拡張出力機構必須)	データ形式：非圧縮、MH、MR、MMR形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
バーコード印刷	種類：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9、GS1-128 *1 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマバーコード [バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です]

※ 本エミュレーション機能を使用するには、GS連携機構（オプション）および拡張出力機構（オプション）が必須です。

*1 300dpi以上の印刷解像度が必要となる公共料金の代理収納にはご使用になれません。

第1章 概要

1.3.3 69XXエミュレーション機能仕様

本装置の69XXエミュレーション機能仕様を表1.2に示します。

表 1.2 69XXエミュレーション機能仕様

項目	仕様	
解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 240×240dpi • 300×240dpi (LP-B4縮小時) • 300×300dpi (80% 縮小時) • 300×360dpi (LP-A4縮小時) 	
印刷文字種	<ul style="list-style-type: none"> • 明朝体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字：A/N標準・互換モード+LPモード用 (ソフト側指定によるコード表切り替えあり) • ゴシック体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 	
文字サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字：7、9、12ポイント相当 縮小文字：半角、1/4角 拡大文字：平体、長体、倍角、ラベル文字 • A/N：10、12、15字/25.4mm 13.3字/25.4mm (LPモード) 	
文字間隔	標準モード	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字：7ポ相当：10字/25.4mm 9ポ相当：5、6、6.6、7.5、8字/25.4mm 12ポ相当：5、6字/25.4mm • A/N：10、12、15字/25.4mm
	互換モード	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字：7ポ相当：5、6.6、10字/25.4mm 9ポ相当：5、6.6、8字/25.4mm 12ポ相当：5字/25.4mm • A/N：10、12、15字/25.4mm
縦書き	文字を90°回転	
行間隔	6、8、12行/25.4mm	
オーバーレイ印刷	データ形式：ベクトルオーバーレイ	
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH、MR、MMR形式	
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画	
バーコード印刷	種類：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9 Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、カスタマバーコード [バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です]	

※ 本エミュレーションを使用するには、拡張出力機構（オプション）が必須です。

1.3.4 FMエミュレーション機能仕様

本装置のFMエミュレーション機能仕様を表1.3に示します。

表 1.3 FMエミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 240×240dpi • 400×400dpi • 300×240dpi (LP-B4縮小時) • 300×360dpi (LP-A4縮小時)
印刷文字種	<ul style="list-style-type: none"> • 明朝体 <ul style="list-style-type: none"> 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字 1バイト文字：A/N文字 • ゴシック体 <ul style="list-style-type: none"> 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角・1/4角文字、書式文字、縦特殊文字
文字サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 漢字：7、9、10.5、12ポイント相当 <ul style="list-style-type: none"> 縮小文字：半角、1/4角 拡大文字：平体、長体、倍角 • A/N：10、12、18字/25.4mm
文字間隔	任意指定
行間隔	任意指定
オーバーレイ印刷	データ形式：マクロ形式
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
特殊印刷	16進ダンプ印刷、リスト印刷1/2/3/LP-A4/LP-B4 縮小70%/75%
コマンド仕様	FMLPB115相当+両面印刷コマンド
バーコード仕様	種類：NW-7、標準JAN、短縮JAN、Code3 of 9、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマバーコード [バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です]

第1章 概要

1.3.5 FNPエミュレーション機能仕様

本装置のFNPエミュレーション機能仕様を表1.4に示します。

表 1.4 FNPエミュレーション機能仕様

項目	仕様
解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 240×240dpi • 400×400dpi • 600×600dpi • 1200×1200dpi (拡張出力機構が必須)
文字サイズ	1バイト系/2バイト系共に1~4096ドットの範囲で文字サイズ(高さ&幅)を指定可能 2バイト系についてはポイント数での文字サイズ(高さ&幅)指定も可能 240 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ ² ~1228ポ ² 400 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ ² ~ 737ポ ² 600 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ ² ~ 491ポ ² 1200 dpi 指定可能範囲: 0.1ポ ² ~ 245ポ ²
文字間隔	任意指定
行間隔	任意指定
オーバーレイ印刷	データ形式: マクロ形式
イメージ印刷	データ形式: 非圧縮、MH形式、MMR形式、SLC形式
図形印刷	文字・線・円・面塗りなどの描画
書体 *1,*2	アウトラインフォント 漢字: 明朝体、ゴシック体 A/N: 欧文13書体、OCR-B
バーコード仕様 (範囲指定のみ) *3	種類: NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE3 of 9、Industrial 2 of 5、 Interleaved 2 of 5、物流系、カスタマバーコード、GS1-128)、 QRコード (モデル2)、マイクロQRコード [バーコード読取装置の読取り仕様により、本装置で印刷した帳票の読 取り率が異なるので、運用に先立ち十分な事前確認が必要です]

*1 アウトラインフォント出力時は、以下の条件でご使用ください。

- 解像度 400dpi以上
- 文字サイズ 9ポ以上

*2 アウトラインフォントの外字作成時は、出力結果を十分ご確認の上、ご使用ください。

*3 240dpi印刷では対応できませんのでご注意ください。

GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、600dpi以上の印刷解像度が必要となります。

1.4 オプション

1.4.1 オプション

品名	概要
VSP-EF55ML (給紙ユニット55)	増設用給紙カセットです (容量550枚)。 2~4段目の用紙カセットとして最大3段まで増設できます。
VSP4540EX (拡張出力機構)	拡張用のメモリです。 論理プリンタの設定可能数が拡張 (1→3) されます。 また、以下の場合に必須です。 ・66XXエミュレーション印刷 ・69XXエミュレーション印刷 ・解像度1200dpiの印刷
VSP4540GS (GS連携機構)	66XXエミュレーション印刷時に必須です。

1.4.2 オプションの仕様

(1) VSP-EF55ML (給紙ユニット55) の仕様

項目		仕様
外形寸法		485mm (幅) × 388mm (奥行き) × 122.6mm (高さ)
質量		約6.5kg
給紙容量 *1		最大 550枚 (普通紙)*1
用紙	種類	プリンタ本体仕様に準ずる
	サイズ	A3、B4、A4横、A5横、B5横、レター横
	坪量 (使用可能範囲)	64~105g/m ²

*1 坪量:64g/m²の用紙の場合

第1章 概要

1.4.3 オプションと論理プリンタ設定数

拡張出力機構オプション有無とGS連携機構オプション有無の組み合わせによる、各エミュレーションの論理プリンタの設定可能数について以下に示します。

なお、複数の論理プリンタを設定して運用する場合は、「1.5 複数の論理プリンタを定義した場合の排紙について」も参照してください。

オプション名 *1	論理プリンタの組み合わせ(最大)				備考
	富士通 メインフレーム NMC代替連携 (VSPサービス等) *2	富士通 メインフレーム スプール連携 (帳票管理サービス等)	PRIMERGY 6000	SPARC Servers SPARC Enterprise PRIMERGY PRIMEQUEST Windows PC	
	66XX エミュレーション	66XX エミュレーション	69XX エミュレーション	FM/FNP エミュレーション	
オプションなし	0	0	0	1	
拡張出力機構 (VSP4540EX)	0	0	0	3	
	0	0	1	2	*3
拡張出力機構 (VSP4540EX) GS連携機構 (VSP4540GS)	0	0	0	3	
	0	0	1	2	*3
	0	1	0	2	
	0	1	1	1	*3, 4
	1	1	0	1	*4, 5
	1	0	1	1	*3, 4
	1	0	0	2	

*1: GS連携機構導入時(66XXエミュレーション印刷時)は拡張出力機構も必須のため、GS連携機構のみの表はありません。

*2: 複数の富士通メインフレームからの印刷はできません。

*3: 69XXは装置内に1個しか設定できません。

*4: 66XX(NMC代替連携)／66XX(スプール連携)と69XXの合計が2を超えないこと。

*5: 富士通メインフレーム連携(66XXエミュレーション)を行う場合の2つの方法について

1) NMC代替連携(VSPサービス等)

NMC接続と互換を持つ機能で、富士通メインフレーム上のAPSライタにより印刷制御されます。リカバリ指定等もAPSライタで行います。

2) スプール連携(帳票管理サービス等)

サーバ上のアプリケーション[HOST PRINT(帳票管理サービス)]等の機能による印刷制御を行います。

印刷データはスプールされているため、従来富士通メインフレームで制御していた再印刷や必要とするページのみの印刷指定等がサーバ上で行えます。

富士通メインフレーム連携を2つ設定する場合、1)と2)を1つずつの設定が可能です。

1)だけを2つ、または2)だけを2つという設定はできません。

1.5 複数の論理プリンタを定義した場合の排紙について

本装置に複数の論理プリンタを定義して運用する場合、全論理プリンタで1つのスタッカを共用するため、スタッカに各論理プリンタの印刷物が混在したり、印刷を実行するためにプリンタ装置側での操作が必要となる場合があります。

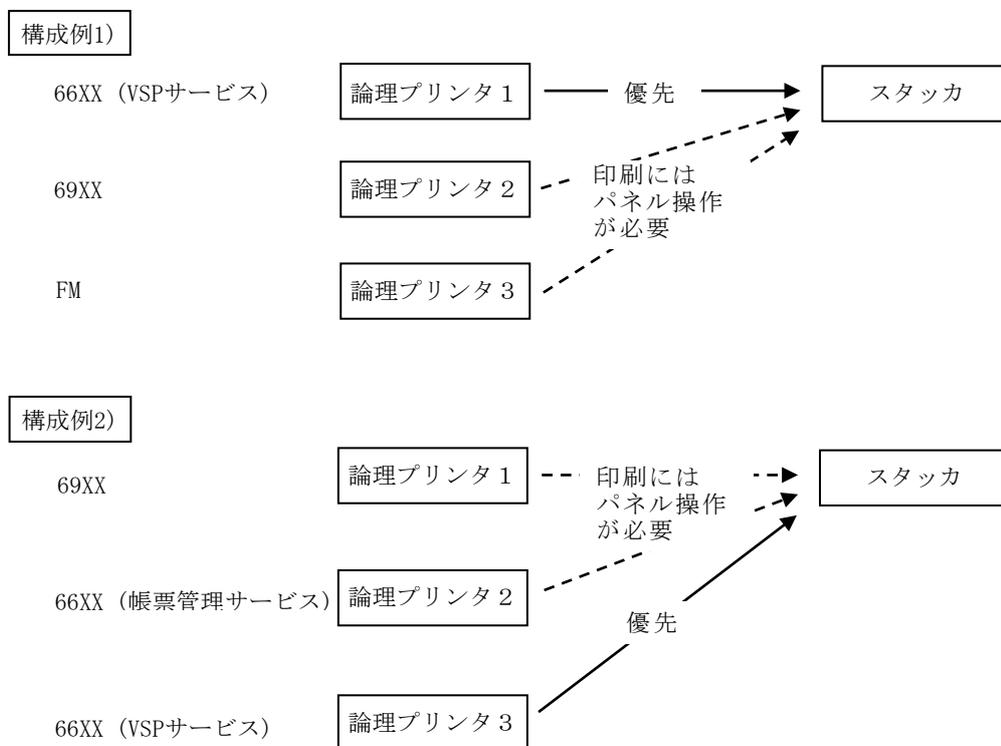
混在のしかたは、定義されている論理プリンタの種類によって2種類に分けられます。

1.5.1 NMC代替連携を行う(HOST PRINT<VSPサービス>からの印刷を行う)場合

NMC代替印刷(サポートサーバ=“6680-NMC”の論理プリンタ)を含む複数の論理プリンタが定義されている場合、“6680-NMC”の印刷を優先し他の論理プリンタへの印刷は待ち状態になります

(6680-NMC優先状態)。

また、待ち状態となっている“6680-NMC”以外のデータを印刷する場合は、操作パネルの割込印刷キーを押下する必要があります。

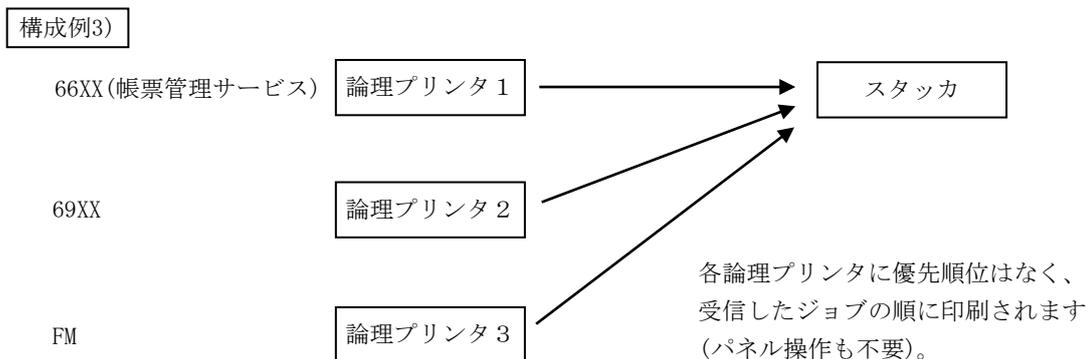


“6680-NMC優先状態”および“割込印刷機能”の詳細については、「1.6 6680-NMC優先印刷と割込印刷機能」を参照してください。

1.5.2 NMC代替連携を行わない(サポートサーバ=“6680-NMC”の論理プリンタを設定しない)場合

NMC代替連携を行わない(サポートサーバ=“6680-NMC”の論理プリンタを設定しない)場合、複数定義した各論理プリンタへの印刷は上位装置のスポールを経由しジョブ単位で実行されます。このため、ジョブ単位での混在が発生する可能性があります(ジョブの途中で他の論理プリンタの印刷物が混在することはありません)。

また、各論理プリンタに優先順位はありません(受信したジョブの順に印刷を行います)。



1.6 6680-NMC優先印刷と割込印刷機能

1.6.1 6680-NMC優先印刷について

本装置では、複数の論理プリンタを定義し、かつ、その一つがサポートサーバ＝“6680-NMC”であった場合(すなわち、HOST PRINT<VSPサービス>で利用する論理プリンタを含む場合)、他の論理プリンタとの複雑な排紙の混在を避けるため、“6680-NMC”の印刷を優先し他の論理プリンタへの印刷は待ち状態となります。この状態を「6680-NMC優先状態」と呼びます。

- 6680-NMC優先状態では、6680-NMCデータの処理中か非処理中かに関わらず、他の論理プリンタの印刷は装置使用中として待たされます。
- 待ち状態の6680-NMC以外のデータは、後述の「割込印刷機能」にて印刷できます。

1.6.2 割込印刷機能について

6680-NMC優先状態において待ち状態となっている“6680-NMC以外”の印刷がある場合に、オペレータ操作により一時的に6680-NMC優先状態を解除し、待ち状態の印刷を実行する機能です。

- 待ち状態となっているデータの割込印刷を行う場合、装置の操作パネルの割込印刷キーを押下します。
- 6680-NMCのデータを処理していないときに割込印刷キーを押下した場合は続行確認を行わず、すぐに割込印刷が実行されます。
- 6680-NMCのデータ処理中に割込印刷キーを押下した場合、処理中の6680-NMCデータを排出した後、「割込印刷 印刷しますか? Y/N」と続行の確認が行われ、Yes キーを押下すると割込印刷が実行されます。
- 割込印刷は、待ち状態となっている1ジョブにのみ有効であり、1ジョブ分の印刷を終えると、自動的に6680-NMC優先状態に戻ります。
- 割込印刷中は、6680-NMCの印刷はBusy状態で待たされます。このため、APSライタのライター定義(DFNWTRコマンド)のRETRYオペランドの”試行回数1”の指定値は、”255”(プリンタがReady状態になるまで10秒間隔でリトライ)を推奨します。
詳細は、「OSIV APS説明書」のライタの定義(DFNWTRコマンド)を参照してください。
なお、割込印刷開始後、約10分間はプリンタ装置側で割込印刷の終了を待ちます。このため、割込印刷の印刷量が多い場合、6680-NMCの印刷は、割込印刷を開始してから約10分後にNotReady状態となります。

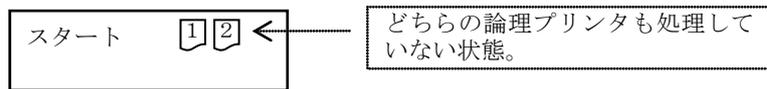
1.6.3 割込印刷の操作手順

以下のように論理プリンタが定義されている場合を例にして、割込印刷の手順を示します。

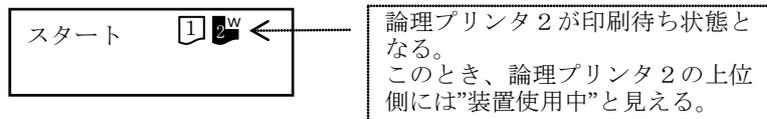
- ・ 論理プリンタ 1 = 6680-NMC
- ・ 論理プリンタ 2 = PrintWalker/PM

(1) 6680-NMCのデータを処理していないときに論理プリンタ 2 の印刷を起動した場合

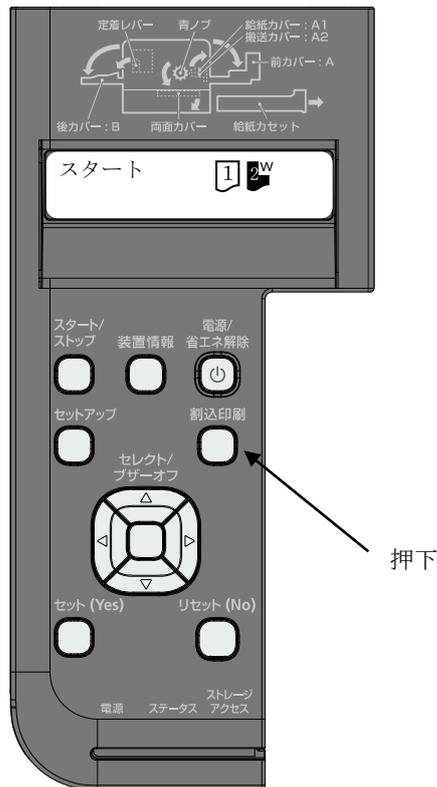
1) プリンタアイドル中



2) 論理プリンタ 2 への印刷を実行する。



3) 割込印刷 キーを押下する。



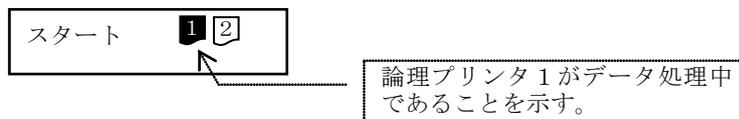
4) 6680-NMC優先状態が解除され論理プリンタ 2 のデータが印刷される。



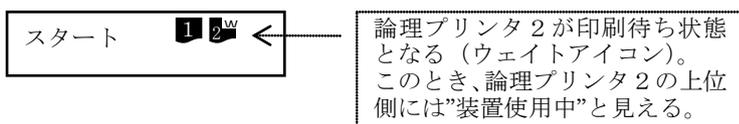
5) 1 ジョブ分の印刷完了後、自動的に「6680-NMC優先状態」に戻る。

(2) 6680-NMCのデータ処理中に論理プリンタ 2 の印刷を起動した場合

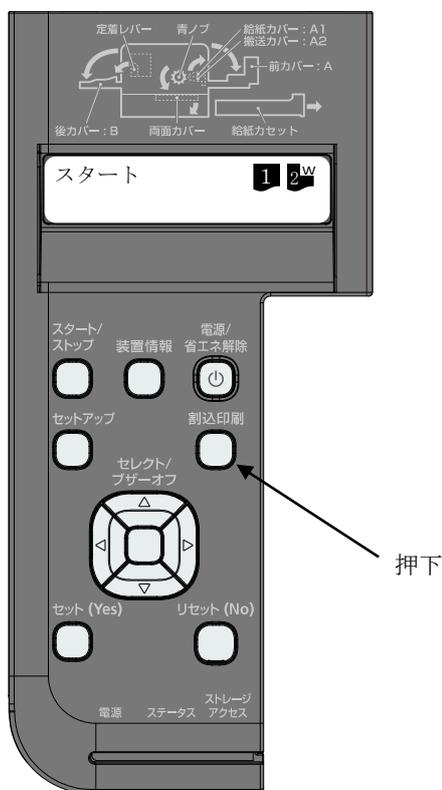
1) 論理プリンタ 1 (6680-NMC) のデータ処理中



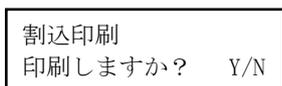
2) 論理プリンタ 2 への印刷を実行する。



3) 割込印刷 キーを押下する。



4) 受信済みの論理プリンタ 1 (6680-NMC) のデータのうちページが完成したデータを印刷後に 6680-NMC優先状態が解除され、以下が表示される。



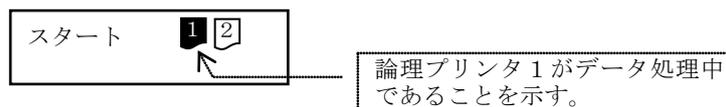
- ※ 受信済みデータのうち、ページが完成していないデータは保持します。
- ※ 本手順にて1分間放置すると、「6680-NMC優先状態」に戻り、手順2)の表示に戻ります。このとき、論理プリンタ 1 の印刷は再開され、論理プリンタ 2 は待ち状態となります。
- ※ 割込印刷キー押下時、既に受信済みの6680-NMCデータの印刷中に用紙切れや用紙づまりなどのエラーが発生した場合、押下した割込印刷キーは無効になります。エラーを解除してから、再度、割込印刷キーを押してください。

- 5) Yes キー押下により論理プリンタ 2 のデータが印刷される。



※ 手順4)にて「No キー」が押下されると、手順2)の表示に戻ります(論理プリンタ 1 の印刷が再開され、論理プリンタ 2 は待ち状態となります)。

- 6) 論理プリンタ 2 の 1 ジョブ分の印刷完了後、自動的に「6680-NMC優先状態」に戻り、論理プリンタ 1 の印刷が継続されます。(注 1)



注 1) ただし、割込印刷 キー押下後、割込印刷中に10分(※)が経過すると、論理プリンタ 1 の上位装置にNot Readyが返され、印刷再開には上位装置側からの印刷再開の指示が必要となります。

※ 割込印刷の負荷状態により数分程度延びる場合があります。

1.6.4 6680-NMC優先状態および割込印刷時の注意事項

- (1) 割込印刷機能は、装置本体のオペレータ操作(割込印刷キーの押下)を伴うことで、割り込んだ印刷物の取り忘れ防止を期待していますが、オペレータが割込印刷による印刷物を取り忘れた場合はスタック上に 6680-NMC とその他の論理プリンタの印刷物が混在することになります(このとき、ページ単位で混在する可能性があります)。
- (2) 割込印刷機能を利用する場合、6680-NMC 以外の論理プリンタのサポートサーバは、PrintWalker/PM または BSNPS の設定にしてください。
サポートサーバに lpd を設定すると、OS 側の処理に伴って問題が発生する可能性があります
(例:上位側でジョブ削除を実行した際にジョブ削除に時間がかかったような場合、ジョブが削除される前に割込印刷キーが押されると割込印刷できてしまう)。
- (3) 6680-NMC 定義の論理プリンタが描画処理等で負荷が高い場合、一時的に割込印刷 キーが無効となる場合があります。この場合は再度割込印刷 キーを押下してください。
- (4) 6680-NMC 優先状態では、下記に示す資源ロード系のコマンドが正常に実行できません。
このような場合、「6680-NMC 未接続モード」にてコマンドを実行してください
(「6680-NMC 未接続モード」については「付録 7 6680-NMC 未接続モード立ち上げ」を参照してください)。

<PRIMERGY 6000>

- CGパターンの一括ダウンロードコマンド (SND CG)
 - オーバレイの一括ダウンロードコマンド (SND OVL)
- 各コマンドの詳細は、「ASP システムコマンド集」を参照してください。

<UNIX(Solaris)サーバ>

- 66XXのCGプレロードコマンド (stupfont)
 - 66XXのOVLプレロードコマンド (stupovly)
 - FNP外字登録コマンド (stup.ttf)
- 各コマンドの詳細は、「PrintWalker/BPC説明書」を参照してください。

<Linuxサーバ>

- FNP外字登録コマンド (stup.ttf)
- コマンドの詳細は、「PrintWalker/LXE説明書」を参照してください。

<Windowsサーバ>

– 外字登録ツール (F5EQTFLLD.exe)

本ツールの詳細は、「付録4 外字登録(TrueType)ツールのご紹介」を参照してください。

- (5) 6680-NMC 優先状態では、PRIMERGY 6000 サーバからのリモート電源制御系のコマンド (POFFPRT, POWEROFF, CANALJOB)は無効となります。

1.7 Windows環境で使用するソフトウェア

VSPリクエスト/VSP4540Cプリンタドライバ/PrintWalker/PMは、Windows環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。

これらソフトウェアは、装置添付のCD-ROM (PrintWalker) に格納されています。

概要、機能、表示メッセージ、対応OS およびインストール方法は、ソフトウェアCD-ROM 内の各ソフトウェアの説明をご覧ください

1.7.1 VSPリクエスト

パソコンサーバと本装置間で印刷資源のやり取りを行うソフトウェアです。

1.7.2 VSP4540Cプリンタドライバ

クライアント・パソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです。

1.7.3 PrintWalker/PM

VSPプリンタ装置への出力中に発生したエラー内容を表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

プリンタドライバをインストールする前に、本ソフトウェアをインストールする必要があります。

1.7.4 外字フォント登録コマンド

FNPEミュレーションにて、Windows 上の外字エディタで作成した外字フォントファイルを、TrueTypeフォント搭載プリンタ装置へ登録するコマンドです。

コマンドパラメータ指定により、登録/登録済みフォントの確認/登録済みフォントの削除ができます。明朝体、ゴシック体フォントをそれぞれ1ファイル登録が可能です。

詳細は「付録4 外字登録(TrueType)ツールのご紹介」をご覧ください。

1.7.5 ポート構成コマンド

コマンドインタフェースによるPrintWalker/PMのポートの構成 (作成、変更、削除) を可能とするコマンドです。

1.7.6 PrintWalker/EM

VSPプリンタ装置の運用管理をリモートで行うソフトウェアです。また、Systemwalker Desktop PatrolやSystemwalker Desktop Keeper と連携し、プリンタの消費電力量や印刷量などの印刷環境を見える化します。

1.8 UNIX(Solaris)／Linux環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPCは、UNIX(Solaris)環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。
PrintWalker/LXEは、Linux環境で本装置を使用する場合に有効なソフトウェアです。
これらのソフトウェアは、装置添付のCD-ROM (PrintWalker) に格納されています。

1.8.1 PrintWalker/BPC

VSPプリンタ装置への出力中に発生したエラー内容をUNIX(Solaris)サーバに表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

1.8.2 PrintWalker/LXE

VSPプリンタ装置への出力中に発生したエラー内容をLinuxサーバ(Red Hat Enterprise Linux)に表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトウェアです。

1.9 注意事項

1.9.1 バーコード印刷について

- (1) 本装置で印刷するバーコードのバー幅は6ドット(600dpi時)、12ドット(1200dpi時)以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅のバーコードも印刷可能ですが、読取り率が非常に低くなるため推奨できません。
- (2) Windowsの一般的なアプリケーションでは、プリンタが持つバーコードの印刷機能を使用しておりません。アプリケーション側でバーコードのイメージデータを生成しているため、プリンタの解像度にあったデータを生成していない場合には読取り不良となる場合があります。運用に先立ち十分な読取りテストを実施してください。
- (3) 帳票設計上の注意は6.5.1.(2)を参照してください。

1.9.2 二次元コード (QRコード/マイクロQRコード) について

本装置では、指定された印刷領域に納まる最大のコードを選択して印刷を行います。同じデータを含む二次元コードであっても、セル (QRコード/マイクロQRコードを構成する最小の矩形単位) の大きさを段階的に変えることにより、印刷領域に最適な大きさで印刷されることになります。一般的に、このセルの大きさが大きいほど読取り率が高くなるため、可能な限り大きな印刷領域を指定することを推奨します。

特に、解像度400dpi、600dpi、1200dpiで印刷する場合には、読取り率を向上させるために、以下に示す方法により求められた印刷領域よりも大きな範囲を指定する必要があります。

[QRコード] (解像度400dpiの場合)

- ① QRコードに収納する文字種により、コードで表現するときのビット数を算出します

(A_x : 収納する文字数)。

・数字のみ : A_1 文字

$$B_1 = 10 \times (A_1 \div 3) + 25$$

・英字、数字、記号 : A_2 文字

$$B_2 = 11 \times (A_2 \div 2) + 29$$

・8ビットバイナリ : A_3 文字

$$B_3 = 8 \times A_3 + 20$$

・漢字、かな : A_4 文字

$$B_4 = 13 \times A_4 + 16$$

複数の文字種を収納する場合は、それぞれのビット数の合計を算出します。

$$B_T = B_1 + B_2 + B_3 + B_4$$

- ② 誤り訂正レベルの指定により、QRコードに収納できるビット数が変わるため、次の演算を行います。

・誤り訂正レベル : L

$$B = B_T$$

・誤り訂正レベル : M

$$B = B_T \times 1.31$$

・誤り訂正レベル : Q

$$B = B_T \times 1.82$$

・誤り訂正レベル : H

$$B = B_T \times 2.38$$

- ③ B [ビット] を収納するために必要なQRコードのバージョン（コードの大きさ）を、下記の表から決定します。

[簡易的な計算による概算値であるため本来のものより1つ大きなバージョンになる場合があります]

バージョン	収納可能なビット数	バージョン	収納可能なビット数	バージョン	収納可能なビット数	バージョン	収納可能なビット数
1	～152	11	～2592	21	～7456	31	～14744
2	～272	12	～2960	22	～8048	32	～15640
3	～440	13	～3424	23	～8752	33	～16568
4	～640	14	～3688	24	～9392	34	～17528
5	～864	15	～4184	25	～10208	35	～18448
6	～1088	16	～4712	26	～10960	36	～19472
7	～1248	17	～5176	27	～11744	37	～20528
8	～1552	18	～5768	28	～12248	38	～21616
9	～1856	19	～6360	29	～13048	39	～22496
10	～2192	20	～6888	30	～13880	40	～23648

- ④ 決定したバージョンにおけるセル数を算出します。
 S [セル] = ((バージョンの値) - 1) × 4 + 21
- ⑤ コードの上下左右には4セル分の余白（クワイエットゾーン）が必要となります。
 S_T [セル] = $S + 8$
- ⑥ 解像度400dpiにおいて、1セルを構成する推奨最小ドット数は6ドット（600dpiは9ドット、1200dpiは18ドット）です。このことからコードを構成するドット数を算出します。
 D [ドット] = $S_T \times 6$ （600dpiは D [ドット] = $S_T \times 9$ ，1200dpiは D [ドット] = $S_T \times 18$ ）
- ⑦ 印刷領域を算出します
 （解像度400dpiでは1インチが400ドットで、解像度600dpiでは1インチが600ドットで解像度1200dpiでは1インチが1200ドットで構成されます）。
 W [インチ] = $D \div 400$ （600dpiは W [インチ] = $D \div 600$ ，1200dpiは W [インチ] = $D \div 1200$ ）

短辺がWインチ以上の印刷領域を指定する必要があります。

[マイクロQRコード]

- ① マイクロQRコードに収納する文字種／データ量／誤り訂正レベルから、印刷時に選択されるバージョンを決定します。

バージョン	誤り訂正レベル	データ量（最大入力文字数）			
		数字のみ	英数字記号	8ビットバイナリ	漢字かな
M1 (=1)	L	5	—	—	—
M2 (=2)	L	10	6	—	—
	M	8	5	—	—
M3 (=3)	L	23	14	9	6
	M	18	11	7	4
M4 (=4)	L	35	21	15	9
	M	30	18	13	8
	Q	21	13	9	5

- ② 決定したバージョンにおけるセル数を算出します。
 S [セル] = ((バージョンの値) - 1) × 2 + 11

第1章 概要

- ③ コードの上下左右には2セル分の余白（クワイエットゾーン）が必要となります。
 S_r [セル] = $S + 4$
- ④ 解像度400dpiにおいて、1セルを構成する推奨最小ドット数は6ドット（600dpiは9ドット、1200dpiは18ドット）です。このことからコードを構成するドット数を算出します。
 D [ドット] = $S_r \times 6$ （600dpiは D [ドット] = $S_r \times 9$ 、1200dpiは D [ドット] = $S_r \times 18$ ）
- ⑤ 印刷領域を算出します（解像度400dpiでは1インチが400ドットで構成されます）。
 W [インチ] = $D \div 400$ （600dpiは W [インチ] = $D \div 600$ 、1200dpiは W [インチ] = $D \div 1200$ ）

短辺が W インチ以上の印刷領域を指定する必要があります。

1.9.3 スイッチングハブとの接続について

本装置とスイッチングハブは、オートネゴシエーションでの接続を推奨します。

スイッチングハブをオートネゴシエーション以外に設定する場合、本装置は半二重（Half）で動作するため、スイッチングハブも半二重（Half）に設定する必要があります。

1.9.4 その他の注意事項

- (1) 本プリンタは、MS-DOSからの直接印刷には対応しておりません（印刷結果も保証しません）。
- (2) WSMGR やK端末エミュレータ等により富士通メインフレームまたはPRIMERGY 6000からのデータをPC上でFMエミュレーションに変換し、VSPプリンタドライバを経由せず本装置に出力する運用はサポートしておりません。よって、印刷結果についても保証できません。
- (3) Windowsからの印刷において、PrintWalker/PMと連携する場合、到着通知パネルまたはPWメッセージ通知パネルを起動してください（デフォルトはスタートアップに登録されます）。
詳細につきましては、添付のCD-ROMに格納されていますPrintWalker/PMのReadme.txtをお読みください。
- (4) Windowsのプリンタドライバに関する設定は、装置に添付しているCD-ROMの
`¥PRINTDRV¥VSP45XX¥Readme.txt`へ記載しています。
- (5) ソフトウェアに関する情報は、当社ホームページ、カタログ等で確認ください。
- (6) 網かけのかかったグラフまたは図形をプリンタドライバの縮小指定（80%または66%）で印刷した場合、網かけの種類によっては以下のような現象が発生することがあります。
このようなときは、アプリケーション側で予め縮小したデータで印刷するか、現象が目立たないパターンや色を選択して印刷してください。
また、縮小機能を持たないアプリケーションの場合は、縮小方式の特性に影響されない網かけパターンを選択ください。
（発現象）
・シマ（縦、横、モアレ）、線の消滅、線の太り等

- (7) 以下のようなケースでは、印刷が遅くなる場合があります。
- ・ 複数の論理プリンタでそれぞれ異なる解像度の印刷を行うと、印刷前に「解像度切り替え処理」が発生するため、その処理の時間だけ印刷が中断します。また、印刷動作中に縮小印刷や偏倍などを行った場合、解像度切り替えのため、印刷中のページがトレイに排紙されるまで次のページの処理を保留します。
 - ・ LAN負荷が高い伝送路を使用して印刷する場合や、データ転送速度が80kbyte/sより遅い場合、連続印刷を行うための印刷データが確保できないため、データ転送速度に比例して印刷速度が変わります。
 - ・ 用紙の幅や用紙の厚さが切り替わった場合、温度調整のために給紙動作を遅らせたり、印刷動作をいったん停止する場合があります。
 - ・ イメージの印刷を行う場合、イメージ等の印刷で1ページのデータ量がA4サイズで60kbyteより大きい場合は、印刷速度が低下します。
 - ・ データ量の多い帳票を印刷する場合 (240, 400, 600dpi)
(データ量の目安としては、A4用紙に9ポ全角4000文字より多くの文字を印刷する場合)
 - ・ オーバレイ付の帳票を印刷する場合
本装置ではF66XXエミュレーションにおいて、同じオーバレイを使用した印刷であっても毎ページ展開処理を行っているため、複雑なオーバレイ (網掛けなど展開処理に時間を要するデータが多く入ったもの) 付の帳票を印刷する場合、装置性能が出ない可能性があります。
性能低下を防ぐためには、できるだけ余分なパターンを減らした簡潔なオーバレイデータにしてください。
 - ・ ユーザ定義文字が多く入った帳票を印刷する場合
 - ・ 1枚で構成されるジョブを連続して印刷する場合やAIMによる印刷形態をとる場合
 - ・ LAN-WAN-LANによる遠隔地から印刷する場合
 - ・ 連続印刷や間欠印刷、高印字率印刷、低印字率印刷などを実施した場合、画質を維持するために、機内の温度調整やトナーの濃度調整、クリーニング動作を行うため、印刷速度が遅くなったり、印刷動作をいったん停止する場合があります。
 - ・ 印刷の途中で給紙カセットが変わる場合に、印刷動作をいったん停止する場合があります。
 - ・ Windowsからの印刷で、TrueTypeフォントをデバイスフォントで代替して印刷した場合、文字フォントの取込み処理が発生することがあるため、印刷の1枚目が遅い場合があります。
 - ・ 手差しトレイは、全用紙サイズ縦送り方向にセットする仕様になっているため、A3/B4を除く用紙サイズによる印刷時は、各カセットからの印刷時よりも、印刷性能が低下します。
 - ・ Windowsアプリケーションから“部数指定”で印刷した場合、1部目の印刷はストレージデバイスにデータを保存しながら行うため、印刷性能が低下します。
 - ・ 省エネモード中に印刷起動した場合、メカウォームアップ後に印刷動作を開始するため、1枚目の印刷が遅くなります。
- (8) 下記連携の設定で、実際に存在する上位サーバのアドレスを設定し、上位サーバ側ではプリンタとの接続設定を行わない状態 (論理的には上位サーバと接続されていない状態) であった場合、本装置では「接続不可」を表示できません。
よって、接続確認時には注意願います。
- 「VSPサービス連携」
- ・ サポートサーバ : 6680-NMC
 - ・ 伝送経路 : DS-LINK、TCP/IP
 - ・ エミュレーション : 66XX
- (9) “帳票管理サービス連携”を含む複数の論理プリンタを設定している場合に、装置立ち上げ時に本装置とFNAサーバが接続できない状態 (物理的、論理的共に) であった場合は、すべての論理プリンタが使用できません。

第2章 準備

2.1 用紙について

使用できる用紙の用紙仕様は第6章を参照してください。

2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ

各給紙カセットにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数について説明します。

 は用紙搬送方向に対して縦長方向に用紙をセットすることを表します。

 は用紙搬送方向に対して横長方向に用紙をセットすることを表します。

◆用紙表示内容 (2.1.2項 用紙の種類ごとの注意 参照)

- NORMAL : 普通紙、再生紙
- HIGH : 中厚口/上質紙
- HIGH2 : 厚紙

◆ セットできる用紙の用紙厚

カセット/トレイ	セット可能な用紙厚
• カセット1 • カセット2~4 (オプション)	64~105 g/m ²
• 手差しトレイ	64~160 g/m ²

第2章 準備

- ◆ 給紙カセット [カセット1(標準), カセット2~4 (オプション)]
 給紙カセットの用紙サイズダイヤルを、セットした用紙サイズに設定してください。

用紙の種類	セットできる用紙サイズ	最大セット枚数
NORMAL HIGH	・定形サイズ： A3  、 B4  、 A4  、 B5  、 A5  ・海外向けサイズ：レター*1 	普通紙：550枚 (64g/m ² 用紙使用時の目安)

1 レターサイズは各給紙カセットでは「8.5」と表示されています。また、用紙サイズダイヤルは「」にセットしてください。

注) 用紙ダイヤルの「A4縦」は、使用できません。

- ◆ 手差しトレイ

用紙の種類	セットできる用紙サイズ	最大セット枚数
NORMAL HIGH HIGH2	・定形サイズ： A3  、 B4  、 A4  、 B5  、 A5  ・海外向けサイズ：レター*1 	普通紙：100枚 (64g/m ² 用紙使用時の目安)

*1 レターサイズは、手差しトレイで「8.5」と表示されています。

2.1.2 用紙の種類ごとの注意

使用できる用紙種類の注意事項です。

■ 重要

カセット1~4では、セットした用紙と用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。
手差しトレイでは、使用する用紙サイズやメディアタイプを予め操作パネルにて設定してください。
設定方法については「3.4.10 手差し設定」を参照願います。

■ 参照

用紙の取扱いについては、「第6章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。

(1) 普通紙/再生紙 (NORMAL)

用紙の厚さ (目安)	64~80 g/m ²
操作パネルの 用紙の種類設定	カセット1~4 : [メディアタイプ]→[NORMAL]を選択 手差しトレイ : [手差し設定]→[メディアタイプ] →[NORMAL]を選択
操作パネルの 用紙サイズ設定	カセット1~4 : 設定なし (ダイヤル設定) 手差しトレイ : [手差し設定]→[用紙サイズ] → 用紙を選択
給紙可能トレイ	すべてのカセット、手差しトレイで給紙可
用紙セット可能枚数 (目安: 64 g/m ² 用紙)	<ul style="list-style-type: none"> ・カセット1 : 550 枚 ・カセット2~4(オプション) : 550 枚 ・手差しトレイ : 100 枚 セットする用紙の量は、カセット内の上限表示 ↓MAX↓ を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	可 (ただし手差しトレイは不可)

(2) 中厚口/上質紙 (HIGH)

用紙の厚さ (目安)	81~105 g/m ²
操作パネルの 用紙の種類設定	カセット1~4 : 各カセットで[メディアタイプ]→[HIGH]を選択 [手差し設定]→[メディアタイプ]→[HIGH]を選択
操作パネルの 用紙サイズ設定	カセット1~4 : 設定なし (ダイヤル設定) [手差し設定]→[用紙サイズ] → 用紙を選択
給紙可能トレイ	すべてのカセット、手差しトレイで給紙可
用紙セット可能枚数	セットする用紙の量は、カセット内の上限表示 ↓MAX↓ を超えないようにしてください。手差しトレイの場合は、用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	可 (ただし手差しトレイは不可)

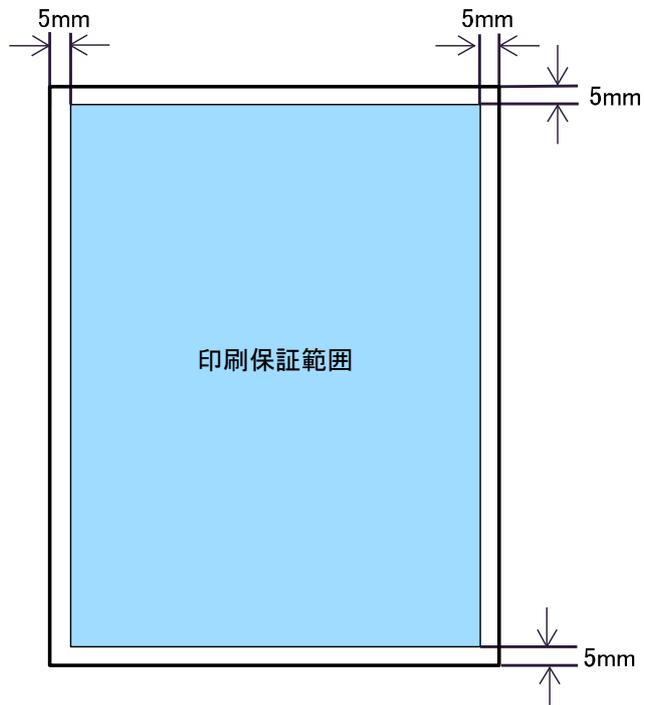
(3) 厚紙 (HIGH2)

用紙の厚さ (目安)	106~160 g/m ²
操作パネルの 用紙の種類設定	[手差し設定]→[メディアタイプ]→[HIGH2]を選択
操作パネルの 用紙サイズ設定	[手差し設定]→[用紙サイズ] → 用紙を選択
給紙可能トレイ	手差しトレイのみ
用紙セット可能枚数	用紙がサイドガイドのつめの下に収まっていることを確認してください。
両面印刷	不可

第2章 準備

2.1.3 印刷保証範囲

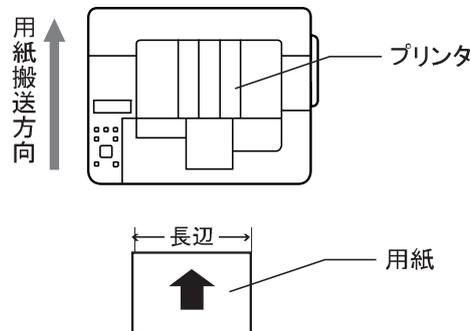
本装置の印刷保証範囲は以下の図のとおりです。



2.2 用紙をセットする

給紙カセット、手差しトレイ、給紙ユニット55(オプション)に用紙をセットする方法を説明します。

- 用紙をセットする向きについて
A4、B5、A5、レターサイズ用の紙は、前面から見て横方向にセットしてください。

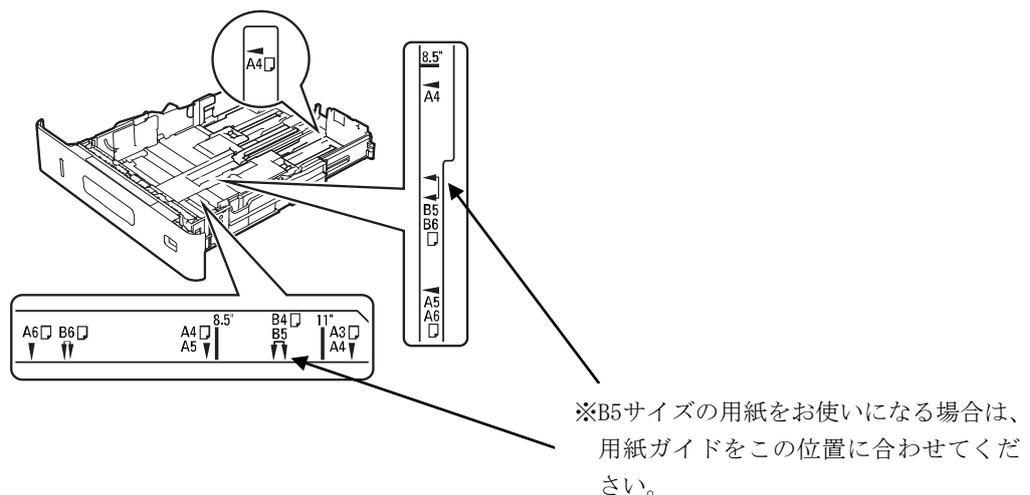


給紙カセットにレターサイズの用紙を使用する場合は、用紙サイズダイヤルを「*」にセットします。「A4縦」は使用できません。

- 用紙サイズと送り方向の刻印
用紙カセットや手差しトレイには、さまざまな用紙をセットするときの目安となる刻印が付いています。この刻印は、セットする用紙に合わせて給紙カセットを伸縮したり、用紙の縦横ガイドのクリップを移動したりするときに使用します。
- 本製品では、サポートしていない用紙サイズの刻印があります。

参照

使用できる用紙サイズについては「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。



(1) 給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセット1（標準）、2～4（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。
ここでは給紙カセット [カセット1] を例に、用紙サイズ「A4」をセットする場合を説明します。

A3、B4をセットする場合は「(2)A3、B4サイズ用の紙をセットする」を参照してください。

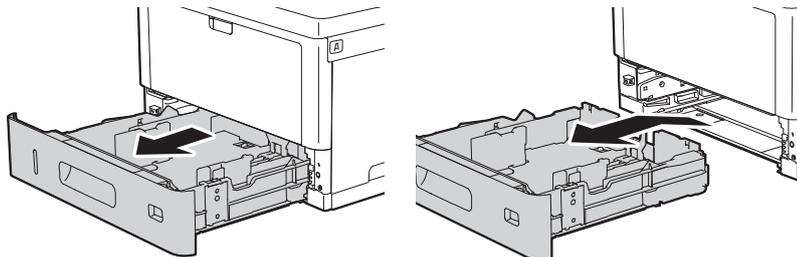
■ 重要

- セットする用紙の量は、給紙カセット内に示された上限表示を超えないようにしてください。
用紙づまりの原因になります。
- カセット内の用紙は継ぎ足ししないで、使い切ってください。

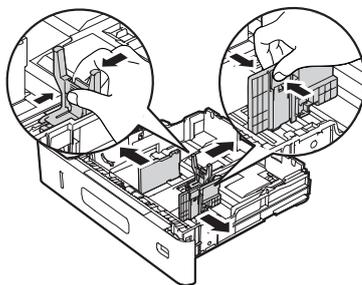
参照

- カセットにセットできる用紙については、「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

- 1 給紙カセットの取っ手部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。給紙カセットは平らな場所に置いてください。



- 2 横ガイドと縦ガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。



■ 重要

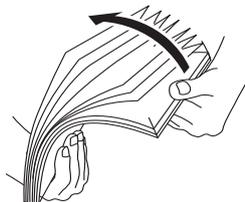
- 用紙ガイドのクリップは、必要以上の力で操作しないでください。

3 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を揃えます。

■ 注意

本作業を行わない場合は、用紙づまりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあります。

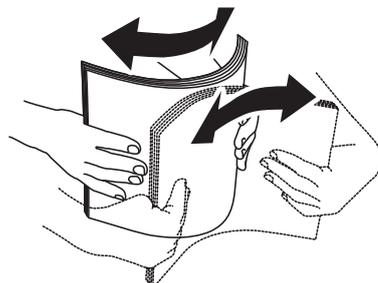
- ① 用紙の一方を持ち、下図のようにさばきます。



- ② 用紙の上下を逆にして、同じようにさばきます。

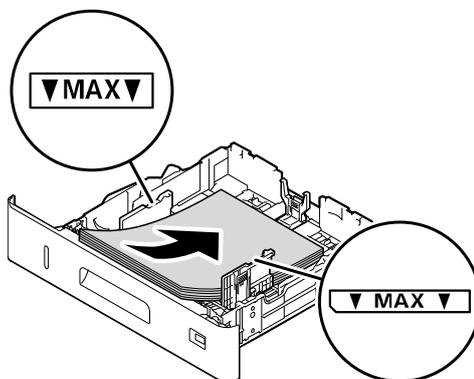


- ③ 用紙をほぐします。



- ④ 上記の手順を数回繰り返します。
⑤ 用紙の端を揃えます。

4 印刷する面（用紙を開封した時の上側の面）を下にして、用紙の先端を手前側に揃えてセットします。横ガイドの上限マーク位置を超えないようにしてください。



■ 参照

給紙カセットに、A3、B4サイズの内紙をセットするときは、給紙カセットの延長部を引き出してください。引き出し方法は「(2)A3、B4サイズの内紙をセットする」を参照してください。

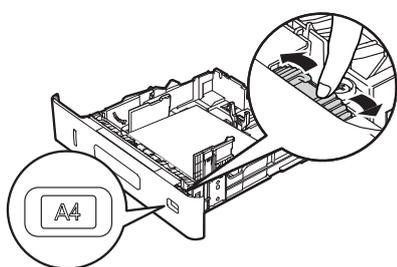
5 横ガイドと縦ガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙と横ガイドや縦ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、横ガイドや縦ガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。カセット底板のすき間に用紙先端が入り、用紙づまりや用紙折れの原因となります。

6 セットする用紙サイズに用紙サイズダイヤルを合わせます。

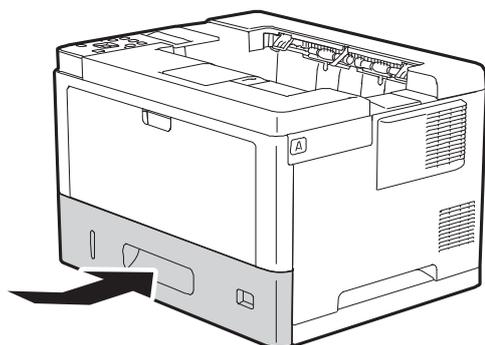


■ 重要

- ・セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、プリンタ内部を汚したり、正しく印刷ができないなどの原因になります。給紙カセットにレターサイズ用の紙をセットする場合は、用紙サイズダイヤルを「*」にセットします。「A4縦」は使用できません。

7 手前側を持ち上げた状態から給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

用紙づまりを防止するために、しっかりと奥までカセットを入れてください。



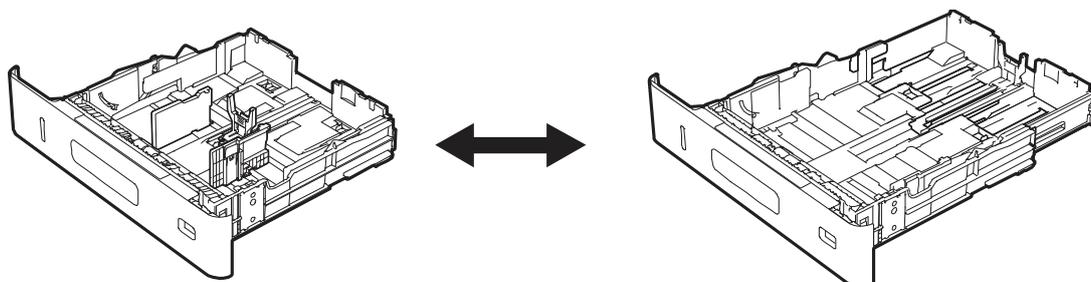
■ 重要

勢いよく押し込まないでください。ガイドの位置がずれて用紙づまりや装置破損の原因になります。

(2) A3、B4サイズ用の紙をセットする

給紙カセット1（標準）、2～4（オプション）にA3、B4の用紙をセットする方法を説明します。

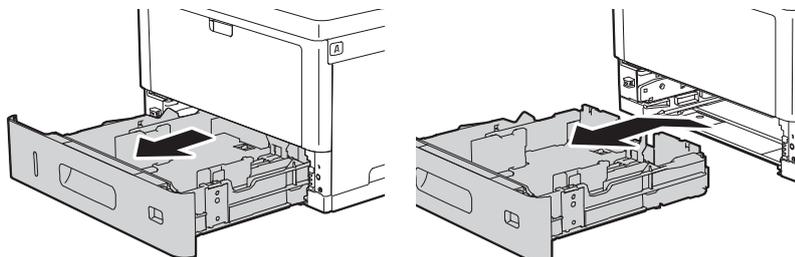
給紙カセットにA3、B4の用紙をセットするときは、給紙カセットの延長部を引き出します。



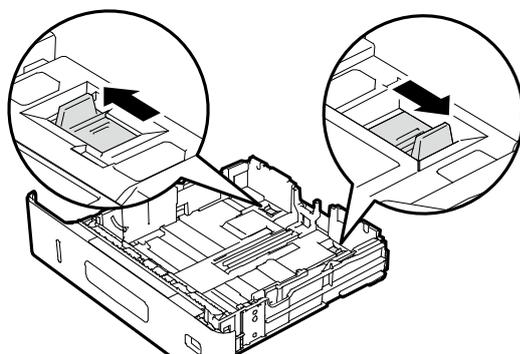
参照

・カセットにセットできる用紙については、「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

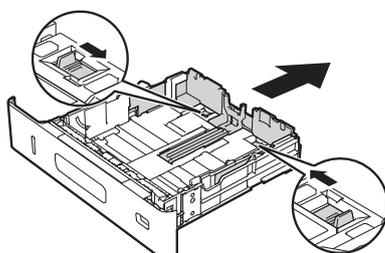
- 1 給紙カセットの取っ手部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。給紙カセットは平らな場所に置いてください。



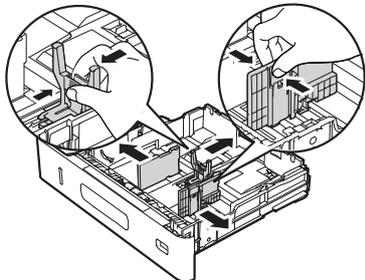
- 2 延長部の左右のロックを外側にスライドさせてロックを解除します。



- 3 給紙カセットを手順2で解除したロックが自動的にかかるまで、引き伸ばします。
延長部がきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。



4 横ガイドと縦ガイドのクリップをつまみながらセットする用紙サイズに合わせます。



5 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を揃えます。

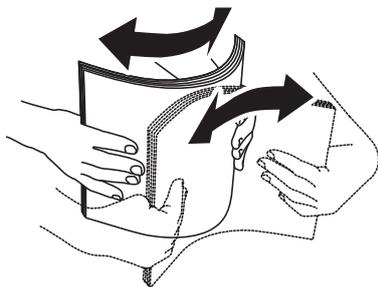
① 用紙の一方を持ち、下図のようにさばきます。



② 用紙の上下を逆にして、同じようにさばきます。



③ 用紙をほぐします。

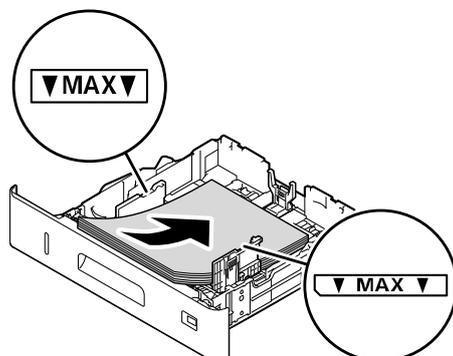


④ 上記の手順を数回繰り返します。

⑤ 用紙の端を揃えます。

- 6 印刷する面（用紙を開封した時の上側の面）を下にして、用紙の先端を手前側に揃えてセットします。

横ガイドの上限マーク位置を超えないようにしてください。



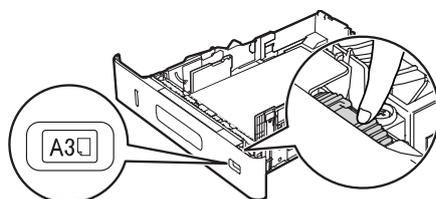
- 7 横ガイドと縦ガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙と横ガイドや縦ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、横ガイドや縦ガイドを操作して調整してください。

用紙ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。カセット底板のすき間に用紙先端が入り、用紙づまりや用紙折れの原因となります。

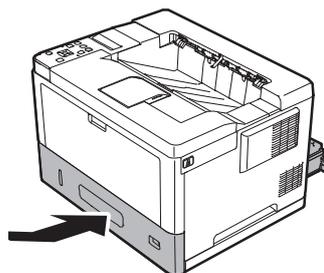
- 8 セットする用紙サイズに用紙サイズダイヤルを合わせます。



■ 重要

- ・セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、プリンタ内部を汚したり、正しく印刷ができないなどの原因になります。

- 9 手前側を持ち上げた状態から給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。用紙づまりを防止するために、しっかりと奥までカセットを入れてください。



給紙カセットの延長部を伸ばした場合は、延長部分がプリンタ本体の背面から突出します。ちりやほこりの用紙への付着を防ぐ給紙カセットカバーは、給紙カセットの延長部と連動してセットされます。

■ 注意

給紙カセットを延長して運用中に、給紙カセットカバーが給紙カセットの延長部に乗り上げて給紙カセットが抜けなくなった場合は、給紙カセットカバーの乗り上げ部を持ち上げて給紙カセットを引き抜いた後、給紙カセットカバーを少し持ち上げながら押し込んでください。

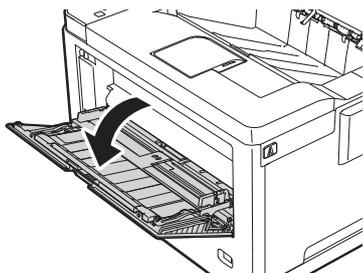
(3) 手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットする方法と、用紙サイズを変更して用紙をセットする方法を説明します。

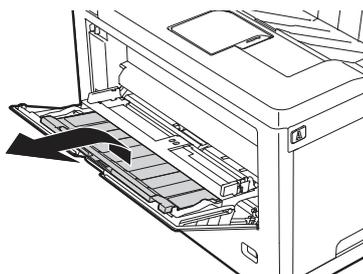
■ 重要

- 用紙は印刷する面を上にして縦向きにセットしてください。
<注> カセットとは、セット面が逆になりますので注意してください。
- セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。
- 手差しトレイからは両面印刷はできません。
- 手差しトレイには用紙を放置しないでください。印刷終了後トレイに残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

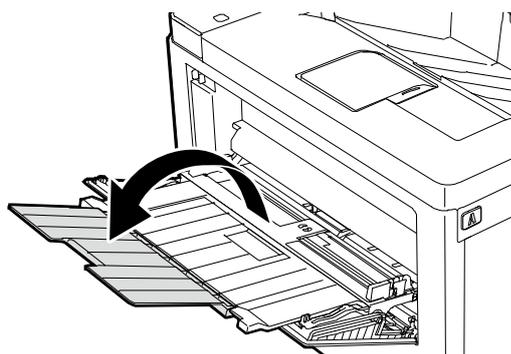
1 手差しトレイ中央の手差しトレイオープン取っ手を手前に引いて、手差しトレイを開きます。



2 手差しトレイを浮かせて、引き出します。

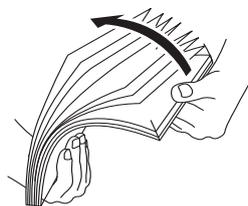


A4サイズ以上の長さの用紙をセットするときは、延長ガイドを開きます。延長ガイドを開くときはゆっくりと開いてください。

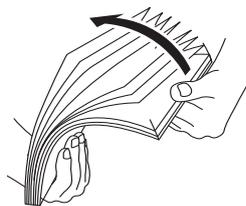


3 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を揃えます。

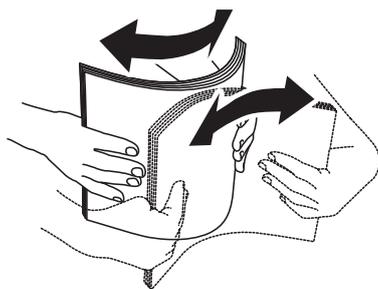
① 用紙の一方を持ち、下図のようにさばきます。



② 用紙の上下を逆にして、同じようにさばきます。



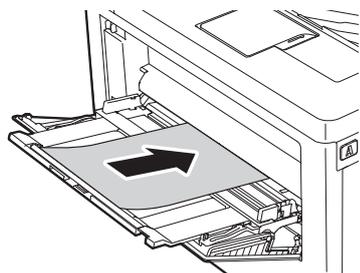
③ 用紙をほぐします。



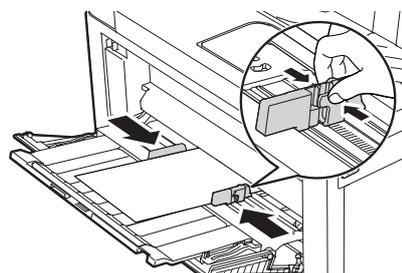
④ 上記の手順を数回繰り返します。

⑤ 用紙の端を揃えます。

4 印刷する面を上にして、用紙の先端が突き当たるまで用紙を差し込みます。



5 用紙ガイドをつまみながら、用紙の幅に合わせます。



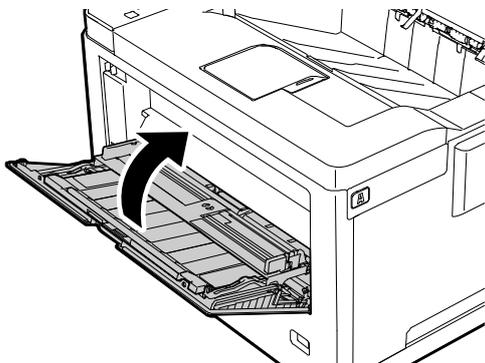
▲ 注意

- ・用紙ガイド板の上限位置を超えないようにしてください。
- ・用紙ガイドは軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるすぎる場合、用紙づまりの原因となります。
- ・用紙をセットしてから装置が用紙状態を認識するまでに数秒かかる場合があります。

参照

- ・手差しトレイにセットできる用紙については、「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

6 手差し印刷終了後は、延長トレイを戻し手差しトレイを閉めます。

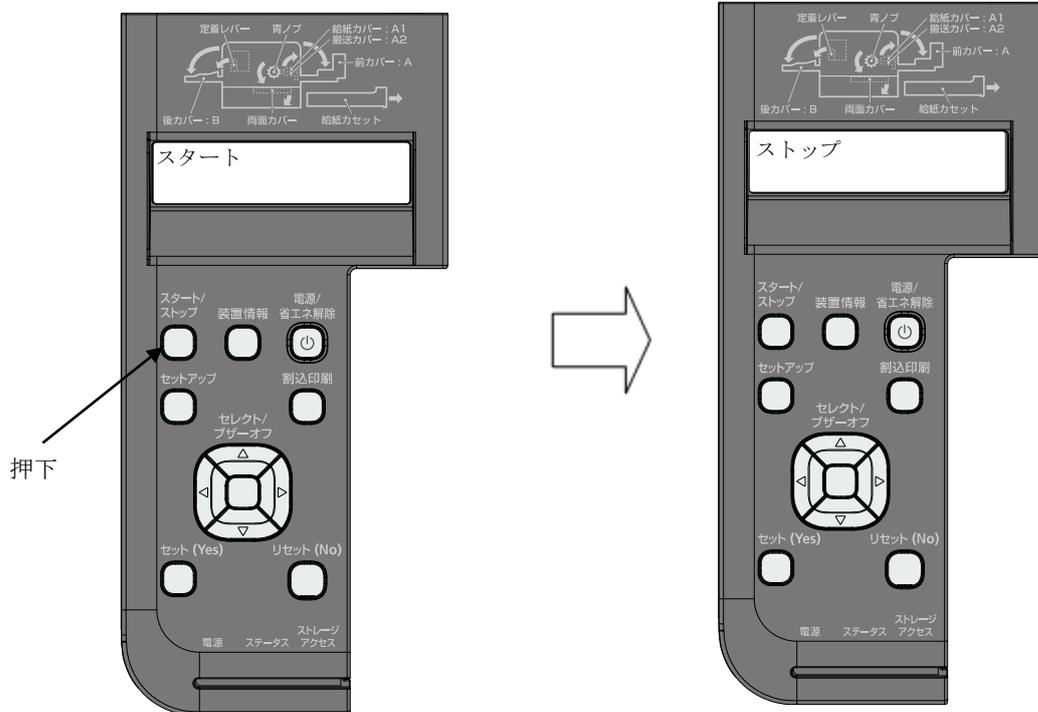


(4) 手差しトレイの用紙種類と用紙サイズを設定する

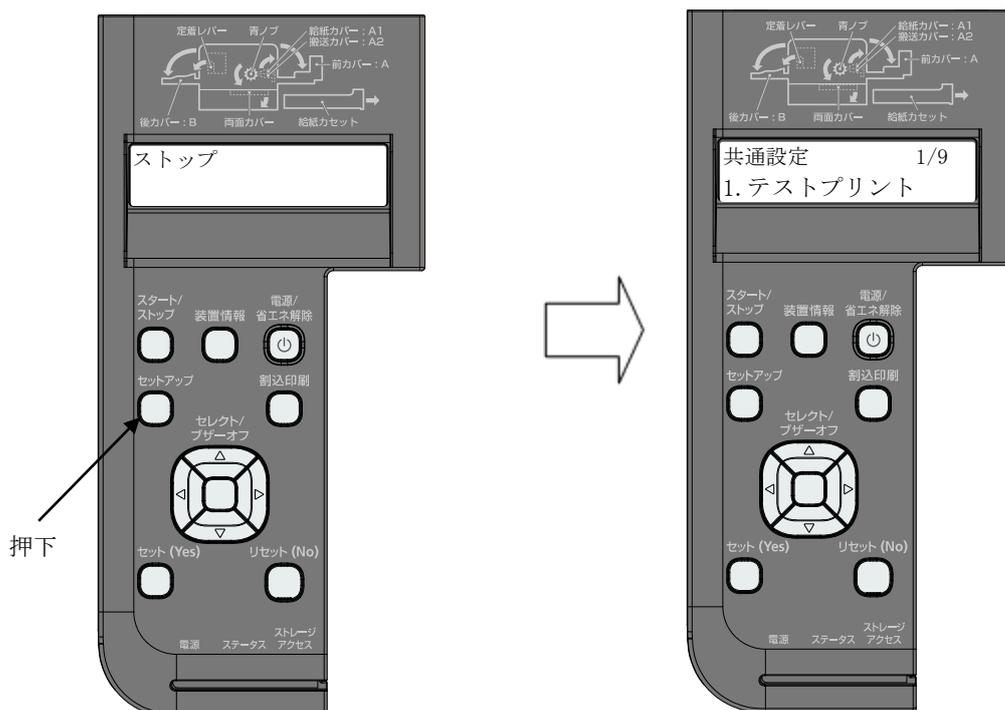
手差しトレイの用紙種類の設定方法に関する説明です。
 セットした用紙のサイズや種類に応じて設定を行ってください。

【共通セットアップ画面】

1 スタート状態から「スタート/ストップ」キーを押下し、「ストップ」画面にします。



2 「セットアップ」キーを押下し、「共通設定」画面にします。



※ 上記共通セットアップ表示については、以後省略します。
 「第3章 3.4 共通セットアップ」を参照願います。

[共通セットアップより手差しの用紙の種類を設定します]

1 共通設定→ 8.手差し設定 の順に設定後、下記手順にて設定してください。

共通設定	8/9
8. 手差し設定	

2 手差し設定にて「メディアタイプ」を選択し、「セット」キーを押下します。

手差し設定	1/2
1. 用紙サイズ	

3 メディアタイプにて、用紙の種類を選択し、「セット」キーで決定します。

メディアタイプ	2/3
* 2. HIGH	

[表示内容]

- 1. NORMAL : 普通紙・再生紙 用紙坪量 64~80g/m²
- 2. HIGH : 中厚口/上質紙 81~105g/m²
- 3. HIGH 2 : 厚紙 106~160g/m²

※ 現在の設定内容の左に「*」が表示されます
(デフォルト値は、HIGHです)。

[共通セットアップより手差しの用紙サイズを設定します]

1 共通設定→ 8.手差し設定→ の順に設定後、下記手順にて設定してください。

2 手差し設定にて「用紙サイズ」を選択し、「セット」キーを押下します。

手差し設定	1/2
1. 用紙サイズ	

3 用紙サイズにて、用紙のサイズを選択し、「セット」キーで決定します。

用紙サイズ	2/6
*2. A 4	

[表示内容]

- 1. A 3
- 2. A 4
- 3. A 5
- 4. B 4
- 5. B 5
- 6. L T

※ 現在の設定内容の左に「*」が表示されます (デフォルト値はA 4です)。

2.3 電源ケーブルとLANケーブルの接続

電源ケーブルを接続してください。また、LANケーブルを本装置に設置することにより、ネットワークと接続します。

電源コードは2本(平行3極プラグ、アース引出線付2極プラグ)添付しています。

お使いのコンセント形状に合わせてご使用ください。

■ 重要

本製品に添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは他の製品に使用しないでください。

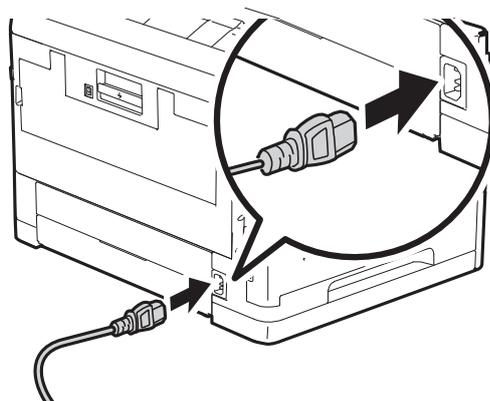
▲ 警告		●LANケーブル、電源ケーブルを接続するときは必ずプリンタの電源を切断してください。 感電や火災のおそれがあります。
		●コネクタの端子に手を触れないでください。 感電や静電気のためプリンタが破損するおそれがあります。

2.3.1 電源ケーブルの接続

1 電源が切れていることを確認します。

オペレータパネルの液晶ディスプレイ、各ランプは消灯しています。

2 本体背面右側の電源コードコネクタコードをしっかりと差し込みます。



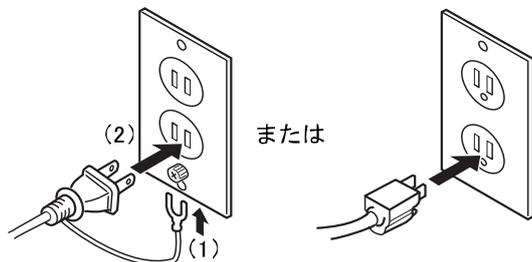
■ 重要

- ・電源コードが奥までしっかり差さっていないと、給紙カセットを抜き差しするときなどに電源ケーブルが抜ける原因になります。
- ・給紙カセットを延長してお使いの場合は、電源コードがカセットに接触しないように注意して接続してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

本製品の定格電源は、100V 15Aです。

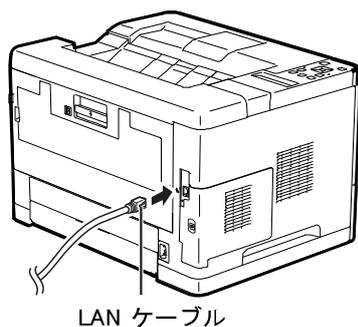
2極コンセントを利用する場合は(1)アース接続を行ってから (2)電源プラグを差し込んでください。



2.3.2 LANケーブルの接続

プリンタの電源が切断されていることを確認してください。

1 本体の背面右側にあるイーサネットポートにケーブルを接続します。



2 ケーブルの一方のコネクタをハブ (HUB) などのネットワーク機器に接続します。

第3章 操作説明

本章では、本装置の電源の投入と切断、操作パネルの配置と機能、動作モードと操作パネル、セットアップ、LAN接続、メッセージ一覧および印刷時の操作について説明します。

3.1 電源の投入と切断

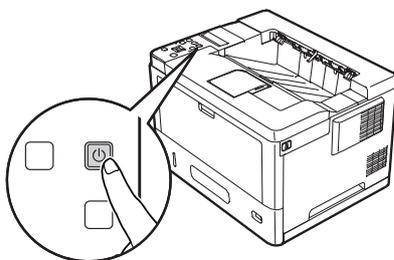
3.1.1 電源の投入

▲ 注意



はじめに上位装置の電源を投入し、次に本装置の電源を投入してください。
また、電源切断後の再投入は、5秒以上時間を空けてください。

- ① 操作パネルの電源/省エネ解除キー () を押します。



3.1.2 電源の切断

- ① 操作パネルに「電源断準備中」メッセージが表示されるまで（約2秒間）電源/省エネ解除キー () を押下します。

電源/省エネ解除キー () 点滅中のときは、装置が省エネ状態です。

電源/省エネ解除キーを一度押して、省エネ状態を解除してから、電源の切断を行ってください。

電源断準備中
XXXXXXXXXX

- ② 情報退避などの終了処理を行い、処理終了後に電源断されます。

電源断準備中
XXXXXX 退避中

▲ 注意



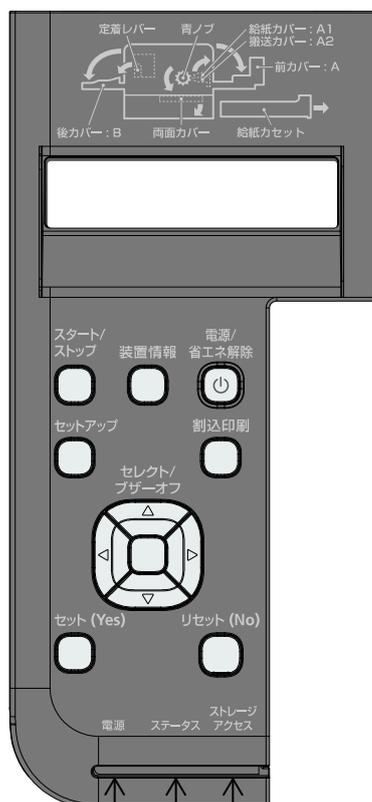
電源/省エネ解除キーは長時間(20秒以上)押し続けしないでください。
装置内部のシステム破損により起動できなくなる場合があります。

3.2 操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは、操作に必要なスイッチ、LED、液晶パネルで構成されています。
液晶パネルには、装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます。

3.2.1 操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図に示します。



- 電源LED (グリーン)
 - 装置の電源が投入されているとき点灯します。
 - ※省エネモード時は、消灯します。
- ステータスLED (アンバー)
 - 点滅: 消耗品(トナー/ドラム)のニアライフ時
 - 定期交換部品(定期交換キット、600K交換キット)のニアライフ時
 - 電池、ストレージデバイスの交換時期
 - 点灯: 消耗品/定期交換部品が寿命に達したとき
 - 装置にエラーが発生したとき
- ストレージアクセスLED (ホワイト)
 - ストレージデバイス(内蔵の記憶領域)にアクセス中に点灯します。

(1) 操作スイッチの機能

a) スタート/ストップ キー

- 1) 印刷動作の開始・中断を指示します。
- 2) スタートモード(オンライン)・ストップモード(オフライン)を切り替えます。

b) セットアップ キー

- 1) セットアップモードに移行します。

c) セレクト/ ブザーオフ ◀ キー (左キー) / ▶ キー (右キー)

- 1) ブザー鳴動時に押下すると、ブザーが停止します。
- 2) オンライン/オフライン時の画面遷移に使用します。
- 3) 項目の選択、または数字・文字列入力時に押下します。

d) セレクト/ ブザーオフ △ キー (上キー) / ▽ キー (下キー)

- 1) ブザー鳴動時に押下すると、ブザーが停止します。
- 2) 項目の選択、または数字・文字列入力時に押下します。
- 3) 共通ストップ画面で、リセットキーと△キーを同時押下することにより最新の「用紙づまり履歴」を最大2件表示します。

e) セット(Yes)キー

- 1) 項目を確定するときに押下します。
- 2) 装置からの問い合わせに同意するときに押下します。
- 3) 本キーとリセットキーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「リクエスト未接続モード」で立ち上がります(「リクエスト未接続モード」については「付録6 リクエスト未接続モード立ち上げ」を参照してください)。
- 4) 本キーと▼(下)キーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「6680-NMC未接続モード」で立ち上がります(「6680-NMC未接続モード」については「付録7 6680-NMC未接続モード立ち上げ」を参照してください)。

f) リセット(No) キー

- 1) 操作や項目の選択を中止するときに押下します。
- 2) 装置からの問い合わせに対して同意しないときに押下します。
- 3) 用紙づまりなどのエラー状態を解除するときに押下します。
- 4) 本キーとセットキーを同時に押しながら電源を投入すると、装置が「リクエスト未接続モード」で立ち上がります(「リクエスト未接続モード」については「付録6 リクエスト未接続モード立ち上げ」を参照してください)。

g) 割込印刷 キー

- 1) 6680-NMC優先状態において待ち状態となっている“6680-NMC以外”の印刷がある場合に、待ち状態の印刷を実行する場合に本キーを押下します(割込印刷)。
(6680-NMC優先状態、および、割込印刷については「1.6 6680-NMC優先印刷と割込印刷機能」を参照してください。)

h) 装置情報 キー

共通ストップ画面で押下すると、次の装置情報を表示します。

1) 消耗品情報

各消耗品の状態、または消耗率を表示します。

- ・トナーカートリッジの状態表示例
- ・定期交換キットの状態表示例

トナーカートリッジ	
残量	50%

定期交換キット(CE)	
消耗率	80%

詳細については 3.3.4.2項 を参照してください。

2) カセット情報

各カセットの用紙サイズおよび、用紙残量(有無)を表示します。

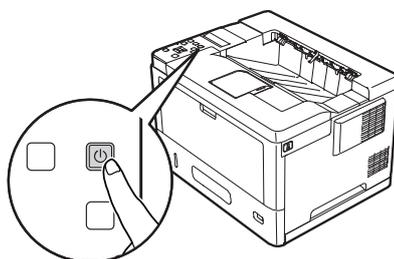
詳細については 3.3.4.3項 を参照してください。

3) ネットワーク情報

装置の有効プロトコル、ネットワークアドレスなどを表示します。

詳細については 3.3.4.4項 を参照してください。

i) 電源/省エネ解除 キー (スイッチ) 



1) 装置の電源を投入するときに使用します。

本スイッチを押下すると電源が投入され、装置立ち上げ処理を行います。

表示中の「→」は、装置立ち上げ処理の進行度を示します。

INITIALIZING
→ → → . . .

装置立ち上げ処理が終了すれば、共通スタート画面に遷移します。

なお、操作パネルの以下のキーを押しながら電源投入した場合、特殊なモードで立ち上がります。

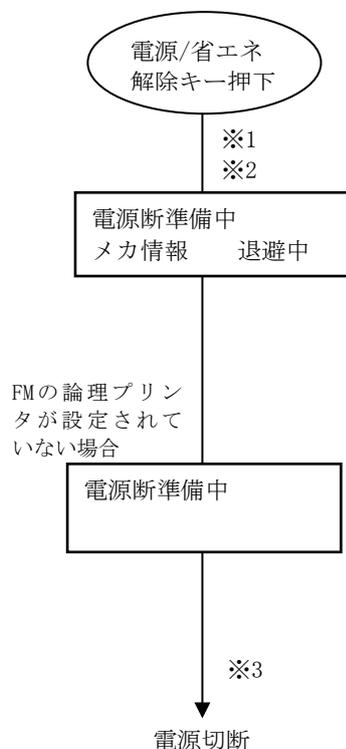
同時押下キー	立ち上げ後のモード	参照先
セットキー+リセットキー	リクエスト未接続モード	付録6
セットキー+セレクト (▽) キー	6680-NMC未接続モード	付録7

2) 装置の省エネモードを解除するときに使用します。

省エネモード時に本スイッチを押下すると、省エネモードが解除され、共通スタート画面に遷移します。

- 3) 装置の電源を切断するときに使用します。
 本スイッチを2秒間押下することで装置は「電源断準備中」表示後、終了処理を行い、処理が終了後に電源を切断します。

キー押下確定により、装置は終了処理を行い、以下のように表示します。この間、間欠のブザー音を鳴らします。



注) プリンタが省エネモードになっている場合は「電源/省エネ解除」キーを押下して、省エネモードを解除してから、電源を切断します。

- ※1 データ受信中に本キーを押下した場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。

データ受信中。印刷を
 継続しますか? Y/N

「セット(Yes)」キーを押下すると印刷を継続します。この場合、印刷完了後、再度「電源」キーを押下して電源切断処理を行ってください。

「リセット(No)」キーを押下すると、印刷データを破棄して、電源断準備中状態になります。

- ※2 論理プリンタ FM のセットアップ中に本キーを押下した場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。

「セット(Yes)」キーを押下することにより、各設定を登録し、終了処理を開始します。

「リセット(No)」キーを押下すると、登録を行わず、終了処理を開始します。

FM/FNP セットアップ 設定を
 登録しますか? Y/N

- ※3 装置の終了処理においてメカがウォームアップ中であつた場合はメッセージ表示欄に以下のように表示します。

メカ シャットダウン
 処理中

3.3 動作モードと操作パネル

3.3.1 動作モード

(1) 電源投入後の動作モード変化

電源投入後の動作モードは、以下のとおりに変化します。図3.1に電源投入後の動作モード変化を示します。

a) イニシャルモード

電源投入後は、まずイニシャルモードになり、以下の動作をします。

- ・ ハードウェアのチェックをします。
ハードウェアエラーが検出されると、エラーコードが操作パネルに表示され、動作が停止します。このとき、電源を切断した後、再投入してください(再投入時は5秒以上時間を開けてください)。ハードウェアエラーが再現したときは保守員に連絡してください。
- ・ ウォーミングアップ動作をします。
- ・ 消耗品のチェックをします。
- ・ カバーオープンなど、メカのチェックをします。
イニシャルモードの動作が正常に終了すると、スタートモードとなります。

b) スタートモード

スタートモードは、印刷可能（印刷データ待ち）状態または印刷中の状態を示します。

- ・ 以下の状態からスタートモードになります。
 - － イニシャルモードの動作が正常に終了
 - － ストップモードでスタートキー押下
- ・ 消耗品交換の状態を検出すると、操作パネルに表示され、ステータスLEDが点滅します。

c) ストップモード

ストップモードは、印刷動作停止の状態です。

- ・ 以下の状態からストップモードになります。
 - － スタートモードでストップキー押下
 - － セットアップモードでリセットキー押下
- ・ ストップモードから、以下のモードに変わります。
 - － セットアップキーを押下すると、セットアップモードになります。
 - － スタートキーを押下すると、スタートモードになります。

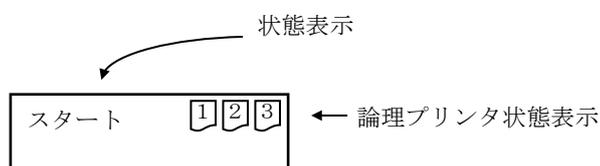
d) セットアップモード

セットアップモードは、各種の設定を行います（3.4項以降を参照）。

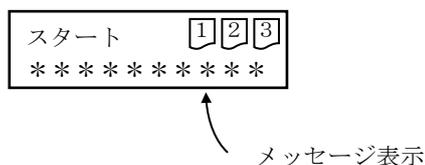
3.3.2 共通スタート画面

プリンタがスタート状態であることを示します。
電源投入による初期化処理が終了すると本画面が表示されます。

- ・表示メッセージがない場合



- ・装置寿命または消耗品ニアライフが発生している場合



(1) 表示内容

a) 状態表示

- ① スタート : 印刷待機中
- ② 印刷中 : 印刷動作中

b) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

- ① : 印刷待ち状態のプリンタ
- ② : 受信データあり
- ③ : 上位装置電源断、データエラー（オペレーションチェック）
- ④ : 割込印刷待ちのデータあり（ウェイトアイコン）

※ 設定していない論理プリンタ番号のアイコンは表示されません。

c) メッセージ表示

消耗品ニアライフ、または装置寿命が発生している場合にメッセージを表示します。

- ① 装置寿命 : 装置寿命
- ② トナーカートリッジ準備 : トナーカートリッジニアライフ
- ③ ドラムカートリッジ準備 : ドラムカートリッジニアライフ
- ④ 定期交換キット準備 : 定期交換キットの準備が必要
- ⑤ 600K交換キット準備 : 600K交換キットの準備が必要
- ⑥ 定期交換キット交換 : 定期交換キットの交換が必要
- ⑦ 600K交換キット交換 : 600K交換キットの交換が必要
- ⑧ ストレージデバイス交換 ; ストレージデバイスの交換が必要
- ⑨ 高温低速印刷中 : 機内温度高温につき低速印刷中
- ⑩ 電池交換 : RTC用電池（プリンタに搭載されている電池）の交換が必要

※ 詳細は『5.14 消耗部品メッセージ』を参照のこと

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

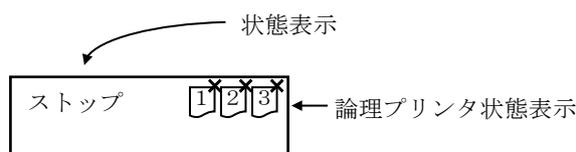
すべての論理プリンタをストップ・オフライン状態に遷移し、装置内の用紙を印刷・排出した後、共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。

b) セレクト▷ (◁) キー

最初の (最後の) 論理プリンタのスタート/オンライン画面(3.3.4項、3.3.6項)に遷移します。

3.3.3 共通ストップ画面

プリンタがストップ状態であることを示します (すべての論理プリンタが停止しています)。



(1) 表示内容

a) 状態表示

① ストップ : ストップ状態

b) 論理プリンタ状態表示

プリンタを示すアイコンの中に論理プリンタ番号を表示します。

①  : 上位装置電源断、ストップ/オフライン、データエラー (オペレーションチェック)

※ 設定していない論理プリンタ番号のアイコンは表示されません。

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをスタート状態に遷移し、共通スタート画面(3.3.2項)を表示します。

b) セットアップ キー

共通セットアップ画面(3.4項)に遷移します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップは不可です。

c) セレクト▷ (◁) キー

割り当てられた論理プリンタの個別ストップ・オフライン画面に遷移します。

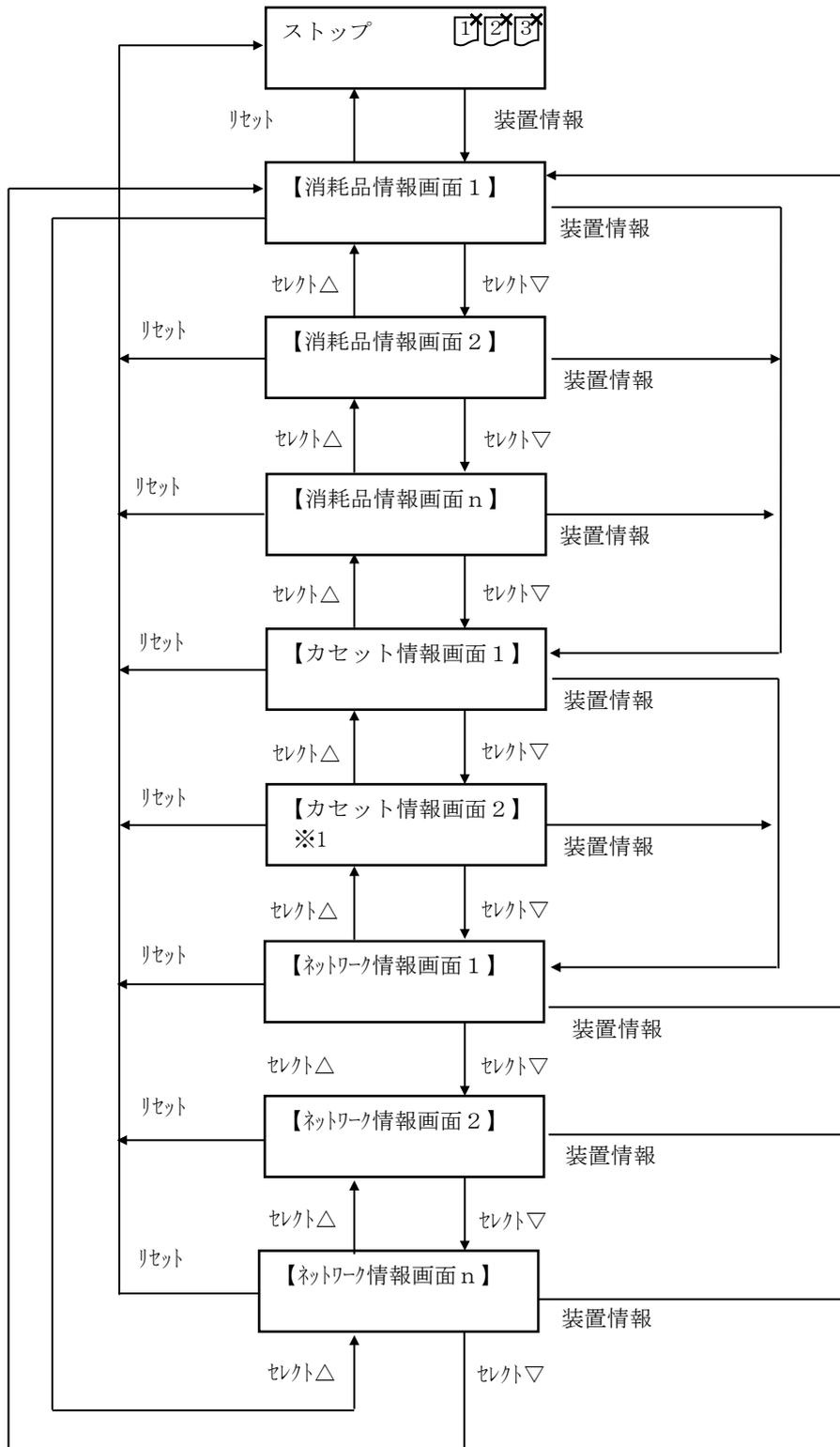
d) 装置情報 キー

以下の装置情報を表示します。

- ・各消耗品の状態 (現在の状態、または消耗率)
- ・各カセットの用紙サイズと補給状況
- ・ネットワークアドレスの情報

3.3.4 装置情報表示画面

3.3.4.1 画面遷移



※1：カセット情報画面2は、カセットが3段以上搭載時に表示されます。

(1) キー機能

a) 装置情報 キー

共通ストップ画面(3.3.3項)で押下すると、消耗品情報の最初の画面を表示します。
各消耗品情報画面で押下すると、カセット情報の最初の画面を表示します。
各カセット情報画面で押下すると、ネットワーク情報の最初の画面を表示します。
各ネットワーク情報画面で押下すると、消耗品情報の最初の画面を表示します。

a) セレクト▽ キー

各装置情報画面で押下すると、次の情報画面を表示します。
消耗品情報画面の最後で押下すると、カセット情報画面の最初を表示します。
カセット情報画面の最後で押下すると、ネットワーク情報画面の最初を表示します。
ネットワーク情報画面の最後で押下すると、消耗品情報画面の最初を表示します。

a) セレクト△ キー

各装置情報画面で押下すると、前の情報画面を表示します。
消耗品情報画面の最初で押下すると、ネットワーク情報画面の最後を表示します。
カセット情報画面の最初で押下すると、消耗品情報画面の最後を表示します。
ネットワーク情報画面の最初で押下すると、カセット情報画面の最後を表示します。

a) リセット キー

各装置情報画面で押下すると、共通ストップ画面(3.3.3項)に戻ります。

3.3.4.2 消耗品情報画面

各消耗品の状態(残量、消耗率)を表示します。

トナーカートリッジ	
残量	50%

※カスタムモード設定で「設定」を選択時は
残量が不明であるため、“—%”を表示します。

トナーカートリッジの残量は、100%から25%刻みで表示されます。

ドラムカートリッジ	
残量	65%

ドラムカートリッジ残量は、100%から1%刻みで表示されます。

定期交換キット、600K交換キットの消耗率は、0%から1%刻みで表示されます。

定期交換キット(CE)	
消耗率	80%

600K交換キット(CE)	
消耗率	50%

3.3.4.3 カセット情報画面

各カセットの用紙サイズと用紙補給状態を表示します。

カセット1 A4 用紙あり
カセット2 A3 用紙なし

カセット3 B4 用紙あり
カセット4 B5 用紙なし

※オプションの給紙カセットは装着されているもののみ表示します。

カセットがセットされていない場合は「カセットX 未セット」を表示します。

3.3.4.4 ネットワーク情報画面

装置の有効プロトコルとネットワークアドレスを表示します。

有効プロトコル
IP v 4

IP v 6
IP v 4 / IP v 6

IPv4-IPアドレス
NNN. NNN. NNN. NNN

IPv4-ネットマスク
NNN. NNN. NNN. NNN

IPv4-デフォルトルータ
NNN. NNN. NNN. NNN

} 有効プロトコルがIPv4とIPv4/IPv6の場合に表示します。

IPv6-リンクローカル	1/2
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:	

IPv6-リンクローカル	2/2
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX	

IPv6-グローバル	1/2
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:	

IPv6-グローバル	2/2
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX	

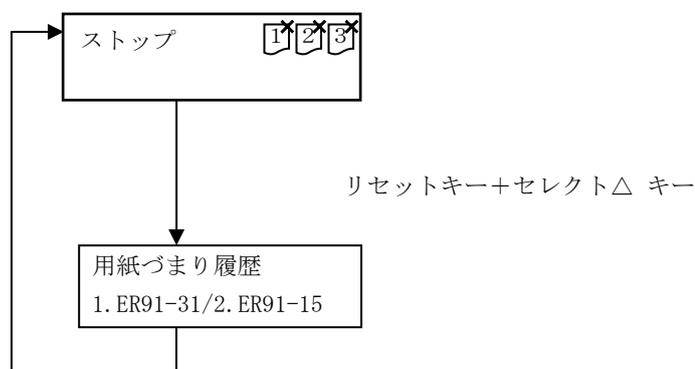
IPv6-ゲートウェイ	1/2
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:	

IPv6-ゲートウェイ	2/2
XXXX:XXXX:XXXX:XXXX	

} 有効プロトコルがIPv6とIPv4/IPv6の場合に表示します。
 ※IPv6グローバルアドレスとIPv6ゲートウェイアドレスが未設定の場合は表示しません。

3.3.4.5 用紙づまり履歴表示画面

共通ストップ画面にて最新の用紙づまりの履歴（ただし、残紙系を除く）を最大2つ表示します。



リセットキーを押下

表示例)

【用紙づまり履歴がない場合】

用紙づまり履歴
なし

【用紙づまり履歴が1つの場合】

用紙づまり履歴
1. ER-91-31

【用紙づまり履歴が2つの場合】

用紙づまり履歴
1. ER91-31/2. ER91-15 ←…………… 左側が新しい履歴

(1) 表示内容

a) 用紙づまり履歴

最新の通常用紙づまり (91-XX) を最大2世代まで表示します。

用紙づまり履歴がない場合は「なし」を表示し、用紙づまり履歴が1つの場合は1つだけを表示します。

2世代表示時は、左側が新しい用紙づまり履歴です。

(2) キー機能

a) リセット キー

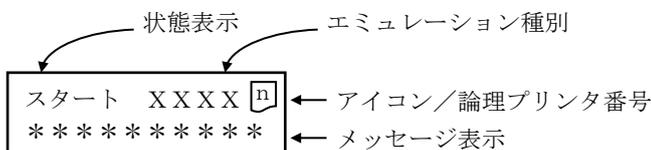
共通ストップ画面に戻る。

b) 電源 キー

印刷データを保持している場合は、電源切断確認メッセージを表示し、セット (Yes) を押下すると電源切断処理を行う。

3.3.5 66XX・69XXスタート画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがスタート状態であることを示します。



(1) 表示内容

a) 論理プリンタ番号

表示中の論理プリンタ番号を表示します。

b) アイコン

- ① : 印刷待ち状態のプリンタ
- ② : 受信データあり
- ③ : 上位装置電源断
- ④ : 割込印刷待ち（ウェイトアイコン）

c) 状態表示

- ① スタート : 表示中の論理プリンタが印刷待機中
- ② 印刷中 : 表示中の論理プリンタのデータを印刷中

d) メッセージ表示

- ① データエラー=XX : データエラー（オペレーションチェック）発生時に表示します。
XX：詳細コード（付録1.4 参照）
「リセット」キー押下にてクリアします。
- ② 上位装置電源断 : 上位装置の電源が切断された場合など、上位装置との接続が不可能な場合に表示します。
接続が確立された時点でクリアします。

※ 表示すべき情報がない場合は空白となります。

e) エミュレーション種別

- ① 66XX : 66XXエミュレーション
- ② 69XX : 69XXエミュレーション

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、66XX・69XXストップ画面(3.3.6項)に遷移します。

b) セレクト▷(◁) キー

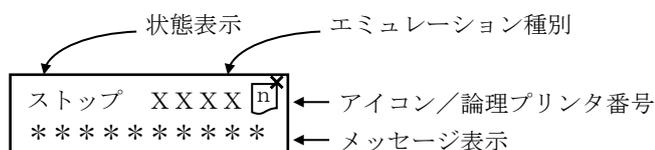
次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。
最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

c) リセット キー

メッセージ表示欄にデータエラーが表示されている場合、表示をクリアします。

3.3.6 66XX・69XXストップ画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがストップ状態であることを示します。



(1) 表示内容

a) 論理プリンタ番号

表示中の論理プリンタ番号を表示します。

b) メッセージ表示

① 印刷データあり : この画面に遷移したときに印刷データが残っている場合、あるいはモード遷移後に印刷データを受信した場合に表示します。

※ 表示すべき情報がない場合は空白となる。

c) エミュレーション種別

① 66XX : 66XXエミュレーション

② 69XX : 69XXエミュレーション

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、66XX・69XXスタート(3.3.5項)画面に遷移します。

b) セレクト▷(◁) キー

次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。

最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通ストップ画面(3.3.3項)に遷移します。

c) セットアップ キー

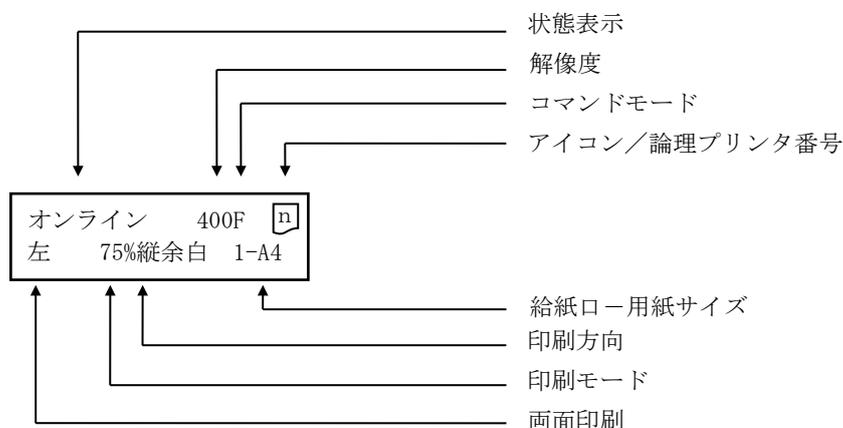
セットアップを開始します。ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップはできません。

第3章 操作説明

3.3.7 FM/FNPオンライン画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがオンライン状態であることを示します。

3.3.7.1 FMモード



(1) 表示内容

- a) 論理プリンタ番号
表示中の論理プリンタ番号を表示します。
- b) アイコン
 - ① : 印刷待ち状態のプリンタ
 - ② : 受信データあり
 - ③ : 上位装置電源断
- c) 状態表示
 - ① オンライン : オンライン状態
- d) 解像度
データ受信中の解像度を表示します。
 - ① 240 : 240dpi
 - ② 400 : 400dpi
- e) コマンドモード
コマンドモードを表示します。
F : FMLBPモード
- f) 印刷モード
データ受信中の印刷モードを表示します。
 - ① □□□ : 通常印刷 (□は空白)
 - ② 75% : 75%縮小印刷
 - ③ 70% : 70%縮小印刷
 - ④ L1 : リスト1印刷
 - ⑤ L2 : リスト2印刷
 - ⑥ L3 : リスト3印刷
 - ⑦ LP : LP偏倍印刷
 - ⑧ HEX : HEXダンプ印刷
 - ⑨ 80% : 80%縮小印刷

g) 印刷方向

データ受信中の印刷報告を表示します。

- ① 縦 : ポートレート印刷
- ② 縦余白 : 余白付きポートレート印刷
- ③ 横 : ランドスケープ印刷
- ④ 横余白 : 余白付きランドスケープ印刷

h) 両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

- ① □□ : 片面印刷 (□は空白)
- ② 普通 : 普通綴じ両面印刷
- ③ 左 : 左綴じ両面印刷
- ④ 右 : 右綴じ両面印刷
- ⑤ 上 : 上綴じ両面印刷
- ⑥ 下 : 下綴じ両面印刷

i) 給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙口・用紙サイズを表示します。

- ① A U T O : 自動給紙
- ② # - * * : 給紙口、用紙サイズ表示

#] 1	: カセット1	**] A 3	: A3用紙
2	: カセット2	A 4	: A4用紙
3	: カセット3	A 5	: A5用紙
4	: カセット4	B 4	: B4用紙
手	: 手差しトレイ	B 5	: B5用紙
		L T	: レター用紙

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、FMオフライン画面(3.3.8項)に遷移します。

b) セレクト▷ (◁) キー

次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。

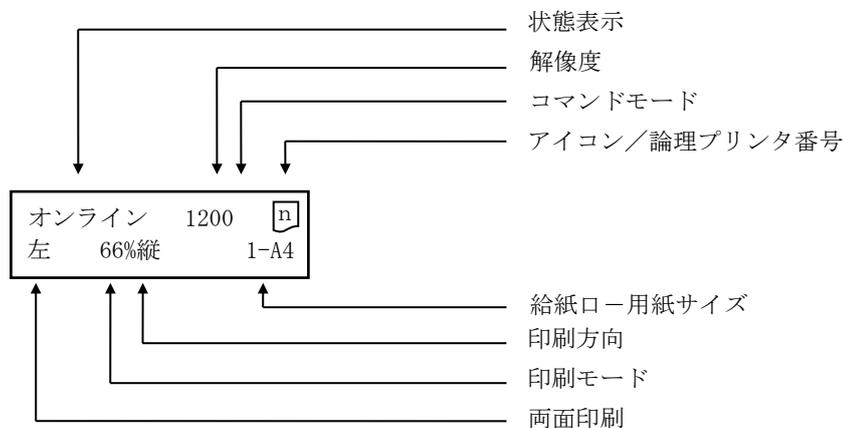
最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

第3章 操作説明

3.3.7.2 FNPモード

FNP指定で印刷要求された場合は、FMモードオンライン画面(3.3.7.1項)から以下のオンライン画面となります。

FNP指定データ完了後は、FMモードオンライン画面(3.3.7.1項)に戻ります。



(1) 表示内容

- a) 論理プリンタ番号
表示中の論理プリンタ番号を表示します。
- b) アイコン
① [n] : 印刷待ち状態のプリンタ
② [n] : 受信データあり
③ [n] : 上位装置電源断
- c) 状態表示
① オンライン : オンライン状態
- d) 解像度
データ受信中の解像度を表示します。
① 240 : 240dpi
② 400 : 400dpi
③ 600 : 600dpi
④ 1200 : 1200dpi
- e) コマンドモード
表示なし。
- f) 印刷モード
データ受信中の印刷モードを表示します。
① □□□ : 通常印刷 (□は空白)
② 66% : 66%縮小印刷
③ 80% : 80%縮小印刷
④ LP : LP偏倍印刷
- g) 印刷方向
データ受信中の印刷報告を表示します。
① 縦 : ポートレート印刷
② 横 : ランドスケープ印刷

h) 両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

- ① □□ : 片面印刷 (□は空白)
- ② 普通 : 普通綴じ両面印刷
- ③ 左 : 左綴じ両面印刷
- ④ 右 : 右綴じ両面印刷
- ⑤ 上 : 上綴じ両面印刷
- ⑥ 下 : 下綴じ両面印刷

i) 給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙口・用紙サイズを表示します。

- ① AUTO : 自動給紙
- ② #-** : 給紙口、用紙サイズ表示

#] 1	: カセット1	**] A3	: A3用紙
2	: カセット2	A4	: A4用紙
3	: カセット3	A5	: A5用紙
4	: カセット4	B4	: B4用紙
手	: 手差しトレイ	B5	: B5用紙
		LT	: レター用紙

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをストップ、オフライン状態とし、FMオフライン画面(3.3.8項)に遷移します。

b) セレクト▷(◁) キー

次の(直前の)論理プリンタ情報画面に遷移します。

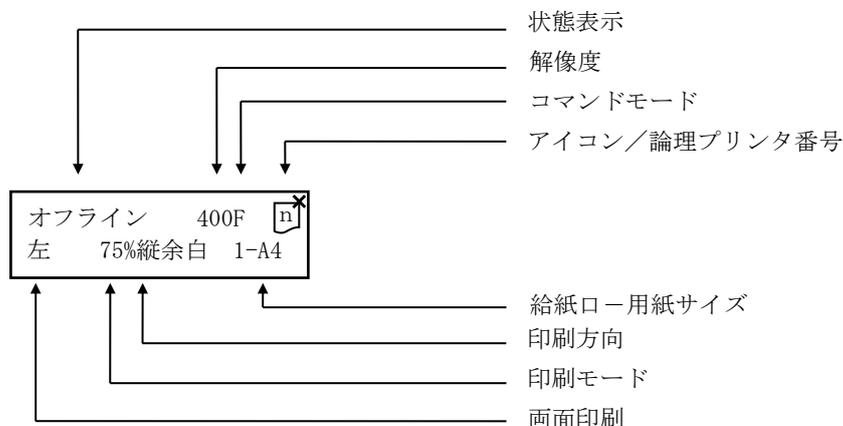
最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通スタート画面(3.3.2項)に遷移します。

第3章 操作説明

3.3.8 FM/FNPオフライン画面（エミュレーション個別画面）

論理プリンタがオフライン状態であることを示します。

3.3.8.1 FMモード



(1) 表示内容

- a) 論理プリンタ番号
表示中の論理プリンタ番号を表示します。
- b) アイコン
 - ② : 受信データあり
 - ③ : 受信データなし
- c) 状態表示
 - ① オフライン : オフライン状態
- d) 解像度
データ受信中の解像度を表示します。
 - ① 240 : 240dpi
 - ② 400 : 400dpi
- e) コマンドモード
コマンドモードを表示します。
F : FMLBPモード
- f) 印刷モード
データ受信中の印刷モードを表示します。
 - ① □□□ : 通常印刷（□は空白）
 - ② 75% : 75%縮小印刷
 - ③ 70% : 70%縮小印刷
 - ④ L1 : リスト1印刷
 - ⑤ L2 : リスト2印刷
 - ⑥ L3 : リスト3印刷
 - ⑦ LP : LP偏倍印刷
 - ⑧ HEX : HEXダンプ印刷
 - ⑨ 80% : 80%縮小印刷

g) 印刷方向

データ受信中の印刷報告を表示します。

- ① 縦 : ポートレート印刷
- ② 縦余白 : 余白付きポートレート印刷
- ③ 横 : ランドスケープ印刷
- ④ 横余白 : 余白付きランドスケープ印刷

h) 両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

- ① □□ : 片面印刷 (□は空白)
- ② 普通 : 普通綴じ両面印刷
- ③ 左 : 左綴じ両面印刷
- ④ 右 : 右綴じ両面印刷
- ⑤ 上 : 上綴じ両面印刷
- ⑥ 下 : 下綴じ両面印刷

i) 給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙口・用紙サイズを表示します。

- ① A U T O : 自動給紙
- ② # - * * : 給紙口、用紙サイズ表示

#] 1	: カセット1	* *] A 3	: A3用紙
2	: カセット2	A 4	: A4用紙
3	: カセット3	A 5	: A5用紙
4	: カセット4	B 4	: B4用紙
手	: 手差しトレイ	B 5	: B5用紙
		L T	: レター用紙

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、FMオフライン画面(3.3.8項)に遷移します。

b) セレクト▷ (◁) キー

次の(直前の)論理プリンタの個別ストップ画面に遷移します。

最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通ストップ画面(3.3.2項)に遷移します。

c) セットアップ キー

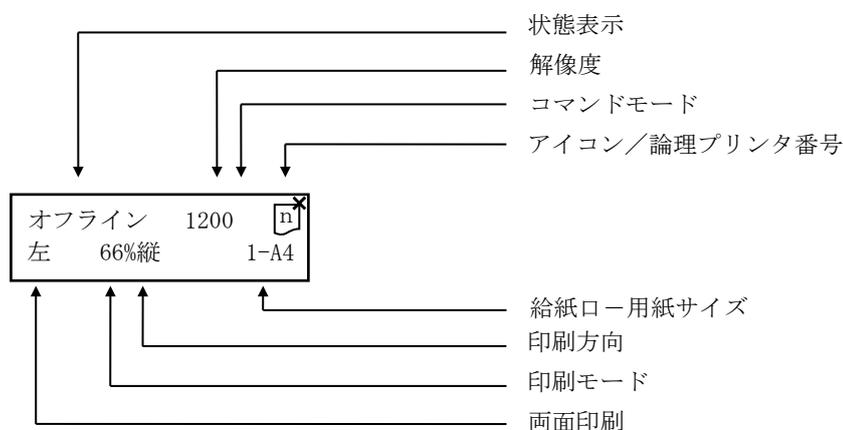
セットアップを開始します。

ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップを不可です。

第3章 操作説明

3.3.8.2 FNPモード

FNP指定の場合は、以下のオフライン画面になります。



(1) 表示内容

- a) 論理プリンタ番号
表示中の論理プリンタ番号を表示します。
- b) アイコン
 - ② : 受信データあり
 - ③ : 受信データなし
- c) 状態表示
 - ① オフライン : オフライン状態
- d) 解像度
データ受信中の解像度を表示します。
 - ① 240 : 240dpi
 - ② 400 : 400dpi
 - ③ 600 : 600dpi
 - ④ 1200 : 1200dpi
- e) コマンドモード
表示なし。
- f) 印刷モード
データ受信中の印刷モードを表示します。
 - ① □□□ : 通常印刷 (□は空白)
 - ② 66% : 66%縮小印刷
 - ③ 80% : 80%縮小印刷
 - ④ LP : LP偏倍印刷
- g) 印刷方向
データ受信中の印刷報告を表示します。
 - ① 縦 : ポートレート印刷
 - ② 横 : ランドスケープ印刷

h) 両面印刷

データ受信中の印刷設定を表示します。

- ① □□ : 片面印刷 (□は空白)
- ② 普通 : 普通綴じ両面印刷
- ③ 左 : 左綴じ両面印刷
- ④ 右 : 右綴じ両面印刷
- ⑤ 上 : 上綴じ両面印刷
- ⑥ 下 : 下綴じ両面印刷

i) 給紙ロー用紙サイズ

データ受信中の給紙口・用紙サイズを表示します。

- ① AUTO : 自動給紙
- ② #-** : 給紙口、用紙サイズ表示

#] 1	: カセット1	**] A3	: A3用紙
2	: カセット2	A4	: A4用紙
3	: カセット3	A5	: A5用紙
4	: カセット4	B4	: B4用紙
手	: 手差しトレイ	B5	: B5用紙
		LT	: レター用紙

(2) キー機能

a) スタート・ストップ キー

すべての論理プリンタをスタート、オンライン状態とし、FMオフライン画面(3.3.8項)に遷移します。

b) セレクト▷(◁) キー

次の(直前の)論理プリンタの個別ストップ画面に遷移します。

最後の(最初の)論理プリンタの場合、共通ストップ画面(3.3.2項)に遷移します。

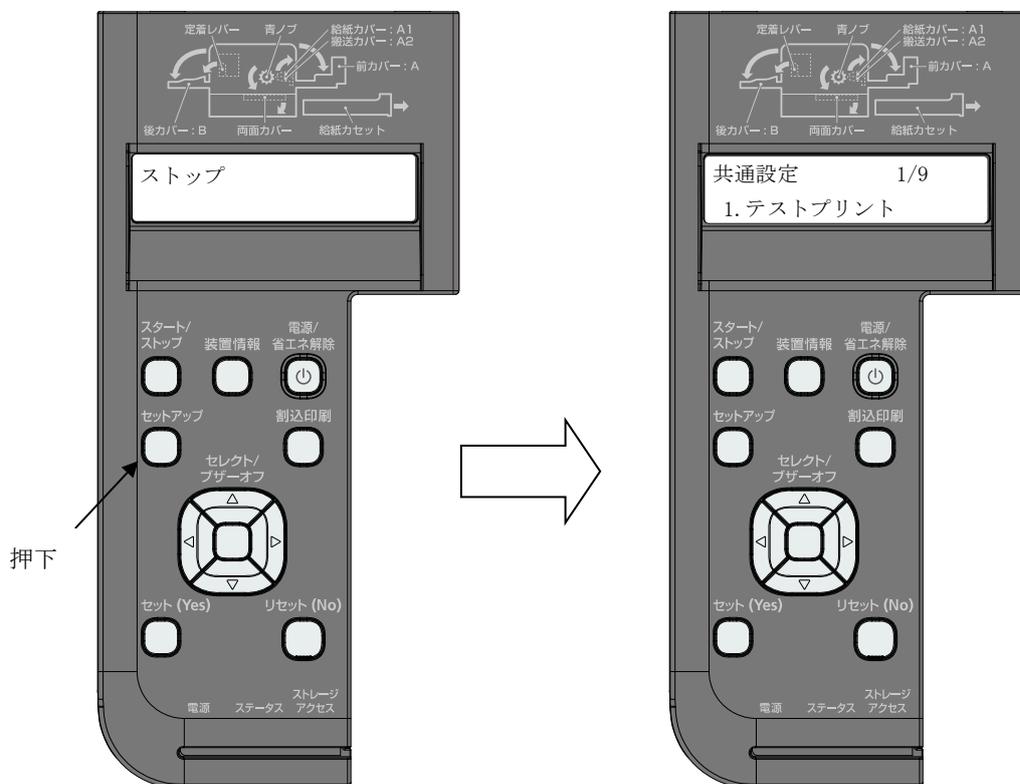
c) セットアップ キー

セットアップを開始します。

ただし、プリンタがデータを保持している場合、セットアップを不可です。

3.4 共通セットアップ

共通セットアップは、共通ストップ画面でセットアップキーを押下することで遷移します。



共通セットアップモードでは、選択されている項目を表示します。

3.4.1 画面遷移

ネットワークアドレス設定メニュー

※有効プロトコルがIPv4またはIPv4/IPv6の場合に設定可能です。

※有効プロトコルがIPv4/IPv6の場合に設定可能です。
IPv6アドレスは表示のみ可能です。

有効プロトコル
IPv4-IPアドレス
IPv4-ネットマスク
IPv4-ゲートウェイ1
IPv4-ゲートウェイ2
IPv4-ゲートウェイ3
IPv4-ゲートウェイ4
IPv4-デフォルトルータ
IPv6-IP (リンクローカル)
IPv6-IP (グローバル)
IPv6-ゲートウェイ

共通セットアップメニュー

テストプリント
濃度設定
消耗品
ブザー設定
GS1-128設定
プリントカウンタ
メディアタイプ (カセット毎)
手差し設定
環境設定

パターン設定
音量設定

用紙サイズ
メディアタイプ

設定印刷
環境初期化
装置環境

エンジン調整メニュー

クリーニング
トナーリフレッシュ

エンジン調整

環境設定メニュー

装置環境管理メニュー

管理コード
日付・時間
MACアドレス
ネットワーク設定
データレート
DS-LINK
マシンネーム
SNMP
省エネモード
緩じ揃え設定
両面印刷互換設定
ソフトスイッチ
緩じ向き揃え

論理プリンタ設定メニュー

論理プリンタ 1
論理プリンタ 2
論理プリンタ 3

DS-LINK設定メニュー

T1 CNCT-CACK
T2 DISK-DCTD
T3 Lbit-RR
T4 ENQ-RR
T5 RNR-ENQ
T6 無通信監視
T7 IDQ-IDR
T8 オープン待ち
T10 リトライアウト
T11 XID-XID
T12 TEST-TEST
T13 解放-CNCT

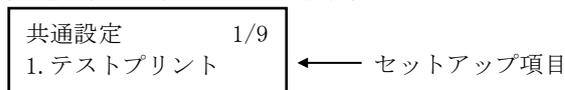
SNMP設定メニュー

コミュニティ設定
トラップ通知先

第3章 操作説明

3.4.2 メニュー画面

(共通セットアップメニュー画面)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

- ① 1. テストプリント : テストプリント (3.4.3 項)
- ② 2. 濃度設定 : 印刷濃度の設定 (3.4.4 項)
- ③ 3. 消耗品 : 消耗品表示 (3.4.5 項)
- ④ 4. ブザー設定 : 異常発生時のブザー鳴動パターンと音量の設定 (3.4.6 項)
- ⑤ 5. GS1-128設定 : GS1-128バーコードパターンの白黒補正 (3.4.7 項)
- ⑥ 6. プリントカウンタ : 装置の総印刷ページ数の表示 (3.4.8 項)
- ⑦ 7. メディアタイプ : 各カセットのメディアタイプの設定 (3.4.9 項)
- ⑧ 8. 手差し設定 : 手差しの用紙サイズ/メディアタイプの設定 (3.4.10 項)
- ⑨ 9. 環境設定 : プリンタの各種環境設定 (3.4.11 項)

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の候補を指定している場合は、最初 (最後) の候補を指定します。

b) セット キー

選択されているセットアップ画面に遷移します。

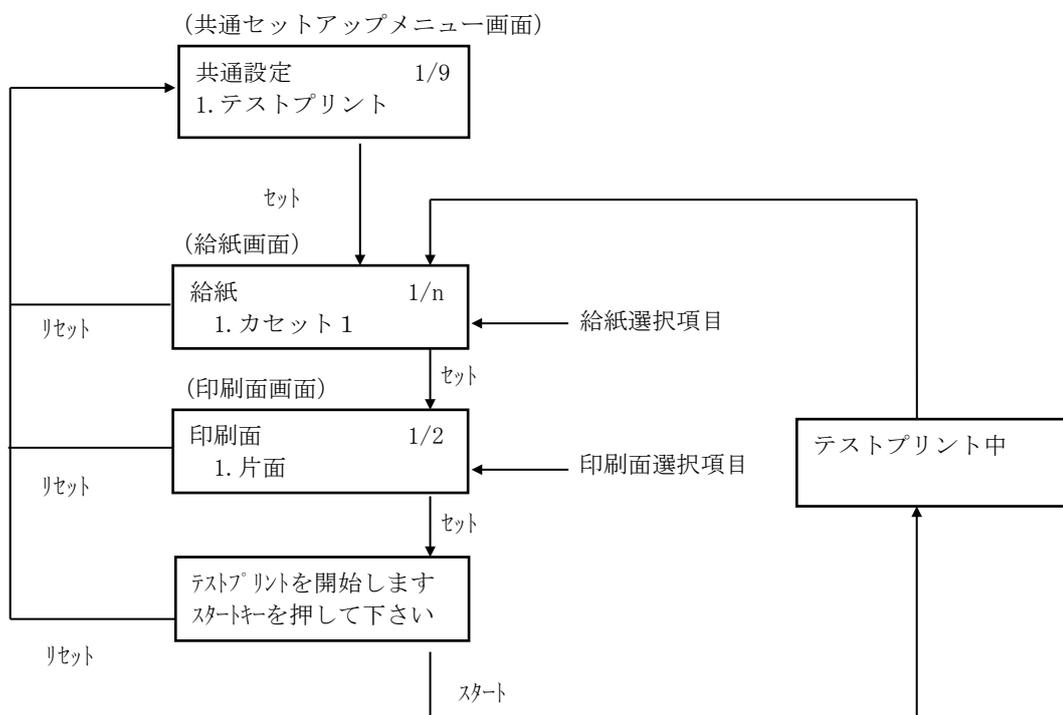
c) リセット キー

共通ストップ画面に戻ります。

※ 「9. 環境設定」の「2. 環境初期化」「3. 装置環境」「4. 論理プリンタ」いずれかの設定を変更していた場合、本キーは無効となります (共通ストップ画面に遷移しません)。

3.4.3 テストプリント（共通設定→1. テストプリント）

テスト印刷を行います。



(1) 表示内容

a) 給紙選択項目

選択可能な給紙元を表示します。

- ① 1. カセット1 : カセット1
- ② 2. カセット2 : カセット2 (注)カセット2オプション装着時のみ表示します。
- ③ 3. カセット3 : カセット3 (注)カセット3オプション装着時のみ表示します。
- ④ 4. カセット4 : カセット4 (注)カセット4オプション装着時のみ表示します。
- ⑤ 5. 手差しトレイ : 手差しトレイ

b) 印刷面選択項目

選択可能な印刷モードを表示します。

- ① 1. 片面 : 片面印刷モード
- ② 2. 両面 : 両面印刷モード

第3章 操作説明

(2) キー機能

a) セット キー

表示画面を給紙画面→印刷面画面→確認画面の順に遷移します。

b) スタート キー

確認画面で押下する設定した条件で印刷が開始され、印刷終了後、給紙画面に戻ります。

c) リセット キー

押下すると共通セットアップメニューの「1. テストプリント」表示画面に遷移します。

d) セレクト▽ (△) キー

給紙、印刷面画面において、次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

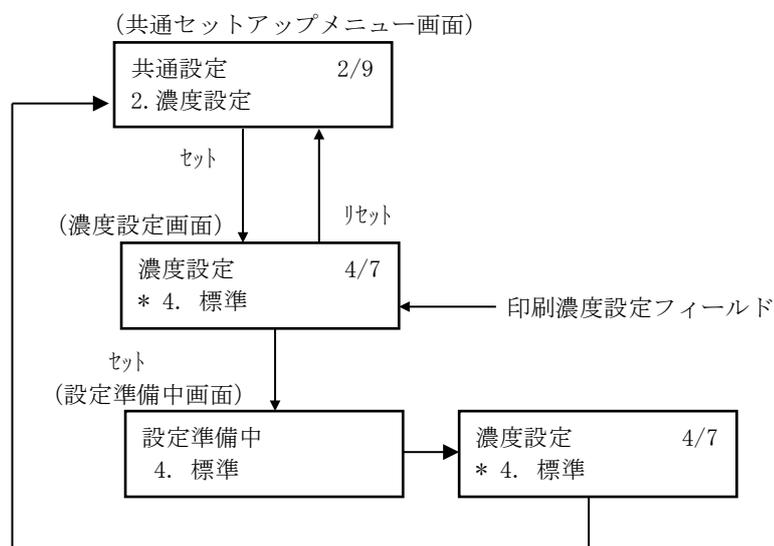
(3) その他

手差しトレイが選択された場合の「用紙サイズ」「メディアタイプ」についてはセットアップの設定値に従います。

「給紙＝手差しトレイ」かつ「パス＝両面」が指定された場合は、片面で印刷します。

3.4.4 濃度設定（共通設定→2.濃度設定）

印刷濃度の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 印刷濃度設定フィールド

印刷濃度の設定値を表示します。

- ① 1. - 3
- ② 2. - 2
- ③ 3. - 1
- ④ 4. 標準
- ⑤ 5. + 1
- ⑥ 6. + 2
- ⑦ 7. + 3

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“標準”です。

※ 「+」側にすると濃くなります。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

エラーチェックのため設定準備中画面を表示したあと、現在の選択内容を登録し、設定値の左に「*」を1秒間表示後、共通セットアップメニューの「2.濃度設定」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

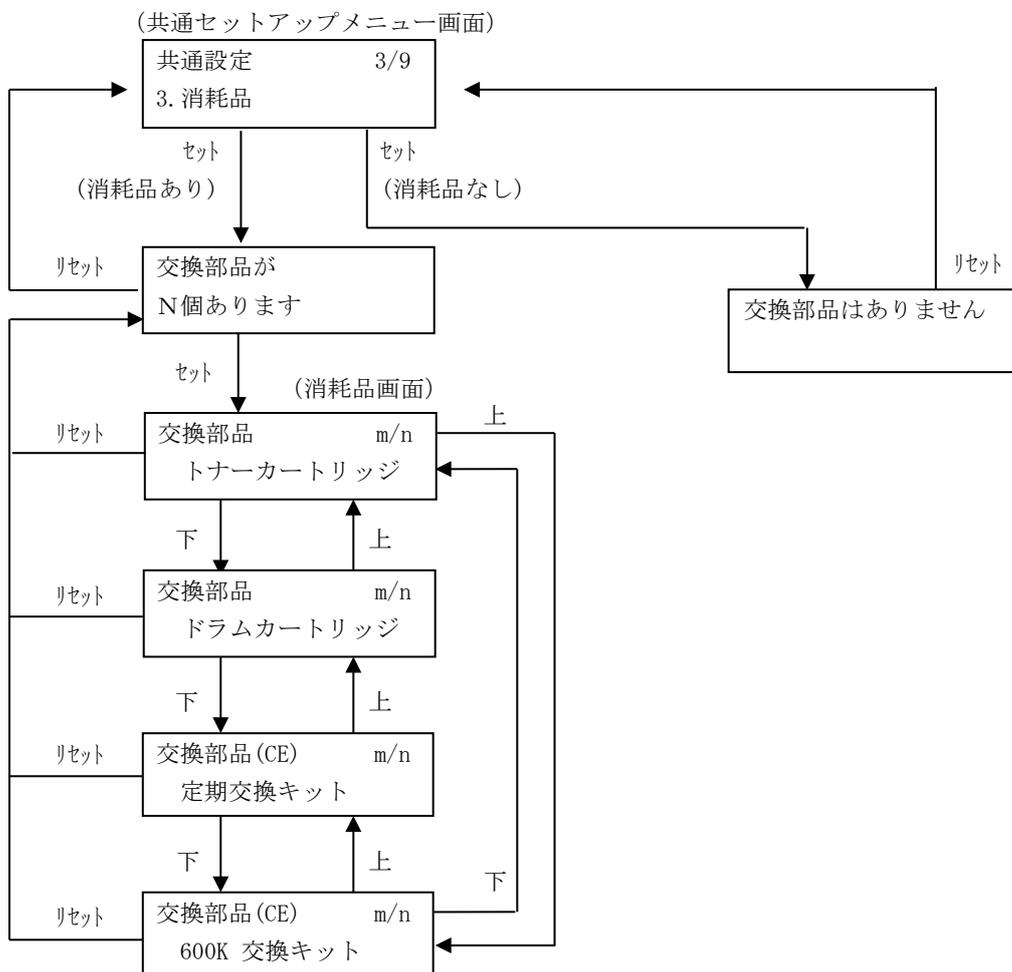
選択操作を中止し、共通セットアップメニューの「2.濃度設定」表示画面に戻ります。

(3) その他

- ・濃度を変更する場合は、変更後の印刷内容に問題がないか確認を行ってください。特にバーコード印刷を行っている場合は十分な読取り確認を実施してください。
- ・標準より濃い設定を選択すると、トナーの消耗が早くなります。

3.4.5 消耗品（共通設定→3. 消耗品）

交換要求のある消耗品を表示します。



(1) 表示内容

a) 交換部品数表示

交換要求のある部品が存在する場合にはその合計の数を表示します。
存在しない場合には“交換部品はありません”と表示します。

b) 交換部品表示

交換要求のある部品名を表示します。

- ① トナーカートリッジ : トナーニアエンプティまたはエンプティであることを示します。
トナーカートリッジを交換してください。
- ② ドラムカートリッジ : ドラムカートリッジニアライフまたはライフであることを示します。
ドラムカートリッジを交換してください。
- ③ 定期交換キット : 定期交換キットの交換時期であることを示します。
保守員に連絡してください。
- ④ 600K交換キット : 600K交換キットの交換時期であることを示します。
保守員に連絡してください。

(2) キー機能

a) セット キー

メニュー選択を確定する場合に押下します。

b) リセット キー

操作を中止し、上位の画面に戻ります。

c) セレクト▽ (△) キー

メニューを選択する場合に押下します。また交換要求のある部品を順に表示します。

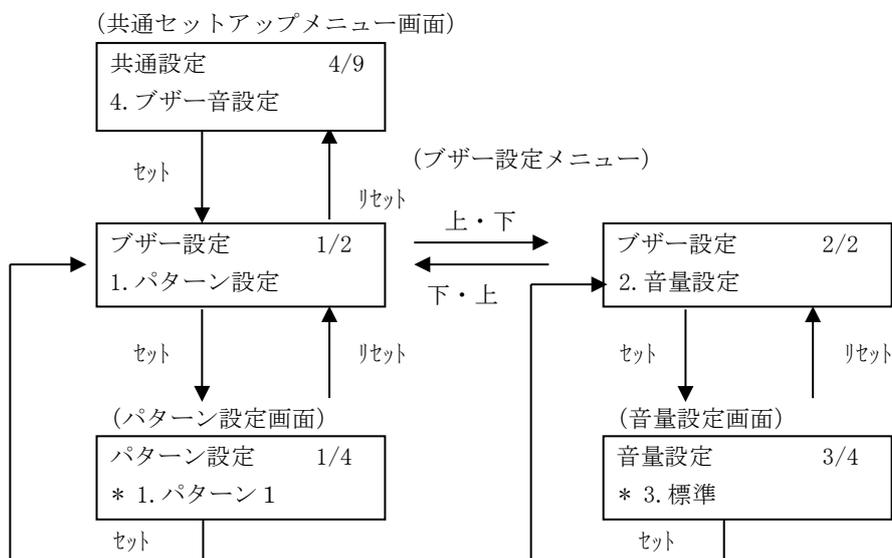
最後（最初）の部品を表示している場合は、最初（最後）の部品を表示します。

交換部品表示は、交換要求のある部品だけ行い、要求のないものは行いません。

交換要求のある部品をすべて表示し終わると、最初から表示を繰り返します。

3.4.6 ブザー設定（共通設定→4. ブザー設定）

異常発生時のブザーの鳴動パターンと、音量を設定します。



(1) 表示内容

a) ブザー音設定項目

設定を行う項目を表示します。

- ① 1. パターン設定 : ブザーの鳴動パターンの設定
- ② 2. 音量設定 : ブザー音量の設定

b) 選択項目（パターン設定）

- ① 1. パターン1 : 異常発生時にブザー（パターン1）が鳴動します。
- ② 2. パターン2 : 異常発生時にブザー（パターン2）が鳴動します。
- ③ 3. パターン3 : 異常発生時にブザー（パターン3）が鳴動します。
- ④ 4. オフ : 異常発生時にブザー鳴動を行いません。

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“パターン1”です。

c) 選択項目（音量設定）

- ① 1. オフ
- ② 2. -1
- ③ 3. 標準
- ④ 4. +1

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“標準”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽（△） キー

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

b) セット キー

- ・ブザー設定メニュー
選択した項目の設定画面に遷移します。
- ・パターン設定画面
- ・音量設定画面
現在の選択内容を登録し、ブザー設定メニュー画面に戻ります。

c) リセット キー

- ・ブザー設定メニュー

選択操作を中止し、共通セットアップメニューの「4.ブザー設定」表示画面に戻ります。

- ・パターン設定画面

- ・音量設定画面

選択操作を中止し、ブザー設定メニューに戻ります。

(3) その他

ブザーの鳴動パターンは以下です。

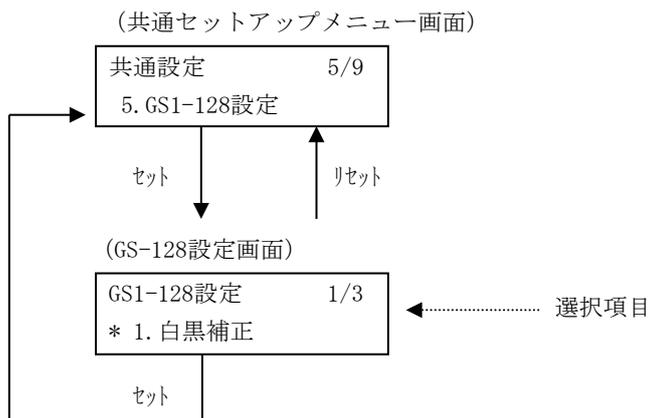
①パターン1 : 0.3秒鳴動ON→0.3秒鳴動OFF→0.3秒鳴動ON→0.3秒鳴動OFF→・・・

②パターン2 : 1.5秒鳴動ON→1秒鳴動OFF→1.5秒鳴動ON→1秒鳴動OFF→・・・

③パターン3 : 0.2秒鳴動ON→0.2秒鳴動OFF→0.2秒鳴動ON→0.5秒鳴動OFF→0.2秒鳴動ON→
0.2秒鳴動OFF→0.2秒鳴動ON→0.5秒鳴動OFF→・・・

3.4.7 GS1-128設定（共通設定→5. GS1-128設定）

GS1-128バーコードを印刷する際の黒／白バーパターンの補正を設定します。
 本設定はFMエミュレーションのFNPモードの600／1200dpi印刷時のみ有効です。
 GS1-128(料金代理収納用)バーコードは、高密度であるため十分な印字品質管理が必要です。
 実運用に先立ち、事前に読取り確認を行うことを推奨します。
 本設定と「3.4.4 濃度設定」がデフォルト値では、読取りが不十分な場合は、最適値に設定してください。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 白黒補正 : 白バーと黒バーの補正を行います。
 - ② 2. 白補正 : 白バーの補正を行います。
 - ③ 3. なし : 補正なし
- ※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
 デフォルト値は“白黒補正”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

現在の選択内容を登録し、共通セットアップメニューの「5. GS1-128設定」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択操作を中止し、共通セットアップメニューの「5. GS1-128設定」表示画面に戻ります。

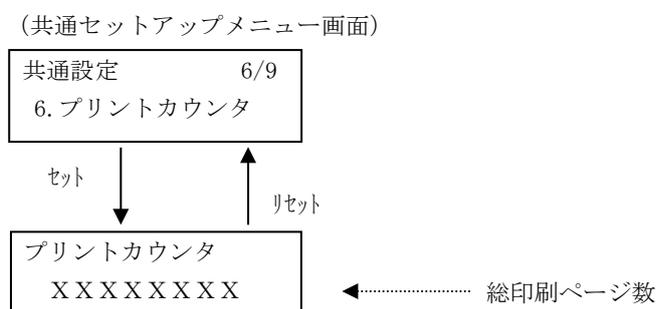
(3) その他

補正値は以下です(単位はdot)。

解像度	白黒補正	白補正	無効(補正なし)
600dpi	白 = +1 / 黒 = -1	白 = +1 / 黒 = 0	白 = 0 / 黒 = 0
1200dpi	白 = +2 / 黒 = -2	白 = +2 / 黒 = 0	白 = 0 / 黒 = 0

3.4.8 プリントカウンタ（共通設定→6. プリントカウンタ）

装置の総印刷ページ数を表示します。



(1) 表示内容

a) 総印刷枚数

装置の総印刷ページ数(A4換算)を表示します。

A3、B4用紙の印刷で2カウントし、それ以外の用紙の印刷では1カウントして算出しています。

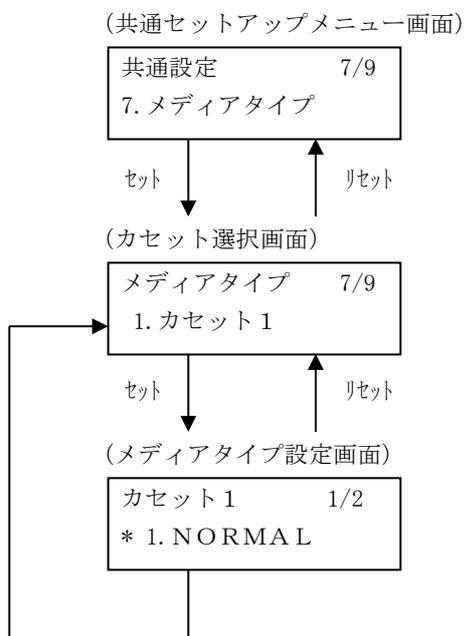
(2) キー機能

a) リセット キー

共通セットアップメニューの「6. プリントカウンタ」表示画面に戻ります。

3.4.9 メディアタイプ (共通設定→7.メディアタイプ)

各カセットのメディアタイプを設定します。



(1) 表示内容

a) カセット選択画面

メディアタイプ設定を行うカセットを表示します。

- ① 1.カセット1
- ② 2.カセット2
- ③ 3.カセット3
- ④ 4.カセット4
- ⑤ 5.手差しトレイ

※カセット2～4は装着されているもののみ表示します。

b) 選択項目

選択されたカセットのメディアタイプの選択項目を表示します。

- ① 1. NORMAL : 普通紙・再生紙 (用紙坪量 64 ~ 80 g/m²)
- ② 2. HIGH : 上質紙 (用紙坪量 81 ~ 105 g/m²)
- ③ 3. HIGH2 : 厚紙1 (用紙坪量 106 ~ 160 g/m²)

※「HIGH2」は手差しトレイ設定時のみ表示します。

※現在の設定内容の左には“*”を表示します。

デフォルト値は、カセット1～カセット4は「NORMAL」です。

手差しトレイは「HIGH」です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

- ・カセット選択画面
選択したカセットのメディアタイプ設定画面に遷移します。
- ・メディアタイプ設定画面
現在の選択内容を登録し、カセット選択画面へ戻ります。

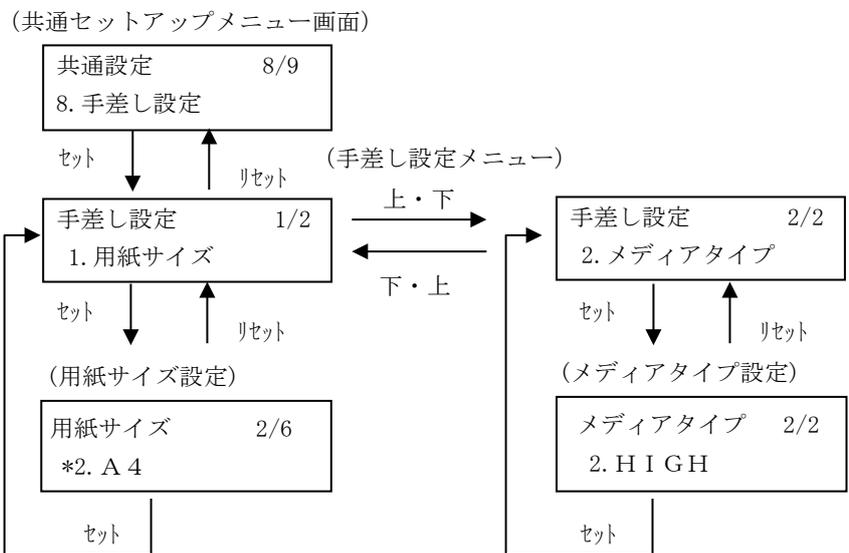
c) リセット キー

- ・カセット選択画面
選択操作を中止し、共通セットアップメニューの「7. メディアタイプ」表示画面に戻ります。
- ・メディアタイプ設定画面
選択操作を中止し、カセット選択画面へ戻ります。

注) 手差しトレイのメディアタイプは後から設定された値が有効となります。

3.4.10 手差し設定（共通設定→8.手差し設定）

手差しトレイの用紙サイズとメディアタイプを設定します。



(1) 表示内容

a) 手差し設定選択

設定を行う選択項目を表示します。

- ① 1. 用紙サイズ
- ② 2. メディアタイプ

b) 選択項目（用紙サイズ設定時）

用紙サイズの設定を表示します。

- ① 1. A 3 : A3
- ② 2. A 4 : A4
- ③ 3. A 5 : A5
- ④ 4. B 4 : B4
- ⑤ 5. B 5 : B5
- ⑥ 6. L T : レター

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“A4”です。

c) 選択項目（メディアタイプ設定時）

メディアタイプの選択項目を表示します。

- ① 1. NORMAL : 普通紙・再生紙（用紙坪量 64 ~ 80 g/m²）
- ② 2. HIGH : 上質紙（用紙坪量 81 ~ 105 g/m²）
- ③ 3. HIGH 2 : 厚紙1（用紙坪量 106 ~ 160 g/m²）

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は、“HIGH”です。

(2) キー機能

- a) セレクト▽ (△) キー
次の (直前の) 選択項目を表示します。
最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。
- b) セット キー
- ・手差し設定メニュー
選択されている項目の設定画面に遷移します。
 - ・用紙サイズ設定画面
現在の選択内容を登録し、手差し設定メニュー画面に戻ります。
 - ・メディアタイプ設定画面
現在の選択内容を登録し、手差し設定メニュー画面に戻ります。
- c) リセット キー
- ・手差し設定メニュー
選択操作を中止し、共通セットアップメニューの「8. 手差し設定」表示画面に戻ります。
 - ・用紙サイズ設定画面
選択操作を中止し、手差し設定メニュー画面に戻ります。
 - ・メディアタイプ設定画面
選択操作を中止し、手差し設定メニュー画面に戻ります。

注) 手差しトレイのメディアタイプは「メディアタイプ」の「手差しトレイ」でも設定可能です。
後から設定された値が有効となります。

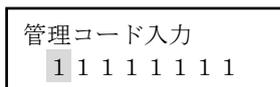
第3章 操作説明

3.4.11 環境設定（共通設定→9.環境設定）

プリンタの動作環境設定を行います。設定後は、電源再投入が必要です。

3.4.11.1 認証

管理コードが設定されている場合、環境設定メニューへの遷移前に認証画面を表示します。
環境設定を開始するために、予め設定済みの管理コードを入力してください。
管理コードは、各桁が1～4の数字で構成される8桁のコードです。



(1) キー機能

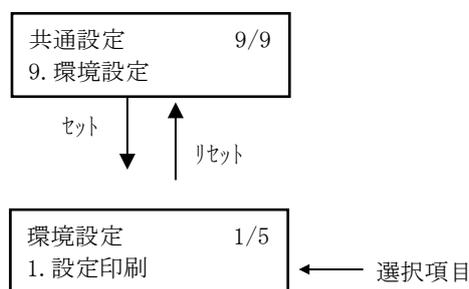
- a) セレクト (△/▽) キー
カーソルのある桁の数字を変更します (△：数字の増加、▽：数字の減少)。
- b) セレクト▷ (◁) キー
カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
入力操作を完了します。
入力した管理コードが正しい場合は、環境設定メニュー画面に遷移します。
正しくない管理コードが入力された場合は、入力ミスを表示します。
このとき、「リセット」キーを押下すれば、共通セットアップ項目選択画面に戻ります。



- d) リセット キー
管理コード入力を中止し、共通セットアップメニューの「9.環境設定」表示画面に戻ります。

3.4.11.2 環境設定メニュー画面

(共通セットアップメニュー画面)



(1) 表示内容

a) 選択項目

選択可能な項目を表示します。

- ① 1. 設定印刷 : 環境設定内容の印刷 (3.4.12 項)
- ② 2. 環境初期化 : 環境初期化 (3.4.13 項)
- ③ 3. 装置環境 : 装置環境管理メニューへ遷移 (3.4.14 項)
- ④ 4. 論理プリンタ : 論理プリンタ設定メニューへ遷移 (3.4.27 項)
- ⑤ 5. エンジン調整 : エンジン調整メニューへ遷移 (3.4.29 項)

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている設定画面に遷移します。

3.4.11.3 電源再投入警告画面

「2. 環境初期化」の実行、または「3. 装置環境」「4. 論理プリンタ」において設定項目のいずれかを最初に設定したとき、電源再投入警告画面を表示します。

本設定後、電源断必要
設定しますか? Y/N

(1) キー機能

a) セット (Yes) キー

環境初期化の場合は、実行確認画面を表示します。

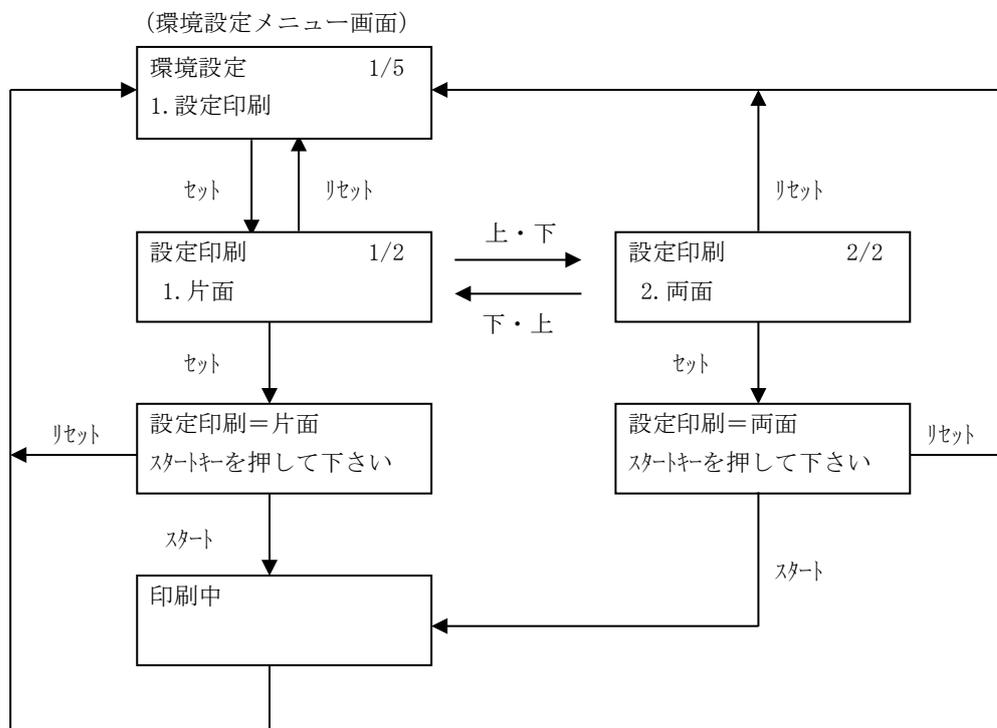
その他は設定を行い、しばらくして1つ前の画面に戻ります。

b) リセット (No) キー

個々の設定画面に戻ります。

3.4.12 設定印刷（共通設定→9.環境設定→1.設定印刷）

環境設定内容を印刷します。



(1) 表示内容

- a) 印刷モード選択項目
 - ① 片面 : 片面印刷モード
 - ② 両面 : 両面印刷モード

※ デフォルト値は“片面”です。

(2) キー機能

- a) セット キー
項目を確定し、次の画面を表示します。
- b) リセット キー
環境設定メニューの「1. 設定印刷」表示画面に戻ります。
- c) セレクト▽ (△) キー
次の (直前の) 選択項目を表示します。
- b) スタート キー
選択されている印刷形式 (片面または両面) にて設定印刷を開始します。
印刷が開始されると画面表示が『印刷中』となり、印刷終了後、環境設定メニューの「1. 設定印刷」表示画面に戻ります。

(3) 動作条件

- a) 印刷可能用紙サイズ
すべての用紙で印刷可能です (A3、B4、A4、B5、A5、レター)。
- b) 給紙元の優先順位
カセット1 → カセット2 → カセット3 → カセット4

※ただし、以前に印刷を行ったカセットから上記の順番で印刷します。
※手差しトレイからは印刷できません。

(4) 印刷フォーマット例

設定印刷	[VSP4540C]
システム総合版数	: E01V01L01
メカコンファーム版数	: v x x . x x
FPGA版数	: E01V01
BootROM版数	: E01V01L01
シリアルNO	: L F x x A x x x x
装置寿命	: 範囲内
カスタムモード	: 解除
【オプション情報】	
<ul style="list-style-type: none"> ・拡張出力機構 ・GS連携機構 ・カセット2、カセット3、カセット4 	
【装置環境管理】	
・管理コード設定	1 2 3 4 1 2 3 4
・日付/時間	2023/01/01 09:00
・印刷濃度設定	標準
・ブザー音設定	
パターン	パターン1
音量	標準
・GS1-128設定 (旧称: EAN-128)	白黒補正
・メディアタイプ設定	
カセット1	NORMAL
カセット2	NORMAL
カセット3	NORMAL
カセット4	NORMAL
・手差し設定	
用紙サイズ	A4
メディアタイプ	HIGH
・MACアドレス設定	
グローバルアドレス	XXXXXXXXXXXXXX

【続く】

【続き】

- ・ネットワークアドレス
 - 有効プロトコル IPv4 / IPv6
 - IPv4ネットワークアドレス設定
 - IPアドレス 000.000.000.000
 - ネットマスク 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス1
 - 宛先アドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス2
 - 宛先アドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス3
 - 宛先アドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス4
 - 宛先アドレス 000.000.000.000
 - ゲートウェイアドレス 000.000.000.000
 - デフォルトルータ設定 000.000.000.000
 - IPv6ネットワークアドレス設定
 - IP (リンクローカル) アドレス
 - FE80:0000:0000:0000:
 - 0200:00FF:FE00:0000
 - IP (グローバル) アドレス
 - 3FFE:0123:4567:89AB:
 - 0200:00FF:FE00:0000
 - ゲートウェイアドレス
 - 3FFE:0123:4567:89AB:
 - 0123:45FF:FE78:9ABC

- ・データレート設定 オート
- ・DSLINK 設定

T1	CNCT→CACK	タイマ値:02.0秒	再送回数:07
T2	DISC→DCTD	タイマ値:02.0秒	再送回数:07
T3	Lbit→RR	タイマ値:02.0秒	再送回数:00
T4	ENQ→RR	タイマ値:02.0秒	再送回数:07
T5	RNR→ENQ	タイマ値:02.0秒	再送回数:07
T6	無通信監視	タイマ値:02.0秒	再送回数:00
T7	IDQ→IDR	タイマ値:02.0秒	再送回数:07
T8	ポートオープン待ち	タイマ値:01.0秒	再送回数:01
T10	CNCTリトライアウト	タイマ値:10.0秒	
T11	XID→XID	タイマ値:02.0秒	再送回数:00
T12	TEST→TEST	タイマ値:02.0秒	再送回数:05
T13	バス解放→CNCT	タイマ値:02.0秒	再送回数:00

【続く】

【続き】

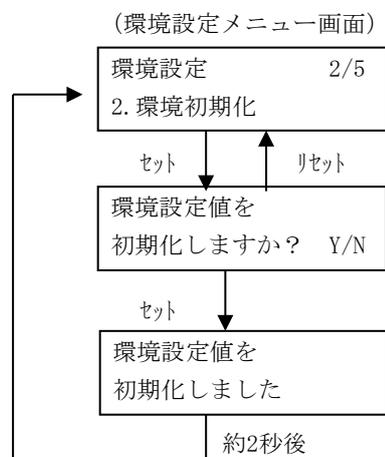
・マシン名設定	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ YZABCDEFGHIJKLMNOPS
・SNMP設定	
コミュニティ名	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ YZABCDEFGHIJKLMNOPS
トラップ通知先設定	トラップ有効
通知先1	
通知先アドレス	172.025.093.078
プリンタ起動通知	有効
コミュニティ違反通知	有効
プリンタ状態通知	5
通知先2	
:	:
:	:
・省エネモード設定	30秒
・綴じ揃え	無効
・両面印刷互換設定	両面
・ソフトスイッチ	
1-1 オフ 2-1 オフ	3-1 オフ 4-1 オフ
1-2 オフ 2-2 オフ	3-2 オフ 4-2 オフ
1-3 オフ 2-3 オフ	3-3 オフ 4-3 オフ
1-4 オフ 2-4 オフ	3-4 オフ 4-4 オフ
1-5 オフ 2-5 オフ	3-5 オフ 4-5 オフ
1-6 オフ 2-6 オフ	3-6 オフ 4-6 オフ
1-7 オフ 2-7 オフ	3-7 オフ 4-7 オフ
1-8 オフ 2-8 オフ	3-8 オフ 4-8 オフ
・綴じ向き揃え	
カセット1	無効
カセット2	無効
カセット3	無効
カセット4	無効
【論理プリンタ設定】	
・論理プリンタ1	
サポートサーバ	PrintWalker/PM
伝送経路	TCP/IP
エミュレーション	FM
ポート番号	09313
給紙元設定	
給紙口1	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
給紙口2	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
給紙口3	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
給紙口4	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
自動給紙	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
・論理プリンタ2	設定なし
・論理プリンタ3	設定なし

(注意)

- ・装置寿命は、寿命になったとき以降は、「範囲内」から「到達」と表示します。
- ・オプション情報は組み込まれているもののみ印刷します。
- ・ネットワークアドレス設定
 - 有効プロトコルが I P v 4 の場合：
 - I P v 6 関連のアドレスは空白で印刷します。
 - 有効プロトコルが I P v 6 の場合：
 - I P v 4 関連のアドレスは空白で印刷します。
 - 有効プロトコルが I P v 6、または I P v 4 / I P v 6 の場合：
 - I P v 6 のグローバルアドレスなしであれば、I P (グローバル) アドレスとゲートウェイアドレスは、ALL “0” で印刷します。
- ・有効プロトコルのデフォルトは I P v 4 です。
- ・印刷濃度設定で“標準”以外の場合は設定値を印刷します。

3.4.13 環境初期化（共通設定→9.環境設定→2.環境初期化）

環境設定値を工場出荷値に初期化します。



(1) キー機能

a) セット(Yes) キー

環境初期化を実行し、環境初期化完了画面を表示し、約2秒後、環境設定メニューの「2.環境初期化」表示画面に戻ります。

b) リセット(No) キー

初期化を行わず、環境設定メニューの「2.環境初期化」表示画面に戻ります。

(2) 初期化項目

本機能にて、初期化される項目は以下のとおりです。

装置環境		初期値
管理コード		設定なし
ブザー	パターン	パターン1
	音量	標準
GS1-128設定		白黒補正
MACアドレス		グローバルアドレス
メディアタイプ設定	カセット1	NORMAL
	カセット2	NORMAL
	カセット3	NORMAL
	カセット4	NORMAL
	手差しトレイ	HIGH (手差しトレイのメディアタイプと同じ)
手差し設定	用紙サイズ	A4
	メディアタイプ	HIGH
ネットワーク設定	有効プロトコル	IPv4
	IPアドレス	000.000.000.000
	ネットマスク	000.000.000.000
	ゲートウェイアドレス1	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000
	ゲートウェイアドレス2	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000
	ゲートウェイアドレス3	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000
	ゲートウェイアドレス4	宛先アドレス、ゲートウェイアドレス共000.000.000.000
デフォルトルータ設定	000.000.000.000	
データレート設定		オート

【続く】

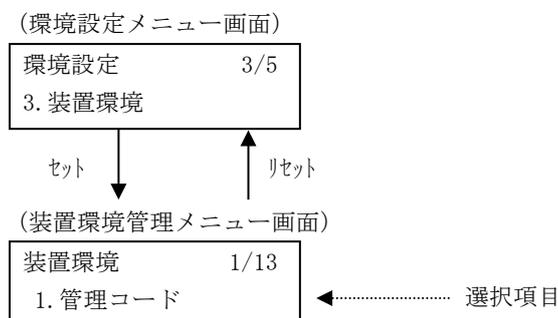
【続き】

装置環境		初期値	
DS-LINK	T1 CNCT→CACK	タイマー値：2秒、再送回数：7回	
	T2 DISC→DCTD	タイマー値：2秒、再送回数：7回	
	T3 Lbit→RR	タイマー値：2秒、再送回数：0回	
	T4 ENQ→RR	タイマー値：2秒、再送回数：7回	
	T5 RNR→ENQ	タイマー値：2秒、再送回数：7回	
	T6 無通信監視	タイマー値：2秒、再送回数：0回	
	T7 IDQ→IDR	タイマー値：2秒、再送回数：7回	
	T8 ポートオープン待ち	タイマー値：1秒、再送回数：1回	
	T10 CNCT リトライアウト	タイマー値：10秒	
	T11 XID→XID	タイマー値：2秒、再送回数：0回	
	T12 TEST→TEST	タイマー値：2秒、再送回数：5回	
	T13 パス解放→CNCT	タイマー値：2秒、再送回数：0回	
マシンネーム		VSP4540C***** (* * * * * :グローバルアドレスの下6桁)	
SNMP	コミュニティ名	設定なし(NULL)	
	トラップ通知先設定	トラップ無効	
	通知先1	通知先アドレス	000.000.000.000
		プリンタ 起動通知	無効
		コミュニティ違反通知	無効
		プリンタ 状態通知	5
	通知先2	(通知先1と同じ設定)	
通知先3			
通知先4			
省エネモード		30秒	
綴じ揃え設定		無効	
両面印刷互換設定		両面	
ソフトスイッチ	1-1~1-8	オフ	
	2-1~2-8	オフ	
	3-1~3-8	3-1、3-2以外オフ	
	4-1~4-8	オフ	
綴じ向き揃え	カセット1	無効	
	カセット2	無効	
	カセット3	無効	
	カセット4	無効	

論理プリンタ		初期値
論理プリンタ1	サポートサーバ	PrintWalker/PM
	伝送経路	TCP/IP
	エミュレーション	FM
	ポート番号	09313
	リクエストサーバアドレス	000.000.000.000
	給紙元設定	全カセット有効
論理プリンタ2~3		設定なし
その他		FNPキャッシュファイルのクリア
FMセットアップ 両面印刷設定		普通綴じ

3.4.14 装置環境（共通設定→9.環境設定→3.装置環境）

装置の動作環境設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------------------------|
| ① | 1. 管理コード | : | 管理コードの設定 (3.4.15 項) |
| ② | 2. 日付・時間 | : | 日付・時間の設定 (3.4.16 項) |
| ③ | 3. MACアドレス | : | MACアドレスの表示 (3.4.17 項) |
| ④ | 4. ネットワーク設定 | : | ネットワーク関連の設定 (3.4.18 項) |
| ⑤ | 5. データレート | : | データレート設定 (3.4.19 項) |
| ⑥ | 6. DS-LINK | : | DS-LINK関連設定 (3.4.20 項) |
| ⑦ | 7. マシンネーム | : | マシン名の設定 (3.4.21 項) |
| ⑧ | 8. SNMP | : | SNMPの設定 (3.4.22 項) |
| ⑨ | 9. 省エネモード | : | 省エネモードの設定 (3.4.23 項) |
| ⑩ | 10. 綴じ揃え | : | 綴じ揃えの設定 (3.4.24 項) |
| ⑪ | 11. 両面印刷互換設定 | : | 片面/両面印刷のデフォルトの設定 (3.4.25 項) |
| ⑫ | 12. ソフトスイッチ | : | ソフトスイッチの設定 (3.4.26 項) |
| ⑬ | 13. 綴じ向き揃え | : | 綴じ向き揃えの設定 (3.4.27 項) |

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

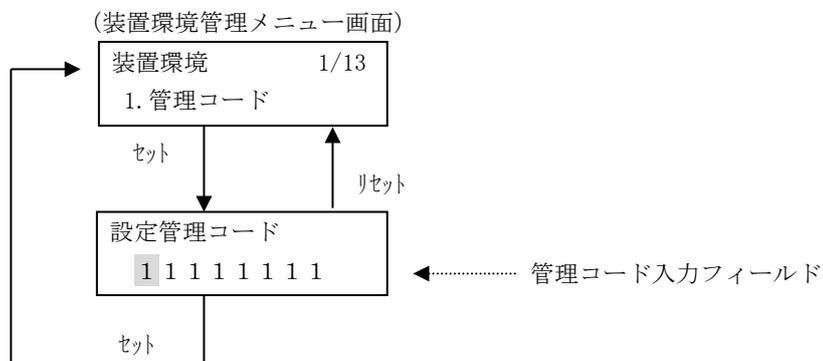
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c) リセット キー

環境設定メニューの「3. 装置環境」表示画面に戻ります。

3.4.15 管理コード（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→1.管理コード）

セットアップセキュリティのため、管理コードの設定を行います。管理コードを設定すると、環境設定メニュー選択時に入力を要求されます（入力値を忘れないようにご注意ください）。



(1) 表示内容

a) 管理コード入力フィールド

管理コードの入力値を表示します。

初期値は現在の管理コード値です（未設定の場合は“1 1 1 1 1 1 1 1”）。

入力カーソルは最左桁です。各桁には1～4の数字が入力可能です。

(2) キー機能

a) セレクト（△／▽） キー

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト（▷／◁） キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

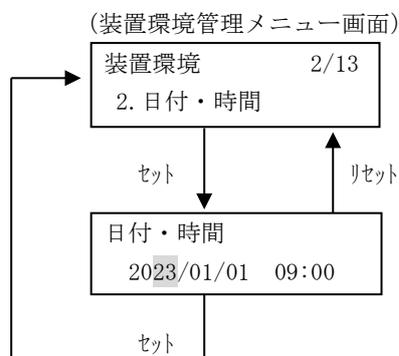
入力操作を完了し、装置環境管理メニューの「1.管理コード」表示画面に戻ります。

d) リセット キー

入力操作を中止し、装置環境管理メニューの「1.管理コード」表示画面に戻ります。

3.4.16 日付／時間設定（共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→2. 日付・時間）

現在の日付・時間の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 年

西暦表示です。入力可能な値の範囲は2000～2099ですが、有効値は2023～2037です。
2038～2099を指定した場合、2037と入力されます。
2023未満を指定した場合、2023と入力されます。
※日付・時間のデフォルトは、「2023/01/01 09:00」です。

b) 月

月表示です。入力可能な値の範囲は00～19ですが、有効値は01～12です。
13～19を指定した場合、12と入力されます。
00を指定した場合、01と入力されます。

c) 日

日付表示です。入力可能な値の範囲は、00～39。
存在しない日付を入力した場合、最後に入力した日付に戻ります。
ただし、00の入力は01と入力されます。

d) 時

24時間表示です。入力可能な値の範囲は、00～29。
24～29の入力は23と入力されます。

e) 分

分表示です。入力可能な値の範囲は、0～59。

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。

b) セレクト (▷/◁) キー

入力フィールドを年→月→日→時→分 (分→時→日→月→年) の順に移動します。

c) セット キー

入力操作を完了し、装置環境管理メニューの「2. 日付・時間」表示画面に戻ります。
秒の値は00にリセットします。

d) リセット キー

入力操作を中止し、装置環境管理メニューの「2. 日付・時間」表示画面に戻ります。

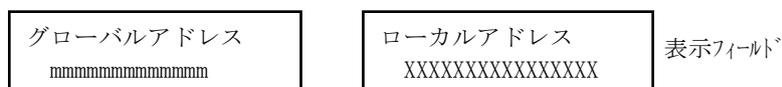
3.4.17 MACアドレス（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→3.MACアドレス）

MACアドレスの設定を表示します。

(装置環境管理メニュー画面)



現在、設定されている状態に応じてグローバルアドレスまたはローカルアドレスを表示します。



(1) 表示内容

a) 表示フィールド

現在、設定されている状態に応じてグローバルアドレスまたはローカルアドレスを表示します
(未設定の場合は、グローバルアドレスを表示します)。

(2) キー機能

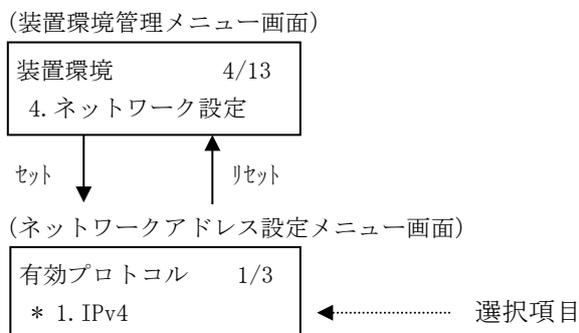
a) リセット キー

装置環境管理メニューの「3.MACアドレス」表示画面に戻ります。

3.4.18 ネットワーク設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定）

ネットワークの有効プロトコルの設定とそれぞれのネットワークアドレスの設定を行います。

3.4.18.1 メニュー画面



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① I P v 4 : 有効プロトコル=IPv4のみ
- ② I P v 6 : 有効プロトコル=IPv6のみ
- ③ I P v 4 / I P v 6 : 有効プロトコル=IPv4およびIPv6

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

デフォルト値は“ I P v 4 ”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている選択項目画面に遷移します。

- I P v 4 が選択された場合、I P v 4 のネットワークアドレス設定画面へ遷移します。
- I P v 6 が選択された場合、I P v 6 の表示画面へ遷移します。
- I P v 4 / I P v 6 が選択された場合、I P v 4 のネットワークアドレス設定画面と I P v 6 のネットワーク表示画面へ遷移します。

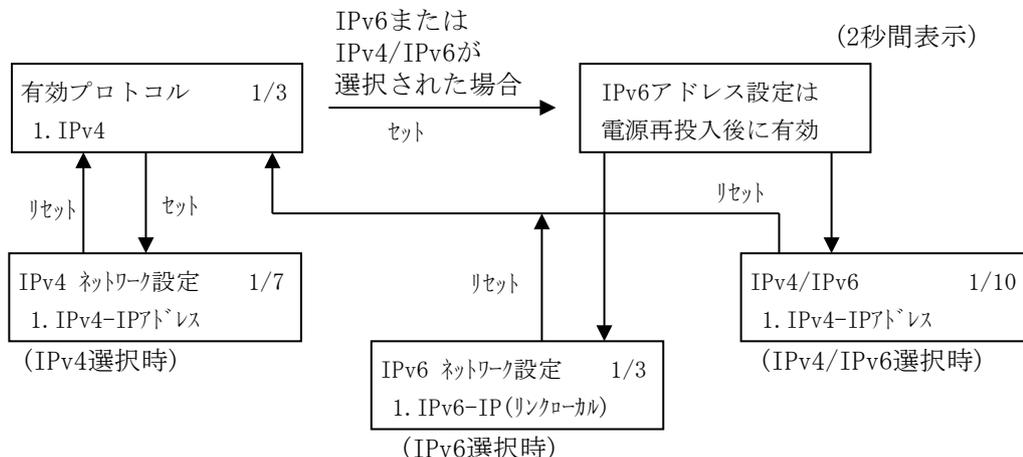
c) リセット キー

選択を中止し、装置環境管理メニューの「4. ネットワーク設定」表示画面に戻ります。

3.4.18.2 ネットワークアドレス設定と表示（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定）

ネットワークの有効プロトコルの設定値により、ネットワークアドレス設定またはネットワークアドレス表示を行います。

IPv6またはIPv4/IPv6が選択された場合、セットキー押下で注意画面を2秒間表示します。



(1) 表示内容

a) IPv4 ネットワーク設定

- ① 1. IPv4-IPアドレス : IPv4のIPアドレス設定
- ② 2. IPv4-ネットマスク : IPv4のネットマスク設定
- ③ 3. IPv4-ゲートウェイ1 : IPv4のゲートウェイアドレス1設定
- ④ 4. IPv4-ゲートウェイ2 : IPv4のゲートウェイアドレス2設定
- ⑤ 5. IPv4-ゲートウェイ3 : IPv4のゲートウェイアドレス3設定
- ⑥ 6. IPv4-ゲートウェイ4 : IPv4のゲートウェイアドレス4設定
- ⑦ 7. IPv4-デフォルトルータ : IPv4のデフォルトルータ設定

b) IPv6 ネットワーク表示

- ① 1. IPv6-IP(リンクローカル) : IPv6のIP(リンクローカル)アドレス表示
- ② 2. IPv6-IP(グローバル) : IPv6のIP(グローバル)アドレス表示
- ③ 3. IPv6-ゲートウェイ : IPv6のゲートウェイアドレス表示

c) IPv4 / IPv6

- ① 1. IPv4-IPアドレス : IPv4のIPアドレス設定
- ② 2. IPv4-ネットマスク : IPv4のネットマスク設定
- ③ 3. IPv4-ゲートウェイ1 : IPv4のゲートウェイアドレス1設定
- ④ 4. IPv4-ゲートウェイ2 : IPv4のゲートウェイアドレス2設定
- ⑤ 5. IPv4-ゲートウェイ3 : IPv4のゲートウェイアドレス3設定
- ⑥ 6. IPv4-ゲートウェイ4 : IPv4のゲートウェイアドレス4設定
- ⑦ 7. IPv4-デフォルトルータ : IPv4のデフォルトルータ設定
- ⑧ 8. IPv6-IP(リンクローカル) : IPv6のIP(リンクローカル)アドレス表示
- ⑨ 9. IPv6-IP(グローバル) : IPv6のIP(グローバル)アドレス表示
- ⑩ 10. IPv6-ゲートウェイ : IPv6のゲートウェイアドレス表示

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている選択項目画面に遷移します。

c) リセット キー

選択操作を中止し、有効プロトコルメニュー画面に戻ります。

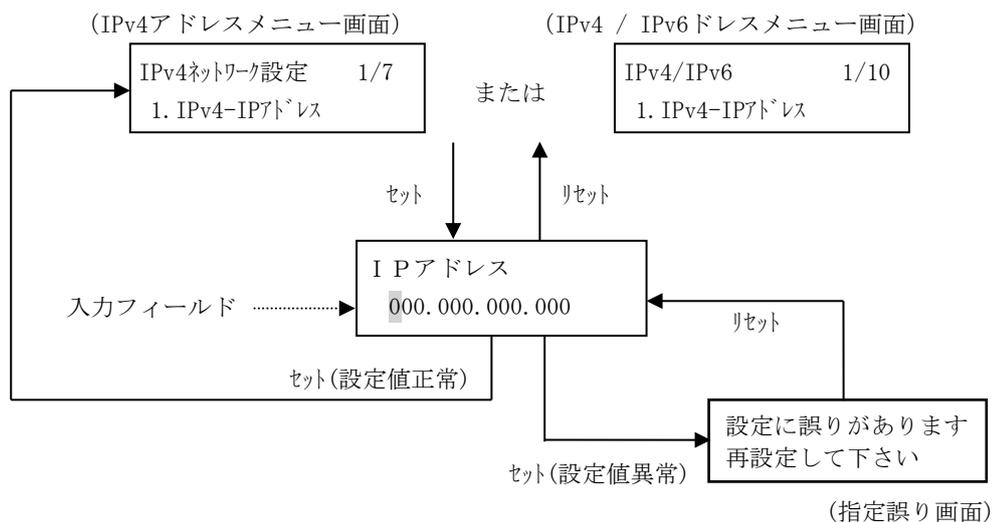
※ 各項目の設定／表示操作については「3.4.18.3 IPv4ネットワーク設定」および「3.4.18.4 IPv6ネットワーク表示」を参照してください。

3.4.18.3 IPv4ネットワーク設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定）

IPv4のネットワークアドレスの設定を行います。

3.4.18.3.1 IPv4-IPアドレス（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→1.IPv4-IPアドレス）

IPv4プロトコルでのIPアドレスの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

IPアドレスの入力値を表示します。

初期値は、現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223になります。

“000.000.000.000”やローカルアドレス”127.000.000.001”を設定した場合は、指定誤り画面を表示します。リセットキー押下後、再度設定してください。

(2) キー機能

a) セレクト（△／▽） キー

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト（▷／◁） キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

現在の画面の指定値を確定させ、ネットワークアドレス設定メニューの「1. IPv4-IPアドレス」表示画面に戻ります。

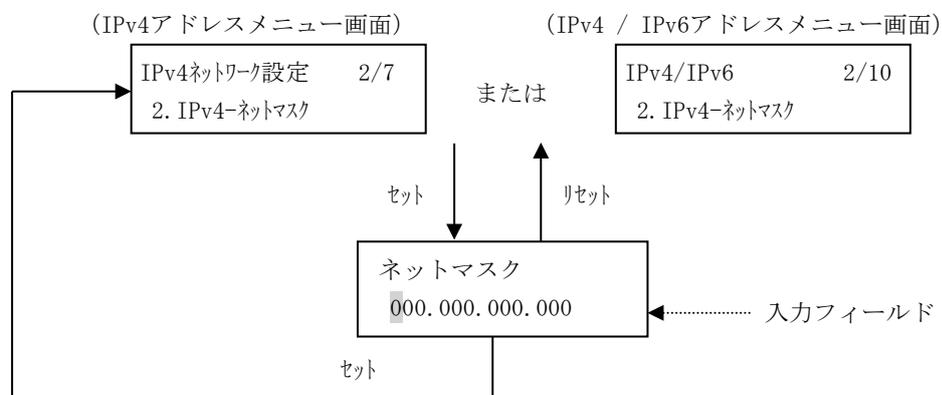
d) リセット キー

入力操作を中止し、ネットワークアドレス設定メニューの「1. IPv4-IPアドレス」表示画面に戻ります。

3.4.18.3.2 IPv4-ネットマスク

(共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→4. ネットワーク設定→2. IPv4-ネットマスク)

IPv4プロトコルでのネットマスク設定を行います。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

ネットマスクの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト (▷/◁) キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

現在の画面の設定値を確定させ、ネットワークアドレス設定メニューの「2. IPv4-ネットマスク」表示画面に戻ります。

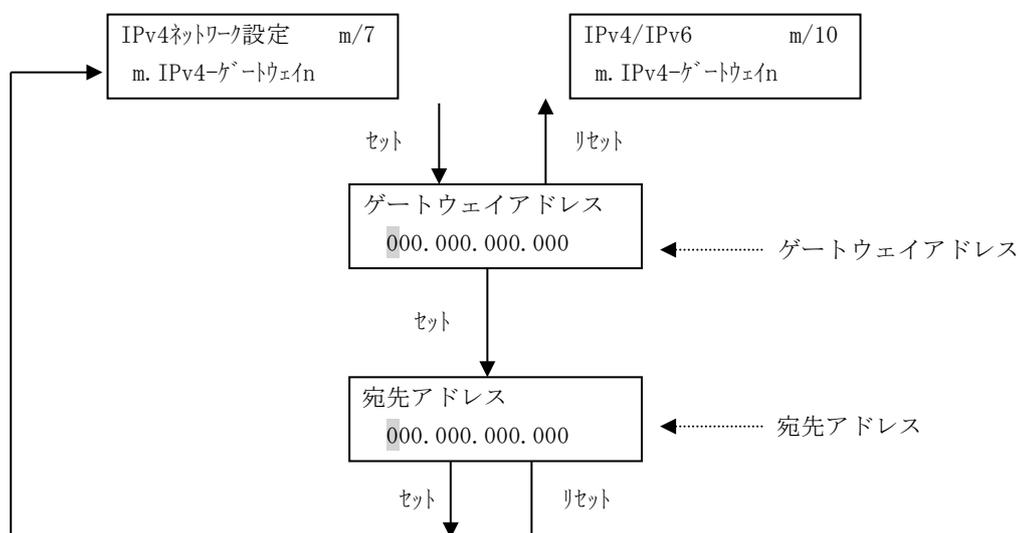
d) リセット キー

設定を中止し、ネットワークアドレス設定メニューの「2. IPv4-ネットマスク」表示画面に戻ります。

3.4.18.3.3 IPv4-ゲートウェイ（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→m.IPv4-ゲートウェイ）

IPv4プロトコルでのゲートウェイアドレスの設定を行います。

3.8.2項参照の上、必要な場合のみ設定ください。



(1) 表示内容

- a) ゲートウェイアドレス、宛先アドレス入力フィールド
 ゲートウェイ／宛先アドレスの入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。
 百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。
 255を超える値は入力できません。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223になります。

「n」は「1」～「4」、 「m」は「3」～「6」の数字が表示されます。

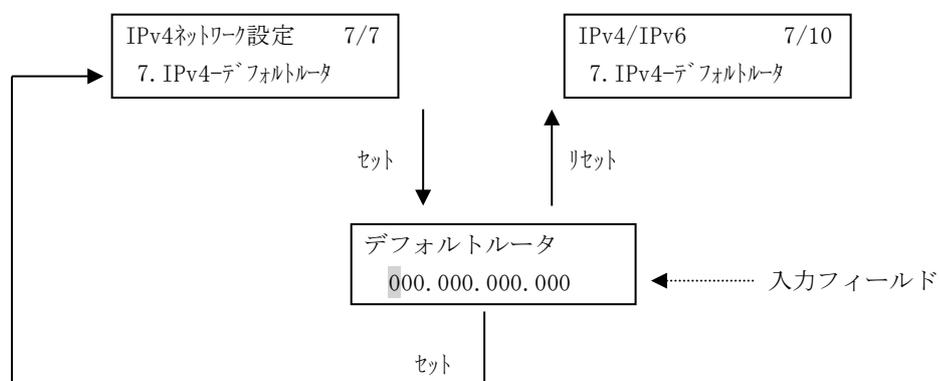
(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します (△：数字の増加、▽：数字の減少)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 現在の画面の設定値を確定させ、次の画面に遷移します。
 “宛先アドレス”画面において押下した場合は、設定を完了・登録し、本画面に遷移する直前のネットワークアドレス設定メニュー画面に戻ります。
- d) リセット キー
 設定を中止し、本画面に遷移する直前のネットワークアドレス設定メニュー画面に戻ります。

3.4.18.3.4 IPv4-デフォルトルータ (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→4.ネットワーク設定→7.IPv4-デフォルトルータ)

IPv4プロトコルでのデフォルトルータの設定を行います。

3.8.2項参照の上、必要な場合のみ設定ください。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

デフォルトルータの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223になります。

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト (▷/◁) キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

現在の画面の指定値を確定し、ネットワークアドレス設定メニューの「7. IPv4-デフォルトルータ」表示画面に戻ります。

d) リセット キー

設定を中止し、ネットワークアドレス設定メニューの「7. IPv4-デフォルトルータ」表示画面に戻ります。

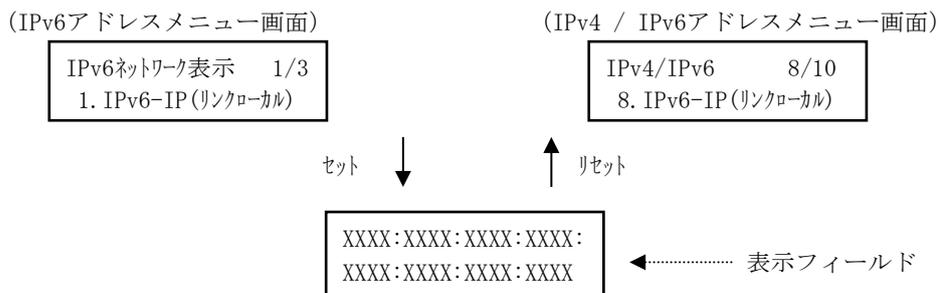
3.4.18.4 IPv6ネットワーク表示

IPv6プロトコルでのIPv6のネットワークアドレス表示を行います。

3.4.18.4.1 IPv6-IP(リンクローカル) アドレス表示

(共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→4. ネットワーク設定→8. IPv6-IP(リンクローカル))

IPv6プロトコルでのIP(リンクローカルアドレス)を表示します。



(1) 表示内容

a) 表示フィールド (表示のみ)

IPv6プロトコルでのIP (リンクローカル) アドレスを16進数で表示します。

(2) キー機能

a) リセット キー

IPv6アドレスメニュー画面、またはIPv4 / IPv6アドレスメニュー画面に戻ります。

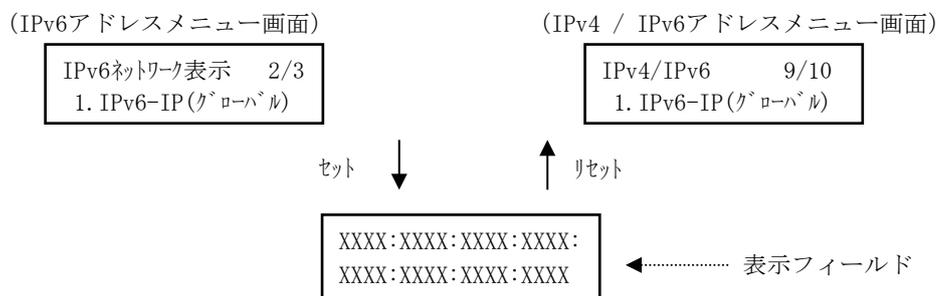
b) セット キー

IPv6-リンクローカルアドレス表示画面に遷移します。

3.4.18.4.2 IPv6-IP(グローバル)アドレス表示

(共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→4. ネットワーク設定→1. IPv6-IP(グローバル))

IPv6プロトコルでのIP(グローバルアドレス)を表示します。



(1) 表示内容

a) 表示フィールド

IPv6プロトコルでのIP(グローバル)アドレスを16進数で表示します。

(2) キー機能

a) リセット キー

IPv6アドレスメニュー画面、またはIPv4 / IPv6アドレスメニュー画面に戻ります。

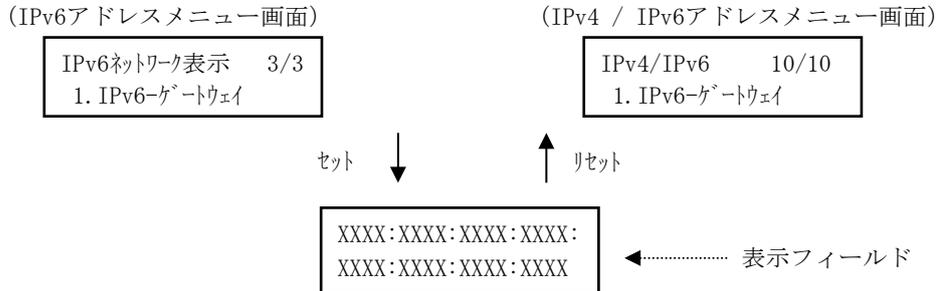
b) セット キー

IPv6-グローバルアドレス表示画面に遷移します。

3.4.18.4.3 IPv6-ゲートウェイアドレス表示

(共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→4. ネットワーク設定→1. IPv6-ゲートウェイ)

IPv6プロトコルのゲートウェイを表示します。



(1) 表示内容

a) 表示フィールド

IPv6プロトコルのゲートウェイアドレスを16進数で表示します。

(2) キー機能

a) リセット キー

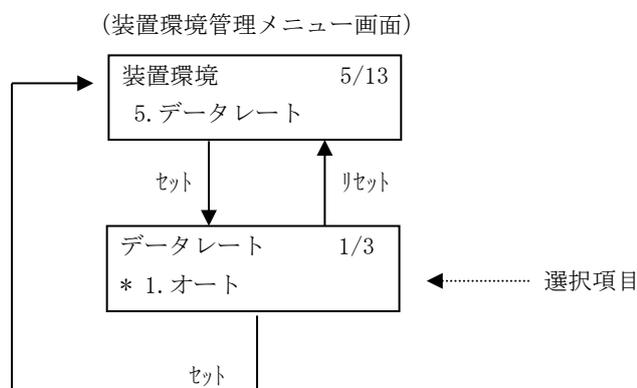
IPv6アドレスメニュー画面、またはIPv4 / IPv6アドレスメニュー画面に戻ります。

b) セット キー

IPv6-ゲートウェイアドレス表示画面に遷移します。

3.4.19 データレート（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→5.データレート）

データレートの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. オート : オートネゴシエーション接続
- ② 2. 10Base-T : 10Mbps固定接続 (注1)
- ③ 3. 100Base-TX : 100Mbps固定接続 (注1)

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
デフォルト値は“オート”です。

注1)本装置のデータレート固定設定は、半二重 (Half) のみサポートしています。お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は、プリンタに合わせて半二重 (Half) に設定してください。

本装置とスイッチングハブ共に“オート”設定を推奨します。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

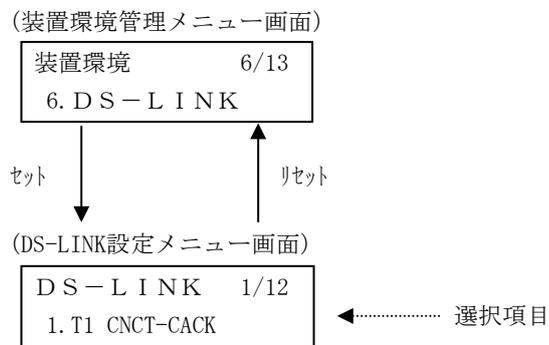
選択された項目を確定し、装置環境管理メニューの「5. データレート」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、装置環境管理メニューの「5. データレート」表示画面に戻ります。

3.4.20 DS-LINK (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK)

DS-LINK関連の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. T1 CNCT-CACK : CNCT→CACK
- ② 2. T2 DISC-DCTD : DISC→DCTD
- ③ 3. T3 Lbit-RR : Lbit→RR
- ④ 4. T4 ENQ-RR : ENQ→RR
- ⑤ 5. T5 RNR-ENQ : RNR→ENQ
- ⑥ 6. T6 無通信監視 : 無通信監視
- ⑦ 7. T7 IDQ-IDR : IDQ→IDR
- ⑧ 8. T8 オープン待ち : ポートオープン待ち
- ⑨ 9. T10 リトライアウト : CNCTリトライアウト
- ⑩ 10. T11 XID-XID : XID→XID
- ⑪ 11. T12 TEST-TEST : TEST→TEST
- ⑫ 12. T13 解放-CNCT : パス解放→CNCT

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

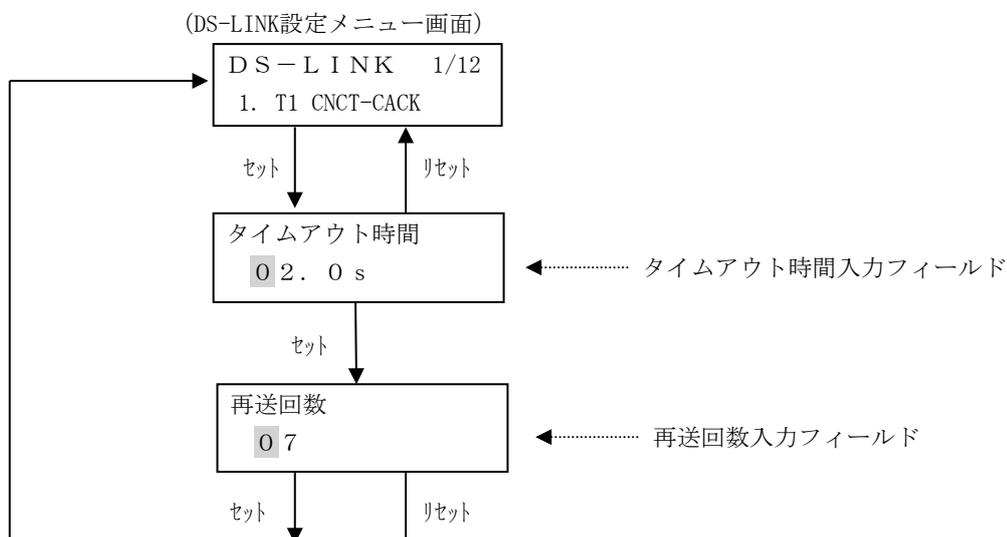
選択された項目の数値設定画面へ遷移します。

c) リセット キー

選択を中止し、装置環境管理メニューの「6. DS-LINK」表示画面に戻ります。

3.4.20.1 T1 CNCT-CACK（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→1.T1 CNCT-CACK）

T1 CNCT-CACKの設定を行います。



(1) 表示内容

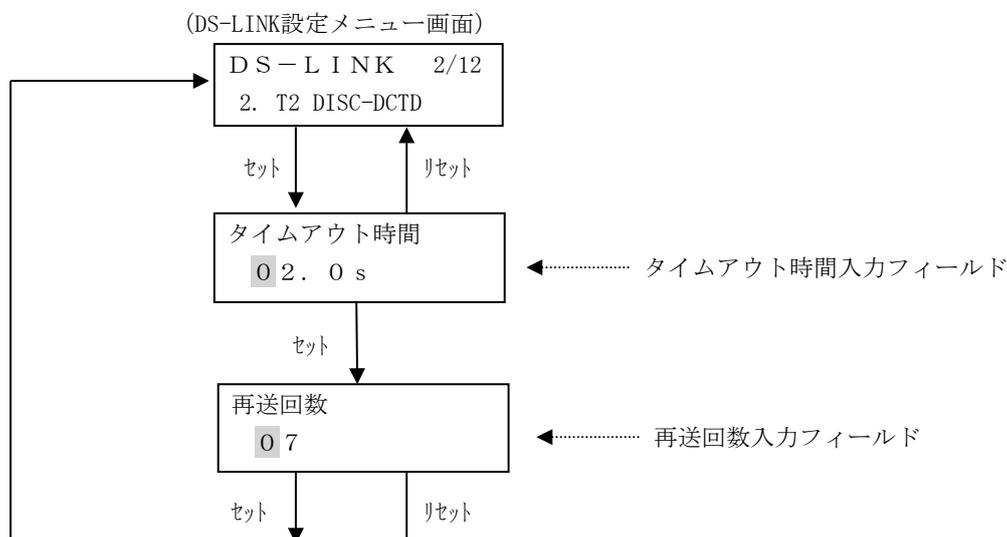
- a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間（秒）を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
 設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
 “25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”になります。
 “1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0”になります。
- b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
 設定範囲は1～15です。
 “15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”になります。
 “00”を入力した場合、自動的に”01”になります。

(2) キー機能

- a) セレクト（△／▽） キー
 カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。
- b) セレクト（▷／◁） キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 次の画面に遷移します。
 “再送回数”画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「1.T1 CNCT-CACK」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「1.T1 CNCT-CACK」表示画面に戻ります。

3.4.20.2 T2 DISC-DCTD (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→2.T2 DISC-DCTD)

T2 DISC-DCTDの設定を行います。



(1) 表示内容

- a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間 (秒) を設定します。
 初期値は現在の設定値です (未設定の場合は “02.0s”)。
 設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
 “25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5” になります。
 “1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0” になります。

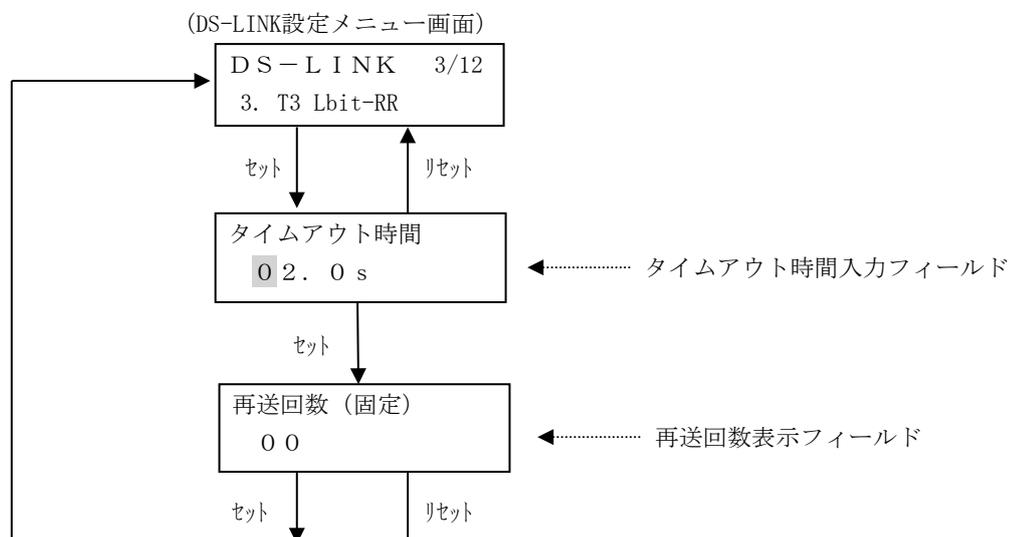
- b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です (未設定の場合は “07”)。
 設定範囲は1～15です。
 “15”を超える値を入力した場合、自動的に”15” になります。
 “00”を入力した場合、自動的に”01” になります。

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 次の画面に遷移します。
 “再送回数”画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「2.T2 DISC-DCTD」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「2.T2 DISC-DCTD」表示画面に戻ります。

3.4.20.3 T3 Lbit-RR (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→3.T3 Lbit-RR)

T3 Lbit-RRの設定を行います。



(1) 表示内容

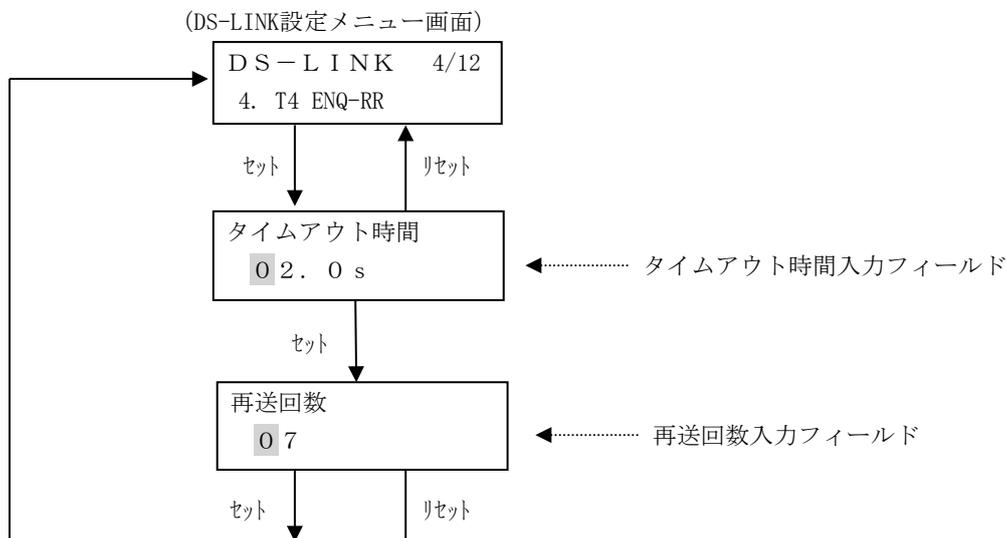
- a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間 (秒) を設定します。
 初期値は現在の設定値です (未設定の場合は “02.0s”)。
 設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
 “25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5” になります。
 “1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0” になります。
- b) 再送回数表示フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は “00” (固定) です。

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 次の画面に遷移します。
 “再送回数” 画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「3.T3 Lbit-RR」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「3.T3 Lbit-RR」表示画面に戻ります。

3.4.20.4 T4 ENQ-RR (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→4.T4 ENQ-RR)

T4 ENQ-RRの設定を行います。



(1) 表示内容

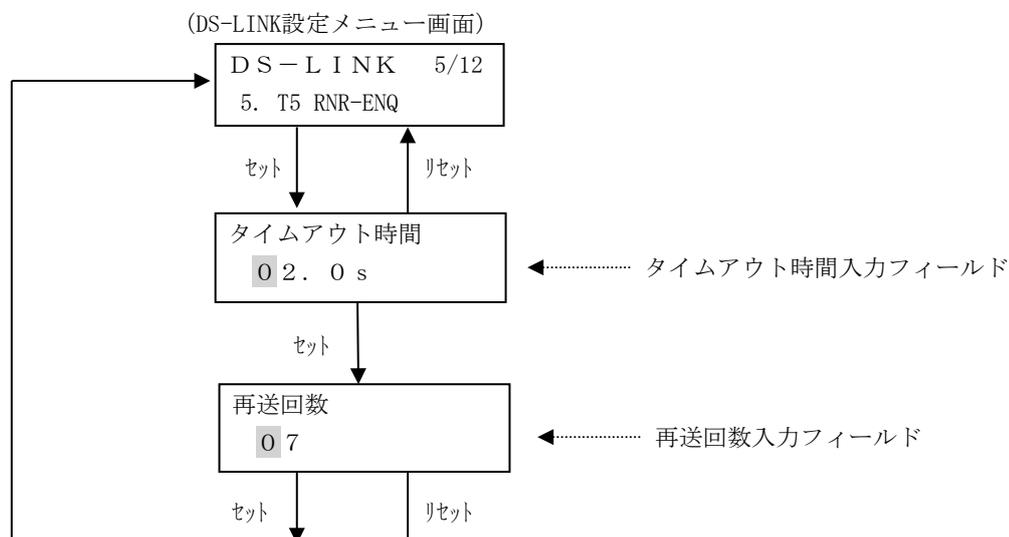
- a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間（秒）を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
 設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
 “25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”になります。
 “1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0”になります。
- b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
 設定範囲は1～15です。
 “15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”になります。
 “00”を入力した場合、自動的に”01”になります。

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 次の画面に遷移します。
 “再送回数”画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「4.T4 ENQ-RR」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「4.T4 ENQ-RR」表示画面に戻ります。

3.4.20.5 T5 RNR-ENQ (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→5.T5 RNR-ENQ)

T5 RNR-ENQの設定を行います。



(1) 表示内容

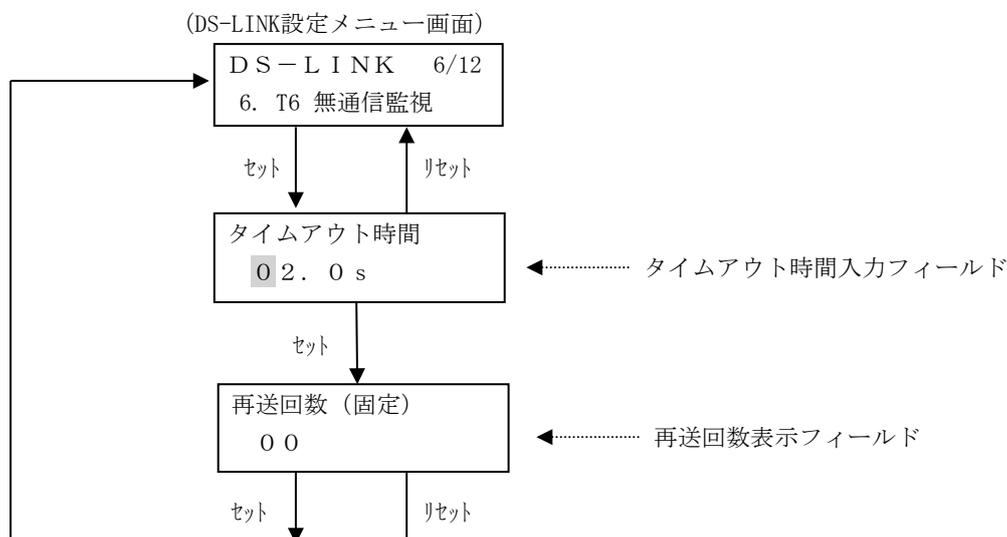
- a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間（秒）を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
 設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
 “25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”になります。
 “1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0”になります。
- b) 再送回数入力フィールド
 再送回数を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
 設定範囲は1～15です。
 “15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”になります。
 “00”を入力した場合、自動的に”01”になります。

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
 カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 次の画面に遷移します。
 “再送回数”画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「5.T5 RNR-ENQ」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「5.T5 RNR-ENQ」表示画面に戻ります。

3.4.20.6 T6 無通信監視（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→6.T6 無通信監視）

T6 無通信監視の設定を行います。



(1) 表示内容

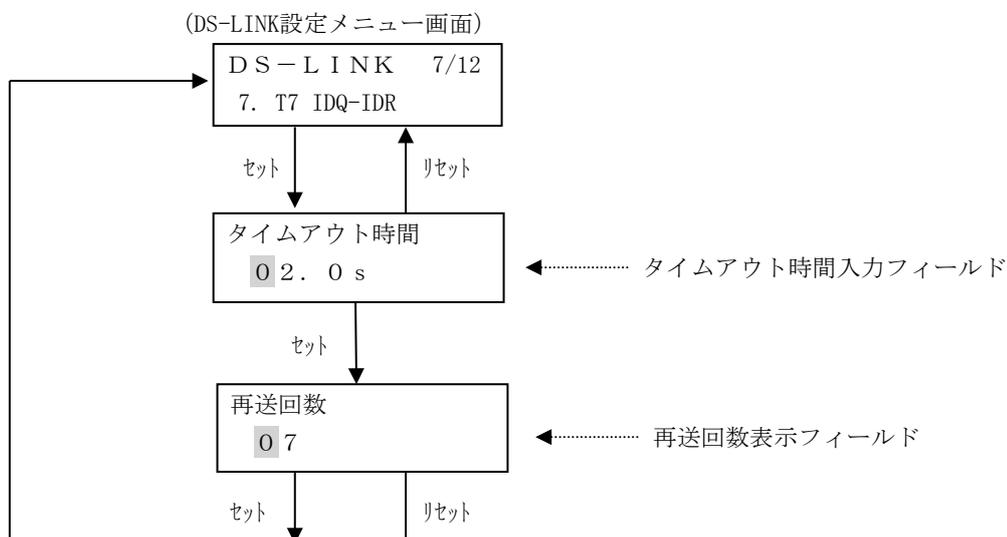
- a) タイムアウト時間入力フィールド
 タイムアウト時間（秒）を設定します。
 初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
 設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
 “25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”になります。
 “1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0”になります。
- b) 再送回数表示フィールド
 再送回数を表示します。
 表示値は“00”（固定）です。

(2) キー機能

- a) セレクト（△／▽） キー
 カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。
- b) セレクト（▷／◁） キー
 カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
 次の画面に遷移します。
 “再送回数”画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「6.T6 無通信監視」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
 入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「6.T6 無通信監視」表示画面に戻ります。

3.4.20.7 T7 IDQ-IDR (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→7.T7 IDQ-IDR)

T7 IDQ-IDRの設定を行います。



(1) 表示内容

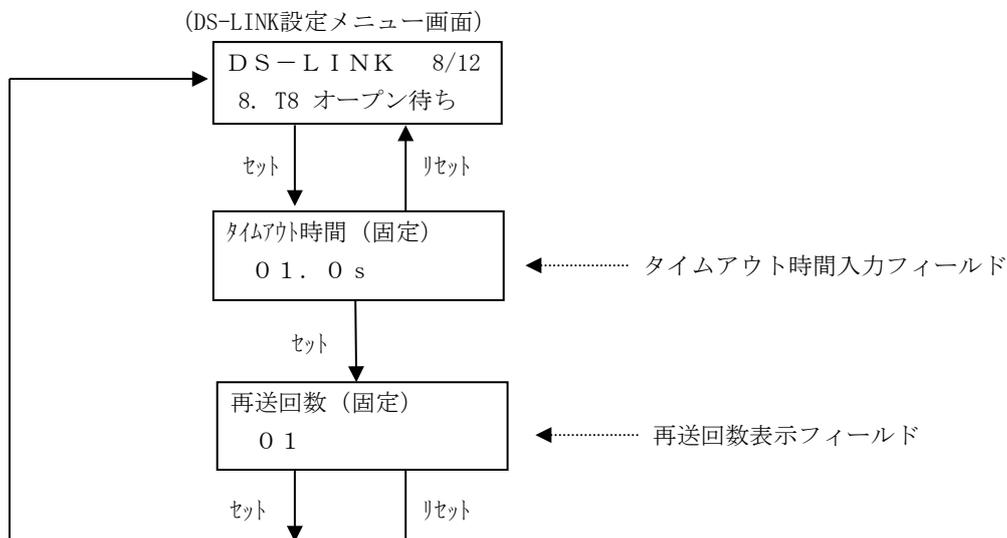
- a) タイムアウト時間入力フィールド
タイムアウト時間（秒）を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“02.0s”）。
設定範囲は1.0秒～25.5秒です。
“25.5”を超える値を入力した場合、自動的に”25.5”になります。
“1.0”より小さい値を入力した場合、自動的に”01.0”になります。
- b) 再送回数入力フィールド
再送回数を設定します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“07”）。
設定範囲は1～15です。
“15”を超える値を入力した場合、自動的に”15”になります。
“00”を入力した場合、自動的に”01”になります。

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
カーソルを左右に一桁移動します。
- c) セット キー
次の画面に遷移します。
“再送回数”画面にて押下した場合は、設定を完了・登録し、DS-LINK設定メニューの「7. T7 IDQ-IDR」表示画面に遷移します。
- d) リセット キー
入力操作を中止し、DS-LINK設定メニューの「7. T7 IDQ-IDR」表示画面に戻ります。

3.4.20.8 T8ポートオープン待ち（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→8.T8オープン待ち）

T8ポートオープン待ちの表示を行います。



(1) 表示内容

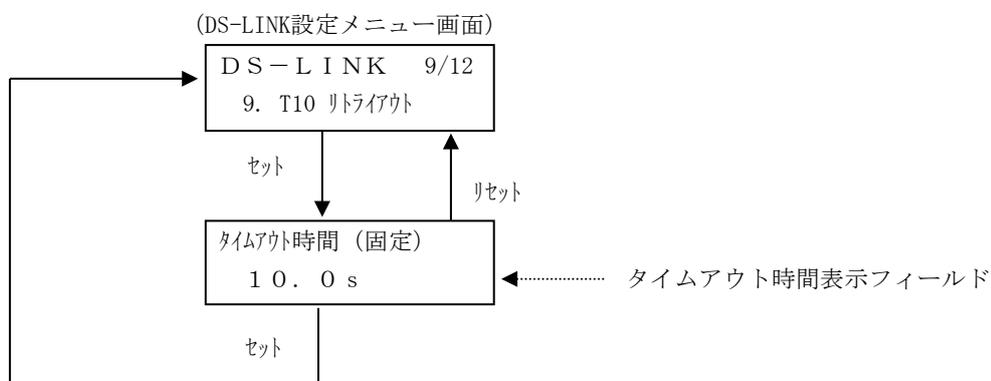
- a) タイムアウト時間表示フィールド
タイムアウト時間（秒）を表示します。
表示値は“01.0s”（固定）です。
- b) 再送回数入力フィールド
再送回数を表示します。
表示値は“01”（固定）です。

(2) キー機能

- a) セット キー
次の画面に遷移します。
“再送回数”画面にて押下した場合は、DS-LINK設定メニューの「8.T8 オープン待ち」表示画面に戻ります。
- b) リセット キー
DS-LINK設定メニューの「8.T8 オープン待ち」表示画面に戻ります。

3.4.20.9 T10 CNCTリトライウト（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→9.T10 リトライウト）

T10 CNCTリトライウトの表示を行います。



(1) 表示内容

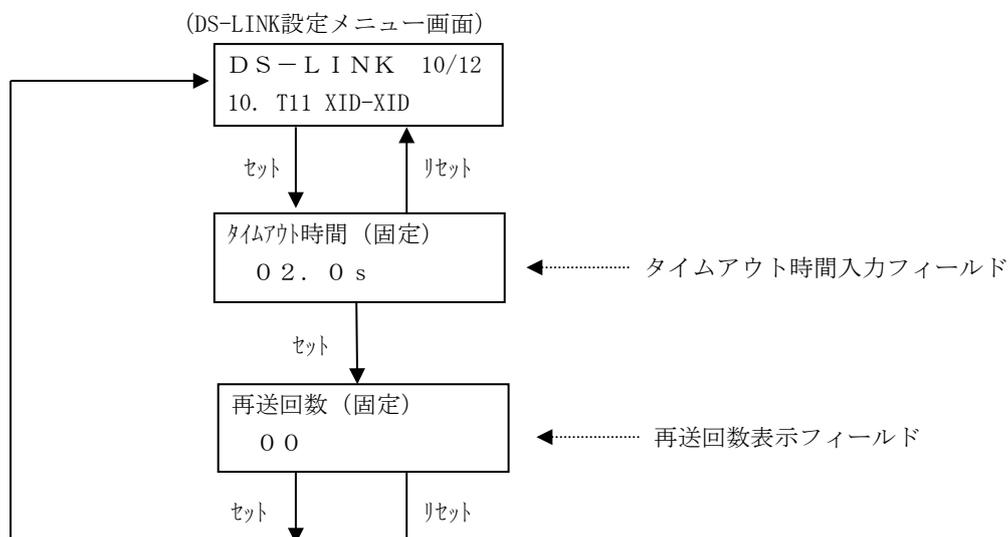
- a) タイムアウト時間表示フィールド
タイムアウト時間（秒）を表示します。
表示値は“10.0s”（固定）です。

(2) キー機能

- a) セット キー
次の画面に遷移します。
“タイムアウト時間”画面にて押下した場合は、DS-LINK設定メニューの「9.T10 リトライウト」表示画面に戻ります。
- b) リセット キー
DS-LINK設定メニューの「9.T10 リトライウト」表示画面に戻ります。

3.4.20.10 T11 XID-XID (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→10.T11 XID-XID)

T11 XID-XIDの表示を行います。



(1) 表示内容

a) タイムアウト時間表示フィールド
タイムアウト時間 (秒) を表示します。
表示値は “02.0s” (固定) です。

b) 再送回数入力フィールド
再送回数を表示します。
表示値は “00” (固定) です。

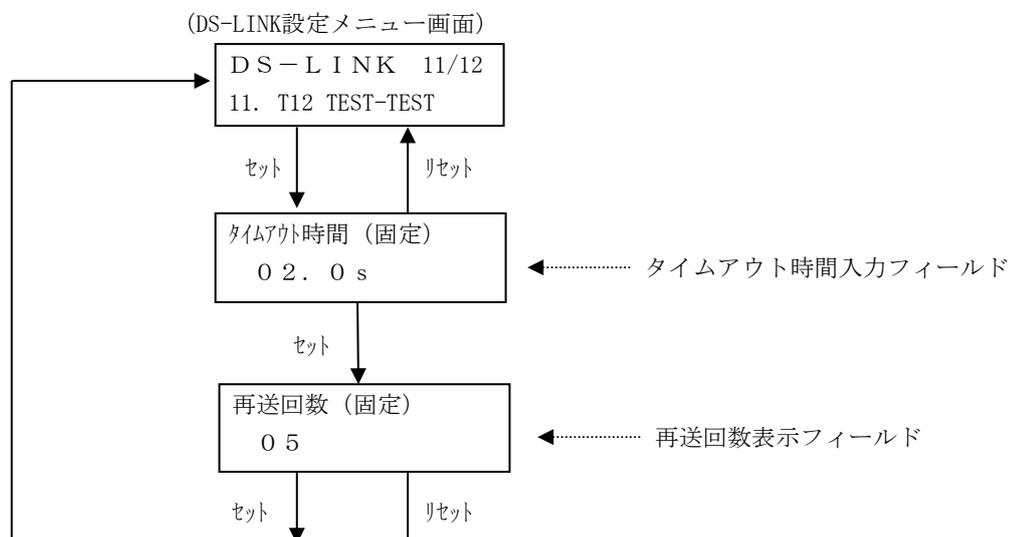
(2) キー機能

a) セット キー
次の画面に遷移します。
“再送回数” 画面にて押下した場合は、DS-LINK設定メニューの
「10.T11 XID-XID」表示画面に戻ります。

b) リセット キー
DS-LINK設定メニューの「10.T11 XID-XID」表示画面に戻ります。

3.4.20.11 T12 TEST-TEST (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→11.T12 TEST-TEST)

T12 TEST-TESTの表示を行います。



(1) 表示内容

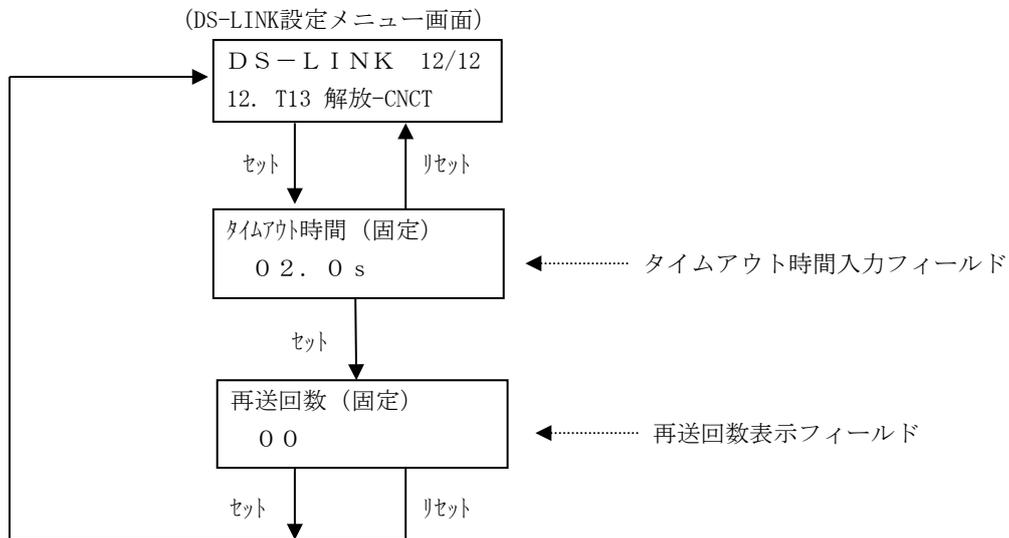
- a) タイムアウト時間表示フィールド
タイムアウト時間 (秒) を表示します。
表示値は“02.0s” (固定) です。
- b) 再送回数入力フィールド
再送回数を表示します。
表示値は“05” (固定) です。

(2) キー機能

- a) セット キー
次の画面に遷移します。
“再送回数”画面にて押下した場合は、DS-LINK設定メニューの「11.T12 TEST-TEST」表示画面に戻ります。
- b) リセット キー
DS-LINK設定メニューの「11.T12 TEST-TEST」表示画面に戻ります。

3.4.20.12 T13 パス解放-CNCT (共通設定→9.環境設定→3.装置環境→6.DS-LINK→12.T13 解放-CNCT)

T13 パス解放-CNCTの表示を行います。



(1) 表示内容

a) タイムアウト時間表示フィールド
タイムアウト時間 (秒) を表示します。
表示値は “02.0s” (固定) です。

b) 再送回数入力フィールド
再送回数を表示します。
表示値は “00” (固定) です。

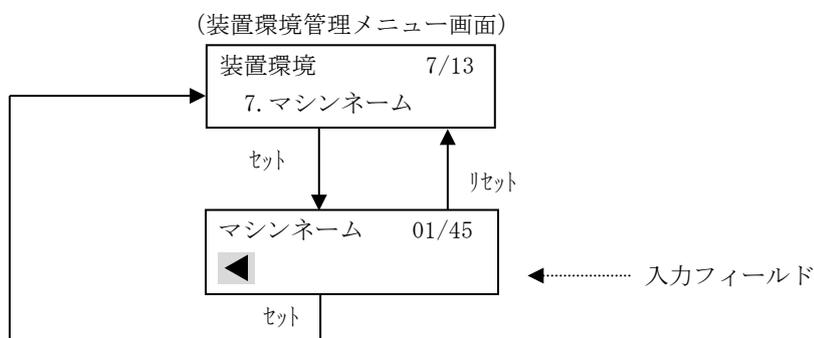
(2) キー機能

a) セット キー
次の画面に遷移します。
“再送回数” 画面にて押下した場合は、DS-LINK設定メニューの
「12.T13 解放-CNCT」表示画面に戻ります。

b) リセット キー
DS-LINK設定メニューの「12.T13 解放-CNCT」表示画面に戻ります。

3.4.21 マシンネーム（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→7.マシンネーム）

マシンネームの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

マシン名の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値（未設定の場合は“VSP4540C*****:グローバルアドレス(MACアドレス)の下6桁”）です。

各桁には、空白、“_”、0~9、a~z、A~Z の文字が入力可能です。

入力可能な最大桁数は45桁です。

入力済みの最後の桁に◀を表示します。

“1文字目に空白文字”または“全桁空白文字”を設定した場合、以下のように表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。

設定に誤りがあります
再設定して下さい

マシン名の途中に空白文字がある場合、自動的に空白文字以降の文字を無効になります。
<例> “ABCD EFG” → “ABCD”

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の文字を変更します (△:次候補、▽:前候補)。

b) セレクト (▷/◁) キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

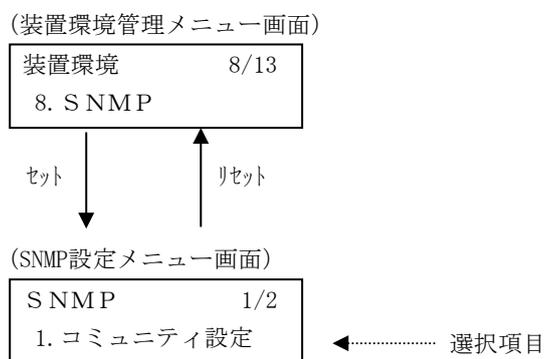
現在の画面の指定値を確定させ、装置環境管理メニューの「7.マシンネーム」表示画面に戻ります。

d) リセット キー

設定を中止し、装置環境管理メニューの「7.マシンネーム」表示画面に戻ります。

3.4.22 SNMP（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP）

SNMP関連の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. コミュニティ設定 : コミュニティ名の設定
- ② 2. トラップ通知先 : トラップ通知先の設定

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

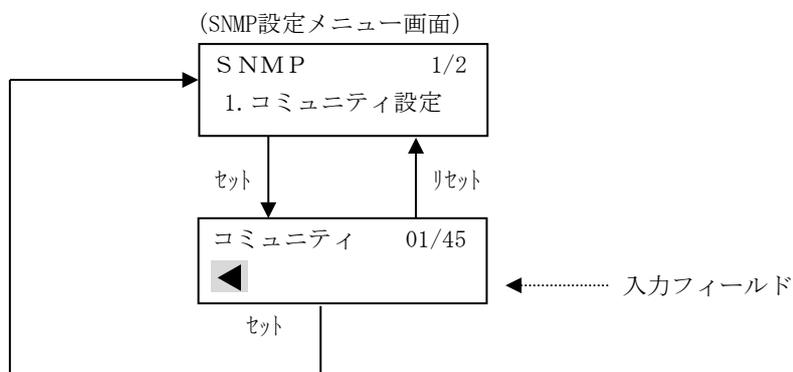
選択されている設定項目画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、装置環境管理メニューの「8. SNMP」表示画面に戻ります。

3.4.22.1 コミュニティ設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP→1.コミュニティ設定）

コミュニティ名の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

コミュニティ名の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値（未設定の場合は、NULL）です。

各桁には、空白、“_”、0～9、a～z、A～Z の文字が入力可能です。

入力可能な最大桁数は45桁です。

入力済みの最後の桁に ◀ を表示します。

“1文字目に空白文字”または“全桁空白文字”を設定した場合、自動的に NULL になります。

コミュニティ名の途中に空白文字がある場合、自動的に空白文字以降の文字を無効になります。

<例> “ABCD EFG” → “ABCD”

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の文字を変更します (△：次候補、▽：前候補)。

b) セレクト (▷/◁) キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

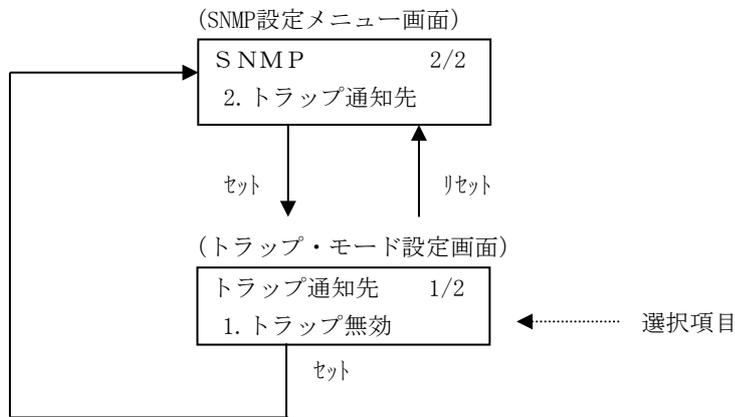
選択された項目を確定し、SNMP設定メニューの「1. コミュニティ設定」表示画面に戻ります。

d) リセット キー

選択を中止し、SNMP設定メニューの「1. コミュニティ設定」表示画面に戻ります。

3.4.22.2 トラップ通知先（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→8.SNMP→2.トラップ通知先）

トラップ通知先の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. トラップ無効 : トラップが無効になります。
- ② 2. トラップ有効 : トラップを有効とし、トラップ通知先を設定します。

※ 現在の設定値の左には‘*’を表示します。

デフォルト値は“トラップ無効”です。

“トラップ無効”選択時、以降の設定項目はすべてデフォルト値

(通知先アドレス 000.000.000.000)に戻ります。

また“トラップ有効”選択時、トラップ通知先1～4がいずれも設定されていない

(通知先アドレスが000.000.000.000)場合には、トラップ通知を行いません。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている項目を確定し、

- ・トラップ無効選択時

SNMP設定メニューの「2. トラップ通知先」表示画面に戻ります。

- ・トラップ有効選択時

トラップ通知先選択画面に遷移します。

c) リセット キー

設定を中止し、SNMP設定メニューの「2. トラップ通知先」表示画面に戻ります。

3.4.22.3 トラップ通知先選択

トラップ通知先を選択します。

(トラップ・モード設定画面)

トラップ通知先	2/2
2. トラップ有効	

セット ↓ ↑ リセット

(トラップ通知先選択画面)

トラップ通知先設定	1/4
1. 通知先 1	

←…………… 選択項目

(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 通知先 1 : トラップ通知先1の設定を行います。
- ② 2. 通知先 2 : トラップ通知先2の設定を行います。
- ③ 3. 通知先 3 : トラップ通知先3の設定を行います。
- ④ 4. 通知先 4 : トラップ通知先4の設定を行います。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

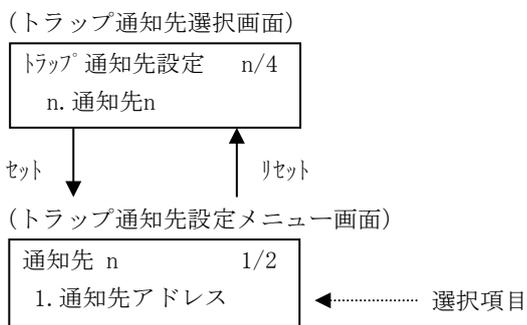
個々の設定画面に遷移します。

c) リセット キー

設定を中止し、トラップ・モード設定画面に戻ります。

3.4.22.4 トラップ通知先設定メニュー

トラップ通知先の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 通知先アドレス : トラップ通知先アドレスを設定します。
 - ② 2. トラップ設定 : トラップの個々の設定します。
- 「n」は「1」～「4」の数字が表示されます。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

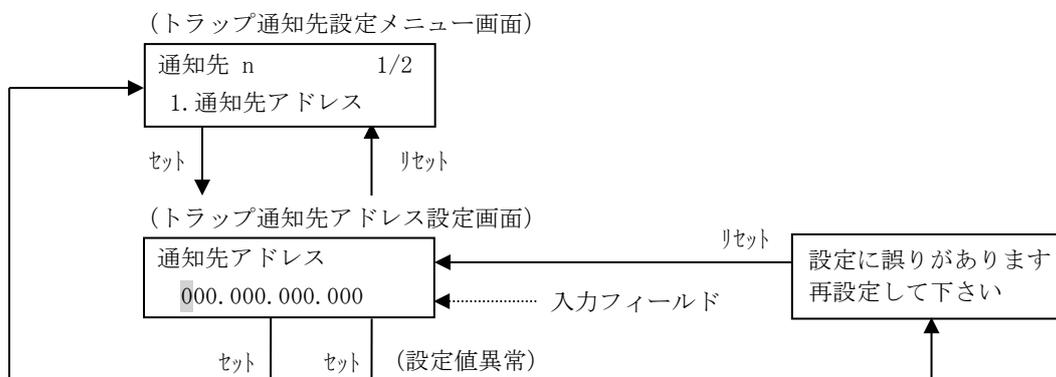
個々の設定画面に遷移します。

c) リセット キー

設定を中止し、トラップ通知先選択画面に戻ります。

3.4.22.5 トラップ通知先アドレス設定

トラップ通知先のアドレス設定を行います。



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

トラップ通知先アドレスの入力値を表示します。
初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。
百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。
255を超える値は入力できません。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223になります。

ローカルアドレス“127.000.000.001”を設定した場合は、指定誤り画面を表示しますので、リセットキー押下後、再度設定してください。

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト (▷/◁) キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

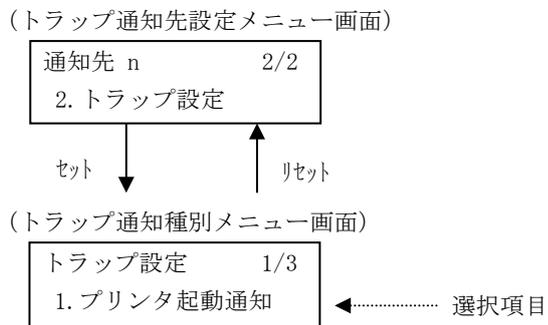
現在の画面の設定値を確定させ、トラップ通知先設定メニューの「1. 通知先アドレス」表示画面に戻ります。

d) リセット キー

選択を中止し、トラップ通知先設定メニューの「1. 通知先アドレス」表示画面に戻ります。

3.4.22.6 トラップ通知種別設定

トラップ通知種別の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. プリンタ起動通知 : プリンタ起動通知の有効/無効を設定します。
- ② 2. コミュニティ違反設定 : コミュニティ違反通知の有効/無効を設定します。
- ③ 3. 通知レベル : プリンタ状態の通知レベルを設定します。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

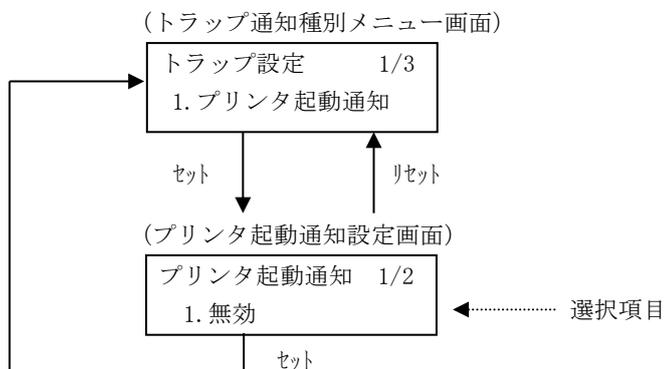
個々の設定画面に遷移します。

c) リセット キー

トラップ通知先設定メニュー画面の「2. トラップ設定」表示画面に戻ります。

3.4.22.7 プリンタ起動通知設定

プリンタ起動通知の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 無効 : プリンタ起動通知を無効にします
 - ② 2. 有効 : プリンタ起動通知を有効にします
- ※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“無効”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている項目を確定し、トラップ通知種別メニューの

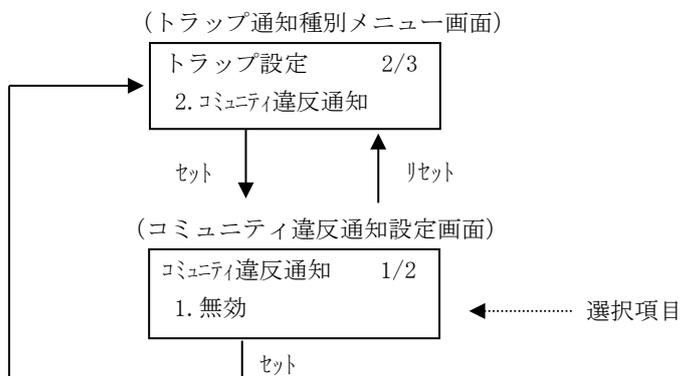
「1. プリンタ起動通知」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

設定を中止し、トラップ通知種別メニューの「1. プリンタ起動通知」表示画面に戻ります。

3.4.22.8 コミュニティ違反通知設定

コミュニティ違反通知の有効/無効を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 無効 : コミュニティ違反通知を無効にします
 - ② 2. 有効 : コミュニティ違反通知を有効にします
- ※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“無効”です。

有効選択時にコミュニティ名がNULL状態だった場合、以下のように表示します。
リセットキー押下で、トラップ通知種別メニューの「2. コミュニティ違反通知」表示画面に戻ります。

コミュニティ未設定のため
コミュニティ無効に設定変更

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。
最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

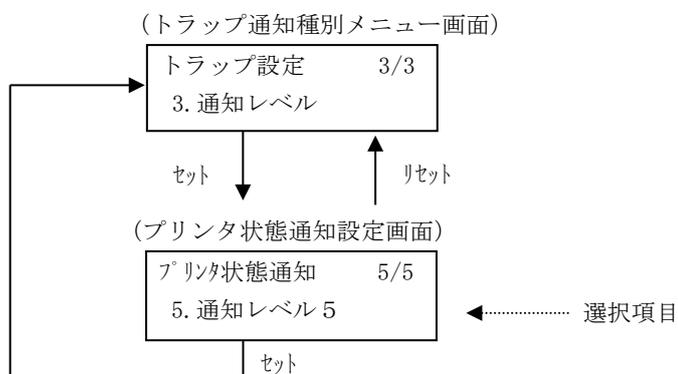
選択されている項目を確定し、トラップ通知種別メニューの
「2. コミュニティ違反通知」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

設定を中止し、トラップ通知種別メニューの「2. コミュニティ違反通知」表示画面に戻ります。

3.4.22.9 プリンタ状態通知レベル設定

プリンタ状態通知レベルの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 通知レベル 1 : プリンタ状態通知レベルを 1 に設定します
- ② 2. 通知レベル 2 : プリンタ状態通知レベルを 2 に設定します
- ③ 3. 通知レベル 3 : プリンタ状態通知レベルを 3 に設定します
- ④ 4. 通知レベル 4 : プリンタ状態通知レベルを 4 に設定します
- ⑤ 5. 通知レベル 5 : プリンタ状態通知レベルを 5 に設定します

※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“通知レベル 5”です。

各通知レベルの詳細は「3.8.3 SNMP機能 (3)本装置のサポートするSNMP」を参照。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている項目を確定し、トラップ通知種別メニューの

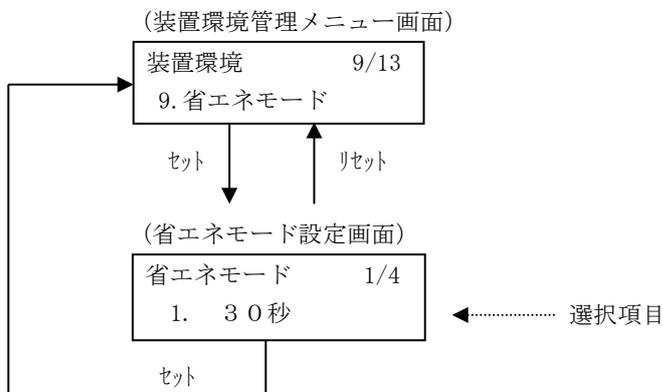
「3. 通知レベル」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

設定を中止し、トラップ通知種別メニューの「3. 通知レベル」表示画面に戻ります。

3.4.23 省エネモード設定（共通設定→9. 環境設定→3. 装置環境→9. 省エネモード）

省エネモードに遷移するまでの待機時間の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 30秒 : 省エネモードに遷移するまでの時間を30秒に設定します。
- ② 2. 10分 : 省エネモードに遷移するまでの時間を10分に設定します。
- ③ 3. 30分 : 省エネモードに遷移するまでの時間を30分に設定します。
- ④ 4. 60分 : 省エネモードに遷移するまでの時間を60分に設定します。

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“30秒”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

b) セット キー

現在の選択内容を登録し、装置環境管理メニューの「9. 省エネモード」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択操作を中止し、装置環境管理メニューの「9. 省エネモード」表示画面に戻ります。

(3) 省エネモードの表示

- ・設定した待機時間を経過した場合、以下の画面を表示し、省エネモードへ遷移します。
- ・省エネモード中は、操作パネルのLCD表示を消去し、バックライトを消灯します。

省エネモード遷移中。
キー操作は無効です



- ・電源/省エネ解除キーLED：点滅
- ・電源/省エネ解除キー以外のすべてのLED：消灯

- ・電源/省エネ解除キー押下で解除できます（電源/省エネ解除キー以外の解除条件は(4)項参照）。
省エネモードからの復帰中は以下の画面を表示します。

省エネモード解除中
キー操作は無効です

(4) 省エネモード遷移／解除条件

- ・省エネモードへの遷移は、省エネモード設定で設定された時間、プリンタを使用しないと省エネモードに切り換わります。

ただし、以下の場合には、省エネモードに遷移しません。

- ① 印刷データ保持中
- ② データ受信時
- ③ SNDCG受信時
- ④ VSPリクエストからのダウンロード中および再接続中
- ⑤ 異常発生時
- ⑥ セットアップモード中
- ⑦ 6680-NMC接続にて接続不可が発生したとき
- ⑧ プリンタストップ中
- ⑨ スタート画面での有効なキー押下時
- ⑩ 割込印刷のWait表示中

※ 6680-NMC接続時、省エネモード設定が30秒の場合、立ち上げ時は、最初の印刷起動までの処理時間を考慮し、省エネモード遷移までの時間を5分延長します。

- ・省エネモードの解除は以下の要因発生で行われます。

- ① パネル操作による「省エネ解除」キー押下
- ② 印刷データ受信時
- ② SNDCG受信時
- ③ 外字登録時 (FNP)
- ⑤ リモートパワーオフ時 (69XX)
- ⑥ メカからエラーが通知された場合
- ⑦ PrintWalker/EMからのリモートパワーオフ

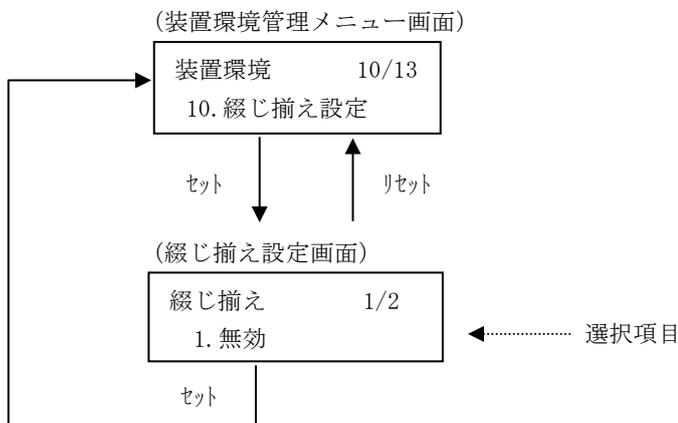
(5) 省エネモードタイマー起動契機

省エネモード有効の場合の待機時間でのタイマーを起動するのは以下のタイミングです。

- ・装置の I P L 時
- ・タイマーが起動され、待機時間経過時、省エネモード遷移条件にて遷移不可となった場合、再度待機時間にてタイマーを起動します。
- ・各ページの印刷起動時
- ・装置がスタート状態になったとき
- ・スタート画面にて有効なキーが押下されたとき

3.4.24 綴じ揃え設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→10.綴じ揃え設定）

FMとF69XXエミュレーションにおいて、綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 無効 : 綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を無効にします
- ② 2. 有効 : 綴じ用紙の印刷方向を揃える機能を有効にします

※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“無効”です。

本機能の詳細については「付録8 綴じ方向揃えについて」を参照してください。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

b) セット キー

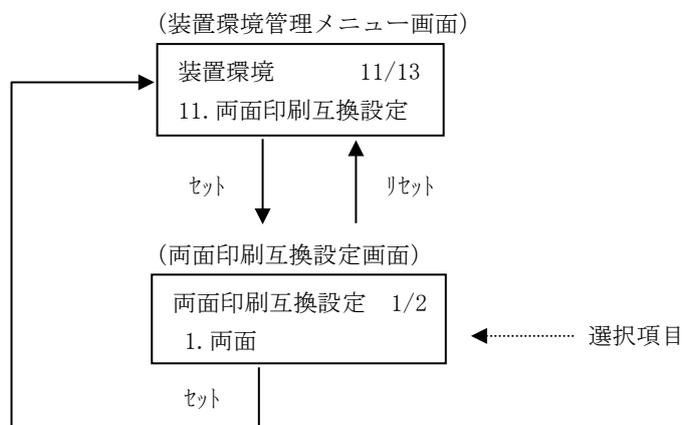
現在の選択内容を登録し、装置環境管理メニューの「10. 綴じ揃え設定」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択操作を中止し、装置環境管理メニューの「10. 綴じ揃え設定」表示画面に戻ります。

3.4.25 両面印刷互換設定（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→11.両面印刷互換設定）

片面・両面印刷のデフォルト設定について 両面/従来互換(片面)を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 両面 : 片面・両面印刷のデフォルトを両面にします。
- ② 2. 従来互換 : 片面・両面印刷のデフォルトを従来互換（片面）にします。

※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。
デフォルト値は「両面」です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

b) セット キー

現在の選択内容を登録し、装置環境管理メニューの「11. 両面印刷互換設定」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

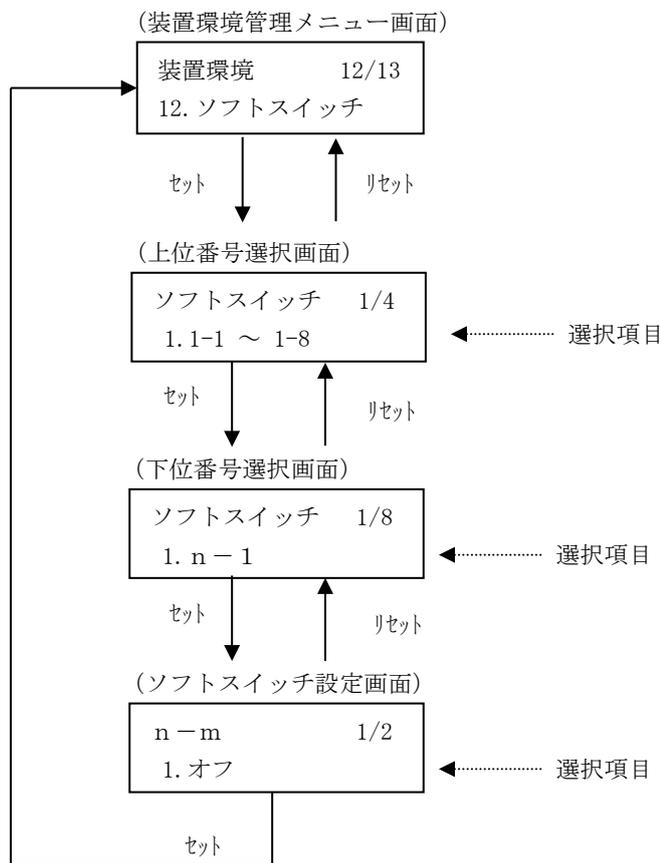
選択操作を中止し、装置環境管理メニューの「11. 両面印刷互換設定」表示画面に戻ります。

注意：本設定を「両面」から「従来互換」に変更した場合は、FMの両面印刷設定は、各論理プリンタとも「解除」になります。
また、「従来互換」から「両面」に変更すると「普通綴じ」に変更になります。

3.4.26 ソフトスイッチ（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→12.ソフトスイッチ）

装置の振る舞いを変更する特殊設定を行います。

重要 保守員が装置のメンテナンスをするために使用するものです。
保守員の指示なしで変更しないでください。



(1) 表示内容

a) 選択項目（上位番号選択画面）

- ① 1. 1-1 ~ 1-8 : ソフトスイッチの「1-1」～「1-8」までの設定を行います
- ② 2. 2-1 ~ 2-8 : ソフトスイッチの「2-1」～「2-8」までの設定を行います
- ③ 3. 3-1 ~ 3-8 : ソフトスイッチの「3-1」～「3-8」までの設定を行います
- ④ 4. 4-1 ~ 4-8 : ソフトスイッチの「4-1」～「4-8」までの設定を行います

※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“無効”です。

b) 選択項目（下位番号選択画面）

- ① 1. n-1 : ソフトスイッチの「n-1」を設定します
- ② 2. n-2 : ソフトスイッチの「n-2」を設定します
- ③ 3. n-3 : ソフトスイッチの「n-3」を設定します
- ④ 4. n-4 : ソフトスイッチの「n-4」を設定します
- ⑤ 5. n-5 : ソフトスイッチの「n-5」を設定します
- ⑥ 6. n-6 : ソフトスイッチの「n-6」を設定します
- ⑦ 7. n-7 : ソフトスイッチの「n-7」を設定します
- ⑧ 8. n-8 : ソフトスイッチの「n-8」を設定します

※ 「n」には上位番号選択画面で選択された「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかが当てはまります。

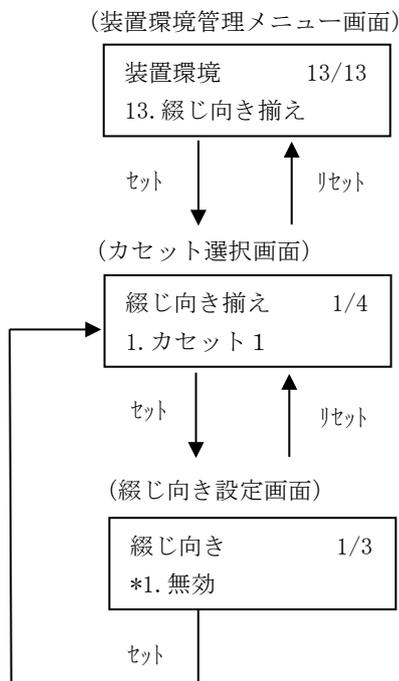
- c) 選択項目（ソフトスイッチ設定画面）
- ① 1. オフ : ソフトスイッチの該当する番号の設定をオフにします。
 - ② 2. オン : ソフトスイッチの該当する番号の設定をオンにします。
- ※ 「n」には上位番号選択画面で選択された「1」～「4」のいずれかが当てはまります。
「m」には下位番号選択画面で選択された「1」～「8」のいずれかが当てはまります。

(2) キー機能

- a) セレクト▽ (△) キー
- 次の（直前の）選択項目を表示します。
最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。
- b) セット キー
- ・装置環境管理メニュー画面
上位番号選択画面に遷移します。
 - ・上位番号選択画面
現在の選択内容（上位番号）に該当する、下位番号選択画面に遷移します。
 - ・下位番号選択画面
現在の選択内容（上位番号と下位番号）に該当する、ソフトスイッチ設定画面に遷移します。
 - ・ソフトスイッチ設定画面
本キー押下により、選択された項目の左側に『*』を表示して、装置環境管理メニューの「11. ソフトスイッチ」表示画面に戻ります。
- c) リセット キー
- ・上位番号選択画面
選択操作を中止し、装置環境管理メニューの「12. ソフトスイッチ」表示画面に戻ります。
 - ・下位番号選択画面
選択操作を中止し、上位番号選択画面に戻ります。
 - ・ソフトスイッチ設定画面
選択操作を中止し、下位番号選択画面に戻ります。

3.4.27 綴じ向き揃え（共通設定→9.環境設定→3.装置環境→13.綴じ向き揃え）

各カセットの綴じ向き揃えを設定する。



(1) 表示内容

a) カセット選択画面

綴じ向き揃え設定を行うカセットを表示します。

- ① 1.カセット1
- ② 2.カセット2
- ③ 3.カセット3
- ④ 4.カセット4

※カセット2～カセット4は装着されているもののみ表示します。

b) 選択項目

選択されたカセットの綴じ向きの選択肢を表示します。

- ① 1.無効
- ② 2.長辺綴じ1 : 180度回転無し
- ③ 3.長辺綴じ2 : 180度回転有り
- ④ 4.短辺綴じ1 : 180度回転無し
- ⑤ 5.短辺綴じ2 : 180度回転有り

※現在の設定内容の左には「*」を表示します。

デフォルト値は、カセット1～カセット4で「無効」です。

本機能の詳細については「付録9 綴じ向き揃えについて」を参照してください。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

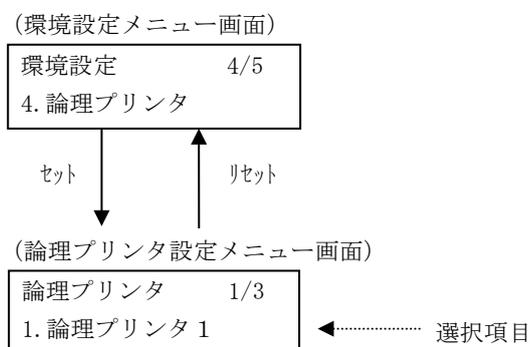
・カセット選択画面

選択したカセットの綴じ向き設定画面に遷移します。

- ・綴じ向き設定画面
現在の選択内容を登録し、カセット選択画面に遷移します。
- c) リセット キー
 - ・カセット選択画面
選択操作を中止し、装置環境管理メニューの「13. 綴じ向き揃え」表示画面に戻ります。
 - ・綴じ向き設定画面
選択操作を中止し、カセット選択画面に戻ります。

3.4.28 論理プリンタ（共通設定→9.環境設定→4.論理プリンタ）

論理プリンタ環境の設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 論理プリンタ 1 : 論理プリンタ 1 の環境設定
- ② 2. 論理プリンタ 2 : 論理プリンタ 2 の環境設定
- ③ 3. 論理プリンタ 3 : 論理プリンタ 3 の環境設定

b) 選択不可エラー

選択した論理プリンタが選択不可だった場合、以下のエラーメッセージを表示します。
 拡張出力機構が未搭載時、2つ目の論理プリンタを選択したとき

選択不可
 拡張出力機構なし

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

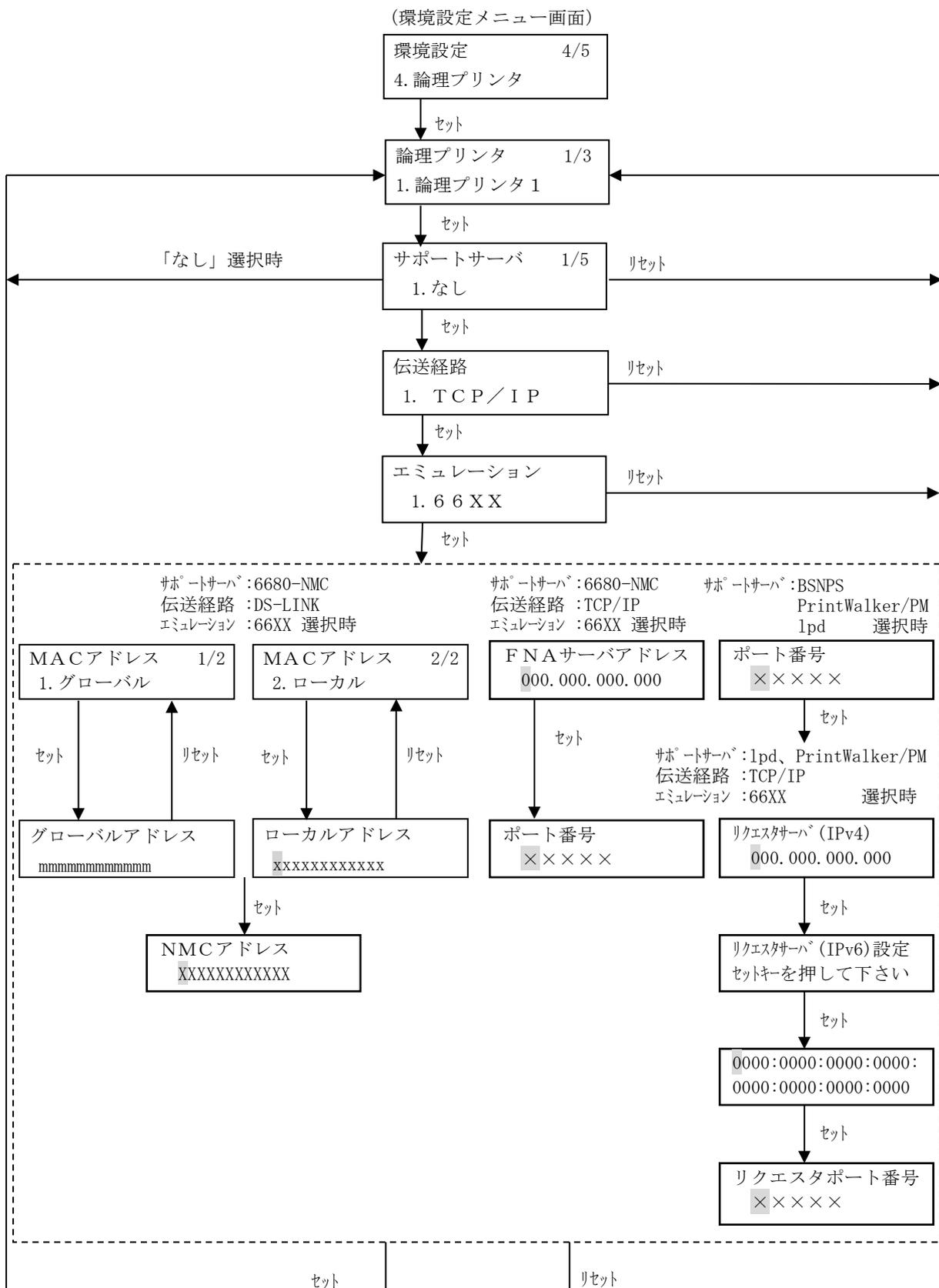
b) セット キー

選択されているセットアップ画面に遷移します。

c) リセット キー

論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.28.1 画面遷移



3.4.28.2 有効な選択項目

- 各サポートサーバにおいて選択可能な伝送経路、エミュレーション

サポートサーバ	伝送経路	エミュレーション
6680-NMC	DS-LINK TCP/IP	66XX *1
BSNPS	TCP/IP	66XX *1 69XX *2 FM
lpd	TCP/IP	66XX *1 FM
PrintWalker/PM	TCP/IP	66XX *1 FM

*1: GS連携機構 (VSP4540GS) 当該オプションの搭載が必要

*2: 拡張出力機構 (VSP4540EX) 当該オプションの搭載が必要

- エミュレーションごとの設定可能論理プリンタ数

	エミュレーション	拡張出力機構 (VSP4540EX)	
	サポートサーバ	なし	あり
論理プリンタ設定数 (MAX)		1	3
66XX *1	6680-NMC	1	1 *2
	BSNPS PrintWalker/PM lpd	1	1 *2
	69XX	不可	1 *2
FM		1 *3	3

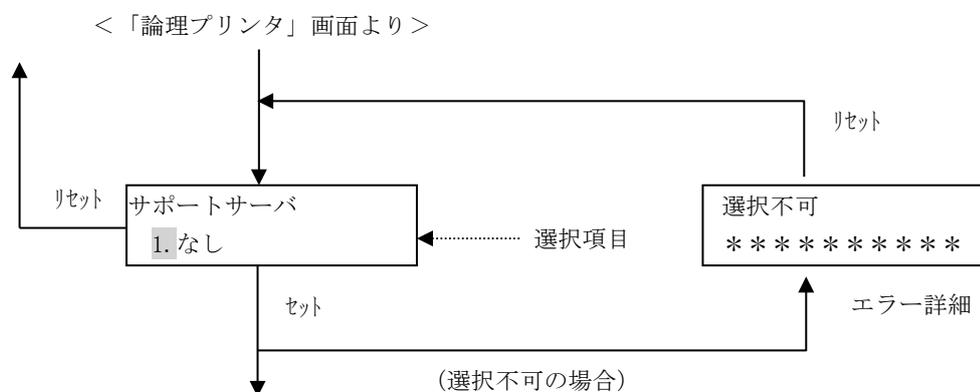
*1 GS連携機構 (VSP4540GS) オプションの搭載が必要

*2 66XXと69XXの合計が2を超えないこと

*3 1200dpiの印刷は行えません

3.4.28.3 サポートサーバ

サポートサーバを選択します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. なし
- ② 2. 6680-NMC *1
- ③ 3. BSNPS
- ④ 4. l p d
- ⑤ 5. PrintWalker/PM

※ 現在の設定値の左には「*」を表示します。

*1 GS連携機構オプション搭載時のみ選択可能です。

b) エラー詳細

以下の選択不可の場合にエラー詳細を表示します。

- ① 設定可能最大数オーバー : 拡張出力機構およびGS連携機構搭載時、2つ目の「6680-NMC」を選択したとき

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

次のメニュー(伝送経路)に遷移します。

「1. なし」を選択した場合は設定を確定し、論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

その他の項目を選択した場合、伝送経路の選択画面に戻ります。

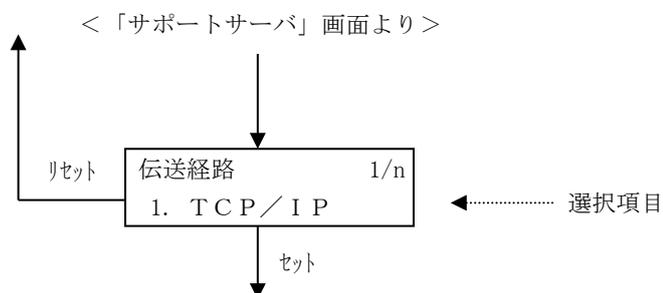
選択不可な項目の場合、エラー表示画面となり「リセット」キー押下にてサポートサーバの選択画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.28.4 伝送経路

伝送経路を選択します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

サポートサーバ設定により、選択可能な項目が変わります。

・サポートサーバが「6680-NMC」の場合

① 1. DS-LINK

② 2. TCP/IP

・サポートサーバが「BSNPS」、「lpd」、「PrintWalker/PM」の場合

① 1. TCP/IP

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

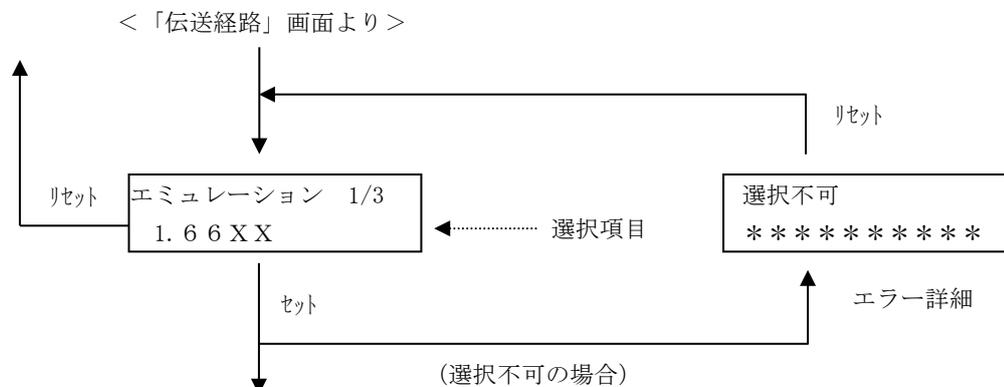
エミュレーションの選択画面に遷移します。

c) リセット キー

設定を中止し、論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.28.5 エミュレーション

エミュレーションの選択を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 6 6 X X *1
- ② 2. 6 9 X X
- ③ 3. FM

*1 GS連携機構 (VSP4540GS) オプション搭載時のみ表示します。

※ 現在の設定内容の左には ‘*’ を表示します。

※ サポートサーバ設定により選択できない項目は表示されません。

詳細については「3.4.26.2 有効な選択項目」を参照ください。

b) エラー詳細

以下の選択不可の場合にエラー詳細を表示します。

- ① 拡張出力機構なし : 拡張出力機構が未搭載時、「6 9 X X」を選択したとき
- ② 最大数オーバ : 拡張出力機構搭載時、2つ目の「6 9 X X」を選択したとき
または、拡張出力機構およびGS連携機構搭載時、
1) 2つ目の「6 6 X X」スプール連携を選択したとき
2) 6 6 X Xと6 9 X Xの合計が2を超えた場合

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

- ・サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：DS-LINK、エミュレーション：66XX の場合
MACアドレス設定画面に遷移します。

- ・サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：TCP/IP、エミュレーション：66XX の場合
FNAサーバアドレス設定画面に遷移します。

- ・サポートサーバ：BSNPS、lpd、PrintWalker/PM の場合
ポート番号設定画面に遷移します。

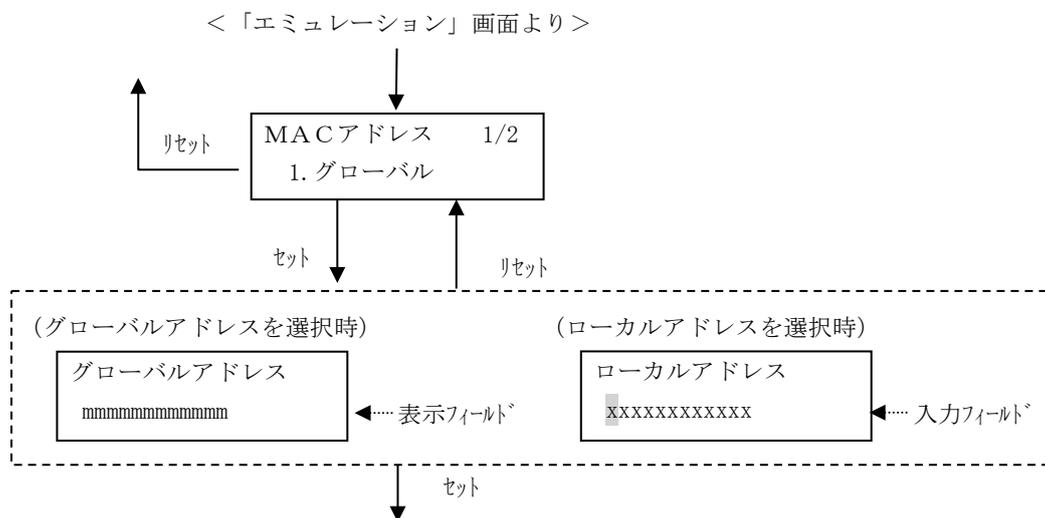
c) リセット キー

設定を中止し、論理プリンタ選択メニュー画面に戻ります。

3.4.28.6 MACアドレスの設定

MACアドレスの表示または設定を行います。

本画面は、サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：DS-LINK、エミュレーション：66XX
 選択時に表示されます。



(1) 表示内容

a) MACアドレス

- ① 1. グローバルアドレス
- ② 2. ローカルアドレス

※ 現在の設定値の左には“*”を表示します（未設定の場合は“グローバルアドレス”）。

b) 表示フィールド

グローバルアドレス値を表示します。

c) 入力フィールド

ローカルアドレスの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値（未設定の場合は“020000000000”）です。

左から2桁目には（2、6、A、E）、その他の桁には0～Fの文字が入力可能です。

（注意事項）

DS-LINKローカルアドレス設定後、その論理プリンタを削除した場合は、MACアドレスはグローバルアドレスに戻ります。

(2) キー機能

a) 上（下） キー

“MACアドレス”画面において、次の（直前の）選択項目を指定します。

“ローカルアドレス”画面において、カーソルの桁位置の入力次候補（前候補）を指定します。

b) 右（左） キー

“ローカルアドレス”画面において、カーソルを右（左）に一桁移動させる。

c) セット キー

現在の画面の指定値を確定させ、次の画面に移動します。

“ローカルアドレス”および“グローバルアドレス”画面において押下した場合は、設定を完了・登録し、NMCアドレス設定画面に移動します。

d) リセット キー

設定を中止し、論理プリンタ選択メニュー画面に戻ります。

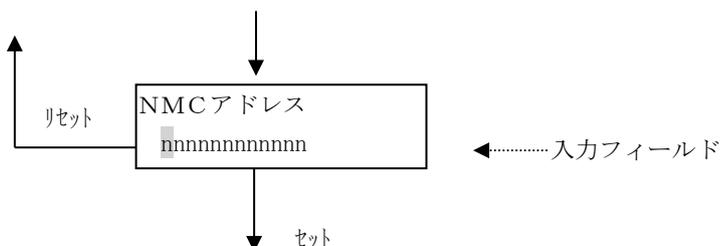
“ローカルアドレス”および“グローバルアドレス”画面において押下した場合は、設定を中止し、“MACアドレス”画面に戻ります。

3.4.28.7 NMCアドレスの設定

NMCアドレスを設定します。

本画面は、サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：DS-LINK、エミュレーション：66XX
選択時に表示されます。

<「グローバルアドレス」または「ローカルアドレス」画面より>



(1) 表示内容

a) 入力フィールド

NMCの入力値を表示します。

初期値は、現在の設定値（未設定の場合は“020000000000”）です。

左から2桁目には（0、2、4、6、8、A、C、E）、その他の桁には0～Fの文字が入力可能です。

255を越える値を入力した場合、255が指定されたものとみなします。

(2) キー機能

a) セレクト（△／▽） キー

カーソルのある桁の入力項補を変更します。

b) セレクト（▷／◁） キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

次の画面に遷移します。

設定を確定させ、論理プリンタ設定メニュー画面に遷移します。

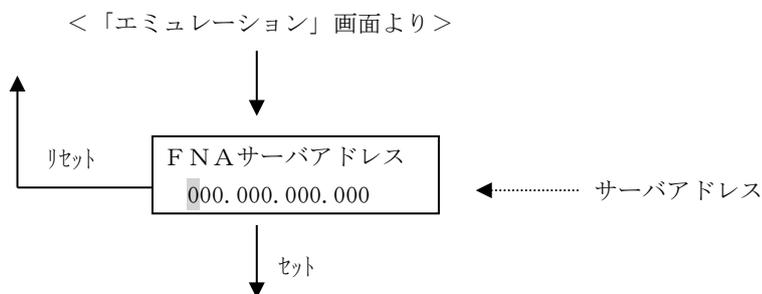
d) リセット キー

入力操作を中止し、論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.28.8 FNAサーバアドレスの設定

FNAサーバアドレスを設定します。

本画面は、サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：TCP/IP、エミュレーション：66XX
選択時に表示されます。



(1) 表示内容

a) サーバアドレス

FNAサーバアドレスを指定します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“000.000.000.000”）。

百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。

255を超える値は入力できません。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223になります。

(2) キー機能

a) セレクト（△／▽） キー

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト（▷／◁） キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

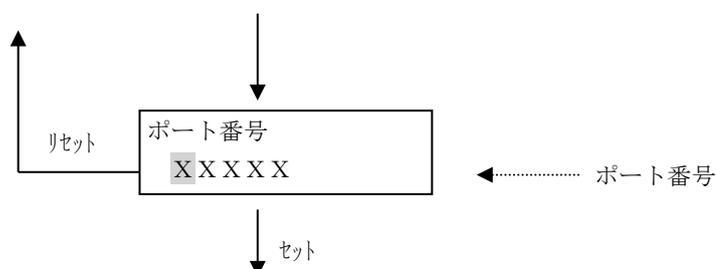
FNAサーバアドレスを確定させ、ポート番号設定画面に遷移します。

d) リセット キー

設定を中止し、論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.28.9 ポート番号の設定

使用するポート番号を設定します。
本画面は、伝送経路：TCP/IPの場合に表示されます。



(1) 表示内容

a) ポート番号

ポート番号の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です。

未設定の場合はサポートサーバ設定により以下のようになります。

- ・ FNAサーバ(6680-NMC) : 00747
- ・ BSNPS : 09313
- ・ lpd : 00515
- ・ PrintWalker/PM : 09313

万の位は0～6、千、百、十、一の位は0～9の数字が入力可能です。

65535を超える値を入力した場合、65535が指定されたものとみなします。

00000を入力した場合、00001が指定されたものとみなします。

(2) キー機能

a) セレクト (△/▽) キー

カーソルのある桁の数字を変更します (△：数字の増加、▽：数字の減少)。

b) セレクト (▷/◁) キー

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

ポート番号を確定させ、リクエストサーバアドレス画面に遷移します。

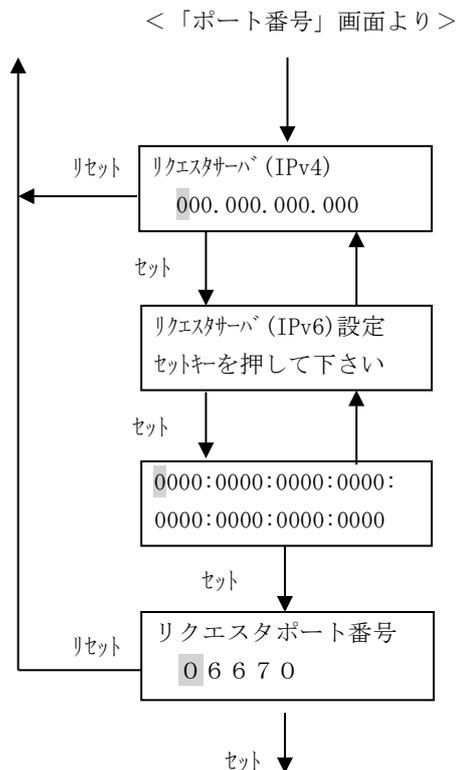
d) リセット キー

設定を中止し、論理プリンタ設定メニュー画面に戻ります。

3.4.28.10 リクエストサーバアドレスの設定

リクエストサーバのアドレスを設定します。

本画面は、サポートサーバ：PrintWalker/PMまたはlpd、伝送経路：TCP/IP、エミュレーション：66XX選択時に表示されます。



(1) 表示内容

a) リクエストサーバ (IPv4)

リクエストサーバアドレス (IPv4) の入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値です (未設定の場合は “000.000.000.000”)。
 百の位は0～2、十の位、一の位は0～9の数字が入力可能です。
 255を超える値は入力できません。

最上位の値に223を超える値を入力した場合、自動的に223になります。

b) リクエストサーバ (IPv6)

リクエストサーバアドレス (IPv6) の入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値です (未設定の場合は ALL “0”)。
 全桁0～Fの数字が入力可能です。

c) リクエストポート番号

ポート番号の入力値を表示します。
 初期値は現在の設定値です (未設定の場合は “06670”)。
 万の位は0～6、千、百、十、一の位は0～9の数字が入力可能です。
 65535を超える値を入力した場合、65535が指定されたものとみなします。
 00000を入力した場合、00001が指定されたものとみなします。

- (2) キー機能
- a) セレクト (△/▽) キー
カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。
 - b) セレクト (▷/◁) キー
カーソルを左右に一桁移動します。
 - c) セット キー
 - ・リクエストサーバ(IPv4)画面
IPv6設定確認画面に遷移します。
 - ・IPv6設定確認画面
リクエストサーバ(IPv6)画面に遷移します。
 - ・リクエストサーバ(IPv6)画面
現在の画面の設定を確定させ、リクエストポート番号設定画面に遷移します。
 - ・リクエストポート番号設定画面
設定を確定させ、論理プリンタ選択メニュー画面に戻ります。
 - c) リセット キー
 - ・設定誤り画面では、リクエストサーバアドレス (IPv4) 設定画面に戻ります。
 - 上記以外の画面では、論理プリンタ選択メニュー画面に戻ります

※ IPv4、IPv6共にALL “0” を設定した場合、以下のように表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。

設定に誤りがあります 再設定して下さい

- ※ IPv4、IPv6共に設定し、有効プロトコル=IPv4/IPv6設定 かつ どちらも有効な環境下で動作させた場合、IPv4のリクエストサーバで動作します。
- ※ IPv4のみ設定してIPv6環境下で動作させた場合、またはIPv6のみ設定してIPv4環境下で動作させた場合は、上位装置とは通信できません。

3.4.29 電源投入時の論理プリンタ設定変更について

オプションを取り外して電源投入し、構成する論理プリンタに矛盾が生じた場合、以下の対処を行います。

※オプションの取り付け、取り外しは、保守員にご連絡ください。

取り外しオプション	対 処
拡張出力機構 (VSP4540EX)	工場出荷状態 *1
給紙ユニット55 (カセット2, 3, 4) (VSP-EF55ML)	給紙口設定の初期化 *2

*1 工場出荷状態

論理プリンタ 1 : PrintWalker / PM、TCP / IP、FM

論理プリンタ 2 ~ 3 : 設定なし

*2 各エミュレーションの給紙口設定の初期値

【66XX / 69XXエミュレーション時】

論理ホッパ	給紙オプションなし	給紙オプションあり			
	カセット1	カセット1	カセット2	カセット3	カセット4
上段	○	(設定維持)	×	×	×
中段	○	(設定維持)	×	×	×
下段	○	(設定維持)	×	×	×
大容量	○	(設定維持)	×	×	×

【FMエミュレーション時】

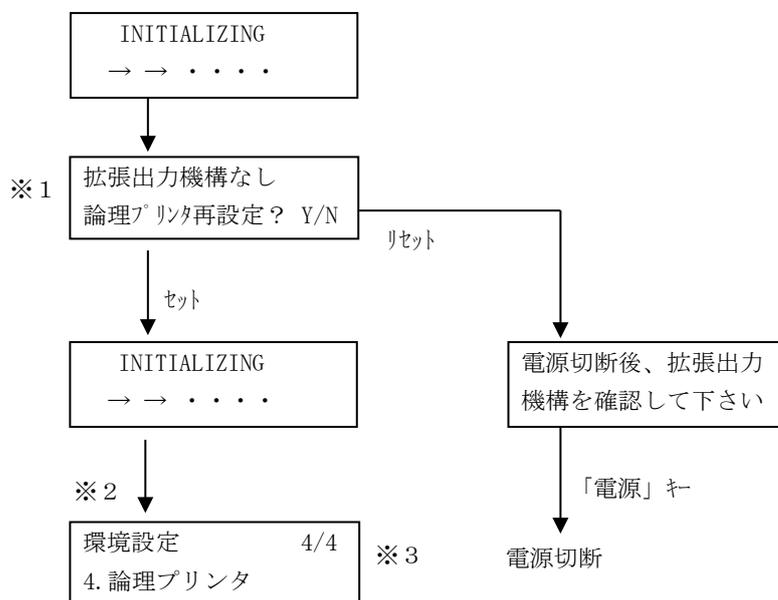
論理ホッパ	給紙オプションなし	給紙オプションあり			
	カセット1	カセット1	カセット2	カセット3	カセット4
給紙口 1	○	(設定維持)	×	×	×
給紙口 2	○	(設定維持)	×	×	×
給紙口 3	○	(設定維持)	×	×	×
給紙口 4	○	(設定維持)	×	×	×

※1 : 給紙オプション取り付け時には各給紙口設定を初期化せず、現状の設定を維持します。
増設したカセット2, 3, 4は、設定を有効 (○) に変更しないと使用できません。

また、給紙オプション取り外し時には、給紙口設定を初期化するため、デフォルト状態から設定を変更していた場合には、再設定が必要です。

※2 : 初期インストール直後に、カセット2, 3, 4が接続されていた場合は、カセット2, 3, 4は自動的に有効 (○) に設定されます。

(1) 拡張出力機構の取り外しによって論理プリンタに矛盾が生じた場合



※1：拡張出力機構を取り外したままで運用する場合は、一度論理プリンタの初期化および、再設定が必要となり、その場合、電源再投入にて運用が可能になります。

※2：管理コードが設定されている場合は管理コード入力画面が表示されます。

※3：この画面にきたときは下記の設定になります。

①以前、69XXのみが割り付けていた場合

→ 論理プリンタの初期化でPM-FMが割り付けています。

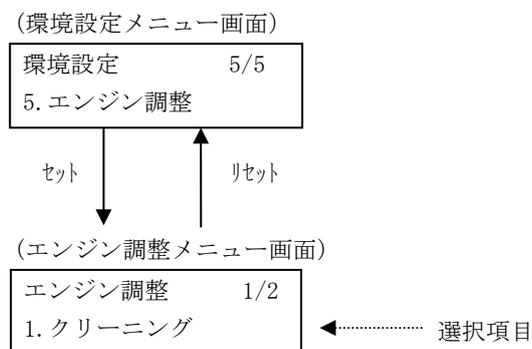
②以前、複数の論理プリンタが割り付けていた場合

→ (69XX論理プリンタが割り付けている場合は削除した後)

論理プリンタ番号の一番小さい論理プリンタが1つ割り付けています。

3.4.30 エンジン調整（共通設定→9.環境設定→5.エンジン調整）

クリーニング、トナーリフレッシュなどエンジンの調整を行います。
「5.2 正しく印刷できないとき」の「原因・対処方法」も参照してください。



(1) 表示内容 エンジンの調整をする項目を表示します。

a) 選択項目

- ① 1. クリーニング : クリーニングを行う
- ② 2. トナーリフレッシュ : トナーリフレッシュを行う※

※この機能はトナーを使用するため、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命が縮まることがあります。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

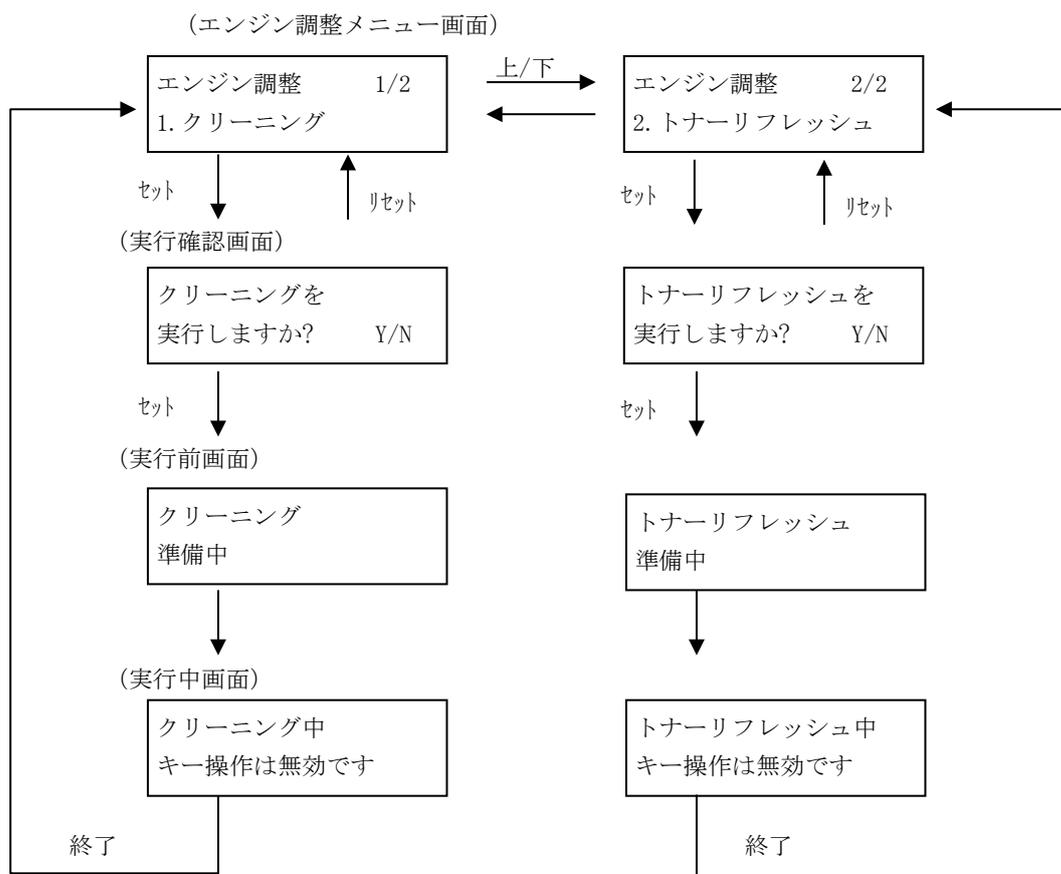
最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている項目の実行確認画面を表示します。

c) リセット キー

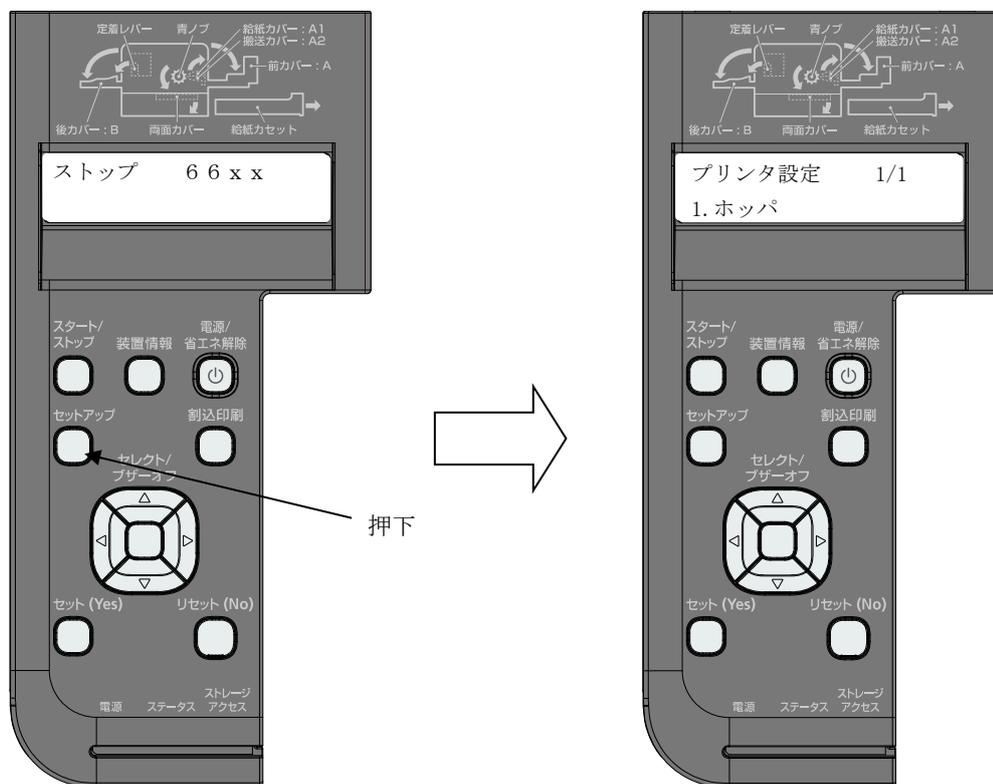
選択操作を中止し、環境設定メニューの「5. エンジン調整」表示画面に戻ります。



3.5 論理プリンタセットアップ (66XX/69XX)

論理プリンタセットアップ(66XX/69XX)は、ストップ画面 (66XX/69XX エミュレーション個別画面)でセットアップキーを押下することで遷移します。

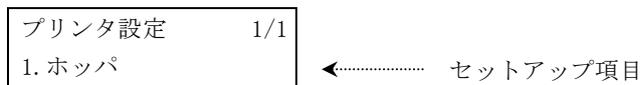
ストップ画面の表示は「図3.1電源投入後の動作モード変化」を参照願います。



本項の設定は、上位ホストからコマンド指定されなかった場合に有効になります。

3.5.1 メニュー画面 (66XX、69XXエミュレーション個別設定)

(66XX、69XXセットアップメニュー画面)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

① 1. ホッパ : ホッパ設定 (3.5.2項)

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

無効です。

b) セット キー

ホスト指定給紙元選択画面に遷移します。

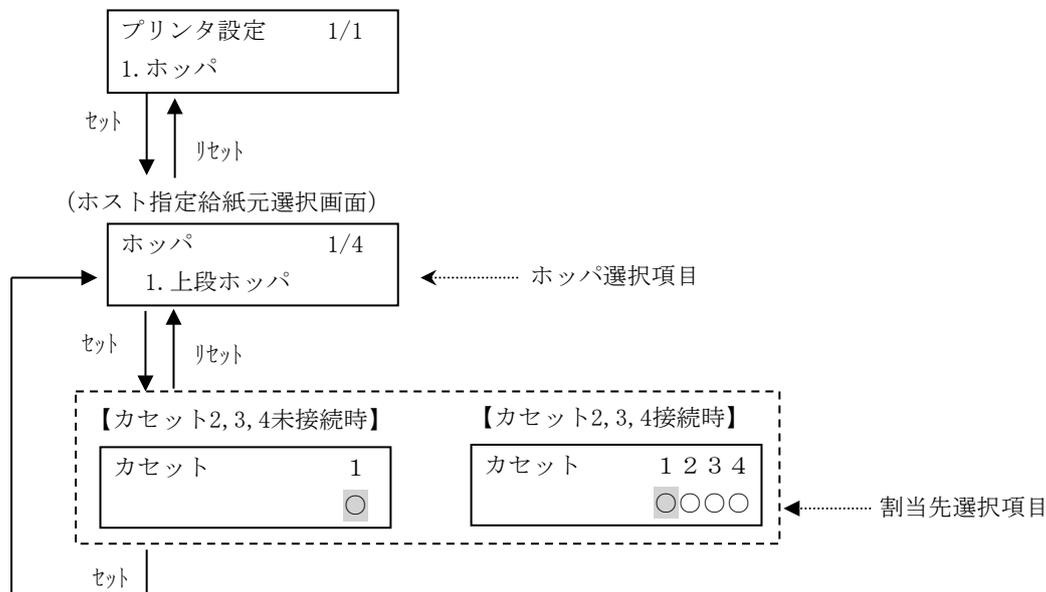
c) リセット キー

論理プリンタのストップ画面に遷移します。

3.5.2 ホッパ設定 (66XX、69XXエミュレーション個別設定→1. ホッパ)

ホスト指定値の給紙元に対して使用許可するカセットを割り当てます。

(66XX、69XXセットアップメニュー画面)



(1) 表示内容

a) ホッパ選択項目

設定を行うホスト指定給紙元のホッパ選択項目を表示します。

- ① 1. 上段ホッパ
- ② 2. 中段ホッパ
- ③ 3. 下段ホッパ
- ④ 4. 大容量ホッパ

b) 割当先カセット

ホスト指定値に対する、各物理カセットの許可状態を表示します。

上段の数字はカセット番号です。

カセット2と3と4は給紙オプションで、装着されていないカセットは表示しません。

- ① ○ : ホスト指定値に対して使用許可するカセット
- ② × : ホスト指定値に対して使用許可しないカセット

初期値は現在の選択状態です (未設定の場合は、“○”です)。

すべての給紙元を使用許可しない (×) に設定した場合、以下のエラーメッセージを表示します。
リセットキー押下後、再度設定してください。

エラー 使用可能カセットなし

(2) キー機能

- a) セレクト▽ (△) キー
 - 1) ホスト指定給紙元の選択画面において次の (直前の) 指定を表示します。
最後 (最初) の指定を表示している場合は、最初 (最後) の指定を表示します。
 - 2) 割当先の指定画面において、フォーカス位置の物理カセットのステータスを変更します
 (“○” ↔ “×”)。

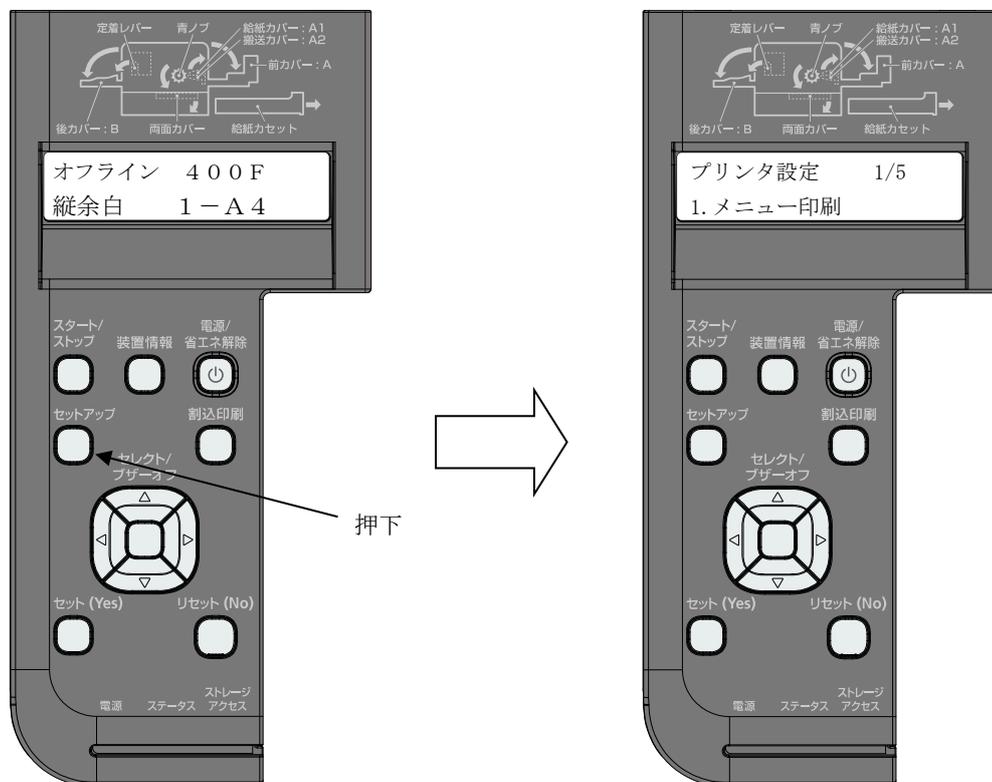
- b) セレクト (▷ / ◁) キー
割当先の指定画面においてフォーカス位置を次の (直前の) 物理カセットに移動します。
フォーカスが最右端 (最左端) にある場合は、最左端 (最右端) に移動します。

- c) セット キー
 - 1) ホスト指定給紙元の選択画面において押下すると、割当先の指定画面に遷移します。
 - 2) 割当先の指定画面において押下すると、設定を登録しホスト指定給紙元の選択画面に戻ります。
すべての物理カセットを不許可に設定した場合、エラー表示となり「リセット」キー押下にて
割当先の指定画面に戻ります。

- d) リセット キー
 - 1) ホスト指定給紙元の選択画面において押下して場合、66XX、69XXセットアップメニューの
「1. ホッパ」表示画面に戻ります。
 - 2) 割当先の指定画面において押下すると、設定を中止し、ホスト給紙元の選択画面に戻ります。

3.6 論理プリンタセットアップ (FM)

論理プリンタセットアップ(FM)は、オフライン画面 (FMエミュレーション個別画面) でセットアップキーを押下することで遷移します。



本項の設定は、上位ホストからコマンド指定されなかった場合に有効になります。

設定を変更した場合、登録(3.6.7項)の「3. 設定登録」を行ってください。
登録を行わずに電源キーを押下した場合、またはリセットキー押下で本セットアップからストップ画面に戻った場合は、登録確認画面を表示します (「3.6.2 (3)」参照)。

3.6.1 画面遷移



※ FNPモードで有効となるのは、下記設定のみです。

環境設定

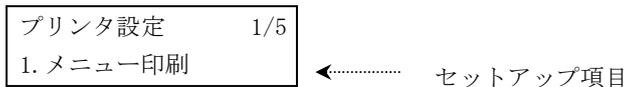
- ・タイマー監視 (FM/FNP)
- ・カセット設定 (FM/FNP)

補助機能

- ・余白設定 (FM/FNP)

3.6.2 メニュー画面 (FMエミュレーション個別設定)

(FMセットアップメニュー画面)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

- ① 1. メニュー印刷 : 現在設定されている内容の一覧を印刷 (3.6.3項)
- ② 2. 環境設定 : 日常操作に関する項目の設定 (3.6.4項)
- ③ 3. FM設定 : FMモードにおける印刷条件の設定 (3.6.5項)
- ④ 4. 補助機能 : 補助機能の設定 (3.6.6項)
- ⑤ 5. 登録 : 設定値の呼び出し、初期化、登録 (3.6.7項)

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

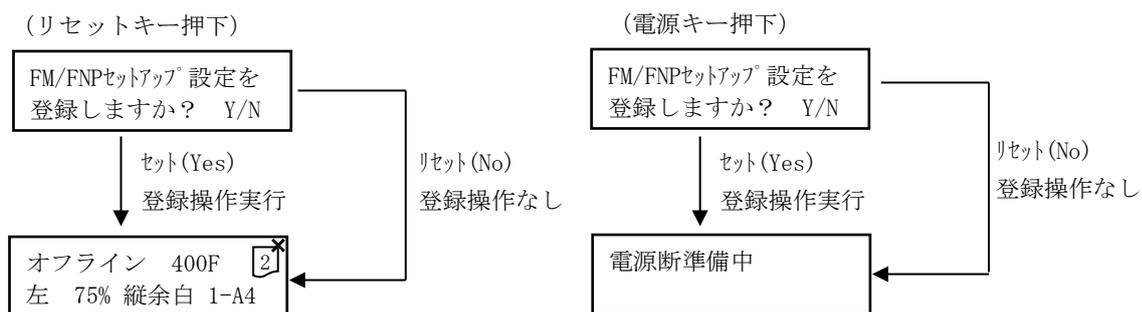
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c) リセット キー

セットアップ中論理プリンタのストップ画面に遷移します。

(3) 登録確認画面

「環境設定」「FM設定」「補助機能」での各設定においていずれか設定を行い、登録を行わずに電源キーが押下された場合、またはリセットキー押下でFM/FNPセットアップを終了してFMストップ画面に戻る場合、以下の登録確認画面を表示します。



キー機能

a) セット (Yes) キー

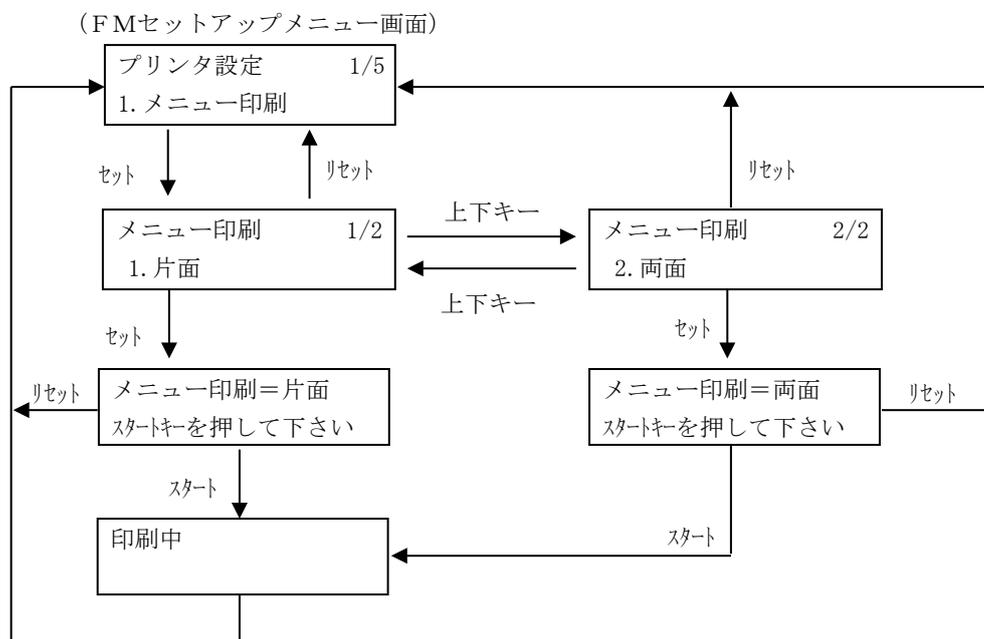
各設定を登録し、電源断準備、またはFMストップ画面に遷移します。

b) リセット (No) キー

各設定を登録せず、電源断準備、またはFMストップ画面に遷移します。

3.6.3 メニュー印刷 (FMエミュレーション個別設定→1. メニュー印刷)

論理プリンタセットアップ(FM)で設定されている内容の印刷を行います。



(1) 表示内容

a) 印刷モード選択項目

- ① 片面 : 片面印刷モード
- ② 両面 : 両面印刷モード

※ デフォルト値は“片面”です。

(2) キー機能

a) スタート キー

メニュー印刷を開始します。印刷が開始されると画面表示が『印刷中』となり、印刷終了後、FMセットアップメニューの「1. メニュー印刷」表示画面に戻ります。

b) リセット キー

FMセットアップメニューの「1. メニュー印刷」表示画面に戻ります。

c) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

c) セット キー

項目を確定し、次の画面を表示します。

(3) 動作条件

a) 用紙サイズ

環境設定→「用紙サイズ」に従います。

b) 給紙元

環境設定→「給紙口設定」および「カセット設定」に従います。

※手差しトレイからは印刷できません。

c) 給紙元の優先順位

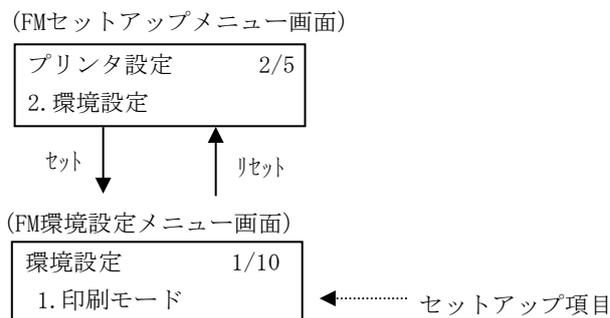
カセット1 → カセット2 → カセット3 → カセット4

※ただし、以前に印刷を行ったカセットから上記の順番で印刷します。

(4) 印刷フォーマット

メニュー印刷	
エミュレーション設定	FM/FNP (論理プリンタ)
【環境設定】	
・印刷モード	標準
・印刷方向	縦
・現給紙口	給紙口1
・給紙用紙サイズ	A4
・タイマ監視印刷 (FM/FNP) 解除	
・ブザー	設定
・解像度	400DPI
・両面印刷設定	普通綴じ
・綴じ穴位置設定	
長辺綴じ 表	00mm
長辺綴じ 裏	10mm
短辺綴じ 表	00mm
短辺綴じ 裏	10mm
・給紙口割り当て (FM/FNP)	
給紙口1	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
給紙口2	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
給紙口3	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
給紙口4	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
自動給紙	カセット1/カセット2/カセット3/カセット4
手差しトレイ	手差しトレイ
【FM設定】	
・漢字書体	明朝
・漢字フォント	10.5ポ
・オーバマーク	印刷しない
・印刷開始位置	原点移動指定
・行ピッチ	6LPI
・ANK文字ピッチ	12CPI
・解像度切り換え	自動
【補助機能設定】	
・余白設定 (FM/FNP)	
縦上端余白	05.0mm
縦左端余白	05.0mm
横上端余白	05.0mm
横左端余白	05.0mm
・メモリレイアウト	
コピーオーバーレイ設定	あり
FMオーバーレイ設定	4096KB
・特殊印刷設定	解除
・有効漢字フォント	7ポ/9ポ/12ポ

3.6.4 環境設定 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

- | | | | |
|---|---------------------|---|-------------------|
| ① | 1. 印刷モード | : | 縮小印刷の設定、解除 |
| ② | 2. 印刷方向 | : | 印刷方向の設定 |
| ③ | 3. 給紙口 | : | 給紙口の設定 |
| ④ | 4. 用紙サイズ | : | 用紙サイズの設定 |
| ⑤ | 5. タイマ監視 (FM/FNP) | : | タイマ監視時間の設定、解除 |
| ⑥ | 6. ブザー | : | ブザー鳴動の設定、解除 |
| ⑦ | 7. FM解像度 | : | 解像度の設定 |
| ⑧ | 8. 両面印刷 | : | 両面印刷の設定、解除 |
| ⑨ | 9. 綴じ穴位置 | : | 綴じ穴位置設定 |
| ⑩ | 10. カセット設定 (FM/FNP) | : | 論理給紙口と物理カセットの関連付け |

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

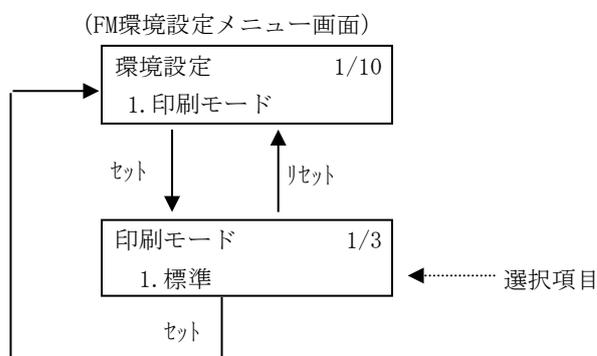
選択されているセットアップ画面に遷移します。

c) リセット キー

選択を中止し、論理プリンタのFMセットアップメニューの「2. 環境設定」表示画面に遷移します。

3.6.4.1 印刷モード (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→1. 印刷モード)

印刷モードを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 標準 : 標準印刷
- ② 2. 75% : 75%縮小印刷
- ③ 3. 70% : 70%縮小印刷

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 標準”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

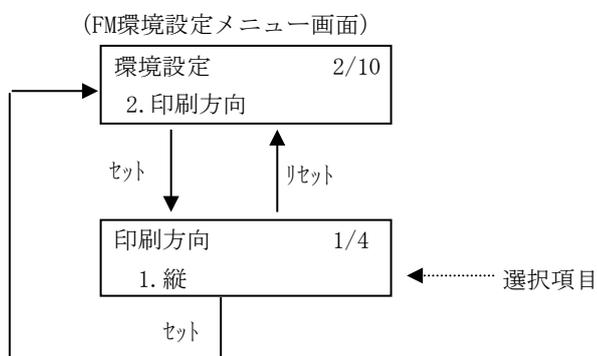
値を確定し、FM環境設定メニューの「1. 印刷モード」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「1. 印刷モード」表示画面に戻ります。

3.6.4.2 印刷方向設定 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→2. 印刷方向)

印刷方向を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 縦 : 縦印刷
- ② 2. 縦余白 : 余白付き縦印刷
- ③ 3. 横 : 横印刷
- ④ 4. 横余白 : 余白付き横印刷

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 縦”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

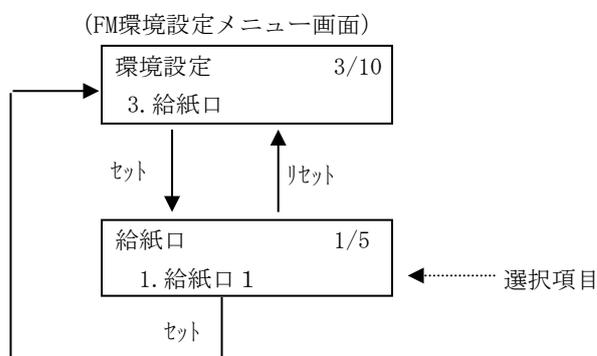
値を確定し、FM環境設定メニューの「2. 印刷方向」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「2. 印刷方向」表示画面に戻ります。

3.6.4.3 給紙口設定 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→3. 給紙口)

給紙口を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 給紙口 1 : 給紙口1を選択
- ② 2. 給紙口 2 : 給紙口2を選択
- ③ 3. 給紙口 3 : 給紙口3を選択
- ④ 4. 給紙口 4 : 給紙口4を選択
- ⑤ 5. 自動給紙 : 給紙口1、2、3、4に割り当てられているすべてのホッパを選択

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 給紙口 1”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

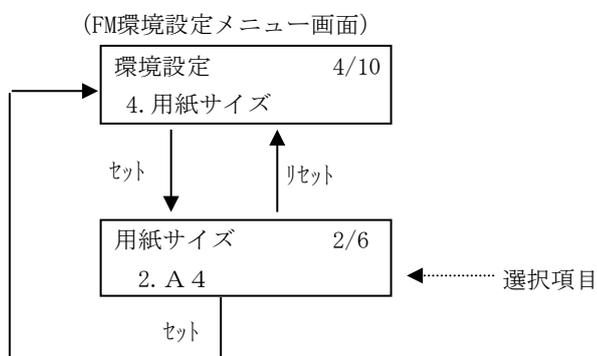
値を確定し、FM環境設定メニューの「3. 給紙口」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「3. 給紙口」表示画面に戻ります。

3.6.4.4 用紙サイズ (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→4. 用紙サイズ)

給紙用紙サイズを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- | | | | |
|---|--------|---|-----|
| ① | 1. A 3 | : | A3 |
| ② | 2. A 4 | : | A4 |
| ③ | 3. A 5 | : | A5 |
| ④ | 4. B 4 | : | B4 |
| ⑤ | 5. B 5 | : | B5 |
| ⑥ | 6. L T | : | レター |

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
デフォルト値は“2. A 4”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

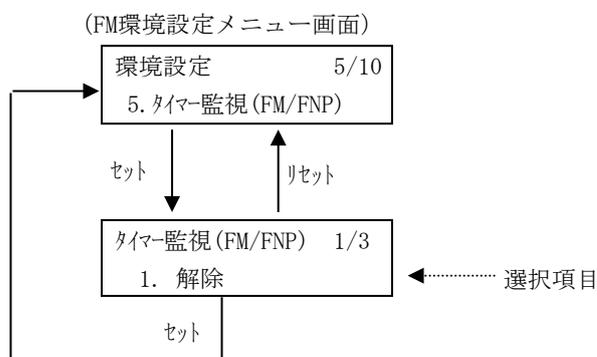
値を確定し、FM環境設定メニューの「4. 用紙サイズ」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「4. 用紙サイズ」表示画面に戻ります。

3.6.4.5 タイマー監視 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→5. タイマー監視)

タイマー監視時間を設定／解除します。
 ホストからのデータ転送が途絶えた場合、本メニューにより設定された時間を経過すると自動的に印刷を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 解除 : 解除
- ② 2. 30秒 : 30秒
- ③ 3. 10秒 : 10秒

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
 デフォルト値は“1.解除”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

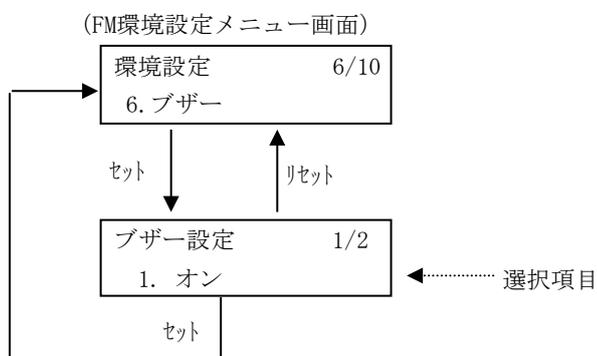
値を確定し、FM環境設定メニューの「5. タイマー監視 (FM/FNP)」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「5. タイマー監視 (FM/FNP)」表示画面に戻ります。

3.6.4.6 ブザー (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→6. ブザー)

ブザー音を設定/解除します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. オン : 設定
- ② 2. オフ : 解除

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. オン”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。
最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

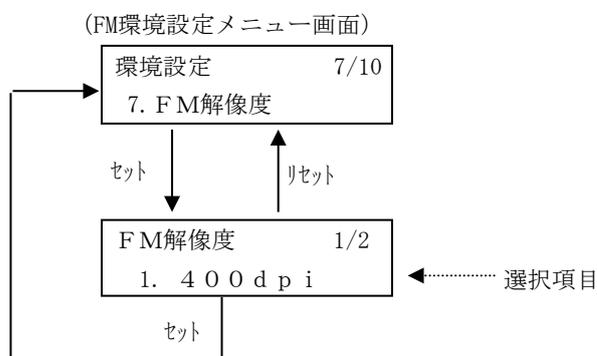
値を確定し、FM環境設定メニューの「6. ブザー」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「6. ブザー」表示画面に戻ります。

3.6.4.7 FM解像度 (FMエミュレーション個別設定→2.環境設定→7. FM解像度)

解像度を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 400dpi : 400dpi
- ② 2. 240dpi : 240dpi

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 400dpi”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

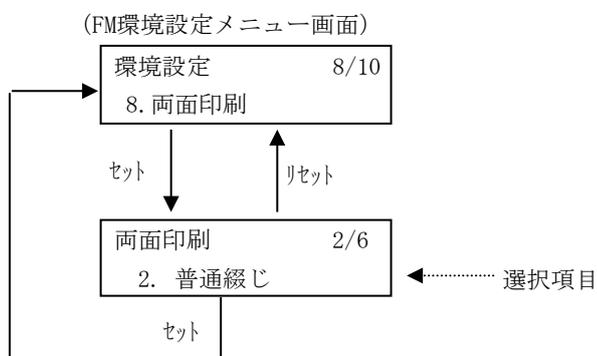
値を確定し、FM環境設定メニューの「7. FM解像度」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「7. FM解像度」表示画面に戻ります。

3.6.4.8 両面印刷設定 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→8. 両面印刷)

両面印刷を設定／解除します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 解除 : 片面印刷
- ② 2. 普通綴じ : 普通綴じ両面印刷
- ③ 3. 左綴じ : 左綴じ両面印刷
- ④ 4. 右綴じ : 右綴じ両面印刷
- ⑤ 5. 上綴じ : 上綴じ両面印刷
- ⑥ 6. 下綴じ : 下綴じ両面印刷

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。

デフォルト値は“2. 普通綴じ”です。

ただし、共通セットアップ画の装置環境管理「両面印刷互換設定」で“従来互換”が設定されている場合は“解除”になります。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

値を確定し、FM環境設定メニューの「8. 両面印刷」表示画面に戻ります。

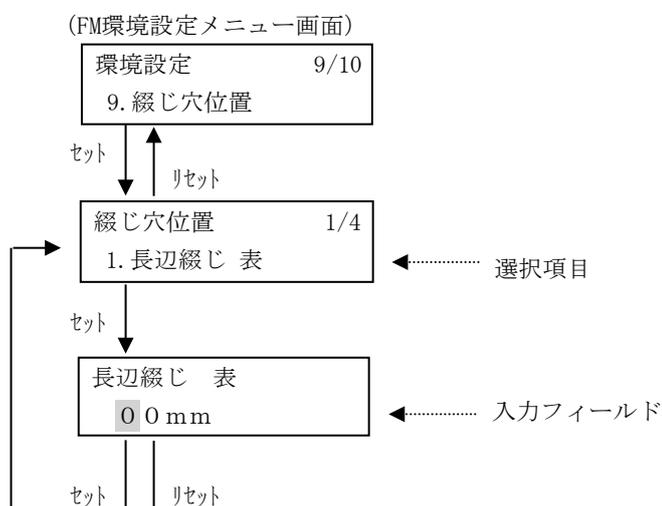
c) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「8. 両面印刷」表示画面に戻ります。

3.6.4.9 綴じ穴位置 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→9. 綴じ穴位置)

両面印刷での綴じ側印刷書き出し位置を調整します。

本設定は、「3.6.4.8 両面印刷設定」が③～⑥に設定されている場合、有効になります。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 長辺綴じ 表 : 長辺綴じ 表
- ② 2. 長辺綴じ 裏 : 長辺綴じ 裏
- ③ 3. 短辺綴じ 表 : 短辺綴じ 表
- ④ 4. 短辺綴じ 裏 : 短辺綴じ 裏

b) 入力フィールド

綴じ穴位置の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です (未設定の場合は、表 = “00mm”、裏 = “10mm”)。

各桁0～9の数字が入力可能です。

設定範囲は0～99mmです。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

- ・ 綴じ穴位置選択画面

次の (直前の) 選択項目を指定します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

- ・ 綴じ穴位置入力フィールド

カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。

b) セレクト (▷ / ◁) キー

- ・ 綴じ穴位置入力フィールド

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

選択した項目の入力フィールド画面に遷移します。

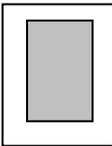
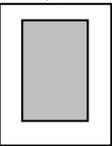
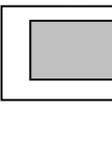
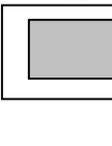
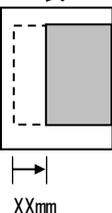
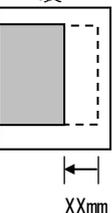
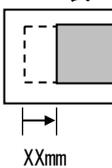
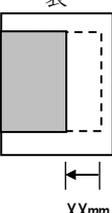
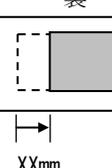
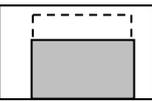
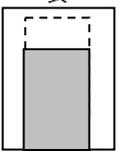
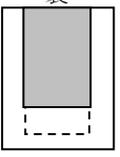
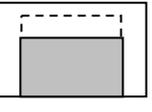
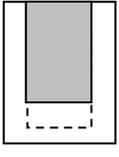
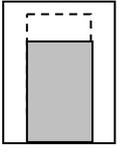
入力フィールド画面では、設定を完了し直前の画面に戻ります。

d) リセット キー

選択を中止し、FM環境設定メニューの「9. 綴じ穴位置」表示画面に戻ります。

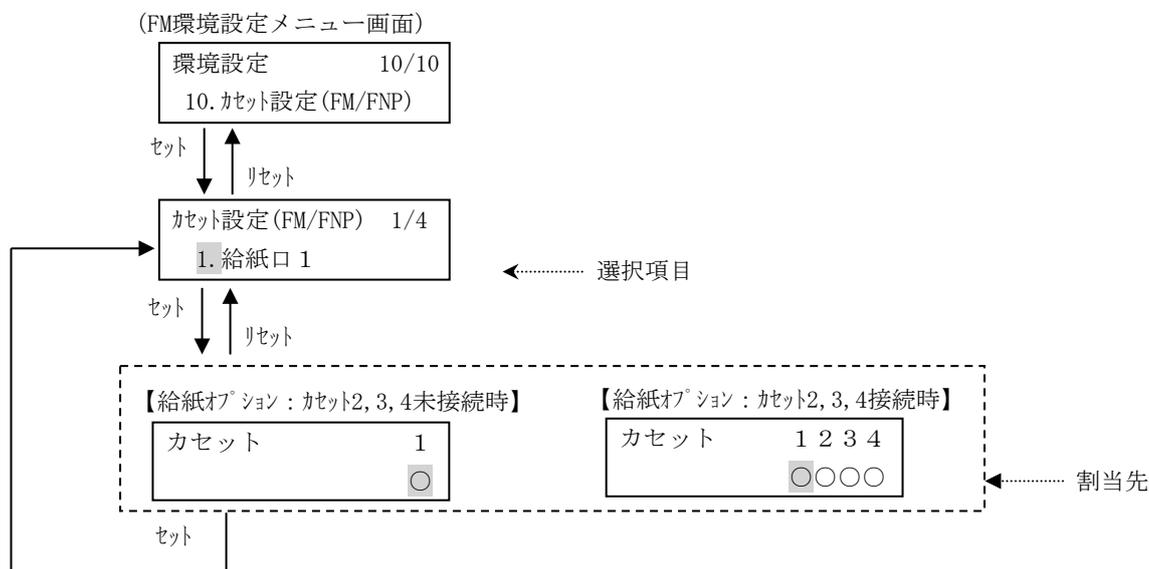
入力フィールド画面では、設定を中止し直前の画面に戻ります。

(3) 両面印刷設定と綴じ穴位置設定の関係

両面印刷設定	綴じ穴位置設定			
解除	無効 (片面印刷)			
普通綴じ	無効 (両面印刷) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> </div>			
左綴じ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><u>長辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p><u>短辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> </div>			
右綴じ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><u>長辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p><u>短辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> </div>			
上綴じ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><u>長辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p><u>短辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> </div>			
下綴じ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><u>長辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p><u>短辺綴じ</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  <p>XXmm</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  <p>XXmm</p> </div> </div> </div> </div>			

3.6.4.10 カセット設定 (FMエミュレーション個別設定→2. 環境設定→10. カセット設定)

ホスト指定値の給紙元に対して使用許可するカセットを割り当てます。
本設定は、FM/FNPモード共に有効な設定です。



(1) 表示内容

a) 選択項目

設定を行うホスト指定給紙元の選択項目を表示します。

- ① 1. 給紙口 1 : 給紙口1を示します。
- ② 2. 給紙口 2 : 給紙口2を示します。
- ③ 3. 給紙口 3 : 給紙口3を示します。
- ④ 4. 給紙口 4 : 給紙口4を示します。

b) 割当先

ホスト指定値に対する、各物理カセットの許可状態を表示します。

上段の数字はカセット番号です、

カセット2と3と4は給紙オプションであり、装着されていないカセットは表示されません。

- ① ○ : ホスト指定値に対して使用許可するカセット
- ② × : ホスト指定値に対して使用許可しないカセット

すべての給紙元を使用許可しない(×)に設定した場合、以下のエラーメッセージを表示します。

リセットキー押下後、再度設定してください。

エラー
使用可能カセットなし

(2) キー機能

- a) セレクト▽ (△) キー
 - 1) ホスト指定給紙元の選択画面において次の (直前の) 指定を表示します。
最後 (最初) の指定を表示している場合は、最初 (最後) の指定を表示します。
 - 2) 割当先の指定画面において、フォーカス位置の物理カセットのステータスを変更します
 (“○” ↔ “×”)。
- b) セレクト (▷ / ◁) キー
割当先の指定画面においてフォーカス位置を次の (直前の) 物理カセットに移動します。
フォーカスが最右端 (最左端) にある場合は、最左端 (最右端) に移動します。
- c) セット キー
 - 1) ホスト指定給紙元の選択画面において押下すると、割当先の指定画面に遷移します。
 - 2) 割当先の指定画面において押下すると、設定を登録しホスト指定給紙元の選択画面に戻ります。
すべての物理カセットを不許可に設定した場合、エラー表示となり「リセット」キー押下にて割当先の指定画面に戻ります。
- d) リセット キー
 - 1) ホスト指定給紙元の選択画面において押下した場合、FM環境設定メニューの
「10. カセット設定 (FM/FNP)」表示画面に戻ります。
 - 2) 割当先の指定画面において押下すると、設定を中止し、ホスト給紙元の選択画面に戻ります。

(3) FMとFNPモードの違い

本設定においてFMとFNPモードでは、以下の点が異なります。

<FMモード>

FMモードでは、給紙口指定を伴わない印刷データ受信時には、「給紙口設定」が有効であり、「カセット設定」とリンクした設定が可能です。

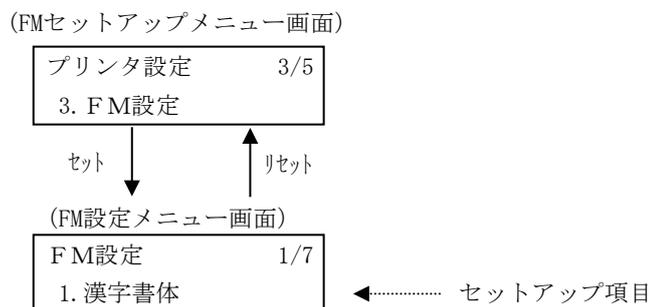
<FNPモード>

FNPでは、給紙口指定を伴わない印刷データ受信時には、コマンド仕様上、“給紙口 1” が選択された固定動作になります。

このため「給紙口設定」は何が選択されても無効であり、給紙口1固定になります。

「給紙口設定」とリンクする「カセット設定」についても、“給紙口 1” に対する設定のみ機能しません。

3.6.5 FM設定 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定)



(1) 表示内容

a) セットアップ項目

選択可能なセットアップ項目を表示します。

- ① 1. 漢字書体 : 漢字書体の設定
- ② 2. 漢字フォント : 漢字フォントの設定
- ③ 3. オーバマーク : オーバマーク印刷の設定、解除
- ④ 4. 印刷開始位置 : 印刷開始位置の設定
- ⑤ 5. 行ピッチ : 行ピッチの設定
- ⑥ 6. ANK文字ピッチ : ANK文字ピッチの設定
- ⑦ 7. 解像度切り替え : 解像度切り替え

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

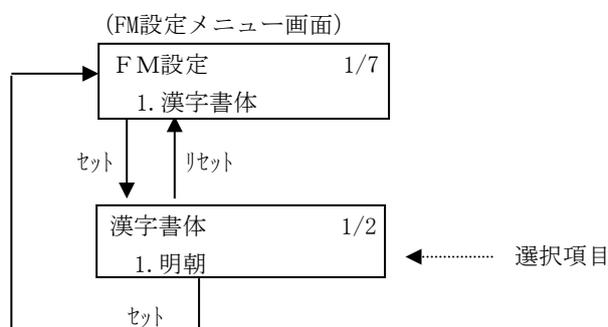
選択されているFM設定画面に遷移します。

c) リセット キー

選択を中止し、FMセットアップメニューの「3. FM設定」表示画面に戻ります。

3.6.5.1 漢字書体 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→1. 漢字書体)

漢字書体を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 明朝 : 明朝体を示します。
- ② 2. ゴシック : ゴシック体を示します。

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 明朝”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

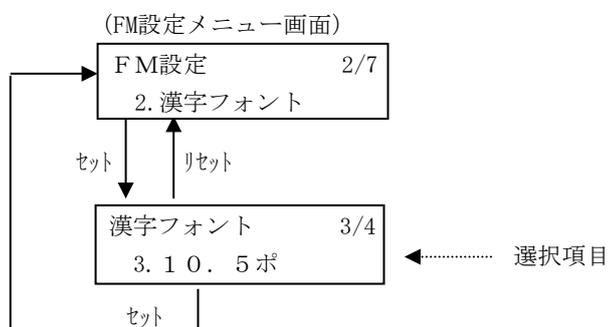
値を確定し、FM設定メニューの「1. 漢字書体」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「1. 漢字書体」表示画面に戻ります。

3.6.5.2 漢字フォント (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→2. 漢字フォント)

漢字フォントの文字サイズを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 7ポ : 7ポイント
- ② 2. 9ポ : 9ポイント
- ③ 3. 10.5ポ : 10.5ポイント
- ④ 4. 12ポ : 12ポイント

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“3. 10.5ポ”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

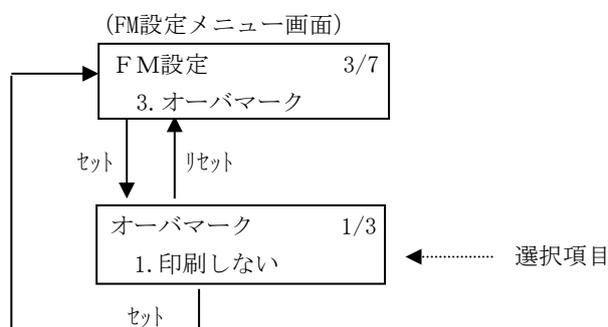
値を確定し、FM設定メニューの「2. 漢字フォント」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「2. 漢字フォント」表示画面に戻ります。

3.6.5.3 オーバマーク (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→3. オーバマーク)

オーバマーク印刷を設定／解除します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 印刷しない : オーバマークを印刷しない
- ② 2. 白抜き : オーバマーク□を印刷
- ③ 3. 黒ベタ : オーバマーク■を印刷

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
デフォルト値は“1. 印刷しない”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

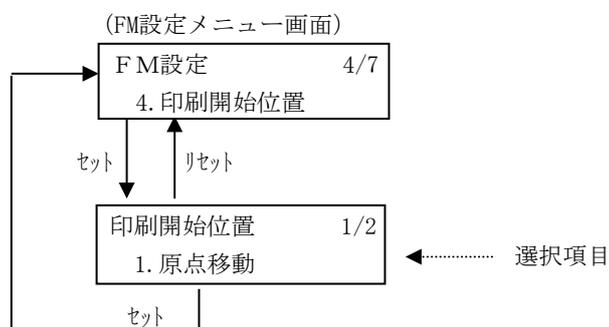
値を確定し、FM設定メニューの「3. オーバマーク」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「3. オーバマーク」表示画面に戻ります。

3.6.5.4 印刷開始位置 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→4. 印刷開始位置)

印刷開始位置を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 原点移動 : 原点移動指定
- ② 2. ドットプリンタ : ドットプリンタ仕様

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 原点移動”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。
最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

値を確定し、FM設定メニューの「4. 印刷開始位置」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「4. 印刷開始位置」表示画面に戻ります。

3.6.5.5 行ピッチ設定 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→5. 行ピッチ)

行ピッチを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 6 L P I : 1インチあたり6行
- ② 2. 8 L P I : 1インチあたり8行

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 6 L P I”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

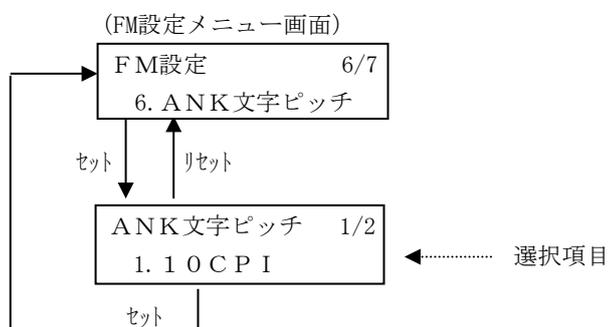
値を確定し、FM設定メニューの「5. 行ピッチ」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「5. 行ピッチ」表示画面に戻ります。

3.6.5.6 ANK文字ピッチ設定 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→6. ANK文字ピッチ)

ANK文字ピッチを設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 10CPI : 1インチあたり10文字
 - ② 2. 12CPI : 1インチあたり12文字
- ※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。
デフォルト値は“1. 10CPI”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)セットアップ項目を表示します。
最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

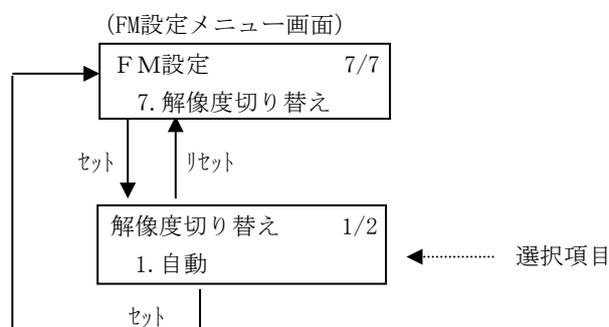
値を確定し、FM設定メニューの「6. ANK文字ピッチ」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「6. ANK文字ピッチ」表示画面に戻ります。

3.6.5.7 解像度切り替え設定 (FMエミュレーション個別設定→3. FM設定→7. 解像度切り替え)

解像度切り替えの自動/主導を設定します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

① 1. 自動 : 自動切り替え

② 2. 手動 : 手動切り替え

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“1. 自動”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

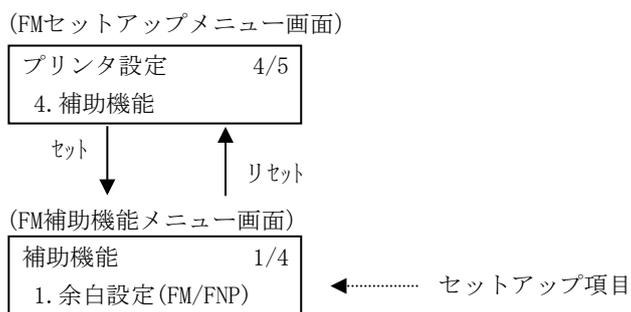
b) セット キー

値を確定し、FM設定メニューの「7. 解像度切り替え」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM設定メニューの「7. 解像度切り替え」表示画面に戻ります。

3.6.6 補助機能 (FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能)



(1) 表示内容

a) 補助機能項目

選択可能な補助機能項目を表示します。

- ① 1. 余白設定 (FM/FNP) : 余白の設定 (FM/FNP)
- ② 2. メモリレイアウト : メモリ領域の設定
- ③ 3. 特殊印刷 : 特殊印刷の設定、解除
- ④ 4. 有効漢字フォント : 有効漢字フォントの設定

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の (直前の) セットアップ項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

b) セット キー

選択されている補助機能項目画面に遷移します。

c) リセット キー

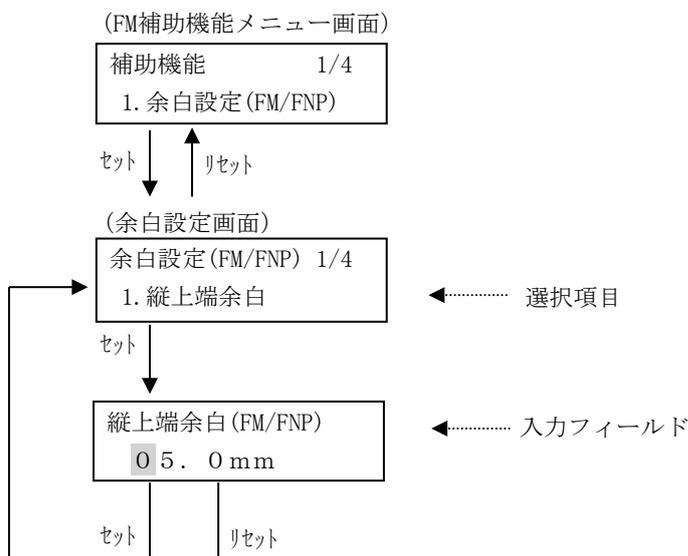
選択を中止し、FMセッティングメニューの「4. 補助機能」表示画面に戻ります。

3.6.6.1 余白設定 (FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→1. 余白設定)

余白を設定します。この設定を行うことで、書き出し位置が変わります。

本設定は、「3.6.4.9 綴じ穴位置」と独立して設定され、両方の設定が有効な場合は加算された値に書き出し位置が変わります。

本設定は、FM/FNPモード共に有効な設定です。



(1) 表示内容

a) 選択項目

余白設定を選択します。

- ① 1. 縦上端余白 : 縦上端余白
- ② 2. 縦左端余白 : 縦左端余白
- ③ 3. 横上端余白 : 横上端余白
- ④ 4. 横左端余白 : 横左端余白

b) 入力フィールド

余白設定の入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です (未設定の場合は“5.0mm”)。

設定範囲は04.0mm～50.0mmです。

04.0mmより小さい値を入力した場合、自動的に04.0mmになります。

50.0mmを超える値を入力した場合、自動的に50.0mmになります。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

・余白設定画面

次の (直前の) 選択項目を表示します。

最後 (最初) の項目を表示している場合は、最初 (最後) の項目を表示します。

・余白入力フィールド

カーソルのある桁の数字を変更します (△: 数字の増加、▽: 数字の減少)。

b) セレクト (▷ / ◁) キー

・余白入力フィールド

カーソルを左右に一桁移動します。

c) セット キー

- ・ 余白設定画面
選択した項目の入力フィールドへ遷移します。
- ・ 余白入力フィールド
設定を完了し、余白設定画面に戻ります。

d) リセット キー

- ・ 余白設定画面
FM補助機能メニューの「1. 余白設定 (FM/FNP)」表示画面に戻ります。
- ・ 余白入力フィールド
設定を中止し、余白設定画面に戻ります。

(3) FMとFNPモードの違い

本設定においてFMとFNPモードでは、以下の点が異なります。

<FMモード>

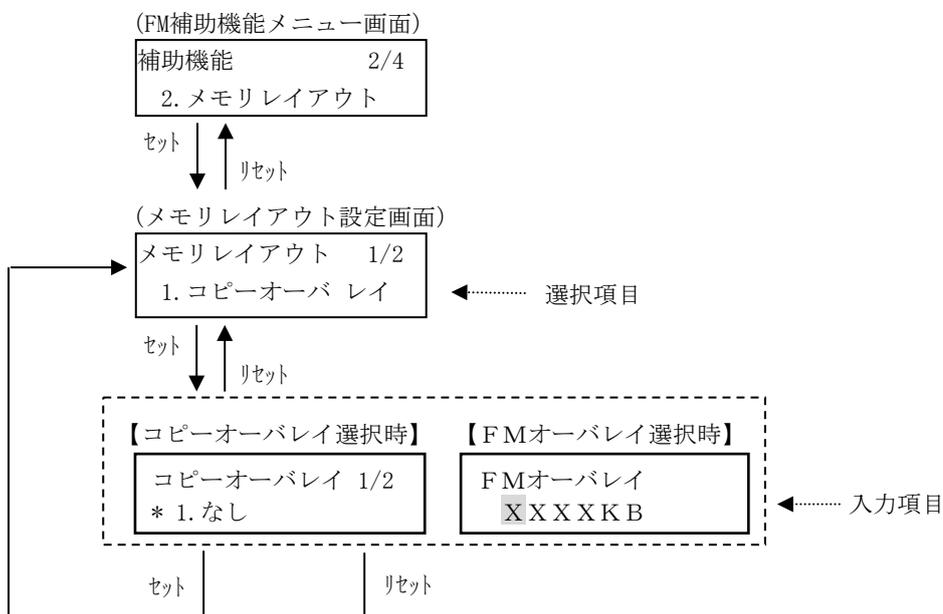
2. 環境設定→2. 印刷方向で「2. 縦余白」「4. 横余白」の設定がされていない場合、本設定値は印刷時に反映されません。

<FNPモード>

2. 環境設定→2. 印刷方向には影響されず、本設定の値が印刷時に反映されます。

3.6.6.2 メモリレイアウト (FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→2. メモリレイアウト)

オーバーレイの設定を行います。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. コピーオーバーレイ : コピーオーバーレイ設定
- ② 2. FMオーバーレイ : FMオーバーレイ設定

b) コピーオーバーレイ選択項目

- ① 1. なし : コピーオーバーレイ機能なし
- ② 2. あり : コピーオーバーレイ機能あり

※ 現在の設定内容の左には「*」を表示します。

デフォルト値は“2. あり”です。

c) FMオーバーレイ入力項目

FMオーバーレイメモリサイズの入力値を表示します。

初期値は現在の設定値です（未設定の場合は“4096KB”）。

設定範囲は192KB～4096KBです。

192KBより小さい値を入力した場合、自動的に192KBになります。

4096KBを超える値を入力した場合、自動的に4096KBになります。

第3章 操作説明

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

- ・メモリレイアウト設定画面
- ・コピーオーバーレイ選択画面

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

次の（直前の）選択項目を表示します。

最後（最初）の項目を表示している場合は、最初（最後）の項目を表示します。

- ・FMオーバーレイ選択画面

カーソルのある桁の数字を変更します（△：数字の増加、▽：数字の減少）。

b) セレクト (▷/◁) キー

- ・FMオーバーレイ選択画面

カーソルを左右に移動します。

c) セット キー

- ・オーバーレイ選択画面

現在の値を確定させ、次の画面に移動します。

- ・コピーオーバーレイ選択画面

- ・FMオーバーレイ選択画面

設定内容を完了し、メモリレイアウト設定画面に戻ります。

d) リセット キー

- ・オーバーレイ選択画面

選択を中止し、FM補助機能メニューの「2.メモリレイアウト」表示画面に戻ります。

- ・コピーオーバーレイ選択画面

- ・FMオーバーレイ選択画面

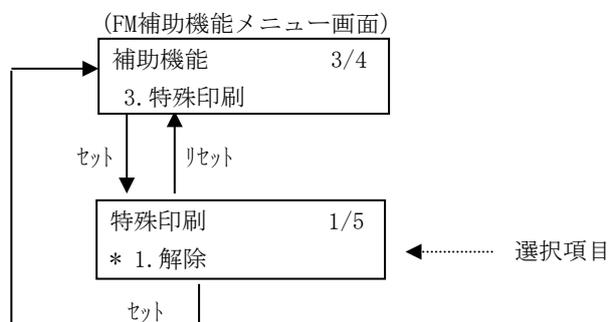
設定を中止し、メモリレイアウト設定画面に戻ります。

(3) その他

メモリレイアウトの設定の変更は、設定登録後の電源再投入により有効になります。

3.6.6.3 特殊印刷 (FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→3. 特殊印刷)

特殊印刷を設定／解除します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 解除 : 解除
- ② 2. HEXダンプ印刷 : HEXダンプ印刷
- ③ 3. リスト印刷1 : リスト印刷1
- ④ 4. リスト印刷2 : リスト印刷2
- ⑤ 5. リスト印刷3 : リスト印刷3

※ 現在の設定内容の左には‘*’を表示します。
デフォルト値は“1. 解除”です。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。
最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

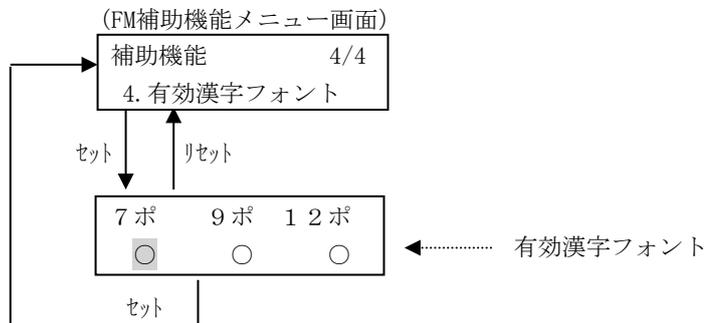
値を確定し、FM補助機能メニューの「3. 特殊印刷」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

選択を中止し、FM補助機能メニューの「3. 特殊印刷」表示画面に戻ります。

3.6.6.4 有効漢字フォント（FMエミュレーション個別設定→4. 補助機能→4. 有効漢字フォント）

漢字文字サイズ指定コマンドの有効／無効を設定します。



(1) 表示内容

- a) 有効漢字フォント設定
 - ① ○：指定コマンドを有効とする
 - ② ×：指定コマンドを無効とする

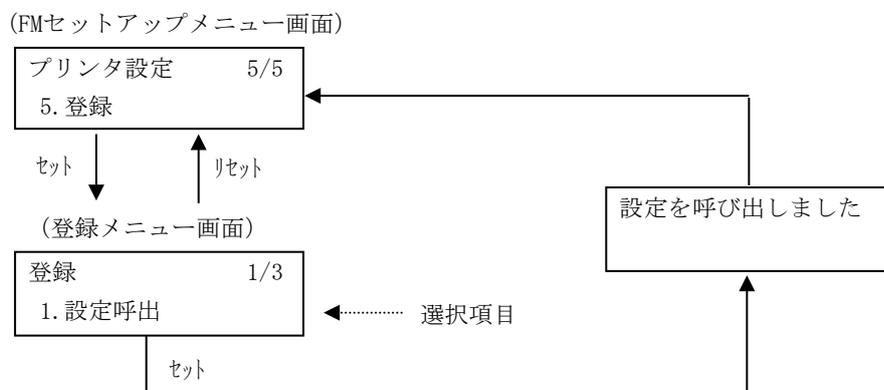
※デフォルト値は、すべて“○”です

(2) キー機能

- a) セレクト (△/▽) キー
設定値を切り替えます (○↔×)。
- b) セレクト (▷/◁) キー
カーソルを左右に移動します。
- c) セット キー
現在の画面の有効漢字フォントを確定させ、FM補助機能メニューの「4. 有効漢字フォント」表示画面に戻ります。
- d) リセット キー
設定を中止し、FM補助機能メニューの「4. 有効漢字フォント」表示画面に戻ります。

3.6.7 登録 (FMエミュレーション個別設定→5. 登録)

論理プリンタセットアップ(FM)で設定された情報を登録します。



(1) 表示内容

a) 選択項目

- ① 1. 設定呼出 : ストレージデバイスに記憶していた設定内容を設定用RAMに呼び出します。
- ② 2. 設定初期化 : ストレージデバイス、設定用RAMの内容を工場出荷時の初期値に戻します。
※給紙口の設定は初期化しません。
- ③ 3. 設定登録 : 設定用RAM上の内容をストレージデバイスに記憶します。

※ 工場出荷時の初期値は「3.7 セットアップ一覧」を参照。

(2) キー機能

a) セレクト▽ (△) キー

次の(直前の)選択項目を表示します。

最後(最初)の項目を表示している場合は、最初(最後)の項目を表示します。

b) セット キー

選択された内容を登録し、処理終了後、それぞれの完了画面を表示し、FMセットアップメニューの「5. 登録」表示画面に戻ります。

c) リセット キー

登録を中止し、FMセットアップメニューの「5. 登録」表示画面に戻ります。

※「特殊印刷」の「HEXダンプ印刷」の設定は記憶しません。

3.7 セットアップ一覧

【共通セットアップ】

メニュー		内容	初期値	設定可能値	備考	
共通 セット アップ	1. テストプリント	テストプリント	—	—		
	2. 濃度設定	印刷濃度の設定	濃度=標準	濃度=-3~+3		
	3. 消耗品	交換要求のある消耗品の表示	—	—	表示のみ	
	4. ブザー設定	パターン設定	異常発生時のブザー鳴動パターンの設定	パターン1	パターン1 パターン2 パターン3 オフ	
		音量設定	異常発生時のブザー音量の設定	標準	オフ -1 標準 +1	
	5. GS1-128設定	GS1-128バーコードパターンの白黒補正	補正= 白黒補正	補正=白黒補正 補正=白補正 補正=なし		
	6. プリントカウンタ	総印刷枚ページの表示	—	—	表示のみ	
7. メディアタイプ	各カセットのメディアタイプの設定	カセット1~4 = NORMAL 手差しトレイ = HIGH	NORMAL HIGH HIGH2	HIGH2の設定は手差しトレイのみ		
8. 手差し設定	1. 用紙サイズ	手差しトレイの用紙サイズの設定	A4	A3 A4 A5 B4 B5 LT		
	2. メディアタイプ	手差しトレイのメディアタイプの設定	HIGH	NORMAL HIGH HIGH2		
9. 環境設定	1. 設定印刷	環境設定内容の印刷	—	—		
	2. 環境初期化	環境設定値の初期化	—	—		
	3. 装置環境	1. 管理コード	管理コードの設定	11111111	8桁の番号	
		2. 日付/時間	日付・時間の設定	2020/01/01 09:00	年: 2020~2037 月: 1~12 日: 1~31 時: 0~23 分: 0~59	
	3. MACアドレス	MACアドレスの表示	グローバル	グローバル ローカル	ローカルアドレスのみ設定可 (グローバルアドレスは表示のみ)	

(続く)

		メニュー	内容	初期値	設定可能値	備考		
共通 セット アップ	9. 環境 設定	3. 装置 環境	4. ネットワーク設定	ネットワークの設定	IPv4	IPv4 IPアドレス ネットマスク ゲートウェイ1～4 デフォルトルータ		
						IPv6 IP(リンクローカル) IP(グローバル) ゲートウェイ	表示のみ	
						IPv4 / IPv6 IPアドレス ネットマスク ゲートウェイ1～4 デフォルトルータ IP(リンクローカル) IP(グローバル) ゲートウェイ	IPv4 関連のみ 設定可能 IPv6 関連は表 示のみ	
			5. データレート	データレートの設定	オート	オート 10Base-T 100Base-TX		
			D L I N K	1. T1 CNCT-CACK	T1 CNCT-CACK タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト：2.0s 再送回数：7回	タイムアウト：1～25s 再送回数：1～15	
				2. T2 DISC-DCTD	T2 DISC-DCTD タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト：2.0s 再送回数：7回	タイムアウト：1～25s 再送回数：1～15	
				3. T3 Lbit-RR	T3 Lbit-RR タイムアウト時間設定 再送回数表示	タイムアウト：2.0s 再送回数：0回	タイムアウト：1～25s 再送回数：-	再送回数は表 示のみ
				4. T4 ENQ-RR	T4 ENQ-RR タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト：2.0s 再送回数：7回	タイムアウト：1～25s 再送回数：1～15	
				5. T5 RNR-ENQ	T5 RNR-ENQ タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト：2.0s 再送回数：7回	タイムアウト：1～25s 再送回数：1～15	
				6. T6 無通信監視	T6 無通信監視 タイムアウト時間設定 再送回数表示	タイムアウト：2.0s 再送回数：0回	タイムアウト：1～25s 再送回数：-	再送回数は表 示のみ
				7. T7 IDQ-IDR	T7 IDQ-IDR タイムアウト時間設定 再送回数設定	タイムアウト：2.0s 再送回数：7回	タイムアウト：1～25s 再送回数：1～15	
				8. T8 オープン待ち	T8 ポートオープン待ち タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト：1.0s 再送回数：1回	-	表示のみ
				9. T10 リトライアウト	T10 CNCTリトライタイムアウト タイムアウト時間表示	タイムアウト：10.0s	-	表示のみ
				10. T11 XID-XID	T11 XID-XID タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト：2.0s 再送回数：0回	-	表示のみ
11. T12 TEST-TEST	T12 TEST-TEST タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト：2.0s 再送回数：5回		-	表示のみ			
12. T13 解放-CNCT	T13 パス解放-CNCT タイムアウト時間表示 再送回数表示	タイムアウト：2.0s 再送回数：0回		-	表示のみ			

(続く)

		メニュー	内容	初期値	設定可能値	備考	
共通 セット アップ	9. 環境 設定	3. 装置 環境	7. マシンネーム	マシン名の設定	VSP4540C*****	最大45桁 空白, " ", 0~9, a~z, A~Z	初期値の***** は、グローバルアドレ スの下6桁
			8. S N M P	1. コミュニティ 設定	コミュニティ名の 設定	NULL	最大45桁 空白, " ", 0~9, a~z, A~Z
		2. トラップ通知先		トラップ通知先の有 効/無効設定	トラップ無効	トラップ 無効 トラップ 有効	通知先1 通知先2 通知先3 通知先4
			9. 省エネモード	省エネモードへ遷移 するまでの時間設定	30秒	30秒 10分 30分 60分	
			10. 綴じ揃え設定	綴じ用紙の印刷方向 を揃える機能の有効 /無効設定	無効	無効 有効	FM/FNP, 69XXのみ 有効
			11. 両面印刷互換設定	片面・両面印刷のデ フォルト設定	両面	両面 従来互換	
			12. ソフトスイッチ	装置の振る舞いを 変更する特殊設定	-	1-1 ~ 1-8 2-1 ~ 2-8 3-1 ~ 3-8 4-1 ~ 4-8	「オフ」または「オ ン」を選択
		13. 綴じ向き揃え	各カセットの綴じ向 き揃えを設定	無効	カセット1 カセット2 カセット3 カセット4	「無効」 「長辺綴じ1」 「長辺綴じ2」 「短辺綴じ1」 「短辺綴じ2」 から選択	
	4. 論理 プリン タ	論理 プリン タ1 ~ 8 そ れ ぞ れ 設 定 可 (初 期 値 は 論 理 プ リ ン タ 1 の み 設 定)	サポートサーバ	サポートサーバの選 択	論理プリンタ1 PrintWalker/ PM	なし 6680-NMC BSNPS lpd PrintWalker/PM	・論理プリンタ数が1 つの場合、「なし」 は選択不可 (表示されない) ・GS連携機構オプ ション未搭載時は 「6680-NMC」選 択不可(表示され ない)
			伝送経路	伝送経路の選択	論理プリンタ1 TCP/IP	サポートサーバ設定に より異なる 6680-NMCの場合 ・DS-LINK ・TCP/IP BSNPS, lpd, PrintWalke r/PMの場合 ・TCP/IP	
			エミュレーション	エミュレーションの 選択	論理プリンタ1 FM	サポートサーバ設定に より異なる 6680-NMCの場合 ・66XX BSNPSの場合 ・66XX ・69XX lpd, PrintWalker/ PMの場合 ・66XX ・FM	

メニュー		内容	初期値	設定可能値	備考		
共通 セット アップ	9. 環境 設定	4. 論 理 プ リ ン タ 1 の 設 定 可 (初期値は論理プリンタ1のみ設定)	論理 プ リ ン タ 1 の MAC ア ド レ ス	MACアドレス(グローバル)の表示、または、MACアドレス(ローカル)の設定	020000000000	XXXXXXXXXX ↑ 2桁目は 2, 6, A, Eのみ	以下の条件時のみ 設定可 サブポートサーバ： 6680-NMC 伝送経路： DS-LINK エミュレーション： 66XX
			論理 プ リ ン タ 8 の NMC ア ド レ ス	NMCアドレスの設定	020000000000	XXXXXXXXXX ↑ 2桁目は 0, 2, 4, 6, 8, A, C, E のみ	以下の条件時のみ 設定可 サブポートサーバ： 6680-NMC 伝送経路： DS-LINK エミュレーション： 66XX
			サーバアドレス (IPv4)	FNAサーバ/リク エスタサーバアド レス の 設 定	000.000.000.000	アドレス値	以下の条件時のみ 設定可 FNAサーバ ・サブポートサーバ： 6680-NMC ・伝送経路： TCP/IP ・エミュレーション： 66XX リクエストサーバ ・サブポートサーバ： lpd または PrintWalker/PM ・伝送経路： TCP/IP ・エミュレーション： 66XX
			サーバアドレス (IPv6)	リクエストサーバ アド レ ス の 設 定	ALL "0"	アドレス値	以下の条件時のみ 設定可 ・サブポートサーバ： lpd または PrintWalker/PM ・伝送経路： TCP/IP ・エミュレーション： 66XX
			ポート番号	使用するポート番 号 の 設 定	FNAサーバ：00747 lpd：00515 BSNPS：09313 PrintWalker/PM ：09313	1～65535	以下の条件時のみ 設定可 伝送経路： TCP/IP
			リクエストポート 番号	リクエストサーバで 使用するポート番 号 の 設 定	06670	1～65535	以下の条件時のみ 設定可 ・サブポートサーバ： lpd または PrintWalker/PM ・伝送経路： TCP/IP ・エミュレーション： 66XX
	5. エ ン ジ ン 調 整	1. クリーニング	エンジンクリーニ ング を 行 う			実行確認画面で Y/Nを選択	
		2. トナーリフレッシュ	トナーリフレッシュ を 行 う			実行確認画面で Y/Nを選択	

第3章 操作説明

【論理プリンタセットアップ (66XX/69XX)】

メニュー		内容	初期値	設定可能値	備考
(66XX・69XX) 論理プリンタ セットアップ	1.	1. 上段ホッパ	全ホッパとも 全カセット使 用可 (○)	○/×で選択 1=カセット1 2=カセット2 3=カセット3 4=カセット4	
	ホッパ	2. 中段ホッパ			
		3. 下段ホッパ			
		4. 大容量ホッパ			

【論理プリンタセットアップ (FM)】

メニュー		内容	初期値	設定可能値	備考	
論理 プリンタ セット アップ (FM)	1. メニュー印刷	現在設定されている 内容の一覧印刷	片面	片面、両面		
	2. 環境 設定	1. 印刷モード	縮小印刷の設定	標準	標準 75% 70%	
		2. 印刷方向	印刷方向の設定	縦	縦 縦余白 横 横余白	
		3. 給紙口	給紙口の設定	給紙口 1	給紙口 1 給紙口 2 給紙口 3 給紙口 4 自動給紙	
		4. 用紙サイズ	用紙サイズの設定	A 4	A 3 A 4 A 5 B 4 B 5 L T	
		5. タイマ監視 (FM/FNP)	タイマ監視時間の 設定/解除	解除	解除 30秒 10秒	
		6. ブザー	ブザー鳴動の設定/ 解除	オン	オン オフ	
		7. FM解像度	解像度の設定	400dpi	400dpi 240dpi	
		8. 両面印刷	両面印刷の設定/解 除	普通綴じ	解除 普通綴じ 左綴じ 右綴じ 上綴じ 下綴じ	
	9. 綴 じ 穴 位 置	1. 長辺綴じ 表	綴じ穴位置設定	表 : 00mm 裏 : 10mm	0~99mm	
2. 長辺綴じ 裏						
3. 短辺綴じ 表						
4. 短辺綴じ 裏						
10 カセ ット 設定 (FM/ FNP)	1. 給紙口 1	ホスト指定の給紙元 に対して使用許可す る給紙口の割り当て	全ホッパとも 全カセット使 用可 (○)	○/×で選択 1=カセット 1 2=カセット 2 3=カセット 3 4=カセット 4	FNPモードでも有 効。ただし、「給 紙口1」設定のみ 複数選択可	
	2. 給紙口 2					
	3. 給紙口 3					
	4. 給紙口 4					

(続く)

第3章 操作説明

メニュー		内容	初期値	設定可能値	備考	
論理プリンタセットアップ (FM)	3. FM設定	1. 漢字書体	漢字書体の設定	明朝	明朝 ゴシック	
		2. 漢字フォント	漢字フォントの設定	10.5ポ	7ポ 9ポ 10.5ポ 12ポ	
		3. オーバマーク	オーバマーク印刷の設定/解除	印刷しない	印刷しない 白抜き 黒ベタ	
		4. 印刷開始位置	印刷開始位置の設定	原点移動	原点移動 ドットプリンタ	
		5. 行ピッチ	行ピッチの設定	6 L P I	6 L P I 8 L P I	
		6. ANK文字ピッチ	ANK文字ピッチの設定	10 C P I	10 C P I 12 C P I	
		7. 解像度切り替え	解像度の切り替え設定	自動	自動 手動	
4. 補助機能	1. 余白設定 (FM/FNP)	1. 縦上端余白 (FM/FNP)	余白の設定	5.0mm	4.0~50.0mm	環境設定→印刷方向で「縦余白」「横余白」が設定されている場合に有効 FNPモードでも有効
		2. 縦左端余白 (FM/FNP)				
		3. 横上端余白 (FM/FNP)				
		4. 横左端余白 (FM/FNP)				
	2. メモリレイアウト	1. コピーオーバーレイ	コピーオーバーレイの設定	あり	なし あり	
2. FMオーバーレイ		コピーオーバーレイの設定	4096KB	192~4096KB		

(続く)

メニュー		内容	初期値	設定可能値	備考
論理 プリンタ セット アップ (FM)	4. 補助機能	3. 特殊印刷	特殊印刷の設定／解除	解除	解除 HEXダンプ印刷 リスト印刷1 リスト印刷2 リスト印刷3
	4. 有効漢字フォント	7ポ	有効漢字フォントの設定	すべて有効	○/×で選択 ○=有効 ×=無効
		9ポ			
		12ポ			
5. 登録	1. 設定呼び出し	ストレージデバイスに記憶していた設定内容をデフォルトRAMおよび動作RAMに呼び出す	—	—	
	2. 設定初期化	ストレージデバイスデフォルトRAMおよび動作RAMの内容を工場出荷時の初期値に戻す	—	—	
	3. 設定登録	デフォルトRAM上の内容をストレージデバイスに記憶する	—	—	

3.8 LAN接続

3.8.1 LAN接続するための基本設定

ここでは、本装置をLAN接続するための基本設定例を説明します。

本装置をLAN接続するためには、共通セットアップの「装置環境」設定と「論理プリンタ」設定を行う必要があります。実際の設定／操作方法については「3.4.14 装置環境」と「3.4.28 論理プリンタ」を参照願います。

なお、設定した値は装置の電源再投入により有効になります。

- BSNPSの66XX → 「(2) BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ BSNPS*1との66XXエミュレーション印刷
*1 : BuSiness Network Printer Support
- BSNPSの69XX → 「(2) BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ BSNPSとの69XXエミュレーション印刷
- BSNPSのFM → 「(2) BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ BSNPSとのFMエミュレーション印刷
- Windows ServerのPrintWalker/PMによる66XX
→ 「(3) Windows ServerのPrintWalker/PMによる66XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ Windows ServerのPrintWalker/PMにより、HOST PRINTの帳票管理サービスを使用した66XXエミュレーション印刷
- Windows ServerのPrintWalker/PMによるFM
→ 「(3) Windows ServerのPrintWalker/PMによる66XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ Windows ServerのPrintWalker/PMによる、FMエミュレーション印刷
- Windows / Windowsのlpd (LPR) によるFM
→ 「(4) Windows / Windows Serverのlpd (LPR) による66XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ Windows / Windows Serverのlpd (LPR) による、FMエミュレーション印刷
- Windows Serverのlpd (LPR) による66XX
→ 「(4) Windows / Windows Serverのlpd (LPR) による66XX/FMを設定する場合」を参照してください。
⇒ Windows Serverのlpd (LPR) により、HOST PRINTの帳票管理サービスを使用した66XXエミュレーション印刷
- WindowsのPrintWalker/PMによるFM
→ 「(5) WindowsのPrintWalker/PMによるFMを設定する場合」を参照してください。
⇒ WindowsのPrintWalker/PMによるFMエミュレーション印刷

(1) 装置環境管理（共通設定）

プリンタ側で必要な設定は以下のとおりです。

下記に「設定不要」と記載されているものは、LAN接続において設定する必要はありません。

・管理コード設定	(設定不要)
・日付／時間設定	(設定不要)
・MACアドレス	
・ネットワーク設定	
・データレート設定	
・DS-LINK設定	
・マシン名設定	
・SNMP設定	
・省エネモード設定	(設定不要)
・綴じ揃え設定	(設定不要)

a) MACアドレス (3.4.17項)

本装置のグローバルアドレスまたはローカルアドレスを表示します。

6680-NMCのDS-LINK接続時に必要な場合があります。

b) ネットワーク設定 (3.4.18項)

TCP/IP通信を行うために必要な情報を設定します。

ネットワークアドレス設定には、以下の設定があります。

【IPv4】

・IPアドレス
・ネットマスク
・ゲートウェイアドレス1
・ゲートウェイアドレス2
・ゲートウェイアドレス3
・ゲートウェイアドレス4
・デフォルトルータ設定

① IPアドレス (3.4.18.3項)

本装置のIPアドレスを設定します。

② ネットマスク (3.4.18.3項)

ネットマスクを設定します。

② ゲートウェイアドレス1～4 (3.4.18.3項)

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項④のデフォルトルータ設定を合わせると最大5つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

・ゲートウェイアドレス
・宛先アドレス

設定およびその意味については、「3.8.2 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

④ デフォルトルータ設定 (3. 4. 18. 1項)

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項③のゲートウェイアドレス1~4の設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3. 8. 2 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

【IPv6】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ IP (リンクローカル)・ IP (グローバル)・ ゲートウェイ |
|--|

IPv6はすべて自動設定です。

上記項目は、状態確認のため表示するだけであり、設定することはできません。

c) データレート設定 (3. 4. 19項)

使用するLANインタフェースのデータレート (オート/10Base-T/100Base-TX) を設定します。

d) DS-LINK設定 (3. 4. 20項)

DS-LINKプロトコルで使用する各種タイマー値/リトライ回数の設定を行います。

※サポートサーバ“6680-NMC”、伝送経路“DS-LINK”指定時に設定が必要な場合があります。

e) マシン名設定 (3. 4. 21項)

通常設定する必要はありませんが、ネットワーク管理のためにも設定することをお勧めします。

また、LPR印刷の場合は、本マシン名設定を使用します (分かりやすい名称に変更することを推奨します)。

(2) BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合

BSNPS接続では、エミュレーションとして66XX/69XX/FMの3種類をサポートしています。BSNPSの66XX/69XX/FMを設定する場合は、以下の設定が必要になります。

A. 論理プリンタ設定 (3.4.28項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- | |
|-------------|
| a) サポートサーバ |
| b) 伝送経路 |
| c) エミュレーション |
| d) ポート番号 |

a) サポートサーバ

“BSNPS”を選択し設定します。

b) 伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c) エミュレーション

エミュレーション (66XX/69XX/FM) を選択し設定します。

d) ポート番号

ポート番号を設定します。BSNPSのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

B. 上位装置 (BSNPS) 側の設定

BSNPSの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- SPARC Servers/SPARC Enterprise : PrintWalker/BPCオンラインマニュアル
- PRIMERGY 6000 : ASPシステム導入手引書
- Linuxサーバ : PrintWalker/LXEオンラインマニュアル

(3) Windows ServerのPrintWalker/PMによる、66XX/FMを設定する場合は、以下の設定が必要になります。

A. 論理プリンタ設定 (3.4.28項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- | |
|-----------------|
| a) サポートサーバ |
| b) 伝送経路 |
| c) エミュレーション |
| d) ポート番号 |
| e) リクエストサーバアドレス |
| f) リクエストポート番号 |

a) サポートサーバ

“PrintWalker/PM”を選択し設定します。

b) 伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c) エミュレーション

エミュレーション (66XX/FM) を選択し設定します。

d) ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PMのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

e) リクエストサーバアドレス

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエストサーバアドレスの入力が必要です。

f) リクエストポート番号

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエストポート番号の入力が必要です。

B. PrintWalker/PMのインストール

PrintWalker/PMをインストールします。

※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数のものをインストールしてください。

インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照ください。

G. 上位装置 (PrintWalker/PM) 側の設定

- 1) Windows OSを起動し、Administratorsグループのユーザーとしてログオンします。
- 2) [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] を選択します。
- 3) インストールするプリンタの種類を選択します。
 - Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2の場合
プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をクリックします。
再度、プリンタの検索を行って一覧表示する画面が表示されますので、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022の場合
プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、[プリンターが一覧にない場合] をクリックします。
[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をクリックします。
再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4) プリンタポートを選択します。
はじめてインストールする場合は、[新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] 一覧から「VSP Network Port」または「VSP Network FMPort」を指定して、ポートの定義を実施します。
詳細は、装置添付CD-ROMの「PrintWalker/PM」のドキュメントを参照してください。
※既にポートを作成済みの場合は、[既存のポートを使用] を選択し、ポートの一覧から印刷先のポートを選択して、[次へ] をクリックします。
- 5) 「ポート追加」において必要情報を設定します。
 - ・ポート名 → 任意の名前を設定します (1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
 [OK] をクリックします (クリックした後、しばらく時間がかかる場合もあります)。
※プリンタ指定のホスト名はIPv6有効時のみ指定可能
- 6) 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。
プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの“README.TXT”を参照願います。

(4) Windows / Windows Serverのlpd (LPR) による66XX/FMを設定する場合

Windows OSのlpd (LPR) による66XX、FMを設定する場合は、以下の設定が必要になります。

A. 論理プリンタ設定 (3.4.28項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- | |
|-----------------|
| a) サポートサーバ |
| b) 伝送経路 |
| c) エミュレーション |
| d) ポート番号 |
| e) リクエストサーバアドレス |
| f) リクエストポート番号 |

a) サポートサーバ

“lpd”を選択し設定します。

b) 伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c) エミュレーション

エミュレーション (66XX/FM) を選択し設定します。

d) ポート番号

ポート番号を設定します。lpdのデフォルトポート番号は00515です。特に問題がない場合はこの設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

e) リクエストサーバアドレス

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエストサーバアドレスの入力が必要です。

f) リクエストポート番号

66XXエミュレーションを選択した場合、リクエストポート番号の入力が必要です。

B. 上位装置 (Windows / Windows Server) 側の設定

1) Windows OSを起動し、Administratorsグループのユーザーとしてログオンします。

2) [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] を選択します。

3) インストールするプリンタの種類を選択します。

- Windowsの場合

プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] または [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。

[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

- Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2の場合

プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。

[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、[管理者としてローカル プリンター

またはネットワーク プリンターを追加する] をクリックします。

再度、プリンタの検索を行って一覧表示する画面が表示されますので、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。

再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

- Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022の場合

プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、[プリンターが一覧にない場合] をクリックします。

[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、[管理者としてローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを追加する] をクリックします。

再度、[その他のオプションでプリンターを検索] 画面が表示されますので、[ローカル プリンターまたはネットワーク プリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

4) プリンタポートを選択します。

はじめてインストールする場合は、[新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] 一覧から「Standard TCP/IP Port」を選択して、[次へ] をクリックした後、以下の手順でプリンタポートを作成します。

[デバイスの種類] で [カスタム] を選択し、[設定] ボタンをクリックすると、[ポートの設定] 画面が表示されます。

[ポートの設定] 画面では、以下の設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

- ・ [プロトコル] は [LPR] を選択
- ・ [LPR 設定] - [キュー名] に [プリンタ名] を入力
- ・ [LPR バイト カウントを有効にする] にチェックを付ける
- ・ [SNMP ステータスを有効にする] にはチェックを付けない

元の画面で [次へ] ボタンをクリックします。

[ホスト名または IP アドレスを入力します] 画面が表示されますので、以下の設定を行って、[次へ] ボタンをクリックします。

- ・ [ホスト名または IP アドレス] に [プリンタの IP アドレス] を入力
- ・ [プリンターを照会して、使用するプリンタドライバを自動的に選択する] のチェックを外す

TCP/IP ポートの検出処理後、[追加のポート情報が必要です] 画面が表示されます。

[デバイスの種類] で [カスタム] を選択し、[設定] ボタンをクリックすると、[ポートの設定] 画面が表示されます。

[ポートの設定] 画面では、以下の設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

- ・ [プロトコル] は [LPR] を選択
- ・ [LPR 設定] - [キュー名] に [プリンタ名] を入力
- ・ [LPR バイト カウントを有効にする] にチェックを付ける
- ・ [SNMP ステータスを有効にする] にはチェックを付けない

元の画面で [次へ] ボタンをクリックします。

[LPR 設定] - [キュー名] に入力するプリンタ名は、プリンタ装置側で設定されているマシン名と論理プリンタ番号を組み合わせ、**「マシン名」** - **「論理プリンタ番号」** の形式で指定します（大文字/小文字の区別をしますので、入力時には注意してください）。

(例) マシン名 : “VSP”

論理プリンタ番号 : “1” の場合、“VSP-1” と設定します。

※マシン名は、3.4.21項を参照ください。

※既にポートを作成済みの場合は、[既存のポートを使用] を選択し、ポートの一覧から印刷先の

第3章 操作説明

ポートを選択して、[次へ] をクリックします。

- 5) 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの“README.TXT”を参照願います。

(5) WindowsのPrintWalker/PMによるFMを設定する場合

PrintWalker/PMによるFMを設定する場合は、以下の設定が必要になります。

A. 論理プリンタ設定 (3.4.28項参照)

論理プリンタ設定には、以下の設定があります。

- | |
|-------------|
| a) サポートサーバ |
| b) 伝送経路 |
| c) エミュレーション |
| d) ポート番号 |

a) サポートサーバ

“PrintWalker/PM”を選択し設定します。

b) 伝送経路

“TCP/IP”を選択し設定します。

本設定での選択項目には、“TCP/IP”しか存在していませんので、確認の意味で参照するだけで問題ありません。

c) エミュレーション

エミュレーション (FM) を選択し設定します。

d) ポート番号

ポート番号を設定します。PrintWalker/PMのデフォルトポート番号は09313です。特に問題がない場合は、この設定で使用してください。もし変更する場合は上位装置のポート番号も変更する必要があります。

B. PrintWalker/PMのインストール

PrintWalker/PMをインストールします。

※既にインストールされている場合でも、バージョンによってはメッセージが表示されないなどの不具合がありますので、なるべく新しい版数をインストールしてください。

インストール手順は、装置添付のPrintWalker CD-ROM内のドキュメントを参照ください。

【注意】印刷時はメッセージ連携(到着通知パネル等)の起動が必要です。

C. 上位装置 (PrintWalker/PM) 側の設定

1) Windows OSを起動し、Administratorsグループのユーザーとしてログオンします。

2) [デバイスとプリンター] フォルダの [プリンターの追加] を選択します。

3) インストールするプリンタの種類を選択します。

プリンタの検索を行って一覧表示する画面から、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] または [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。

[その他のオプションでプリンターを検索] 画面から、[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

4) プリンタポートを選択します。

はじめてインストールする場合は、[新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] 一覧から「VSP Network FMPort」を指定して、ポートの定義を実施します。

詳細は、装置添付CD-ROMの「PrintWalker/PM」のドキュメントを参照してください。

※既にポートを作成済みの場合は、[既存のポートを使用] を選択し、ポートの一覧から印刷先のポートを選択して、[次へ] をクリックします。

- 5) 「ポート追加」において必要情報を設定します。
- ・ポート名 → 任意の名前を設定します (1バイト系文字6文字以上32文字以下で設定してください)。
 - ・プリンタ指定 → プリンタのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
 - ・論理プリンタ → プリンタ側で設定した論理プリンタ番号を選択します。
- [OK] をクリックします (クリックした後、しばらく時間がかかる場合もあります)。
※プリンタ指定のホスト名はIPv6有効時のみ指定可能
- 6) 上記設定終了後、プリンタドライバのインストールを行います。インストールの際に選択するプリンタドライバは、本装置に添付されているプリンタドライバを選択します。プリンタドライバのインストールは、引き続き「プリンタの追加ウィザード」のメニューに沿って行います。詳細については、プリンタドライバの“README.TXT”を参照願います。

3.8.2 ゲートウェイについての補足

※設定は3.4.18.1項を参照ください。

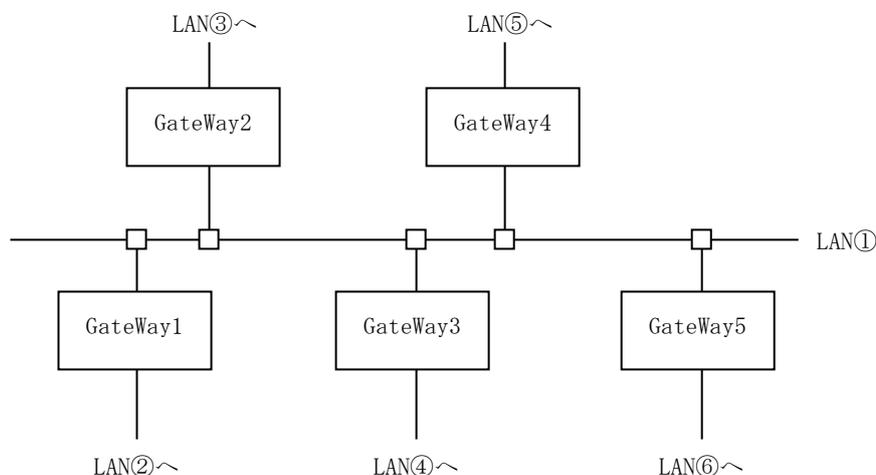


図 3.2 ゲートウェイ

LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている（同一LAN上）その他の装置と、LAN通信を行う場合は、ゲートウェイは必要ありませんが、他のLAN（LAN②～⑥）の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイが必要になります。

本装置では、最大5つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定と、デフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は4つまで、デフォルトルータ設定は1つとなっています。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。

“ゲートウェイアドレス1～4”と“デフォルトルータ設定”について説明します。

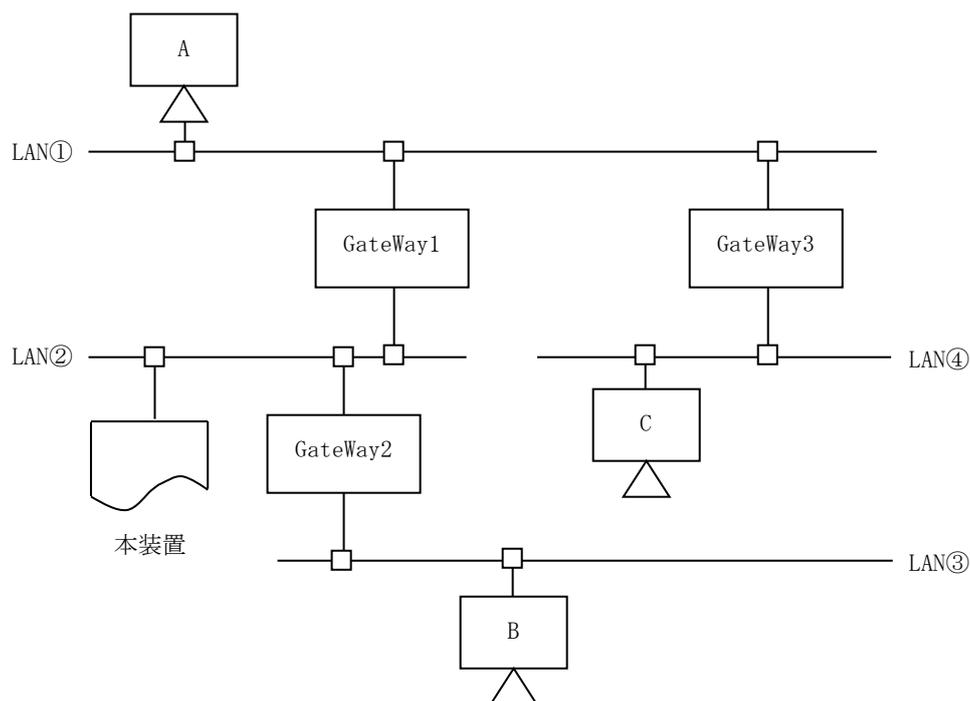


図 3.3 ゲートウェイ接続の例

- (1) 本装置がLAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。
- (2) 本装置がホストAと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス : ホストAの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス : GateWay1のアドレス (IPアドレス) を設定します。
- (3) 本装置がホストBと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス : ホストBの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス : GateWay2のアドレス (IPアドレス) を設定します。
- (4) 本装置がホストCと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス : ホストCの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス : GateWay1のアドレス (IPアドレス) を設定します。
- (5) デフォルトルータは、仮に本装置に上記(1)～(4)のような設定をしている場合に、設定しているゲートウェイのどれにも当てはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うことになります。

※ゲートウェイアドレス1～4の設定では、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイが明確になっている場合に設定します。

※ デフォルトルータは、既に設定されているゲートウェイアドレスでは処理できないデータを処理する場合に使用されます。
また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが1つしか接続されていなければ、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくだけで、特にゲートウェイアドレス1～4に設定をしなくても、他のネットワークと通信を行うことができます。

3.8.3 SNMP機能について

本装置のSNMP機能について説明します（設定は3.4.22項を参照ください）。

(1) SNMP概要

SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、ネットワーク上の各種装置を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の管理するソフトウェアをSNMPマネージャと呼び、管理される装置をSNMPエージェントと呼びます。

図3.4のようにSNMPマネージャからの問い合わせに対して、SNMPエージェントが応答を返すことによって情報のやり取りが行われます。

SNMPエージェントはMIB(Management Information Base)と呼ばれる管理情報データベースを持ち、このMIB情報をSNMPマネージャへ応答します。

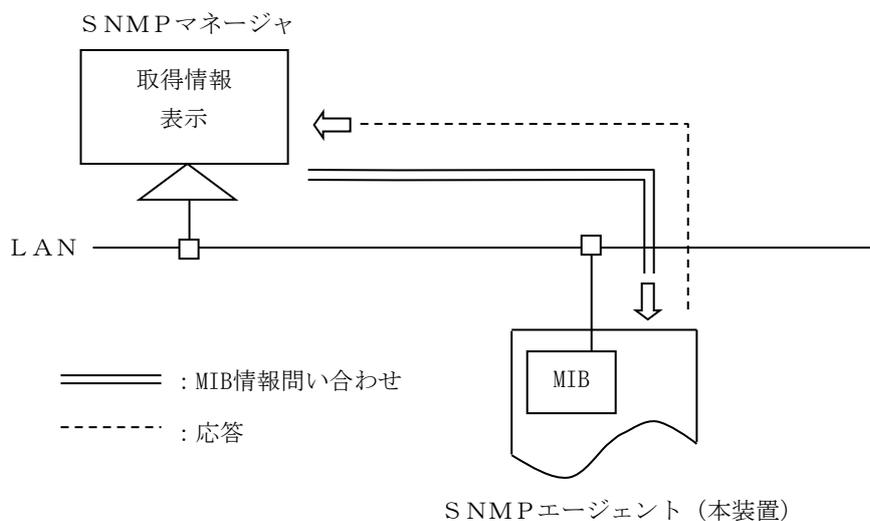


図 3.4 SNMP

(2) SNMPを利用した装置管理

本装置は、SNMPエージェントとして機能し、市販のSNMPマネージャと連携することにより、さまざまなプリンタ情報をリモートで取得することが可能になります。

具体的には、プリンタのステータス（カバー、ホッパ、スタッカ、消耗品などの状態）や、能力（解像度など）、エラーの情報などを取得可能です。

また、プリンタのパネルからトラップの設定を行うことにより、プリンタの電源投入時や、コミュニティ違反時（3.8.3(3)②参照）、本装置のエラー発生時にSNMPマネージャに対してトラップコマンドを通知することも可能になります。

(3) 本装置のサポートするSNMP

本装置では、SNMP V1 (バージョン1) をサポートしています。
以下に本装置がサポートするSNMP機能について説明します。

① SNMPコマンド

本装置では、SNMPマネージャからの情報取得コマンド (GetRequest、GetNextRequest) はサポートしており正常に応答します。しかし、SNMPエージェントのMIB情報を変更するための情報設定コマンド (SetRequest) はサポートしておらず、SNMPマネージャから設定要求があった場合にはエラーで応答します。

また、トラップコマンドはサポートしており、最大4つまで通知先IPアドレスを設定可能です。

また、これらの通知先アドレスごとに装置起動時のトラップ有効/無効、コミュニティ違反時のトラップ有効/無効、本装置のエラー発生時のトラップ通知レベル (1~5) を設定できます。

トラップ通知レベル (1~5) とは、運用環境に合わせてエラー発生によるトラップをマスクするレベルです。

トラップ通知レベル1 : すべてのエラー発生時にトラップを通知します。

トラップ通知レベル2 : 用紙なし、ホップ異常、スタッカ異常、用紙づまり、インターロック異常、消耗品発生時、CEコール発生時のみトラップ通知します。

トラップ通知レベル3 : 本装置では本レベルに該当するエラーはありません。
トラップ通知レベル5と同等のエラー発生時にトラップ通知します。

トラップ通知レベル4 : 本装置では本レベルに該当するエラーはありません。
トラップ通知レベル5と同等のエラー発生時にトラップ通知します。

トラップ通知レベル5 : CEコール発生時のみトラップ通知します。

② コミュニティ

SNMPでは、簡易セキュリティとしてデータ中にコミュニティと呼ばれる文字列を使用しています。

本装置では、このコミュニティが1つ設定可能です。設定した以外のコミュニティでSNMPマネージャからアクセスされた場合は本装置は応答せず、コミュニティ違反時のトラップを有効にした場合は、設定したIPアドレスに対してトラップコマンドを通知します。

③ MIB

本装置では、MIB II (RFC1213)、HostResourceMIB (RFC1759の範囲)、PrinterMIB (RFC1759) をサポートしています。

運用にあたり以下の点にご注意ください。

- これらのMIB情報の中には、プリンタ状態が変化しても変わらない固定値のものもあります。
- PrinterMIB中のメッセージは、日本語 (Shift-JIS) に対応しているSNMPマネージャで表示できます。

第4章 消耗品の交換

消耗品の交換方法を説明します。消耗品は、お早めにお求めくださることをお勧めします。
消耗品をお買い求めになるときは、「第7章 消耗品」を参照してください。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">▲ 警告</div>		<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ (使用済みカートリッジを含む) または、ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどや粉じん爆発の原因になります。 使用済みのカートリッジを処分するときは、富士通ワークの回収サービスをご利用ください。
		<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ (使用済みカートリッジを含む) を、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">▲ 注意</div>		<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ (使用済みトナーを含む) または、ドラムカートリッジは、子どもの手に触れないようにしてください。もし子どもが誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。 トナー (使用済みトナーを含む) を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 トナー (使用済みトナーを含む) が目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流した後、医師の診察を受けてください。 トナー (使用済みトナーを含む) を飲み込んだ場合は、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませ、医師の診察を受けてください。 用紙ぶまりの処置やトナー (使用済みトナーを含む) を補給または交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚に付いた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。 衣服に付いた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。 使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。 トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは無理に開けないでください。トナーが飛び散った場合、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因になります。
		<ul style="list-style-type: none"> 用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。 前カバーを開けるときの、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。 給紙カセットを引き出した状態や、後ろに延長した状態で前カバー、後カバーを開ける場合は、給紙カセットと開けたカバーの間に手などはさまないように注意してください。

第4章 消耗品の交換

■非純正品使用時の注意

富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。

非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

非純正の消耗品は、構造上本装置に入らないようになっている場合があります。この場合、無理に押し込んだり、カバーを開めたりしないでください。

■環境共生トナー(LB502F)のご返却について

環境共生トナー(LB502F)は、トナーカートリッジのご返却を前提とした商品であり、トナーカートリッジは富士通コワーコ株式会社の所有物です。

使用前に下記使用条件にご同意ください。なお、本商品を開梱すると、使用条件にご同意いただいたものといたします。

<使用条件>

- ・1回のみ使用できる消耗品です。
- ・使用後は必ずトナーカートリッジを富士通コワーコ株式会社にご返却ください。

<お客様へのお願いとご注意>

- ・本商品はリユース・リサイクル部品を使用している場合があります。
- ・『無償定期回収サービス』にご登録されていない場合は、後述のエコ受付センターまでお電話いただき、ご返却の手続きをお願いいたします。
- ・『無償定期回収サービス』について、詳しくは販売店、またはエコ受付センターへお問い合わせください。

■使用済みカートリッジの無償回収について

使用済みカートリッジは無償回収を行っておりますので、下記「エコ受付センター」へご連絡ください。

使用済みカートリッジ無償回収サービスについて	
富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みカートリッジは大切な資源として最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。使用済みカートリッジの回収連絡は次の「エコ受付センター」までご連絡ください。	
富士通コワーコ(株) エコ受付センター	
通話料無料	0120-300-693
月～金 / 8:40～12:00 および 13:00～17:30 (土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く)	
https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/	
	
商品に関するお問い合わせについて	
富士通コワーコ(株) お客様総合センター	
通話料無料	0120-505-279
月～金 / 9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く)	
携帯電話・PHS・IP電話 03-5520-5820 (携帯電話・PHS・IP電話、通話料はお客様のご負担になります。)	

なお、ドラムカートリッジLB502、トナーカートリッジLB502をお客様で処理される場合は、関係する法令、条例に従ってください。

4.1 トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する

トナーの残量が少なくなった、ドラムカートリッジの交換時期が近づいたまたは寿命になったなど、いずれかの状況になると、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの交換が必要になります。

操作パネルに次のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを交換してください。

※ 装置の電源は切らずに作業をしてください。

- ・トナーカートリッジ寿命の場合

トナーカートリッジ 交換

- ・ドラムカートリッジ寿命の場合

ドラムカートリッジ 寿命 交換

■ 重要

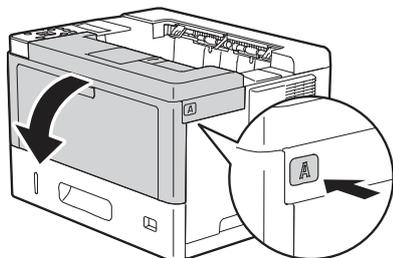
- ・前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。ドラムカートリッジは、室内灯でも長時間光に当てると性能が低下します。トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの交換は速やかに行ってください。
- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ/汚れ/かすれなど、印刷品質が劣化する場合があります。有効期限内での使用をお願いします。有効期限は、梱包箱に記載しています。
- ・トナーカートリッジ交換メッセージが表示された時に、トナーカートリッジ内に画質を維持するためのトナーが残る場合がありますが、交換メッセージ表示後は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

◆ 補足

- ・電源を切断した状態や省エネモード時、エラー発生時にドラムカートリッジ、トナーカートリッジの交換を行った場合、交換が正常に検出できない場合があります。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、立てたり、斜めに立てかけたりしないでください。
- ・ドラムカートリッジやトナーカートリッジの印刷可能ページ数の目安は上記のとおりですが、実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類、サイズ、印刷内容、印刷濃度、環境条件によって異なります。
- ・以下の不具合が出た場合は、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命です。交換してください。
 - ・部分的に白く抜ける
 - ・印字かすれやムラが出る
 - ・白いスジが入る
 - ・全体が黒く印刷される
 - ・文字がにじむ
- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジに不具合があった場合は、購入された販売店にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、振ったり(開封時を除く)、衝撃を与えたりしないでください。印刷面の汚れや、トナーこぼれ、故障の原因になります。
- ・手や衣服を汚さないように注意してください。

4.2 トナーカートリッジを交換する

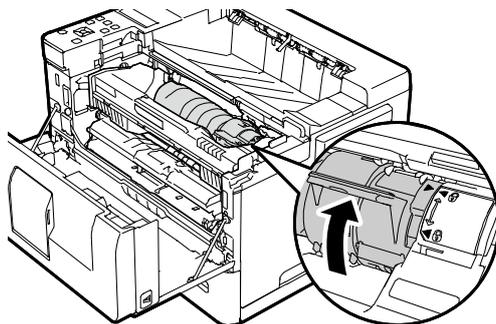
1 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーをゆっくりと開きます。



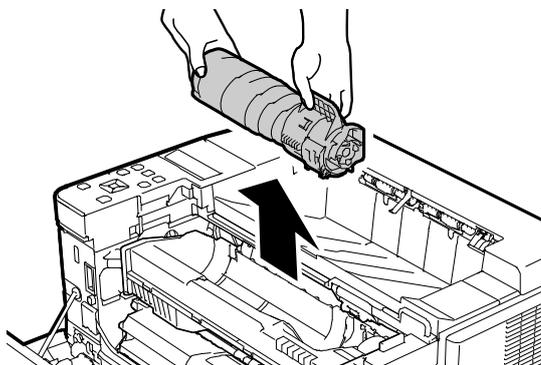
▲ 注意

・手差しトレイに用紙をセットしているときは、一度用紙を取り除いてください(用紙が落下します)。

2 トナーロックレバーを矢印の方向に突き当たるまで倒してロックを解除します。



3 トナーカートリッジをゆっくりと取り出します。

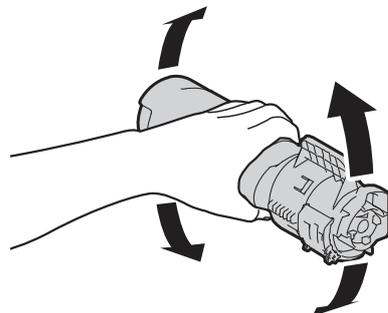


▲ 注意

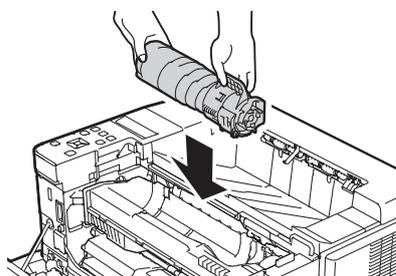
- ・一度使用したトナーカートリッジは、振らないでください。振るとトナーがこぼれるおそれがあります。
- ・トナーカートリッジ交換メッセージが表示された時に、トナーカートリッジ内に画質を維持するためのトナーが残る場合がありますが、交換メッセージ表示後は、新しいトナーカートリッジに交換してください。

- 4 新しいトナーカートリッジを用意し、軽く10回振ります。

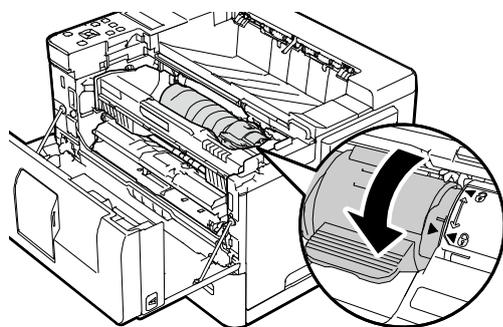
トナーカートリッジは縦には持たずに横に持って振ってください。



- 5 新しいトナーカートリッジをドラムカートリッジにしっかりと押し込みます。



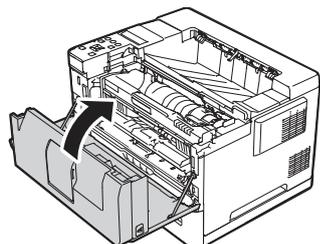
- 6 トナーロックレバーを手前に倒してロックします。



■ 重要

- ・トナーロックレバーは、トナーカートリッジをドラムカートリッジにセットしてから操作してください。

- 7 前カバーを両手で静かに閉めます。



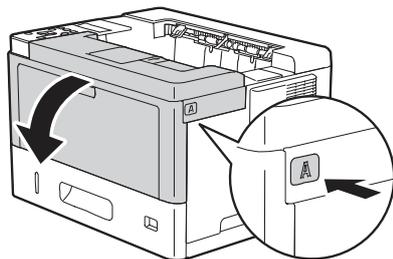
- 8 操作パネルのリセットキーを押下します。

4.3 ドラムカートリッジを交換する

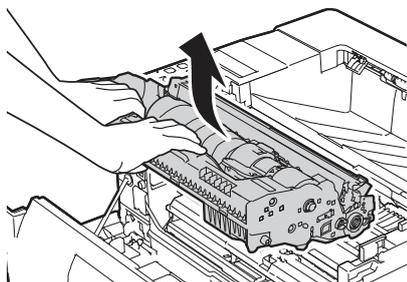
◆ 補足

- ・トナーカートリッジにトナーが残っていれば、今まで使用していたトナーカートリッジを新しいドラムカートリッジに取り付けて使用することができます。

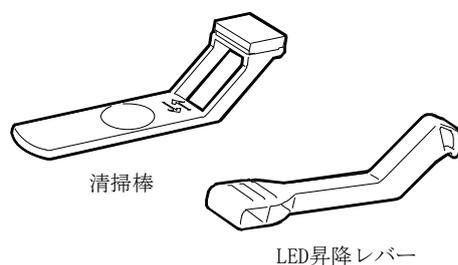
1 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーをゆっくりと開きます。



2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。



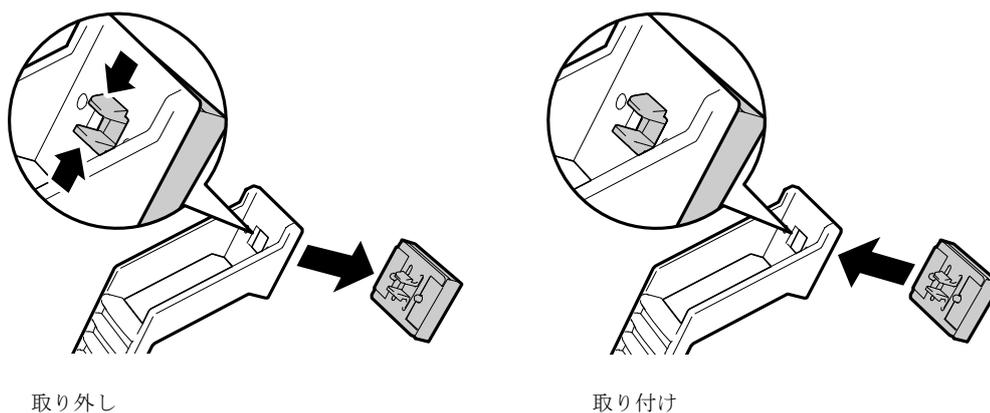
3 プリンタ本体に同梱されていたLED清掃キット(清掃棒とLED昇降レバー)を用意します。



■ 重要

・LED清掃キットは、プリンタ本体に同梱されています。紛失しないよう大切に保管してください。

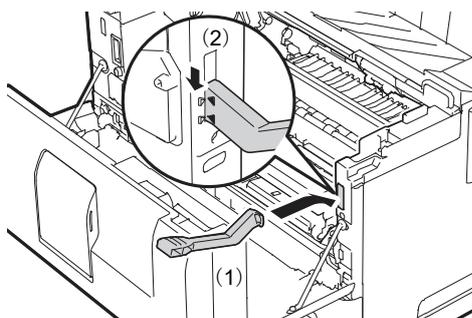
4 清掃棒の清掃パッドを交換します。



◆ 補足

・清掃パッドは、ドラムカートリッジに添付されている、交換手順書に貼付されています。

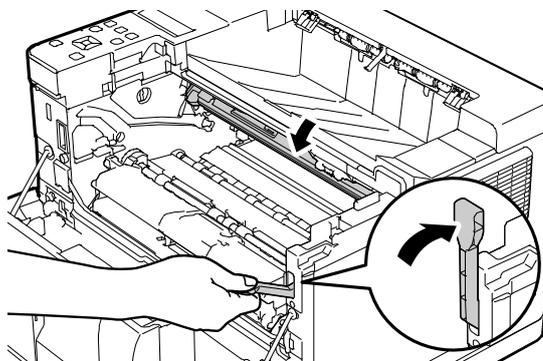
5 (1) LED昇降レバーをプリンタの右側の穴にまっすぐに挿入し、(2) プリンタの ▶ とLED昇降レバーの ◀ を合わせます。



■ 重要

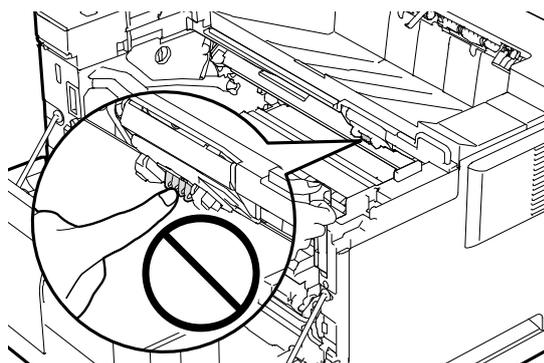
・LED昇降レバーは、必ずまっすぐに挿入してください。
まっすぐに挿入しないと、LED清掃後にLED昇降レバーが抜けなくなる場合があります。

6 LED昇降レバーを持ち上げて、LEDヘッドを下げます。昇降レバーは持ち上げたままの状態ですべてください。

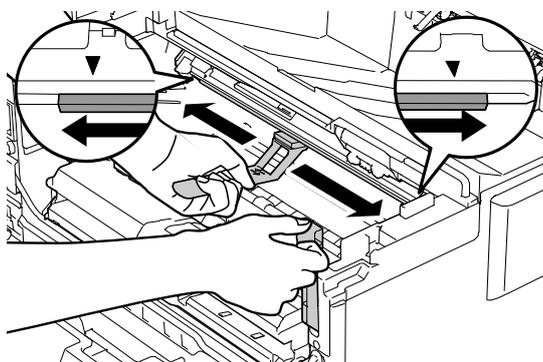


■ 重要

- ・LEDヘッドを清掃するときは、周囲の突起物に注意して清掃を行ってください。
- ・異常画像が発生しますので、LEDヘッドのレンズ面は素手で触らないでください。



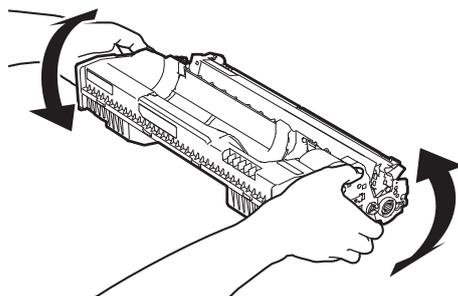
7 清掃棒のパッド部分をLEDヘッドのレンズ面(黒いガラスの下側)にあて、左右に一往復させて軽く拭きます。



◆ 補足

- ・LED清掃後は、LED清掃キットを紛失しないように大切に保管してください。

8 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し8回振ります。

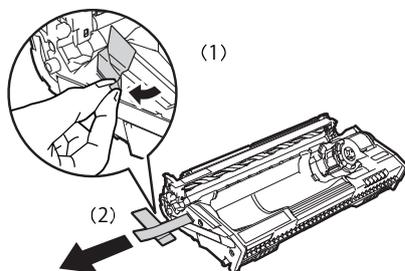


■ 重要

攪拌が足りない場合、「ドラムカートリッジを再セット」のメッセージが出たり、「64-80 ATC異常」となる場合があるため、上記回数文、しっかり攪拌してください。

9 ドラムカートリッジを平らなところに置きます。

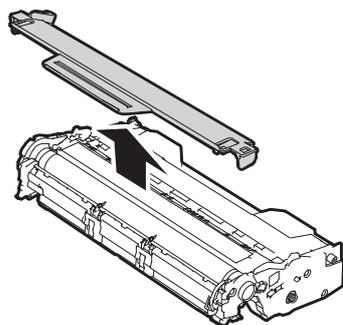
10 (1)テープを剥がし、(2)トナーシールをまっすぐに引き抜きます。



■ 重要

- ・トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを引き抜いてから使用してください。
- ・トナーシールを引き抜くときは、ドラムカートリッジを水平にしてください。立てたり、斜めにした状態で引き抜くと故障の原因になります。
- ・トナーシールを引き抜いた後は、ドラムカートリッジを振らないでください。
- ・トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くとトナーがこぼれたり、トナーシールが途中で切れる原因になります。
- ・ドラムカートリッジには、衝撃を与えないでください。印刷面の汚れや、トナーこぼれ、故障の原因になります。
- ・手や衣服を汚さないように注意してください。

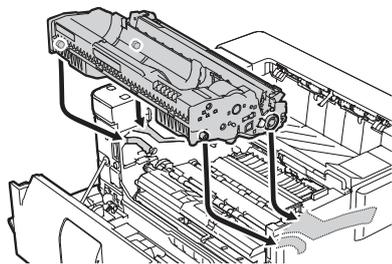
11 ドラムカートリッジを前後方向に回して裏返し、オレンジ色の保護カバーを取り外します。



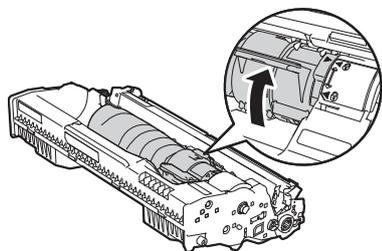
■ 重要

- ・感光体(緑色のドラム部分)に触れないようにしてください。印字品質に影響する可能性があります。
- ・現像剤等の偏りを防ぐため、裏返す時は左右方向(長手方向)に回転させないでください。

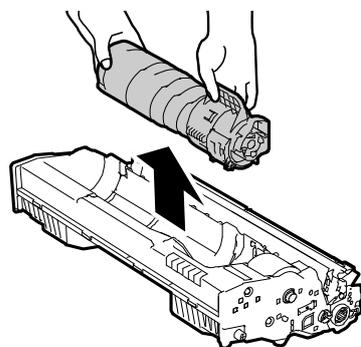
- 12 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



- 13 古いドラムカートリッジにセットされたトナーカートリッジのロックレバーを奥側に突き当たるまで倒してロックを解除します。



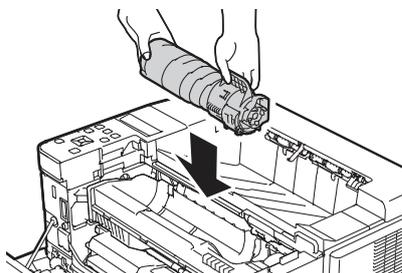
- 14 古いドラムカートリッジから、トナーカートリッジをゆっくり取り出します。



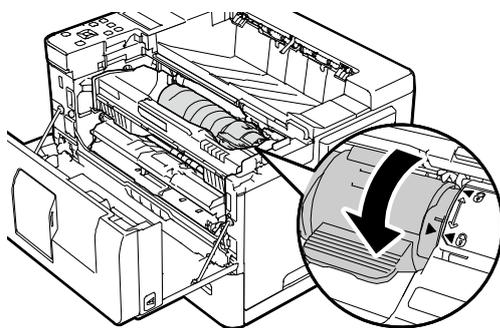
▲ 注意

- ・一度使用したトナーカートリッジは振らないでください。振るとトナーがこぼれるおそれがあります。

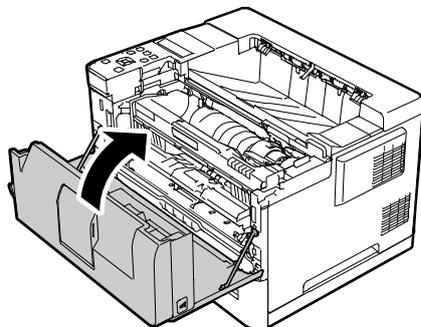
15 新しいドラムカートリッジに、トナーカートリッジをセットします。



16 トナーロックレバーを手前に倒してロックします。



17 前カバーを両手で静かに閉めます。



▲ 注意

- ・新しいドラムカートリッジをセットした際は、プリンタが印刷可能状態になるまで、しばらく時間がかかりますが、そのまましばらくお待ちください。

18 操作パネルのリセットキーを押下します。

■ 重要

「ドラムカートリッジを再セット」や「64-80 ATC異常」となった場合は、ドラムカートリッジを一旦取り外し、軽く振ってから再セットしてください。
なお、この時トナーがこぼれて手や衣服、装置、周辺を汚さないようご注意ください。

4.4 トナーカートリッジ寿命および、ドラムカートリッジ寿命について

トナーカートリッジ1本あたりの印刷量の目安はJIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づき、LB502/LB502F は約15,000ページ、装置添付のトナーカートリッジ (スターター) は約6,000ページです。

LB502ドラムカートリッジおよび装置添付のドラムカートリッジ (スターター) は、1本あたりの印刷量の目安は、A4横、片面印刷、印字率5%以下の印刷にて約40,000ページ (4ページ/ジョブ印刷時)、約25,000ページ (1ページ/ジョブ印刷時) です。また、印字率が5%を超える場合は、印字率に応じて印刷可能ページ数が減ります。

(注)上記の印刷量の目安は、装置使用環境、用紙サイズ、印刷内容、用紙種類、電源ON/OFF動作に伴う初期化動作や印字品質保持のための調整動作などにより変動します。

なお、本装置ではトナーカートリッジ寿命時やドラムカートリッジ寿命時に装置の故障を防ぐため、動作を停止させており印刷ができなくなります。オペレータパネル上に「トナーカートリッジ準備」や「ドラムカートリッジ準備」が表示された場合には、新しいカートリッジを準備してください。

「トナーカートリッジ準備」や「ドラムカートリッジ準備」が表示されてから、「トナーカートリッジ交換」や「ドラムカートリッジ交換」となって装置が停止するまでの印刷可能枚数の目安は以下となります (あくまでも目安であり、用紙種類や印刷条件などによって異なります)。

「トナーカートリッジ準備」～「トナーカートリッジ交換」：約3,750 ページ

「ドラムカートリッジ準備」～「ドラムカートリッジ交換」：約4,000ページ

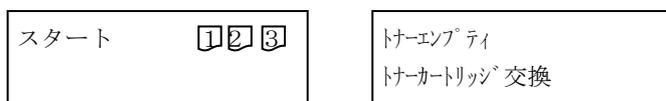
4.4.1 カスタムモードについて

「トナーカートリッジ交換」となって動作が停止した状態において、やむを得ずトナーカートリッジを交換しないで継続して使用しなければならない場合は、「カスタムモード」にすることで継続使用が可能になります。ただし「カスタムモード」は品質保証外のモードであり、本来の性能が発揮できない場合 (注1) があります。そのまま使い続けると装置が故障する原因となることがあります。また「カスタムモード」時の装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。

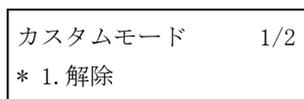
注1：「トナーカートリッジ準備」の表示が出なくなります。

4.4.2 カスタムモードの設定/解除について

操作パネルに「スタート」表示中 (待機状態) または「トナーカートリッジ交換」表示中に「セットアップ」キーを2秒押ししてください。以下の表示になります。



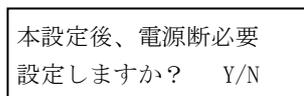
「セットアップ」キーを2秒押下します。



※初期設定は「1. 解除」です。

カスタムモードを設定する場合は「▲」「▼」キーを押下して「1. 解除」または「2. 設定」に「*」を付けてください。「*」が付いている方が選択されている状態です。

「セット (Yes)」キーを押下してください。



「セット (Yes)」キーを押下してください。

電源を再投入すると、選択した状態になります。

■ 重要

- ・トナーカートリッジ交換後は、必ずカスタムモードの設定を解除してください。

第5章 異常発生時の操作

本章では、本装置が故障かなと思ったときの処置、印刷品質が低下したときの処置および異常メッセージが表示されたときの操作について説明します。

5.1 電源が入らない、印刷が始まらないとき

電源が入らないときや、印刷を実行しても印刷が開始されないときの対処方法に関する説明です。

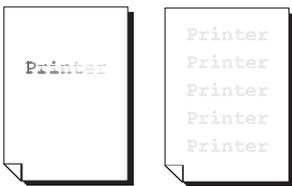
確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源ケーブルが装置側およびコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源/省エネ解除キーを押してください。
ステータスLEDは点灯していませんか？	点灯しているときは、操作パネルの画面のメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 詳しくは、付録1「メッセージ一覧」を参照してください。
用紙はセットされていますか？	給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットしてください。詳しくは、第2章「2.2 用紙をセットする」を参照してください。
テストプリントができますか？	テストプリントができない場合は、本装置が故障している可能性があります。保守員に相談してください。テストプリントの方法については、第3章「3.4.3 テストプリント」を参照してください。
LANケーブルがきちんと接続されていますか？	LANケーブルが上位接続先、本体にしっかりと接続されていることを確認してください。
LANケーブルを接続してから、本体の電源を入れましたか？	本体の電源を入れた後にLANケーブルを接続すると、正しく認識されません。LANケーブルを接続してから、本体の電源を入れてください。
ドラムカートリッジの交換直後ではありませんか？	ドラムカートリッジを交換した直後は、ドラムカートリッジの初期動作が入るため、印刷可能状態になるまでしばらくかかります。

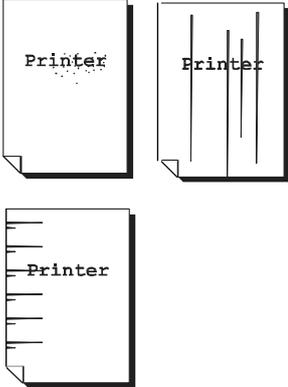
問題が解決しないときは、保守員にご連絡ください。

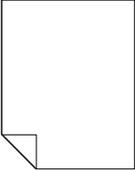
5.2 正しく印刷できないとき

印刷を実行しても、思いどおりに印刷できないときの対処方法に関する説明です。

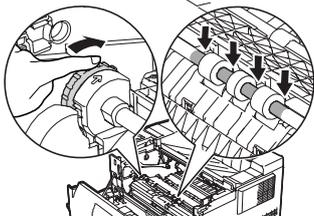
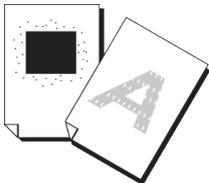
5.2.1 きれいに印刷できないとき

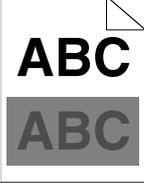
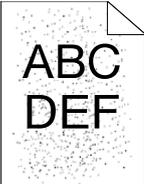
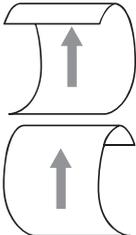
状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面が汚れる	印刷濃度を調整してください。印刷濃度の調整の方法は、第3章「3.4.4 濃度設定」を参照してください。
	用紙が反ったり、曲がったりしていないか確認してください。用紙が反っていたり、曲がっていたりすると、汚れの原因になります。このような場合、用紙の表／裏を逆にしてカセットにセットしてみてください。また「6.4 用紙の取り扱いと保管」も参照してください。
	トナーカートリッジをドラムカートリッジにセットするときに何度も抜き差しすると、印刷面に汚れが出たり、トナーこぼれや故障の原因になります。
	同様のパターンのデータや空白の多いデータの大量印刷や幅の狭い用紙(A3, A4横以外)への大量印刷を行うと、ドラムカートリッジ内のトナーの片寄りにより印刷汚れが発生することがあります。この場合、A4サイズ全面への文字等のデータを汚れが出なくなるまで(50枚程度)印刷してください。
用紙の裏面が汚れる	本体給紙カセットやオプションの給紙カセットにセットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズおよび方向に用紙サイズダイヤルを合わせてください。
	用紙の搬送路がトナー等で汚れている可能性があります。数枚テスト印刷をして汚れがとれたかどうかを確認してください。
	A3, A4横以外の幅が狭い用紙への印刷後に、A3, A4横等の幅が広い用紙への印刷を行うと、用紙裏面の両端に汚れが発生することがあります。 用紙の搬送路がトナー等で汚れている可能性があります。数枚テスト印刷をして汚れがとれたかどうかを確認してください。
用紙中央部先端が折れる／破れる	用紙製造加工時のわずかなバリの影響で、給紙時に微小なめくれや折れ、破れが発生する場合があります。この場合、用紙の表／裏を変えて用紙をセットしてみてください。
印刷が薄い(かすれる、不鮮明) 	印字濃度の設定が適切でない可能性があります。印刷濃度の調整の方法は「3.4.4 濃度設定」を参照してください。
	用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。
	LEDヘッドが汚れている可能性があります。LEDヘッドを清掃してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。
	同様のパターンの連続印刷や大量印刷を行った場合、濃度ムラが発生することがあります。 発生した場合、印刷を一時止めるか、一度の印刷量を少なくして、様子を見てください。
	トナーカートリッジの交換時期です。 新しいトナーカートリッジに交換してください。詳しくは「4.2 トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。 新しいドラムカートリッジに交換してください。 詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。

状態	原因・対処方法・参照先
	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されている場合があります。用紙をよくさばいてからセットし直してください。詳しくは「2.2 用紙をセットする」を参照してください。</p> <p>用紙が斜めにセットされている場合があります。用紙をセットし直してください。詳しくは「2.2 用紙をセットする」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p> <p>エンジンクリーニングを実行してください。詳しくは「3.4.30 エンジン調整」を参照してください。</p> <p>トナーリフレッシュを実行してください。詳しくは「3.4.30 エンジン調整」を参照してください。</p>
<p>黒点「。」や黒い小円「。」が印刷される</p> 	<p>使用している用紙が適切でない場合があります。詳しくは「2.1 用紙について」を参照してください。</p> <p>トナー残量が少なくなった可能性があります。新しいトナーカートリッジに交換してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>定期交換部品の交換時期の場合があります。保守員に連絡してください。</p> <p>プリンタ内の用紙搬送路などが汚れている場合があります。テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。詳しくは「3.4.3 テストプリント」を参照してください。</p>
<p>黒点や黒線が印刷される 等間隔に汚れる</p> 	<p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>プリンタ内の用紙搬送路などが汚れている場合があります。テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。詳しくは「3.4.3 テストプリント」を参照してください。</p> <p>定着器が劣化、または損傷している可能性があります。定着器の状況によって交換が必要な場合がありますので保守員にご連絡ください。</p>

状態	原因・対処方法・参照先
<p>黒く塗りつぶされた部分に白点がある</p> 	<p>使用している用紙が適切でない場合があります。詳しくは「2.1 用紙について」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p>
<p>指でこすると、印字がはがれる</p> 	<p>用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは、第6章「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p> <p>一度印刷した用紙、裏紙を使用していませんか。適切な用紙をセットし直してください。詳しくは「6章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。</p> <p>結露している場合があります。プリンタを室温に充分になじませてください。</p> <p>定着器が劣化、または損傷している可能性があります。定着器の状況によって交換が必要な場合がありますので保守員にご連絡ください。</p>
<p>用紙全体に黒色が付いて印刷される</p> 	<p>ドラムカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。ドラムカートリッジをセットし直してください。詳しくは「4章 消耗品の交換」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>プリンタ内の高圧電源などの故障の可能性があります。保守員に連絡してください。</p>
<p>何も印刷されない</p> 	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されている場合があります。用紙をよくさばいてからセットし直してください。詳しくは「2.2 用紙をセットする」を参照してください。</p> <p>トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。正しくセットし直してください。詳しくは「4章 消耗品の交換」を参照してください。</p> <p>トナー残量が少ないか、交換の必要がある可能性があります。トナーカートリッジの残量を確認してください。詳しくは「4.2 トナーカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>プリンタ内の高圧電源などの故障の可能性があります。保守員に連絡してください。</p>

状態	原因・対処方法・参照先
<p>白抜けや白スジが出る</p> 	<p>LEDヘッドが汚れている可能性があります。LEDヘッドを清掃してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>用紙に湿気が含まれている可能性があります^{*1}。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。</p> <p>使用している用紙が適切でない場合があります。詳しくは「2.1 用紙について」を参照してください。</p> <p>トナー残量が少ないか、交換の必要がある可能性があります。トナーカートリッジの残量を確認してください。詳しくは「4.2 トナーカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p> <p>トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。正しくセットし直してください。詳しくは「4章 消耗品の交換」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジ劣化、または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>定着器が劣化、または損傷している可能性があります。定着器の状況によって交換が必要な場合がありますので保守員にご連絡ください。</p>
<p>用紙にシワがつく 用紙が送られない 用紙づまりが起こる 用紙が重走される 用紙が斜めに送られる</p> 	<p>用紙のセットが適切でない可能性があります。用紙を正しくセットし直してください。詳しくは「2.2 用紙をセットする」を参照してください。</p> <p>用紙に湿気が含まれている可能性があります^{*1}。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。</p> <p>使用している用紙が適切でない場合があります。詳しくは「2.1 用紙について」を参照してください。</p> <p>一度印刷した用紙、裏紙を使用していませんか。適切な用紙をセットし直してください。詳しくは「6章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p> <p>用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p>プリンタが水平な場所に設置されていない可能性があります。プリンタを平らな場所に設置し直してください。</p> <p>給紙カセットが正しくセットされていない可能性があります。給紙カセットをプリンタの奥まで静かにしっかりと押し込んでください。</p>

状態	原因・対処方法・参照先
	<p>用紙の継ぎ足しをしていませんか。 給紙カセットの用紙は一括でセットし、継ぎ足しをしないで使い切ってください。</p>
<p>用紙の端面、先端/後端が汚れる</p> 	<p>プリンタ内部を清掃してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 清掃するときは「5.6.2 用紙送りローラーに用紙がつまっている場合」の手順1～3を実行します。 2. 青色ノブを奥側に回しながら、図で示した部分を水で湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。  <ol style="list-style-type: none"> 3. 清掃が終わったら「5.6.2 用紙送りローラーに用紙がつまっている場合」の手順6～7を実行します。 <p>用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。</p>
<p>文字がにじむ</p> 	<p>用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。</p> <p>使用している用紙が適切でない場合があります。 詳しくは「2.1 用紙について」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している可能性があります。 新しいドラムカートリッジに交換してください。 詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。 詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p> <p>用紙ガイドが正しい位置にセットされていない可能性があります。 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p>用紙の継ぎ足しをしていませんか。 給紙カセットの用紙は一括でセットし、継ぎ足しをしないで使い切ってください。</p>
<p>画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかかっている</p> 	<p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。 詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p>

状態	原因・対処方法・参照先
<p>文字や図形に残像が写る</p> 	<p>600dpi以上の高解像度で印刷している場合は、解像度を変更して印刷してみてください。改善される場合があります。</p> <p>一度印刷した用紙、裏紙を使用していませんか。適切な用紙をセットし直してください。詳しくは「6章 用紙仕様および帳票設計」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p>
<p>ビーズ上の小さな点がある</p> 	<p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p>
<p>用紙がカールする</p> 	<p>用紙のセットが適切でない可能性があります。用紙を正しくセットし直してください。詳しくは「2.2 用紙をセットする」を参照してください。</p> <p>用紙の裏表を確認してください。用紙に裏表の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は開封面が印刷面です。</p> <p>用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。詳しくは「6.4.1 用紙の取り扱い上の注意」を参照してください。</p> <p>用紙種類(メディアタイプ)の設定が正しくない可能性があります。詳しくは「3.4.9 メディアタイプ」「3.4.10 手差し設定」を参照してください。</p>
<p>画像がぼやけている</p> 	<p>LEDヘッドが汚れている可能性があります。LEDヘッドを清掃してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>エンジンクリーニングを実行してください。詳しくは「3.4.30 エンジン調整」を参照してください。</p> <p>トナーリフレッシュを実行してください。詳しくは「3.4.30 エンジン調整」を参照してください。</p>
<p>斜線が入る</p> 	<p>トナー残量が少ないか、交換の必要がある可能性があります。トナーカートリッジの残量を確認してください。詳しくは「4.2 トナーカートリッジを交換する」を参照してください。</p> <p>エンジンクリーニングを実行してください。詳しくは「3.4.30 エンジン調整」を参照してください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷している可能性があります。新しいドラムカートリッジに交換してください。詳しくは「4.3 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。</p>

第5章 異常発生時の操作

状態	原因・対処方法・参照先
<p data-bbox="204 282 400 315">斜めに印刷される</p> 	<p data-bbox="592 282 1294 371">用紙ガイドの位置が正しくセットされていない可能性があります。 用紙ガイドを正しい位置にセットし直してください。 詳しくは「2.2 用紙をセットする」を参照してください。</p>

*1 : 未開封の新しい用紙と交換してください。

5.2.2 給紙がうまくいかないとき

状態	原因・対処方法・参照先
両面印刷ができない	手差しトレイにセットした用紙は、両面印刷できません。
何度も用紙づまりが発生する	装置に関する注意 本体内部に紙片などが残っていないか確認してください。「5.6 用紙づまりが発生したとき」を参照してください。
	用紙送りローラーが汚れている可能性があります。用紙送りローラーを清掃してみてください。「10.2 給紙カセットの用紙送りローラーを清掃する」および「10.3 手差しトレイの用紙送りローラーを清掃する」を参照してください。
	トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは純正品をご使用ください。非純正品をご使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。
	用紙に関する注意 用紙が厚いか、薄い可能性があります。「2.1.1 使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。
	用紙に湿気が含まれている可能性があります*1。適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。「6.4 用紙の取り扱いと保管」を参照してください。
	薄い用紙や吸湿している用紙の場合、カセット内の用紙が数枚になりますと、用紙づまりが発生する場合があります。
	本装置で使用できない用紙は使用しないでください。「6.4.3 使用できない用紙」を参照してください。
	カセットの用紙は一括でセットし、継ぎ足しはせしないで使い切ってください。
	設定／運用に関する注意 セットした用紙と、用紙サイズダイヤル(手差しの場合は操作パネル)の設定が合っていない可能性があります。用紙サイズダイヤルまたは操作パネルの設定を確認し、セットした用紙サイズと方向の組み合わせに合わせてください。
	給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされているか確認してください。また、サイドガイドがきつくセットされている場合はサイドガイドを軽く突き当て直してください。
	セットされている用紙が多すぎる可能性があります。給紙カセット、または手差しトレイに示されている上限表示の線を超えないように用紙を入れてください。
	両面印刷をするたびに用紙がつまる場合 ・連続して大量印刷を行うと用紙づまりが発生する場合があります。一度の印刷を少なくし、間隔を空けて印刷してください。
用紙の表／裏を逆にして、カセットにセットしてみてください。	

*1 : 未開封の新しい用紙と交換してください。

第5章 異常発生時の操作

状態	原因・対処方法・参照先
用紙が一度に何枚も送られる	用紙の表／裏を逆にして、カセットにセットしてみてください。
	用紙をパラパラとさばいてみてください。
	用紙送りローラーが汚れている可能性があります。用紙送りローラーを清掃してみてください。「10.2 給紙カセットの用紙送りローラーを清掃する」および「10.3 手差しトレイの用紙送りローラーを清掃する」を参照してください。
	パンチ穴や裁断面にバリがある用紙は使用しないでください。 「2.2 用紙をセットする (1)給紙カセットに用紙をセットする」の手順3を参照してください。
用紙が斜めに送られる	用紙とサイドガイドにすき間がなく用紙が真っ直ぐにセットされていることを確認してください。 「2.2 用紙をセットする (1)給紙カセットに用紙をセットする」を参照してください。
給紙カセットにつまった用紙を取り除いたが、画面のエラーメッセージが消えない	用紙づまりのメッセージが表示されたときは、該当するカバーの開け閉めを行わないとエラーメッセージが解除されない場合があります。つまった用紙を取り除いた後は、該当するカバーの開け閉めを行ってください。 詳しくは「5.5 用紙づまり」を参照してください。
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。そのまましばらくお待ちください。
	省エネモードに入るとウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。
	複数の論理プリンタで異なる解像度の印刷を行うと、印刷前に「解像度切り替え処理」が発生するため、一時的に印刷が中断します。そのまましばらくお待ちください。
異常音がする	異常音がする周辺で、最近交換したドラムカートリッジやトナーカートリッジなどがある場合、それらがしっかりと取り付けられているかを確認してください。
用紙がカセットから送られない	用紙送りローラーが汚れている可能性があります。用紙送りローラーを清掃してみてください。「10.2 給紙カセットの用紙送りローラーを清掃する」を参照してください。
	用紙のセットを手順どおり正しく行わないと、給紙不良や用紙折れが発生する場合があります。このような場合はカセット内の用紙を正しくセットしてください。
	給紙カセットの用紙ガイドは正しい位置にセットしてください。「2.2 用紙をセットする (1)給紙カセットに用紙をセットする」を参照してください。
思ったカセットとは違うカセットから給紙される	セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 「2.2 用紙をセットする」を参照してください。

問題が解決しないときは、保守員にご連絡ください。

5.3 用紙切れ

- (1) 検出契機
印刷動作中

- (2) 表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

- ・カセットより給紙時

<p>用紙がありません カセット*=# #</p>

- ・手差しトレイより給紙時

<p>用紙がありません 手差しトレイ=# #</p>

注) * : カセット番号 (1~4) カセット2/3/4 はオプション
: 用紙サイズ (A3/A4/A5/B4/B5/LT) を示す。

- (3) 復旧操作
- ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
 - 指定カセット（手差し印刷時は手差しトレイ）に用紙を補給します。用紙補給後、「リセット」キーを押下すると装置は復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。なお、カセットを閉じた後の状態確認（手差し印刷時は手差しトレイの用紙認識）に時間がかかるため、カセットを開めた後（手差し印刷時は手差しトレイに用紙をセットしてから）数秒待ってから「リセット」キーを押下してください。
 - 上位から指定されたサイズの用紙がない場合でも本メッセージが表示されます。この場合は、正しいサイズの用紙をカセット（手差し印刷時は手差しトレイ）にセットしてください。なお、手差しトレイの用紙サイズを変更する場合は、操作パネルより用紙サイズ設定を変更する必要があります（手差しトレイの用紙サイズ設定については、第2章「2.2 用紙をセットする（4）手差しトレイの用紙種類と用紙サイズを設定する」を参照願います）。

- (4) 注意事項
用紙切れ発生時、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して以下のように動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
 - 用紙切れ検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態となります。
 - 用紙切れ検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- ・サポートサーバが上記以外の場合
 - 用紙切れを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。
- ・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
 - 用紙切れを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

5.4 排紙トレイでの用紙フル

(1) 検出契機

印刷動作中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

排紙トレイ フル 紙を取り除いて下さい

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. 指定排紙トレイより用紙を取り除いた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4) 注意事項

排紙トレイフル検出時点で、既に印刷動作を開始している用紙については、指定排紙トレイがフルであっても用紙は、そのまま印刷を行い排出します。

排紙トレイフル検出時では、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して以下のように動作します。

- サポートサーバが6680-NMCの場合
 - a. 排紙トレイフル検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態となります。
 - b. 排紙トレイフル検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。
- サポートサーバが上記以外の場合
 - c. 排紙トレイフル検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。
- 69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合
 - d. 排紙トレイフル検出すると、論理プリンタはストップ／オフライン状態となります。

5.5 用紙づまり

(1) 検出契機

常時

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

用紙づまり	9X-YY

注) 9X : 91は印刷中の用紙づまりを示す。

90は残紙の用紙づまりを示す。

YY : 用紙づまり詳細コード (記号)

*** : 位置情報

※表示内容および復旧手順は、「表5.1 エラーコード一覧表」を参照してください。

(3) 復旧操作

a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。

b. <カセットからの印刷の場合>

まず、操作パネルに表示されたエラーコードと「表 5.1 エラーコード一覧表」を照らし合わせ、参照先番号 (1~5) を特定します。

次に「5.6 用紙づまりが発生したとき」の参照先番号 (1~5) に対応する節を参照し、つまった用紙を取り除きます。

<手差しトレイからの印刷の場合>

操作パネルのエラーコードに関わらず、「5.6.5 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合 (用紙づまり 6)」を参照し、つまった用紙を取り除きます。

c. カバーを閉めて「リセット」キーを押下すると装置が復旧します。

なお、複数の用紙が装置内につまっている場合、一度の復旧操作で復旧できない場合があります。この場合、再度操作パネルにメッセージが表示されるので、メッセージに従って復旧操作を実施してください。

(4) 注意事項

用紙づまり発生時では、66XXエミュレーションの論理プリンタに対して以下のように動作します。

・サポートサーバが6680-NMCの場合

a. 用紙づまり検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態になります。

b. 用紙づまり検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

・サポートサーバが上記以外の場合

c. 用紙づまりを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

・69XX・FMエミュレーションの論理プリンタの場合

d. 用紙づまりを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

第5章 異常発生時の操作

(5) 用紙づまり履歴表示について

共通ストップ画面にて、リセットキーとセレクト△ キーを同時に押下することで、用紙づまり履歴(最大2つ)画面を表示します。

用紙づまりに伴う保守員への連絡を行う場合は、用紙づまり履歴画面で表示される内容もお伝えください(詳細は、「3.3.4.5 用紙づまり履歴表示画面」を参照ください)。

表 5.1 エラーコード一覧表

(1)印刷中の用紙づまり (91-YY)

表示内容	参照先
用紙づまり 91-11 カセット1 T1	2 4
用紙づまり 91-12 カセット2 T2	4 5
用紙づまり 91-13 カセット3 T3	4 5
用紙づまり 91-14 カセット4 T4	4 5
用紙づまり 91-15 カセット2-カセット1 T2	2 4 5
用紙づまり 91-16 カセット3-カセット2 T2	4 5
用紙づまり 91-17 カセット4-カセット3 T2	5
用紙づまり 91-21 用紙サイズ不一致 A	1 2 3
用紙づまり 91-22 用紙サイズ不一致 A	1 2 3 4
用紙づまり 91-23 手差しトレイ A	1 2 6
用紙づまり 91-24 本体転写 A	1 2 3
用紙づまり 91-25 本体定着 A	1 2
用紙づまり 91-26 本体定着-本体排紙 A	1 2
用紙づまり 91-27 本体定着-本体排紙 B	1 2 3
用紙づまり 91-31 両面入口 B	1 2 3 4
用紙づまり 91-32 両面内部 Z	1 2 4

(2) 残紙の用紙づまり (90-YY)

表示内容	参照先
用紙づまり 90-01 手差しトレイ A	1 2 6
用紙づまり 90-02 カセット1 T1	4
用紙づまり 90-03 カセット2出口 T2	4 5
用紙づまり 90-04 カセット2 T2	4 5
用紙づまり 90-05 カセット3出口 T3	4 5
用紙づまり 90-06 カセット3 T3	4 5
用紙づまり 90-07 カセット4出口 T4	4 5
用紙づまり 90-08 カセット4 T4	4 5
用紙づまり 90-09 本体定着 B	3
用紙づまり 90-0A 本体転写 A	1 2
用紙づまり 90-0B 本体排紙 B	1 2 3
用紙づまり 90-0C カセット1-本体転写 A	2 4
用紙づまり 90-0D 本体転写 A	1 2
用紙づまり 90-0E 両面内部 Z	3 4
用紙づまり 90-0F 両面入口 B	1 2 3 4
用紙づまり 90-10 両面出口 A	1 2 4

- ・手差し印刷時の用紙づまりは、操作パネルのエラーコードに関わらず手順6を実施してください。
- ・用紙づまりの処置をする際には、用紙搬送路内(図5.1参照)に紙片等の残留物が残っていないか十分確認してください。

5.6 用紙づまりが発生したとき

本装置に用紙がつまったときは、操作パネルの画面にエラーメッセージとエラーコード(9X-YY)が表示されます。

操作パネルに表示されたエラーコードと「表 5.1 エラーコード一覧表」を照らし合わせ、参照先番号(1)～(6)を特定し、対応する手順で用紙を取り除いてください。

ただし、手差しトレイからの印刷時に用紙づまりが発生した場合は、操作パネルのエラーコードに関わらず、「5.6.5 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合(用紙づまり(6))」を参照し、つまった用紙を取り除きます。

▲ 注意



・プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- ・用紙は破れないようにゆっくりと確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。
- ・何度も用紙づまりが発生するときは、以下の原因が考えられます。
 - ・用紙サイズダイヤルまたは操作部の設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。
 - ・給紙カセットの用紙ガイドの位置がずれている。
 - ・用紙送りローラーが汚れている(第10章「10.2 給紙カセットの用紙送りローラーを清掃する」、
「10.3 手差しトレイの用紙送りローラーを清掃する」を参照ください)。
- ・つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- ・つまった用紙はできるだけ用紙の搬送方向に取り除いてください。逆方向に取り除いた場合、未定着用紙で装置内部を汚す場合があります。
- ・残紙を取り忘れた場合、残紙の場所によっては、そのまま印刷が開始されることがあります。その場合は、残紙がそのまま排紙される場合と再び用紙づまりとなる場合があります。確実にすべての残紙を取り除いてください。
- ・上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときは保守員に連絡してください。
- ・前カバーを開ける場合、手差しトレイに用紙がないことを確認してください(用紙が落下します)。

第5章 異常発生時の操作

本装置をご使用中に用紙づまりが発生した場合は、下記のいずれかの箇所を用紙づまりが発生しています。操作パネルに表示されたエラーコードと「表 5.1 エラーコード一覧表」を照らし合わせ、参照先番号

〔1〕～〔6〕を特定し、次ページ以降の対応する手順で用紙を取り除いてください。

ただし、手差しトレイからの印刷時に用紙づまりが発生した場合は、操作パネルのエラーコードに関わらず、「5.6.6 手差し印刷時に用紙づまりが発生した場合（用紙づまり〔6〕）」を参照し、つまった用紙を取り除きます。

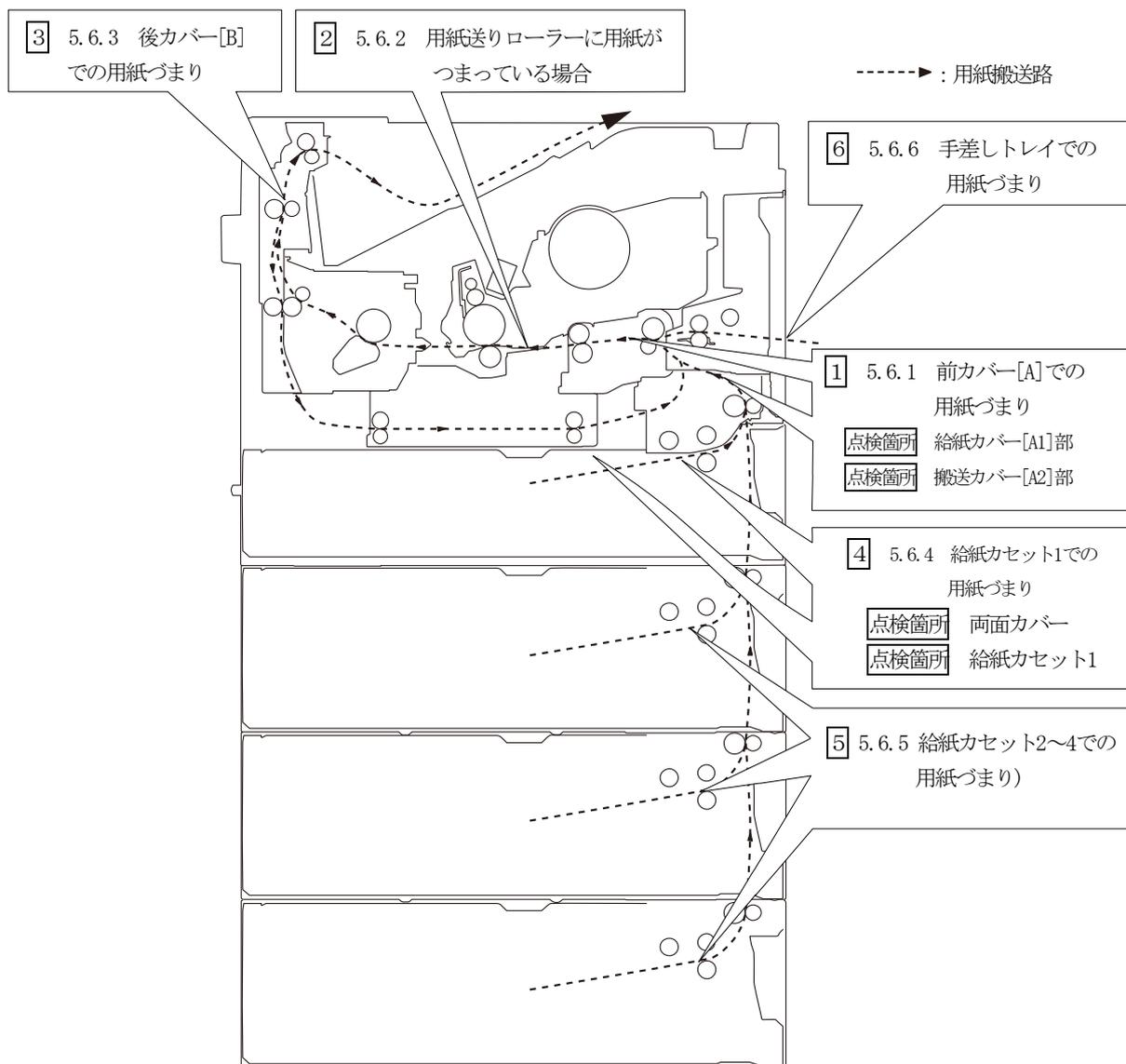


図 5.1 用紙づまり発生箇所

- *1 : 電源投入状態で手順どおりに作業してください。手順どおり以外の作業もしくは電源切断状態で操作した場合、電源再投入してもエラーが解除されない場合があります。

5.6.1 前カバー[A]での用紙づまり (用紙づまり ①)

■ 重要

- ・機械内部には高温の部分があります。定着部の用紙づまりを取り除くときは、時間を空けて、定着器のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
- ・つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、プリンタ本体内部に紙片が残る可能性があります。
- ・手差しトレイから印刷しているときは、手差しトレイにセットしてある用紙を取り除いて、手差しトレイを閉めてから前カバーを開閉させてください。

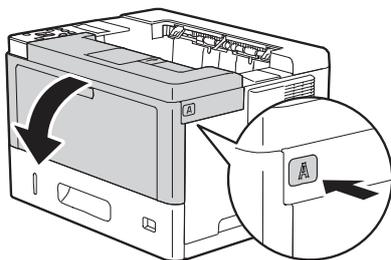
⚠ 注意



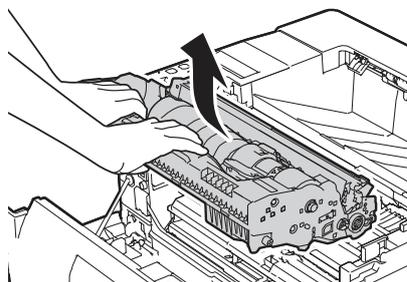
・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

■奥側に用紙がつまっている場合

- 1 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーをゆっくり開きます。



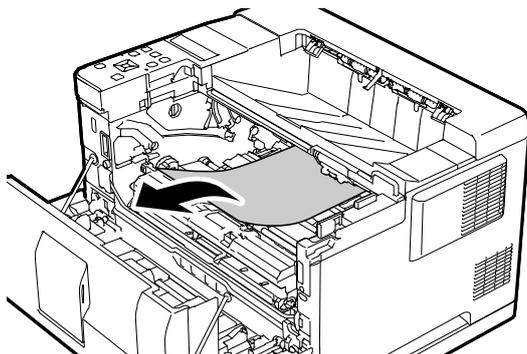
- 2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ平らなところに置きます。



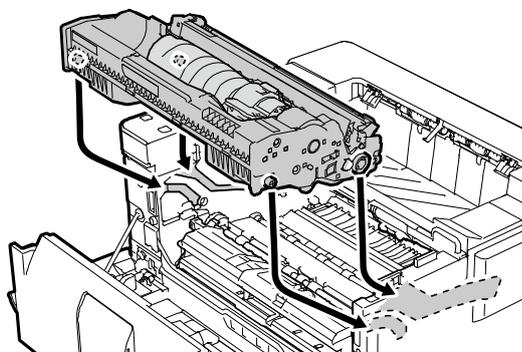
⚠ 注意

- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。
- ・用紙サイズダイヤルとセットした用紙サイズが一致しているか確認してください。
- ・一番下の用紙がずれている場合があります。その場合は用紙を取り除いてください。

3 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

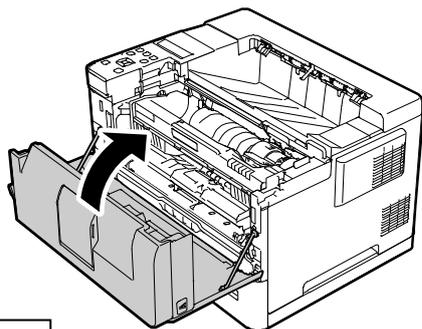


4 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起を装置本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



5 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

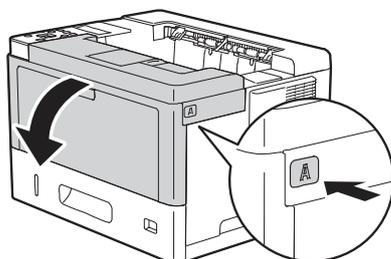


◆ 補足

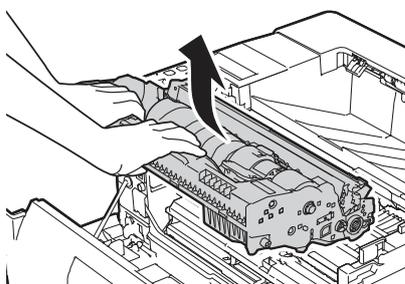
- ・前カバーの開閉を行わないとエラーは解除されません。
- ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度つまった用紙を取り除いてください。

■給紙カバー[A1]部に用紙がつまっている場合

1 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーをゆっくり開きます。



2 ドラムカートリッジの取手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ平らなところに置きます。

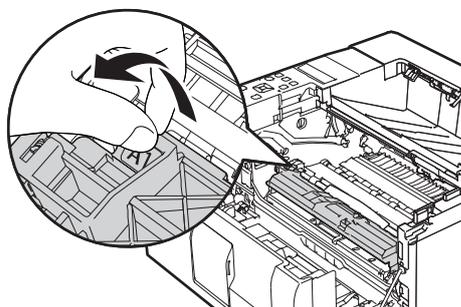


⚠ 注意

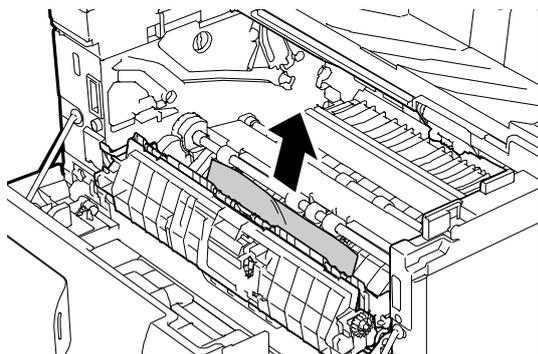
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは横向きで置いてください。
立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

3 給紙カバー[A1]部を手前に開きます。

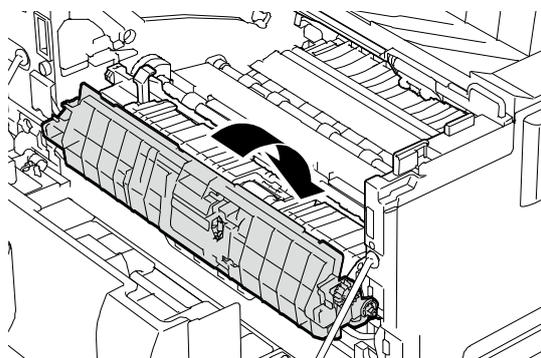
[A1]部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



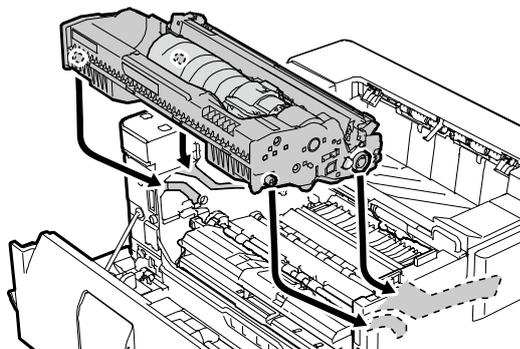
- 4 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



- 5 [A1]部を閉じます。

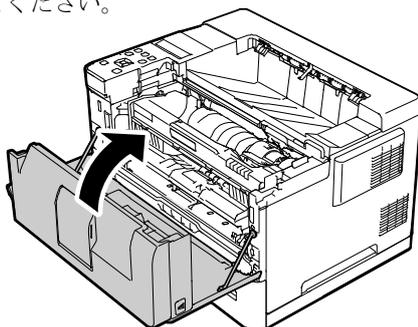


- 6 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起を装置本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



- 7 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

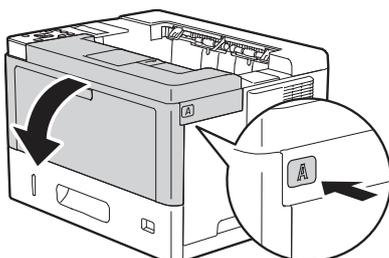


◆ 補足

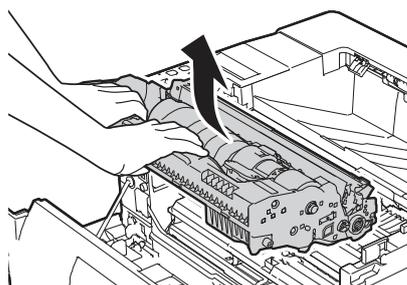
- ・前カバーの開閉を行わないとエラーは解除されません。
- ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度つまった用紙を取り除いてください。

■搬送カバー[A2]部に用紙がつまっている場合

- 1 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーをゆっくり開きます。



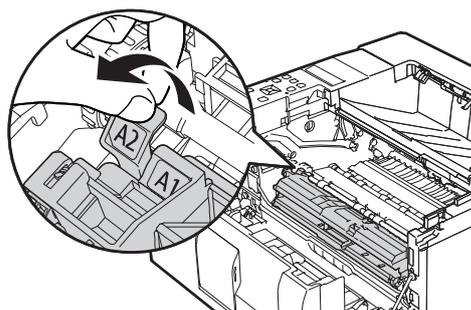
- 2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ平らなところに置きます。



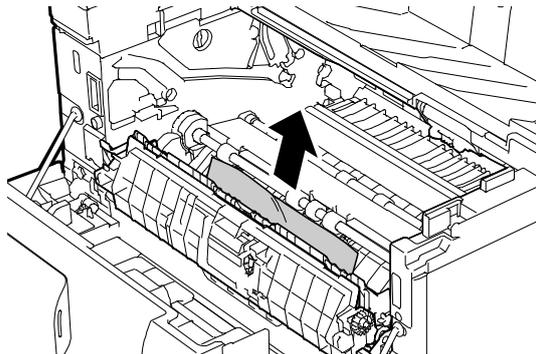
⚠ 注意

- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは横向きで置いてください。立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

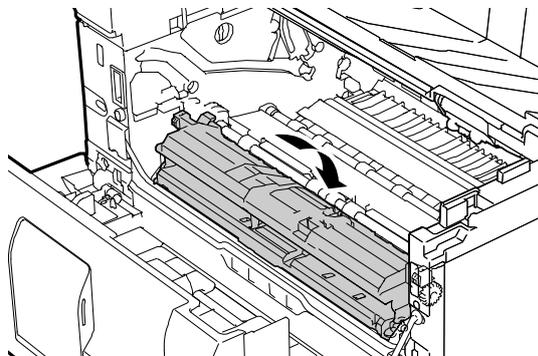
- 3 [A2]部を手前に開け、閉じないように手で押さえます。



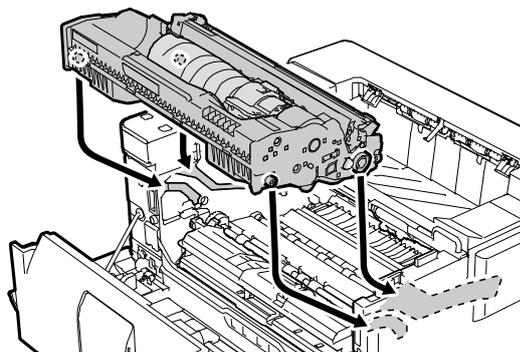
4 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



5 [A2]部を閉じます。

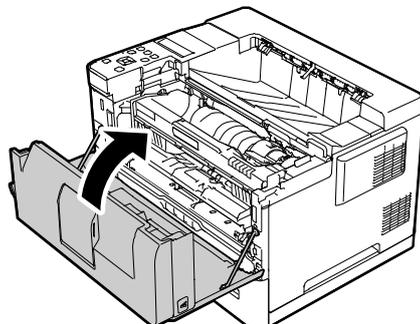


6 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起を装置本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



7 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。



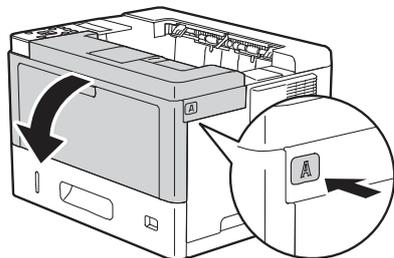
◆ 補足

- ・前カバーの開閉を行わないとエラーは解除されません。
- ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度つまった用紙を取り除いてください。

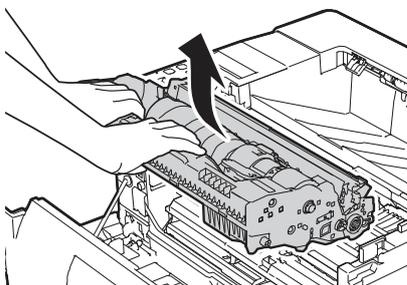
第5章 異常発生時の操作

5.6.2 用紙送りローラーに用紙がつかまっている場合 (用紙づまり²⁾)

1 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーをゆっくり開きます。



2 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ平らなところに置きます。

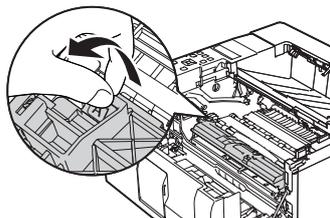


注意

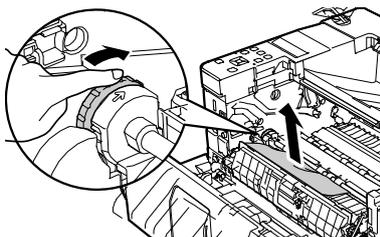
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジをセットで取り出します。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは横向きで置いてください。
立てたり、斜めに立てかけて置いたりするとトナーがこぼれるおそれがあります。

3 給紙カバー[A1]部を手前に開きます。

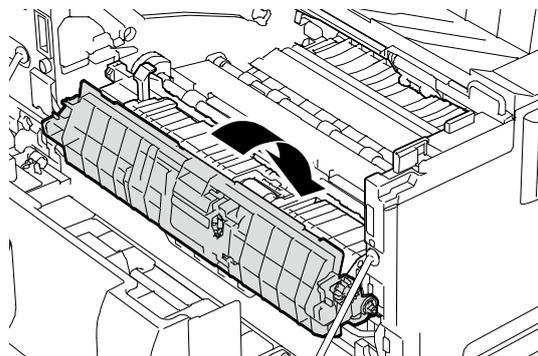
[A1]部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



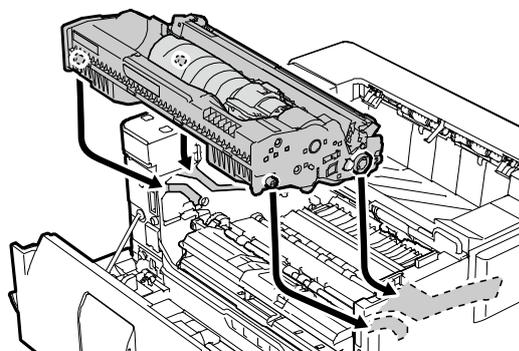
4 図の位置にある青色ノブを奥側に回し、つまっている用紙を引き出して取り除きます。



5 [A1]部を閉じます。

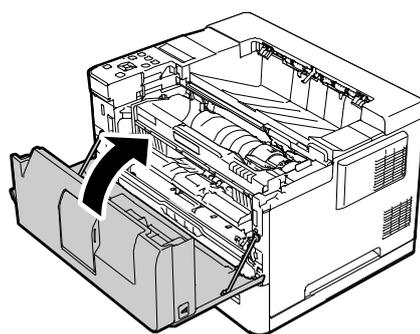


6 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起を装置本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



7 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。



◆ 補足

- ・前カバーの開閉を行わないとエラーは解除されません。
- ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度つまった用紙を取り除いてください。

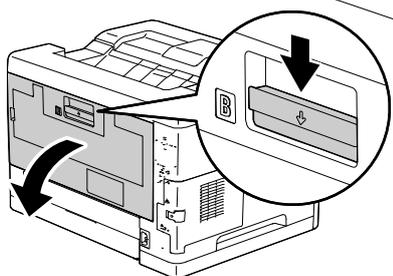
第5章 異常発生時の操作

5.6.3 後カバー[B]での用紙づまり (用紙づまり③)

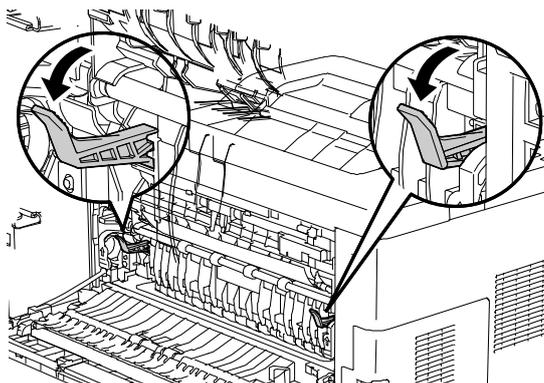
■ 重要

- ・ 定着部の用紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。
- ・ つまった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、本装置内部に紙片が残る可能性がありますので、ゆっくり引き抜いてください。

1 後カバーオープンボタン[B]を押して、後カバーをゆっくり開けます。



2 定着器の両端にある、青色の定着レバーを2つ同時に下げます。



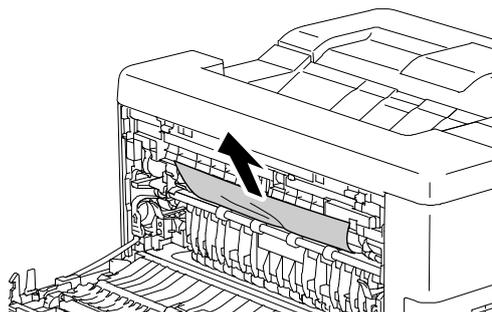
■ 重要

- ・ 定着器はプリンタから取り外さないでください。
取り外すと「63-91 定着器異常」が発生し、装置の電源再投入が必要となります。

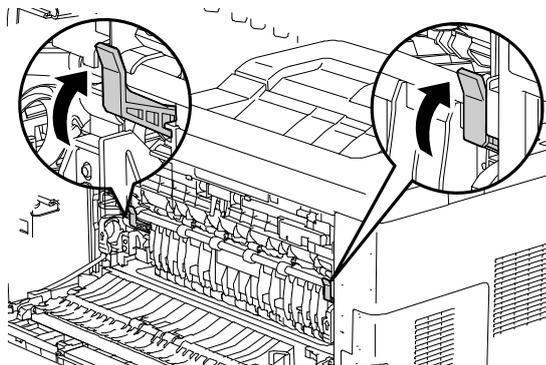
⚠ 注意

- ・ 定着器は高温になっています。直接触れるとやけどをすることがありますので十分に注意してください。

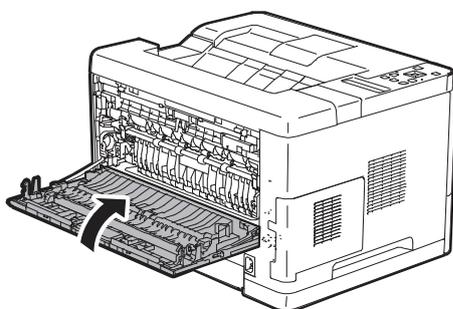
3 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



4 青色の定着レバーを矢印の方向に2つ同時に戻します。



5 後カバーを両手でゆっくりと閉めます。



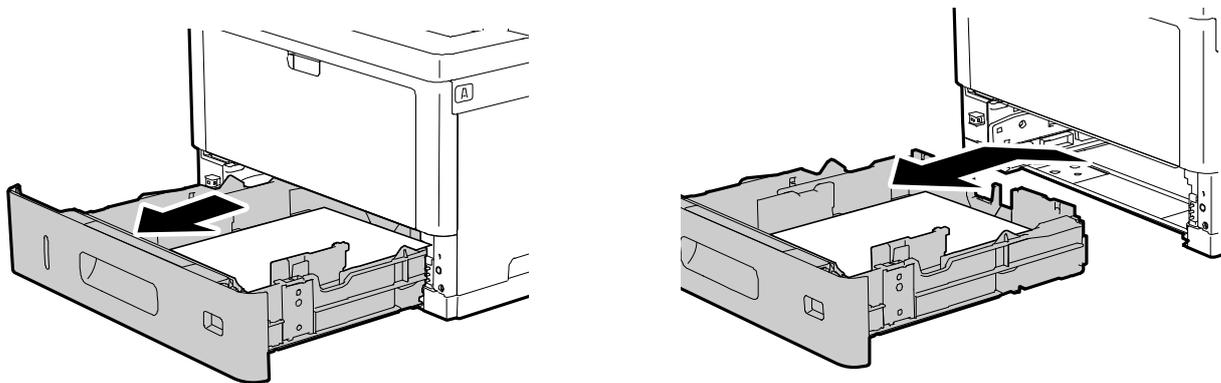
◆ 補足

- ・後カバーを閉じるときは、カバーの上の部分をしっかりとお押ししてください。
カバーを閉じたら、エラーが解除されたことを確認してください。
後カバー開閉をしないとエラー解除できません。
- ・エラーメッセージが消えない場合は、表示されたエラーコードに従って再度用紙づまりを取り除いてください。

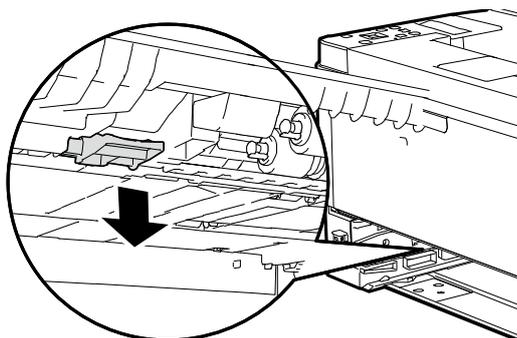
5.6.4 給紙カセット1での用紙づまり (用紙づまり 4)

■両面カバーに用紙がつまっている場合

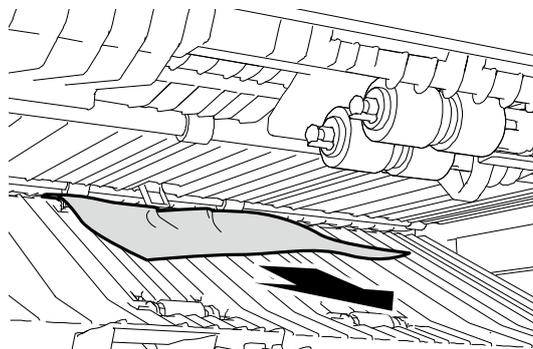
- 1 給紙カセット1の取っ手部分を持って、手前方向に止まるまでゆっくりと水平に引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。引き抜いた給紙カセット1は平らな場所に置いてください。



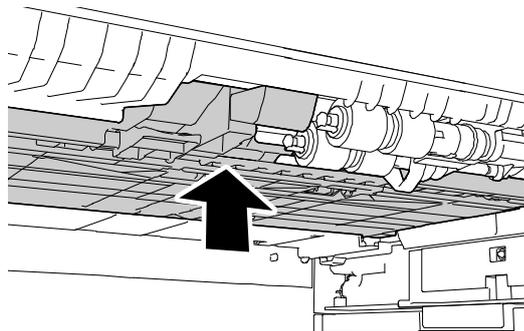
- 2 両面カバーの青色のレバーを押し下げ、両面カバーを開けます。



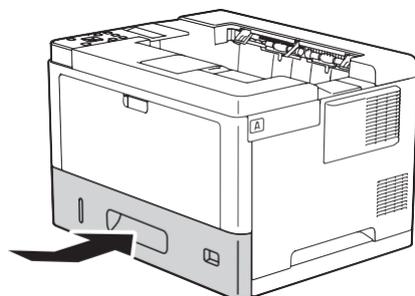
- 3 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。



- 4 青色のレバーを上げて、両面カバーを閉じます。



- 5 手前側を持ち上げた状態で給紙カセット1を差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。用紙づまりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。

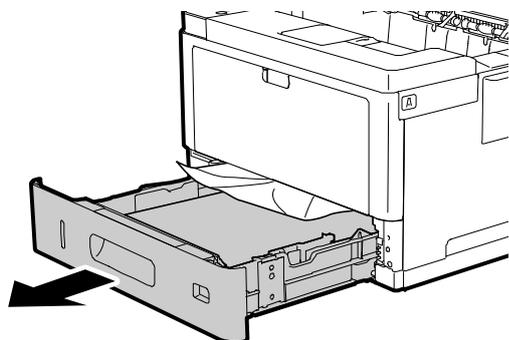


■ 重要

- ・勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて用紙づまりや装置破損の原因になります。

■ 給紙カセット1内に用紙がつまっている場合

- 1 給紙カセット1の取っ手部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出します。

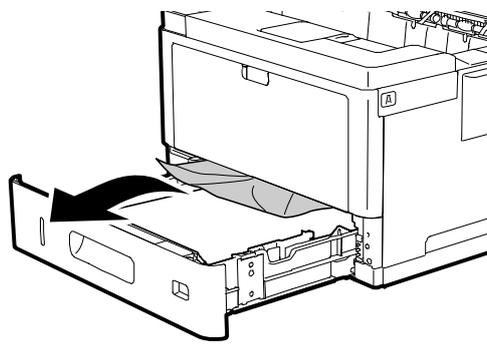


■ 重要

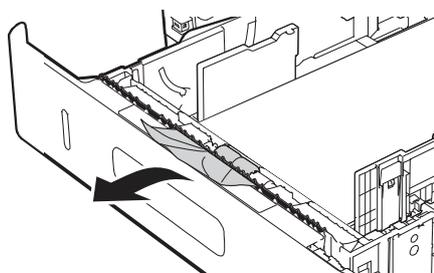
- ・用紙づまりの位置を確認しないで給紙カセット1を引き出すと、用紙が破れて装置内に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認してから処置をしてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

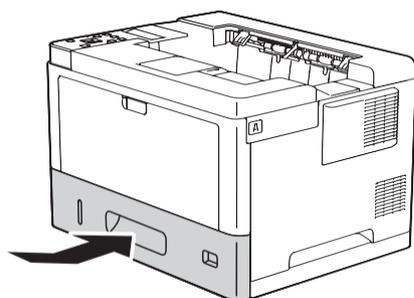


紙片は給紙カセットの用紙搬送路上に残っている場合があります。
給紙カセットの用紙搬送路上に紙片が残っていないか確認してください。



3 手前側を持ち上げた状態で給紙カセット1を差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

用紙づまりを防止するため、しっかり奥まで給紙カセット1を入れてください。



■ 重要

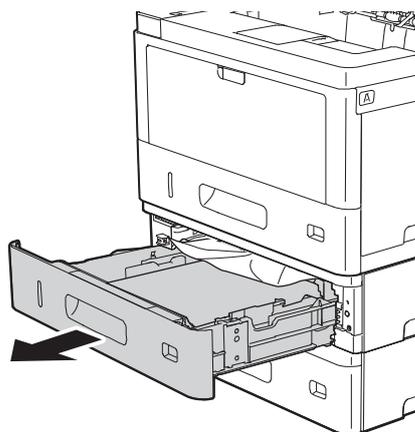
- ・勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて用紙づまりや装置破損の原因になります。

5.6.5 給紙カセット2~4での用紙づまり (用紙づまり [5])

◆ 補足

- ・給紙カセット2~4は、オプションです。
 - ・給紙カセット2~4で用紙づまりが発生した場合は、給紙カセット2 から順番に用紙づまりの箇所を確認してください。
- 例) 給紙カセット4から印刷して用紙づまりが発生した場合でも給紙カセット2、3、4という順番で確認してください。

1 給紙カセット2の取っ手部分を持って、手前方向に止まる位置までゆっくりと水平に引き出します。

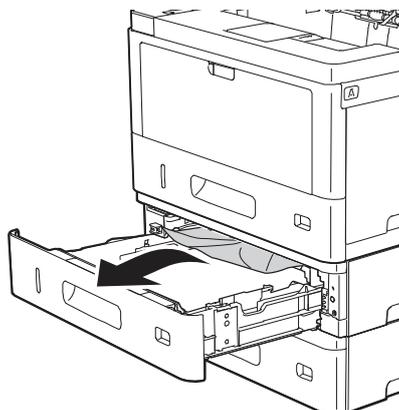


■ 重要

- ・用紙づまりの位置を確認しないで給紙カセットを引き出すと、用紙が破れて装置内に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認してから処置をしてください。
- ・2つ以上の給紙カセットを同時に引き出さないでください。プリンタが転倒する可能性があります。複数の給紙カセットを引き抜く場合は1段ずつ引き抜いてください。

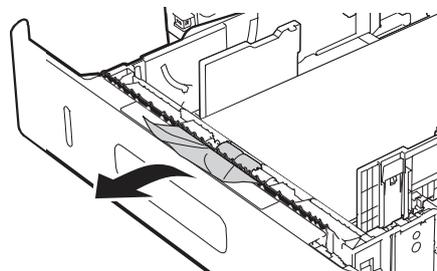
2 つまった用紙をゆっくりと引き抜きます。

用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



第5章 異常発生時の操作

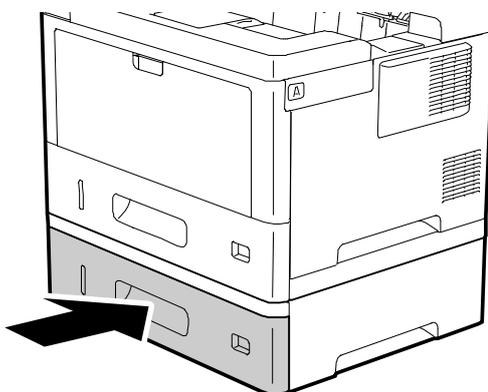
紙片は給紙カセットの用紙搬送路上に残っている場合があります。
給紙カセットの用紙搬送路上に紙片が残っていないか確認してください。



3 下段の給紙カセットも手順1～2を繰り返してつまった用紙を除去します。

4 手順1～3で引き抜いた給紙カセットを元に戻します。

給紙カセットの手前側を持ち上げた状態で差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。
用紙づまりを防止するため、しっかり奥まで給紙カセットを入れてください。

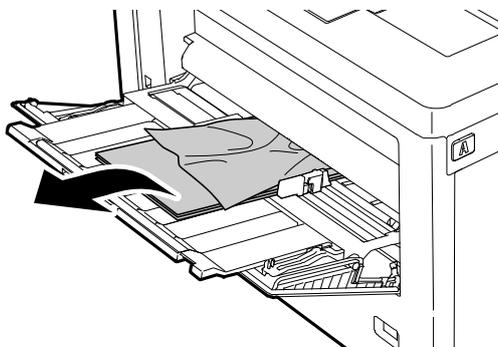


■ 重要

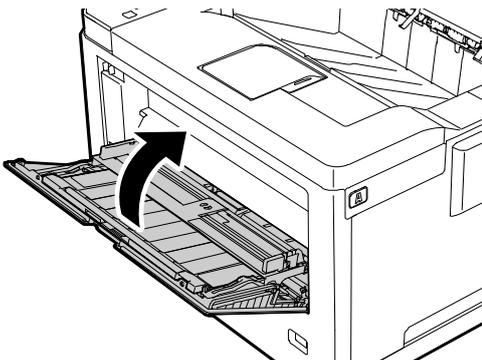
- ・勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて用紙づまりや装置破損の原因になります。

5.6.6 手差しトレイでの用紙づまり (用紙づまり [6])

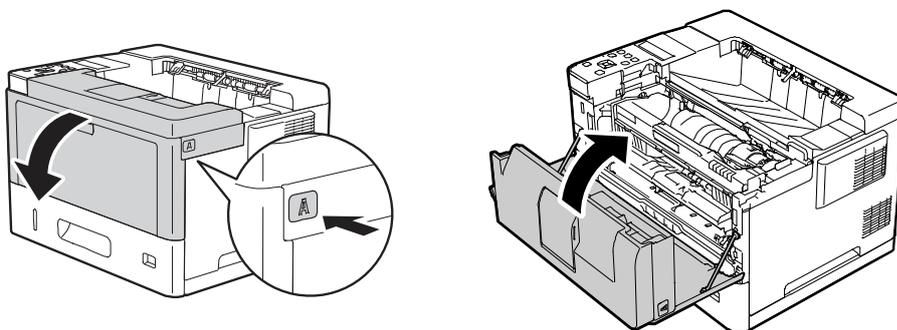
- 1 手差しトレイから、つまっている用紙とセットしてある用紙を取り除きます。
用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。



- 2 手差しトレイを閉じます。



- 3 前カバーオープンボタン[A]を押して、前カバーを両手でゆっくりと開けてから静かに閉じます。
前カバーを開閉するとエラーの状態が解除されます。



5.7 装置のカバーオープン

(1) 検出契機

常時

ただし、以下の状態では一時的に検出を行いません。

- ・用紙づまり検出により、つまった用紙を取り除く作業中
- ・消耗品交換作業中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

カバーオープン *****	注) ***** : 前カバー	… (1)
	後カバー	… (2)

※上記注記のカバー名称の右側に記載している()内の数字は、カバーオープン検出の優先順位を表します。

複数のカバーオープンが発生している場合は優先順位の高いカバーオープンをパネル表示します(カバーオープン中に優先順位の低いカバーが開いてもパネル表示は変わりません。また(停止していた)ブザーも鳴動しません)。

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. カバーを閉じた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4) 注意事項

印刷動作中にカバーを開くと、装置内(パス内)の用紙はそのまま停止するため、用紙を取り除く必要があります。

66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
 - a. カバーオープン検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態になります。
 - b. カバーオープン検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- ※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

・サポートサーバが上記以外の場合

- a. カバーオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

69XX・FMエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- a. カバーオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

その他注意事項

- a. カバーオープンは、インターロックセンサーの故障により表示する場合がありますので、閉じているにも関わらず、リセットで復旧できない場合は、保守員にご連絡ください。

5.8 カセットオープン

- (1) 検出契機
印刷動作中

- (2) 表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

カセット*を 確認して下さい

注) * : カセット番号(1~4) カセット2/3/4はオプション

- (3) 復旧操作
- ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
 - カセットを閉めた後「リセット」キーを押下します。これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。
なお、カセットを閉じた後の状態確認に時間がかかるため、カセットを閉めた後に2秒程度待つから「リセット」キーを押下してください。

- (4) 注意事項
66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- サポートサーバが6680-NMCの場合
 - カセットオープン検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態となります。
 - カセットオープン検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態になります。
※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

- サポートサーバが上記以外の場合
 - カセットオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

69XX・FMエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- カセットオープンを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

5.9 インターロックエラー

(1) 検出契機

常時

ただし、以下の状態では一時的に検出を行いません。

- ・用紙づまり検出により、つまった用紙を取り除く作業中
- ・消耗品交換作業中

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

- ・トナーカートリッジ/ドラムカートリッジが本体にセットされていない場合



(3) 復旧操作

- ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- インターロックエラー発生ユニットを正しくセットし、「リセット」キーを押下します。
これにより装置が復旧します。このとき、ブザーが鳴動中であればブザーを停止します。

(4) 注意事項

66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合
 - インターロックエラー検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態とします。
 - インターロックエラー検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態になります。
※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

- ・サポートサーバが上記以外の場合

- インターロックエラーを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

69XX・FMエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- インターロックエラーを検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

その他注意事項

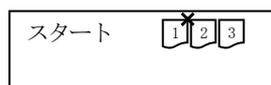
- インターロックエラーは、インターロックセンサーの故障により表示する場合がありますので、閉じているにも関わらず、リセットで復旧できない場合は、保守員にご連絡ください。

5.10 受信データの異常 (66XX・69XX時)

- (1) 検出契機
印刷データ受信中、およびデータ展開中

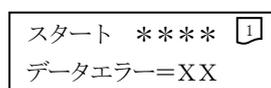
- (2) 表示内容
下記メッセージが表示されます。

・ 共通画面



注) となっている論理プリンタでデータエラー検出

・ 論理プリンタ画面 (66XXおよび69XX)



注) **** : エミュレーション種別(66XXまたは69XX)

XX : エラーコード(付1.4 異常メッセージ(受信データ66XX/69XX)を参照)

※ 富士通メインフレーム連携でホスト側:6680-NMC設定の場合、ホストシステムに対してはオペレーションチェックまたは Support Not Functionのいずれかで応答

- (3) 復旧操作
- データエラー発生時、共通画面から該当する論理プリンタの画面に入り、「リセット」キーを押下することにより、エラーの表示を消去します。
 - この状態は、特に復旧操作を行わずとも、ホストシステムより印刷データの送信が開始されると、エラー表示のまま印刷動作を開始します。

5.11 メカ系の障害

- (1) 検出契機
常時

- (2) 表示内容
下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動します。

6 X—YY CEコール# *****

- 注) 6 X : 状態コード
YY : 詳細コード
: 消耗状態のCE交換部品
T : 定期交換キット
S : 600K交換キット
B : 定期交換キット+600K交換キット
** : 異常部(詳細は付1.6 異常メッセージ(メカエラー CEコール)参照)

- (3) 復旧操作
- ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
 - メカ異常コード(60-YY~66-YY)を記録の上、電源を切断し、パス内の用紙を取り除いて電源を再投入します。
 - 復旧しない場合、または頻発する場合は、保守員にご連絡ください。
- (4) 注意事項
メカ系の障害が発生した場合、プリンタの状態は復旧不可状態となります。

5.12 ハードウェアの障害

- (1) 検出契機
常時

- (2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯します。

【機構部(メカ)異常】

```
4 X   xxxx xxxx xxxx #
CEコール xxxx xxxx
```

【ハード異常 (制御部)】

```
8 X   xxxx xxxx xxxx #
CEコール xxxx xxxx
```

【ハード異常 (INF異常)】

```
C X   xxxx xxxx xxxx #
CEコール xxxx xxxx
```

【ハード異常 (ストレージデバイス部)】

```
D X   xxxx xxxx xxxx #
CEコール xxxx xxxx
```

: 消耗状態のCE交換部品

T : 定期交換キット

S : 600K交換キット

B : 定期交換キット+600K交換キット

【ハード異常 (システム初期化異常)】

```
ERROR89-Exxxxxxx
PLEASE POWER DOWN
```

【ハード異常 (システム初期化異常)】

```
ERROR89-LX(-xxxxxxx)
PLEASE POWER DOWN
```

【ハード異常 (システム初期化異常)】

```
ERROR89-IE (xxxx)
PLEASE POWER DOWN
```

xxxx : 詳細コード

注) ERROR89の場合、ブザーは鳴動しません。

また8 Xエラーについては、ブザー鳴動しない場合があります。

- (3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. メカ異常コードを記録の上、以下の操作を行います。
電源/省エネ解除キーを押下してから電源切断し、バス内の用紙を取り除いて、電源を再投入します。
電源/省エネ解除キーを押下しても装置終了処理が開始されない場合は、電源/省エネ解除キーを長押し(20秒以上)して、電源を切ってから再度電源投入してください。
- c. 復旧しない場合、または頻発する場合は、保守員にご連絡ください。

5.13 IPアドレス設定異常

(1) 検出契機

先に立ち上がっている装置があり、それと同じIPアドレスで本装置を後から立ち上げたとき。

(2) 表示内容

下記メッセージが表示し、ステータスLEDは点灯せず、ブザーも鳴動しません。

IPエラー XXXXXXXXX ***.***.***.***

注) xxxx : 相手MACアドレスの下位4バイトを表示

 **** : 重複したIPアドレスを表示

(3) 復旧操作

- a. 電源/省エネ解除キーを押下してから電源切断し、アドレスの重複を解決後、電源再投入します。
プリンタの設定変更が必要な場合は、いったんLANから切り離してセットアップにて、IPアドレスを修正します。

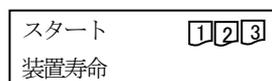
(4) 注意事項

IPアドレス設定異常が発生した場合、プリンタの状態は復旧不可状態となります。

5.14 消耗部品メッセージ

ニアライフを含む交換が必要な消耗部品がある場合、共通スタート画面に表示します。
消耗部品が複数個発生している場合は、発生消耗部品で交互表示を行います。

a) 装置寿命



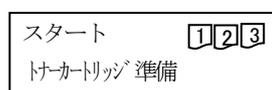
意味 : 装置の総印刷枚数が180万ページを越えたため以降の印刷品質が保証できません。

検出契機 : 装置の総印刷枚数が180万ページを越えたとき。

LED状態 : ステータスLEDの変化なし。

※ 装置寿命表示は、他に消耗部品があれば表示しません（装置寿命のみ発生している場合に表示）

b) トナーニアエンブティ



意味 : トナーカートリッジの交換時期です。
継続使用すると印刷動作を停止します。

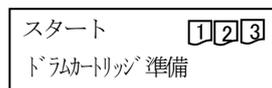
トナーカートリッジ寿命については「5.15 消耗品の劣化」を参照してください。

検出契機 : IPL終了時、および印刷動作中

LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。

対処 : トナーカートリッジを交換します。

c) ドラムカートリッジのニアエンド



意味 : ドラムカートリッジの交換時期です。
交換を行わずに継続使用すると印刷品質が保証できません。

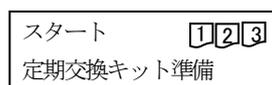
ドラムカートリッジ寿命については「5.15 消耗品の劣化」を参照してください。

検出契機 : IPL終了時、および印刷動作中

LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。

対処 : ドラムカートリッジを交換します。

d) 定期交換キットのニアエンド



意味 : 定期交換キットの交換時期です。
継続使用すると、定期交換キット寿命となります。

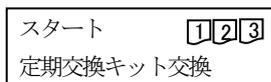
検出契機 : IPL終了時、および印刷動作中

LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。

対処 : (保守員作業)保守員にご連絡の上、定期交換キットを交換してください。

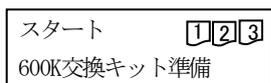
第5章 異常発生時の操作

e) 定期交換キット寿命



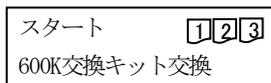
- 意味 : 定期交換キットの寿命です。
継続使用した場合、印字品質は保証できません。
- 検出契機 : IPL終了時、および印刷動作中
- LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。
- 対処 : (保守員作業)保守員にご連絡の上、定期交換キットを交換してください。

f) 600K交換キットのニアエンド



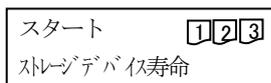
- 意味 : 600K交換キットの交換時期です。
継続使用すると、600K交換キット寿命となります。
- 検出契機 : IPL終了時、および印刷動作中
- LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。
- 対処 : (保守員作業)保守員にご連絡の上、600K交換キットを交換してください。

g) 600K交換キット寿命



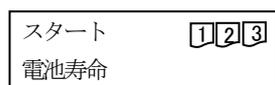
- 意味 : 600K交換キットの寿命です。
継続使用した場合、印字品質は保証できません。
- 検出契機 : IPL終了時、および印刷動作中
- LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。
- 対処 : (保守員作業)保守員にご連絡の上、600K交換キットを交換してください。

h) ストレージデバイス寿命



- 意味 : ストレージデバイスの予備ブロック使用率が80%を超えたため
ストレージデバイスの交換が必要です。
- 検出契機 : ストレージデバイスの予備ブロック使用率が80%を超えたとき
- LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。
- 対処 : (保守員作業)保守員にご連絡の上、ストレージデバイスを交換してください。

i) 電池寿命



- 意 味 : 装置に搭載されている電池の交換時期です。
- 検出契機 : RTC用電池の電圧低下を検出したとき
- LED状態 : ステータスLEDは、点滅動作を行います。
- 対 処 : (保守員作業)保守員にご連絡の上、電池を交換してください。

5.15 消耗品の劣化（トナーカートリッジ/ドラムカートリッジ）

(1) 検出契機

印刷動作中、およびIPL終了時

(2) 表示内容

下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDが点灯して印刷は停止します。

- ・トナーエンプティの場合

トナーエンプティ トナーカートリッジ交換

- ・新品トナーカートリッジをセット後も、トナーの供給不良で再度トナーエンプティを検出した場合

トナーエンプティ トナーカートリッジを振り再セット

- ・ドラムカートリッジ寿命の場合

※トナーエンプティと同時に検知した場合は、ドラムカートリッジ寿命を優先して表示します。

ドラムカートリッジ寿命 ドラムカートリッジ交換

(3) 復旧操作

- 新品カートリッジをセットし、「リセット」キー押下後も、「トナーカートリッジを振り再セット」を表示する場合は、トナーカートリッジをよく振ってから再セットし、「リセット」キーを押下してください
- リセットキー押下により（このとき、ブザー音停止）表示画面はストップ/オフライン画面へと遷移します（印刷の延長）。
 - ドラムカートリッジ寿命の場合、リセットで100ページ単位(用紙サイズに関係なく、片面100枚、両面50枚)の延長処理が可能となります。
 - ドラムカートリッジエンドまでリセットできます。
それ以降は交換作業を行わないと印刷できませんので、ドラムカートリッジを交換してください。

(4) 注意事項

印刷動作中に消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態になります。

66XXエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- ・サポートサーバが6680-NMCの場合

- 消耗品劣化検出のまま約3分放置すると、ホストインタフェース上Not Ready状態となります。
- 消耗品劣化検出後、3分以内に「ブザーオフ」キー、または「リセット」キーを押下すると、この時点より約10分後にホストインタフェース上Not Ready状態となります。

※ 上記の時間が経過するまで装置の異常は応答しません。

- ・サポートサーバが上記以外の場合

- 消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

69XX・FMエミュレーションの論理プリンタに対して、以下のように動作します。

- 消耗品劣化を検出すると、論理プリンタはストップ/オフライン状態となります。

5.16 SNDCGに関する異常（69XX時）

- (1) 検出契機
IPL終了時

- (2) 表示内容
SNDCGの状態により下記メッセージが表示されます。

- ・CGパターン未受信時

スタート 69XX 
SNDCG未受信

- ・CGパターンダウンロード時

スタート 69XX 
SNDCG受信中

注) CGパターンダウンロード中にストップキーが押下された場合は、処理が中断されます。

- ・CGパターンダウンロード終了時

スタート 69XX 
SNDCG完了 電源再投入

注) ダウンロードされたCGパターンは電源再投入により使用可能となります。

- (3) 復旧操作
- SNDCG未受信画面はCGパターンダウンロードが完了するまで、エラー表示の解除は行えません。
 - この状態で復旧操作を行わなかった場合、ホストシステムより印刷データの送信が開始されると、エラー表示のままに印刷動作を開始します。
- (4) 注意事項
- CGパターン未受信状態で、論理プリンタがデータエラーを検出した場合、論理プリンタ画面にはデータエラー表示がなされず、論理プリンタ画面はCGパターン未受信画面の表示のままとなります。

スタート 69XX 
データエラー=3D

5.17 リクエスタサーバ接続異常（66XX時）

(1) 検出契機

IPL時リクエスタサーバから66XX資源のローディング中

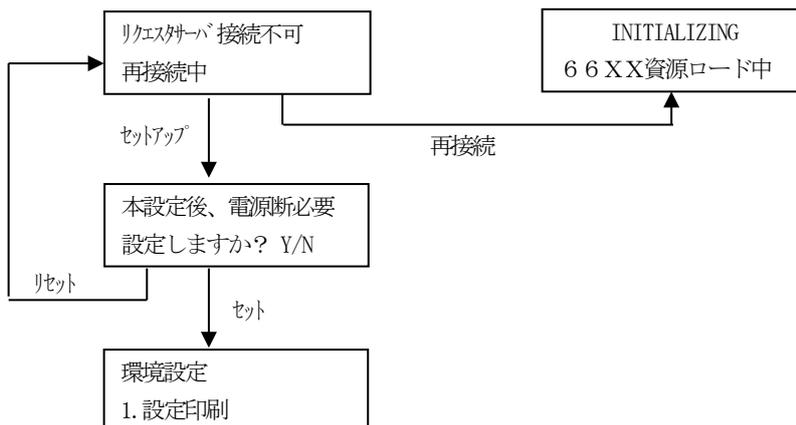
(2) 表示内容

下記メッセージを表示します。

リクエストサーバ接続不可
再接続中

(3) 復旧操作

- a. 接続異常が解除されると自動的に再接続し、66XX資源のローディングを再開します。
- b. 論理プリンタを削除/変更する場合
 「セットアップ」キーを押下することにより、共通セットアップ/環境設定の電源再投入警告画面を表示します。警告画面にて「セット」キーを押下すれば環境設定メニュー画面に遷移します。
 警告画面にて「リセット」キーを押下すれば、リクエスタサーバ接続異常画面に戻ります。



- c. 論理プリンタを削除/変更せず、他の論理プリンタで動作させる場合
 リクエスト未接続モードで動作させます。
 電源投入時に、「リセット」キーと「セット」キーを押下しながら電源を投入すると、リクエスト未接続モードで立ち上がります。
 詳細は「付6 リクエスト未接続モード立ち上げ」を参照してください。

(4) 注意事項

- 本異常は、次の論理プリンタの設定がある場合で資源のローディングが完了していない場合に検出されます。
- a. サポートサーバ=PrintWalker/PM、伝送経路=TCP/IP、エミュレーション=66XX
 - b. サポートサーバ=lpd、伝送経路=TCP/IP、エミュレーション=66XX

5.18 トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ異常

5.18.1 非純正トナーカートリッジ・ドラムカートリッジを使用した場合

(1) 検出契機

トナーカートリッジ、またはドラムカートリッジが非純正と認識されたとき

(2) 表示内容

下記メッセージを表示し、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDを点灯します。

*****異常 正しいカートリッジをセット

注) ***はユニット名称を示します。

ユニット名称：トナーカートリッジ

ドラムカートリッジ

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. カバーオープンして、正規のトナーカートリッジ（または、ドラムカートリッジ）に交換してカバークローズし、「リセット」キーを押下すると、エラーが解除され共通ストップ画面に戻ります。

(4) 注意事項

- a. 本エラー表示中に不良カートリッジを交換せず、「リセット」キーを押下してもエラー解除できません。
- b. 本エラー表示中に「電源」キーを押下し電源切断後、不良のカートリッジを交換せず電源再投入した場合は再度、同じエラーを表示します。
ただし、純正品に交換して、電源再投入すると共通スタート画面で立ち上がります。

5.18.2 トナーカートリッジ・ドラムカートリッジのセット不良

(1) 検出契機

トナーカートリッジ、またはドラムカートリッジをセットしたとき

(2) 表示内容

下記メッセージを表示し、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDを点灯します。

*****確認 *****を再セット

注) ***はユニット名称を示します。

ユニット名称：トナーカートリッジ

ドラムカートリッジ

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. カバーオープンして、トナーカートリッジ、またはドラムカートリッジをいったん抜き、再セットする。カバークローズし、「リセット」キーを押下すると、エラーは解除され共通ストップ画面に戻ります。

5.18.3 トナーシール引抜き忘れ

(1) 検出契機

トナーシールを引き抜かずに、ドラムカートリッジをセットしたとき

(2) 表示内容

下記メッセージを表示し、ブザー音が鳴動し、ステータスLEDを点灯します。

トナーカートリッジ確認 トナーシール引抜いて下さい

(3) 復旧操作

- a. ブザー音を停止する場合は、「ブザーオフ」キーを押下します。
- b. カバーオープンしてドラムカートリッジを抜き、トナーシールを引き抜き、再セットします。
カバークローズし、「リセット」キーを押下すると、エラーは解除され共通ストップ画面に戻ります。

5.19 MACアドレス設定異常

(1) 検出契機

サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：DS-LINK、エミュレーション：66XXにてMACアドレスのローカルアドレスを設定した後に、同一ネットワーク上に同じMACアドレスで先に立ち上がっている装置があり、それと同じMACアドレスで本装置を後から立ち上げたとき。

(2) 表示内容

下記メッセージが表示し、ブザー音が鳴動しますが、ステータスLEDは点灯しません。

MACアドレス設定ミス 再設定して下さい

(3) 復旧操作

- a. 電源/省エネ解除キーを押下してから電源切断し、LANケーブルを抜いた状態で、電源再投入してセットアップにて、MACアドレスのローカルアドレスを修正します。

(4) 注意事項

- a. MACアドレス設定異常が発生した場合、プリンタの状態は復旧不可状態となります。
- b. サポートサーバ：6680-NMC、伝送経路：DS-LINKS、エミュレーション：66XXにてグローバルアドレスを設定した場合は、IPv6のリンクローカルが重複しないため、二重IPアドレスは発生しません。

第6章 用紙仕様および帳票設計

本章では、印刷用紙の規格、特殊用紙の取り扱い・制約事項、再生紙の取り扱い、用紙の保管、用紙の取り扱いおよび帳票設計上の注意について説明します。

■ 重要

用紙の仕様や取扱いは、搬送性や印字品質に大きく影響を与え、用紙づまり等の要因となります。このため、本章を十分にお読みいただき、注意事項等を遵守してください。

また、できる限り推奨用紙（表6.1参照）をご使用いただき、推奨用紙が使用できない場合は本章の注意事項等を遵守いただいたうえで、十分な事前確認を実施してください。

6.1 用紙の規格

本製品で使用できる用紙は、普通紙（PPC用紙）といわれるもので、表 6.2 に仕様を示します。

ただし、一般に市販されているものの中には本製品に適さないものがあります。特にカット紙の場合は、用紙搬送性や印刷品質は用紙特性に大きく依存し、用紙もハードウェアといえるほどの重要性を持っています。

用紙特性は、用紙原材料、充填材、コート材、製造環境、製造工程、裁断などの後処理工程、保管環境などにより大きく変動します。

これらの条件を管理した推奨用紙を富士通コワーコ㈱より販売しています。

しかし、やむを得ず他の用紙を調達する場合を想定して、本書に用紙調達時における基本的事項をまとめました。

なお、本書にまとめた注意事項は基本的部分であり、上述したように用紙は製造工程や保管環境などの影響を大きく受けますので、本書の注意事項を守っていただくと共に、運用に先立ち、用紙を試作して十分に事前確認することが必要になります。

表 6.1 推奨用紙

商 品 名	商品番号	備 考	
オフィス用紙W	A3	0411650	500枚×3冊で1ケース
	B4	0411620	500枚×5冊で1ケース
	A4	0411610	
	A5	0411630	
	B5	0411640	
	A4(Y)	0411612	

表 6.2 用紙の規格

項 目		仕 様
紙 質		普通紙 (PPC用紙)
形 態		カット紙
用紙寸法	A3	297±0.7×420±1.0mm
	B4	257±0.7×364±1.0mm
	A4	210±0.7×297±0.7mm
	B5	182±0.7×257±0.7mm
	A5	148±0.7×210±0.7mm
	レター	215.9±0.7×279.4±0.7mm
坪 量		カセット1/カセット2~4(オプション) : 64~105g/m ² 手差しトレイ : 64~160g/m ²
繊維方向 (注1)	カセット給紙	<p>↑ 用紙の送り方向</p> <p>[A3、B4] [B5、A4、レター] [A5]</p>

注1) 推奨繊維方向と異なる用紙繊維方向の用紙を使用した場合は、用紙じわ等が発生する可能性があります。

(1) 用紙の種類

本製品で使用できる用紙は、電子写真印刷用に製造された普通紙あるいは、その用紙を加工したものです。

電子写真印刷を考慮しないで製造された用紙を使用すると、用紙の中の充填物が装置破損の原因になったり、印刷品質低下の原因となります。

(2) 用紙サイズ

本製品で使用できる用紙は、A系列 (A5、A4、A3)、B系列 (B5、B4)、アメリカ、カナダなどで使用されているレターサイズの用紙です。

表 6.2 以外の用紙を使用すると、寸法が合わないために搬送がうまくいかず、用紙づまりや用紙斜行による印刷抜けなどの原因になります。

(3) 用紙坪量

用紙を規定するときの基本的な単価として、単位面積あたりの重量があります。規定方法は、標準として1m²あたりの重量をグラムで表した坪量 (g/m²) があります。

表 6.2 以外の用紙を使用すると、軽いときはシワや用紙折れによる用紙づまりなどの原因となり、重い場合は紙の腰が強くなりすぎて、スリップによる用紙づまりの原因になります。

(4) 用紙の裁断面について

用紙の裁断面の形状は、良好な印刷品質や搬送性を得るために重要な要素です。本製品に使用する用紙は、用紙の裁断面にバリがないものを使用してください。もし、裁断面にバリがあると、複数枚の用紙がバリによって密着してしまい、用紙搬送時の重送で、搬送抜けやピックアップ (搬送ミス)、斜行などの原因になります。

(5) 用紙の水分とカールについて

電子写真印刷では、定着過程（トナーを用紙上に定着する過程）で用紙に高熱が加わります。このとき、用紙の水分が瞬間的に蒸発するので、用紙が収縮してカールや波打ちを生じ、用紙づまり等に繋がる可能性があります。このため、電子写真印刷に使用する用紙は、適切な範囲に水分が抑制されている必要があります。

詳細は、「6.4.2. 用紙の保管上の注意」を参照してください。

(6) 用紙のカール、シワ、波打ちについて

用紙にカールやシワ、波打ちがあると、搬送ローラーの用紙かみ込みがうまくいかずに用紙づまりの原因や、感光ドラムと用紙の密着が低下して印刷品質低下の原因になります。

また、スタックできる量が減ってしまう場合があります。

6.2 特殊用紙の取り扱いと制約事項

本製品で使用できる特殊用紙は、次のとおりです。

ただし、用紙設計上の制約事項ならびに取り扱い上の注意点があるので、運用に先立ち十分な事前確認をする必要があります。

・ プレプリント紙**a) デザイン上の注意事項**

- ・ 印刷インクの影響で印刷品質が低下することがあります。したがって、重要なデータを印刷する部分へのプレプリントを避けたデザインとしてください。
また、ベタ印刷をすると、インクが紙面を完全に覆うために印刷品質への影響が大きくなります。バックカラー印刷や地紋印刷などをするときは、ベタ印刷を避けて網点印刷としてください。
- ・ プレプリントした印刷枠の中に印刷するときは、印刷位置ズレが目立つことがあります。
極力、枠印刷を避けて地紋印刷などにより代替えしてください。
なお、プレプリント用紙を使用する場合は、プレプリント枠と文字の間隔を十分に取ってください。
- ・ インクの量が極力少なくて済むデザインとしてください。インクの量で印刷濃度を出すのではなく、インク色でカバーしてインク量を減らします。

b) その他の注意事項

- ・ 金属を混合したインクの使用は避けてください。
- ・ インクが乾燥していない状態で使用すると、インクが定着部、感光ドラム、転写ローラーなどに付着し、印刷品質の低下、用紙づまり、装置の破損の原因となります。
- ・ インクの種類としては、確実に乾燥するUVインクを使用してください。
なお、乾燥パウダーの使用は、装置の故障の原因になるので使用しないでください。

6.3 再生紙の取り扱い

一般に市販されているものの中には本製品に適さないものがありますので、良好な印刷品質と搬送性を維持するために、推奨紙を使用してください。

注) 再生紙は、空気中の水分の吸湿によりトラブルが発生しやすくなりますので、保管には特に注意してください。

6.4 用紙の取り扱いと保管

用紙を取り扱ったり保管するときは、次の注意を守ってください。

■ 重要

- ・市販されているすべての用紙での印刷結果を保証するものではありません。予めご了承ください。
- ・用紙の取り扱いや保管は、用紙の搬送性に大きく影響し、紙づまり等の原因となります。本節を十分にお読みいただき、適切にご使用ください。

6.4.1 用紙の取り扱い上の注意

次のようなときに印刷できなかつたり、用紙づまりが起きたりするので、用紙の取り扱いに注意してください。

- ・用紙は推奨用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、予めご了承ください。
- ・用紙は以下の向きにセットしてください。
 - － カセット1/カセット2～4 (オプション) : 印刷面 (用紙を開封したときの上側の面) を下
 - － 手差しトレイ : 印刷面 (用紙を開封したときの上側の面) を上
- ・セットした用紙と、用紙サイズダイヤル(手差しの場合は操作パネル)の設定を確認し、セットした用紙サイズと方向の組み合わせに合わせてください。
- ・用紙とサイドガイドにすき間がないことを確認してください。
- ・サイドガイドはきつくセットしすぎないでください(軽く突きあたるところでセットしてください)。
- ・用紙をセットするときは、用紙がカセットやサイドガイドに表示された上限表示 **▼MAX▼** を超えないようにしてください。
- ・手差しトレイにセットするときは、用紙がサイドガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- ・手差しトレイには用紙を放置しないでください。印刷終了後トレイに残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。
- ・用紙をセットした給紙カセットを本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢よく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。
- ・カセットへの用紙の継ぎ足しや一度バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- ・用紙を長期間(1週間以上)使用しない場合は、次項を参照のうえカセットから取り出して保管してください。

6.4.2 用紙の保管上の注意

用紙は、水分を吸収しやすい特性を持っており、用紙特性は非常に変化しやすいものです。保管条件が悪いと特性が変化してしまい、用紙づまりや印刷品質低下の原因となることがあります。用紙を保管するときは、次の点に注意してください。

- ・用紙にクセやカールが付くのを防ぎ、かつ、用紙の乾燥や吸湿を防ぐため、用紙は防湿効果のあるフィルムで包装してください。さらに、頑丈で内部に凹凸のない防湿処理をした段ボールケースに入れたものを入手してください。
- ・用紙にクセやカールが付くのを防ぐため、平らで凹凸のないところに保管してください。
- ・用紙にクセやカールが付くのを防ぐため、高く積み上げないでください。段ボールケースに入っている場合でも、あまり高く積み上げないでください。
- ・用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、10～32℃、15～80%RHの環境に保管してください。ただし、段ボールケースを開封したときなどは、15～25℃、40～50%RHの環境に保管してください。
- ・用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、開封後の用紙は必ずポリエチレンシートに包んで保管してください。

- ・ 用紙が乾燥したり吸湿したりすることを防ぐため、急激な温度変化を用紙に与えないでください。段ボールケースのまま使用場所に搬入し、使用場所の温度に十分なじませてから（1日程度）開封してください。
- ・ 直射日光のあたるところには置かないでください。

6.4.3 使用できない用紙

以下のような用紙は使用できません。

- ・ インクジェット専用紙、OHP用紙
- ・ ジェルジェット専用紙
- ・ はがき
- ・ 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- ・ メールシール紙
- ・ タック紙/ラベル紙
- ・ シワ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- ・ カール（反り）のある用紙
- ・ パンチ穴や裁断面にバリがある用紙
- ・ 湿気を吸っている用紙、ぬれている用紙
- ・ 乾燥して静電気が発生している用紙
- ・ 一度印刷した用紙や他の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンタなど）で印刷されたものは、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。印字されていない面への印刷もお控えください。
- ・ 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- ・ 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ・ ミシン目などの加工がされている用紙
- ・ ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- ・ 長期間放置した用紙
- ・ 裏写り防止用の白粉（マイクロパウダー）が塗布された用紙
- ・ 大量のタルク成分を含んだ用紙

◆ 補足

- ・ プリンタに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、用紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になる場合があります。
- ・ パンチ穴などの穴が開いている用紙を使用すると、用紙づまりや用紙サイズを正しく検知しない場合があります。
また、パンチ穴が搬送経路に引っ掛かり、用紙破れが発生する場合があります。

6.5 帳票設計上の注意

6.5.1 注意事項

(1) フォームオーバーレイで網かけパターンを使用する場合

文字の上に網かけパターンを被せる場合に、網かけの濃さにより文字が見えにくくなる場合がありますので注意してください。事前にテスト印刷を行い、印刷結果を確認してください。

縮小印刷（75%印刷時）を行う場合は、薄めの網かけパターンを使用するなどの対応をお願いします。

(2) バーコード印刷を使用する場合

濃度設定は「標準」で印刷をして読み取り確認を行い、読み取れなかった場合は、濃度を調整して印刷してください。

本製品で印刷するバーコードのバー幅は6ドット（600dpi時）、12ドット（1200dpi時）以上の幅で作成してください。それより小さいバー幅のバーコードも印刷可能ですが、読み取り率が非常に低くなるため推奨できません。

それでも、6ドット（600dpi時）、12ドット（1200dpi時）未満のバー幅でご使用される場合は、十分な読み取り確認の上、お客様の責任においてご使用願います。

6.5.2 印刷領域

本製品で印刷できる領域を図6.1に示します。

各用紙サイズにおいて共通です。

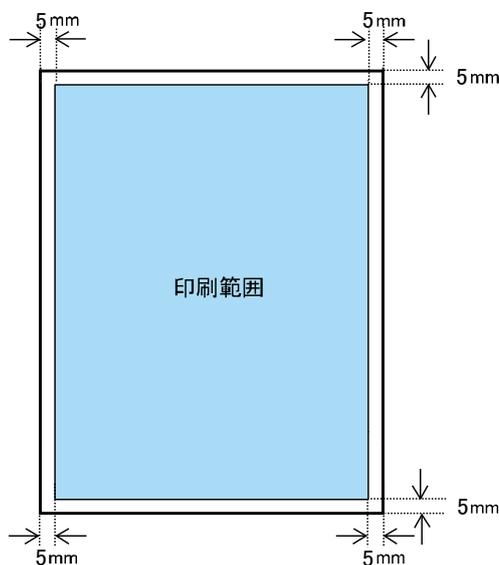


図 6.1 印刷領域

印刷精度

印刷精度	
	精 度
上端余白	5±1.5mm（用紙幅センターにおいて、片面時）
左端余白	5±2.0mm

第7章 消耗品

本章では、消耗品およびその取扱いと保管について説明します。

7.1 消耗品

本製品の消耗品を表7.1に示します。

トナーカートリッジやドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から30ヶ月の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ、汚れ、かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。

表 7.1 消耗品

商品名	商品番号	備考
トナーカートリッジLB502 (※1)	0898210	約15,000ページ印刷可能 (※2) (※3) ご使用条件で印刷枚数が変わります。
環境共生トナーLB502F (※1)	0898214	約15,000ページ印刷可能 (※2) ご使用条件で印刷枚数が変わります。
ドラムカートリッジLB502	0898230	約40,000ページ印刷可能 (※4) (A4用紙で有効画像面積比率が5%以下で印刷したとき) ご使用条件で印刷枚数が変わります。

※1 トナーカートリッジLB502と環境共生トナーLB502Fは、どちらか一方を選択してご使用ください。なお、環境共生トナーは、ご使用後のトナーカートリッジ（トナーボトル）のご返却を前提とした商品であり、トナーカートリッジ（トナーボトル）は富士通コワーク株式会社の所有物です。

※2 JIS X6931 (ISO/IEC19752)に基づく

※3 出荷時に装置添付されているスタータートナーカートリッジの寿命の目安は約6,000ページ（A4横印字率約5% 連続印刷時）です。

※4 表記の印刷可能枚数の目安は、A4横、片面印刷、印字率5%以下の4ページ/ジョブ時で使用した場合の枚数です。

例)

- ・1ページ/ジョブ時の場合は約25,000ページ印刷可能です。
- ・印字率が5%を超える場合は、印字率に応じて印刷可能ページ数が減ります。

なお、出荷時に添付されているスタータードラムカートリッジも同様です。

■非純正品使用時の注意

富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。

非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご留意ください。

非純正の消耗品は、構造上本装置に入らないようになっている場合があります。この場合、無理に押し込んだり、カバーを開めたりしないでください。

第8章 設置諸元

この章では、本製品の設置仕様および設置・保守スペースについて説明します。

8.1 設置仕様

本製品の設置仕様を表8.1に示します。

表 8.1 設置仕様

項 目		値			備 考
外形寸法 [mm]		幅	奥行き	高 さ	可動突起を除く カセット延長時は、奥行 きが518mmとなります。
	標準構成	499.4	388	320	
	フルオプション	499.4	388	687.8	
質 量 [kg]		標準構成 (本体) : 約 20.1 kg フルオプション : 約 39.6 kg			
入力電源	電 圧	AC100V±10%			
	相 数	単相			
	周 波 数	50/60 Hz ±3 Hz			
所要電流 [A]		15A			
消費電力 [W] (平均)		本体のみ : 960 W 以下 (1.08kVA) フルオプション時 : 960 W 以下 (1.08kVA) 省エネモード時 : 5.1 W 以下 (5.8VA)			最大 1,320 W (1.49 kVA) (フルオプション時)
発熱量 [MJ/H]		プリンタ本体 : 4.71 MJ/H 以下 フルオプション : 4.75 MJ/H 以下 省エネモード時 : 0.018MJ/H 以下			
TEC 値 ※1		1.36 kWh			
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 (2017 年度基準)	区分名	C			
	印刷速度	モノクロ:46 枚/分			
	年間消費電力量	150 kWh/年			
周囲環境 許容範囲	温 度	10~32 °C			図 8.1 温湿度条件参照
	湿 度	15~85% RH			
	最高湿球温度	26 °C			
機器発生粉じん濃度 [mg/h]		4.0 mg/h 以下			
騒 音 [dB(A)]	動 作 中	プリンタ本体 : 54 以下			A 特性音響パワーレベル
	休 止 中	プリンタ本体 : 16 以下			
	動 作 中	フルオプション : 58 以下			
コンセント形式		3ピン形状(3極プラグ) 2ピン形状(アース引き出し線付2極プラグ) ケーブルの長さ:約2.5m			
アースの種類		D種接地工事(旧第3種接地工事)			

※1: 国際エネルギースタープログラムV3.2基準の測定方法による

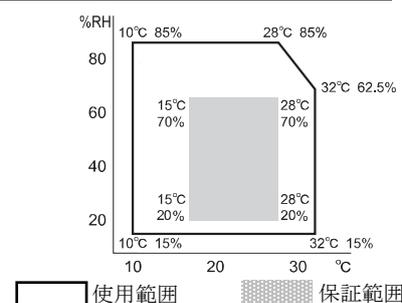
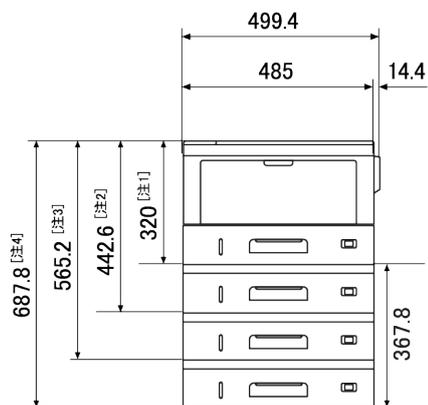


図8.1 温湿度条件

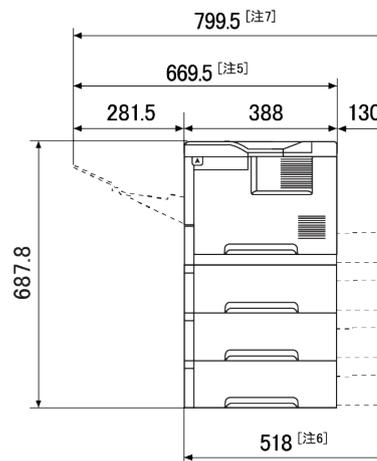
8.2 外形寸法と保守スペース

本製品の外形寸法を図8.2、本体設置スペースを図8.3、保守スペースを図8.4に示します。
 正常な接続と操作を行うために、下図のとおり装置の周囲には十分なスペースが必要です。

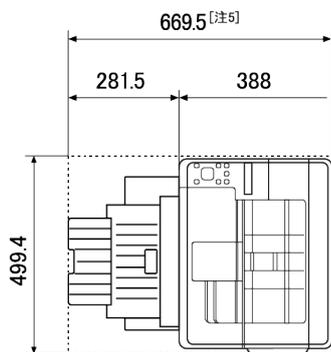
■正面図



■側面図



■上面図



- 注1：標準構成時
- 注2：給紙ユニット55を1段搭載時
- 注3：給紙ユニット55を2段搭載時
- 注4：給紙ユニット55を3段搭載時
- 注5：手差しトレイを開いて使用したとき
- 注6：給紙カセットを延長時
- 注7：給紙カセットを延長、手差しトレイを開いて使用したとき

図 8.2 外形寸法 [単位:mm]

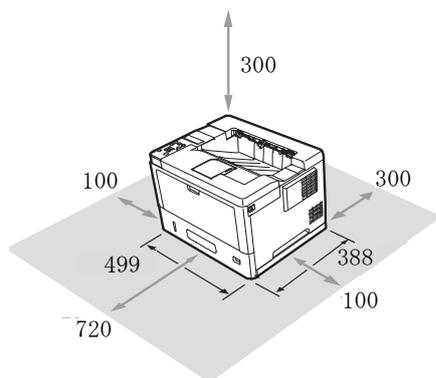


図 8.3 本体設置スペース [単位:mm]

保守を行うために、下図のとおりプリンタの周囲に十分なスペースが必要です。

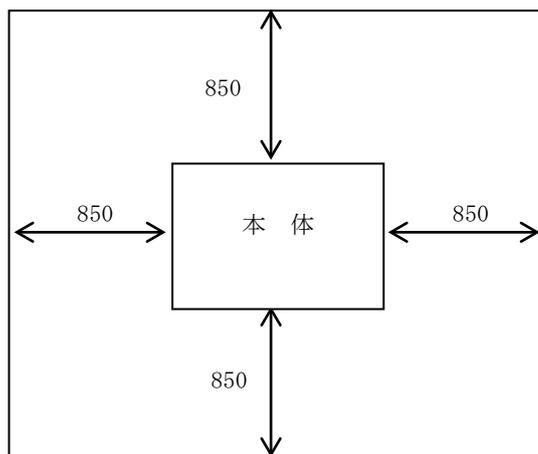


図 8.4 保守スペース [単位:mm]

第9章 使用上の注意

本製品を使用するときは、次の点に注意してください。

9.1 使用上の注意

本製品は、精密な部品でできています。次の注意事項をよく読んで使用してください。

(1) 装置

- ・プリンタの上に物を乗せないでください。
- ・プリンタ上部の排出口をふさがらないでください。

▲ 注意		<ul style="list-style-type: none"> ●プリンタを落としたり、物を当てないでください。 ●プリンタ内部に異物が入らないように注意してください。
------	---	---

(2) 電源プラグ

▲ 警告		<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは、ぬれた手で持たないでください。また、電源プラグの抜き差しは、プリンタの電源を切断してから行ってください。感電や火災のおそれがあります。 ●電源コンセントのアースは、必ず接地してください。感電のおそれがあります。
------	---	--

(3) 内部

▲ 注意		<ul style="list-style-type: none"> ●プリンタ使用中は、機構部が熱くなります。電源スイッチを切断した後、常温に戻るまで触れないでください。やけどのおそれがあります。
		<ul style="list-style-type: none"> ●電極やコネクタの端子を手で触れないでください。感電や静電気のためプリンタが破損する可能性があります。
▲ 注意		<ul style="list-style-type: none"> ●規定外の入力電圧や周囲温度が継続した場合は電源内部の回路部品が破損する過程で発煙、異臭、破裂音などの可能性があります。
		<ul style="list-style-type: none"> ●電源内部には高電圧部や高温部があり、通電状態や切断直後には触れないでください。
		<ul style="list-style-type: none"> ●電源内部に紙、プラスチックなどの可燃物やネジ、クリップなどの導電物を入れないでください。感電や火災のおそれがあります。

(4) 緊急時の本製品の停止手段

- ・ 本製品に異常が起きたら（異常な発熱、異常音など）、すぐに電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

(5) 印刷中

- ・ 印刷中は、電源を切断したり、電源ケーブルを抜かないでください。
- ・ 印刷中にはカバー類を開けたり、本体を移動したりしないでください。
- ・ 印刷中は給紙カセットを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- ・ 印刷中に本体の上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。

(6) 清掃をするとき

- ・ 電源を切断してから、清掃を行ってください。
- ・ 清掃には、ベンジンやシンナーなどの揮発性のものは、使用しないでください。
- ・ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むものは、使用しないでください。
- ・ カバー類の汚れは、水で湿らせて固く絞った柔らかい布、または薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽く拭いてください。

(7) 長期間使用しないとき

- ・ 長期間（1週間以上）使用しないときは、用紙カセット内の用紙を取り出してください。
- ・ 用紙は湿度変動の少ない場所に保管してください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントから抜いておいてください。

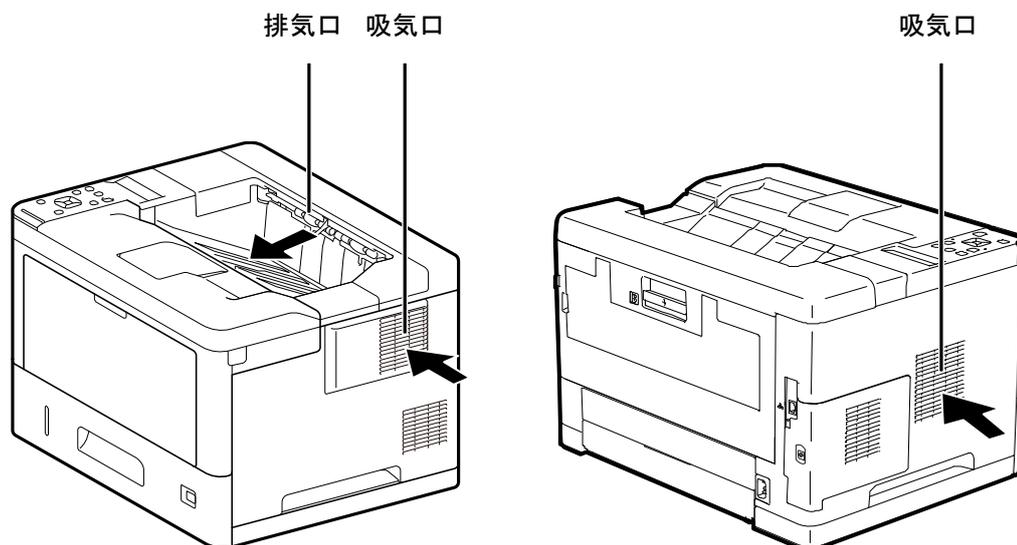
(8) その他

- ・ ネジなどで固定されているカバー類は、絶対に開けないでください。
- ・ プリンタを改造したり、部品を変えたりして使用しないでください。
- ・ プリンタの近くで可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。
- ・ クリップなどの異物がプリンタの中に入らないようにしてください。

(9) 設置環境

- ・ 風通しが良く、水平で安定したところに置いてください。
いつも良い条件で使用できる環境範囲は、次のとおりです。
以下に示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。
 - －温度：10℃～32℃ 温度が32℃のときは、湿度65%が上限
 - －湿度：15%～85% 湿度が85%のときは、温度28℃が上限
 - －最大湿温度：28℃ 85%RH
 - －標準湿温度：23℃ 50%RH
- ・ 次のようなところには置かないでください。
 - －直射日光のあたるところ
 - －発熱器具（ストーブやヒーターなど）の近く、油煙や湯気、加湿器など蒸気があたる場所
 - －ほこりっぽいところ
 - －温度が急激に変化する場所
 - －クーラーや暖房器、換気口などからの風が直接あたる場所
 - －揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- ・ 寒いところから暖かいところに移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、プリンタ内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

- ・ プリンタ内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。プリンタ左右の側面には吸気口があります。物を置いたり、立てかけたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。内部が高温となり異常の原因となります。



(10) 電源

- ・ 機械は、電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、電源コンセントに確実に接続してください（電源コードの長さは、約2.5m）。
- ・ 電源の接続は、AC100V、15A 以上のものに接続してください。またできるだけ他の機器とは、ブレーカーが独立している電源に接続してください。
- ・ 延長コードが必要な場合は、規格が 125V、15A以上、長さ5m 以下のものを使用してください。
- ・ タコ足配線は、絶対にしないでください。
- ・ 電源ケーブルの踏みつけ、機械による押付けは、事故の原因となるため、設置時は十分に注意してください。また、電源ケーブルを足で引っかけたり、踏みつけたりしないように配線してください。
- ・ 他の電気製品（特にエアコンディショナーや複写機、シュレツダなど）と同じ電源コンセントを使用しないでください（電氣的ノイズや電圧変動により装置が誤作動します）。
- ・ パソコンなどのサービスコンセントに、本製品の電源ケーブルを接続しないでください。

(11) ラベル／刻印等

本製品は、他機種との共通部品を用いていることに伴い、実際の装置仕様と異なるラベルや刻印があります。

- ・ 給紙カセット(カセット1、2、3、4)底面の用紙サイズの刻印は、本製品の仕様と異なる箇所があります。

給紙カセットで使用できる用紙サイズは、A4横、B5横、A5横、レター横、A3縦、B4縦です。

- ・ 給紙カセット(カセット1、2、3、4)の用紙サイズダイヤルの用紙サイズラベルは、本製品の仕様と異なる箇所があります。

本製品では、給紙カセットからの「A4 」は使用できません。

なお、レターサイズをご利用の場合は、用紙サイズダイヤルを「*」にセットしてください。

- ・ 手差しトレイ部用紙サイズの刻印は、本製品の仕様と異なる箇所があります。

手差しトレイで使用できる用紙サイズはA4縦、B5縦、A5縦、レター縦、A3縦、B4縦です。

9.2 廃棄

本製品は、精密な部品でできています。次の注意事項をよく読んで対応してください。

(1) 本製品の廃棄

- ・ 本製品を廃棄するときは、保守員または営業に相談してください。

(2) 消耗品

- ・ 本製品の消耗品を廃棄するときは、富士通コワーコ 「エコ受付センター」にご連絡ください。
なお、お客様で処理される場合は、関係する法令、条例に従ってください
(富士通コワーコの連絡先は、第4章参照)。

9.3 受信障害

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキ、ゆがみなど、本製品が原因と思われる電波障害が発生したときは、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。

電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・ ラジオやテレビの距離を離してみる。
- ・ ラジオやテレビの位置や向きを変えてみる。
- ・ ラジオやテレビの電源を別系統に接続してみる。
- ・ アンテナ線を同軸ケーブルに取り替えてみる。
- ・ 受信アンテナやアンテナ配線の配置を換えてみる。

9.4 移動、移設

本製品を移動、移設させるときは、保守員にご依頼ください。

保守員以外で移動、移設される場合、また長距離を移動する場合は装置を梱包して運送してください。

なお、本製品を移動、移設する場合は、必ず2人以上で運んでください。

第10章 清掃

本製品の清掃について説明します。

10.1 清掃するときの注意

本製品を清掃するときの注意事項です。

▲ 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> このマニュアルで指定している部分以外のカバーやネジは外さないでください。プリンタ内部には電圧の高い部分やLED光源があり、感電や失明の原因になります。プリンタ内部の点検・調整・修理は保守員に依頼してください。 本製品を改造しないでください。火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

▲ 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグ差込み部を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

■ 重要	
<ul style="list-style-type: none"> プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。 ベンジンやシンナー、アルコールなどの揮発性の薬品や洗浄剤は使用しないでください。変形、変色、ひび割れの原因になります。 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は、使用しないでください。 プリンタを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。 プリンタ内部に、ほこりや汚れがあるときは、水で湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。 プリンタ外部は、水で湿らせ固く絞った柔らかい布で本体の外側を拭きます。 (汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください) 柔らかい布で水分を十分に拭き取ります。 	

10.2 給紙カセットの用紙送りローラーを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て用紙送りローラーが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、用紙送りローラーを清掃します。

■ 重要

- ・アルコールや洗浄剤など使わないでください。
- ・用紙をセットした給紙カセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

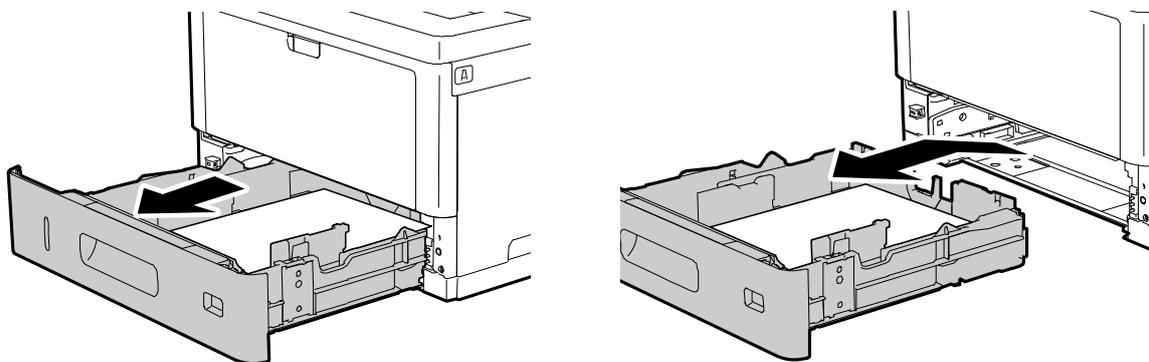
◆ 補足

- ・用紙送りローラーを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、「第5章 5.2.2 給紙がうまくいかないとき」を参照してください。
- ・用紙送りローラーの清掃は、各カセットについて実施してください。
- ・カセット2~4（オプション）を取り付けているときは、本体のカセットと同じように用紙送りローラーも清掃してください。

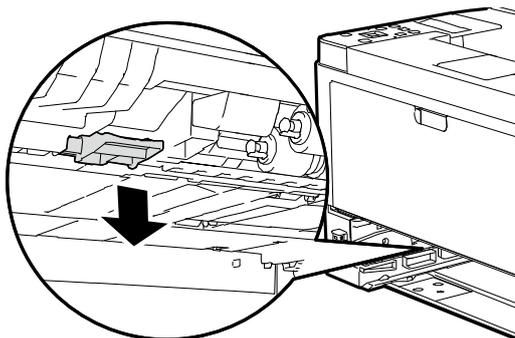
■ 給紙カセット1（標準）の用紙送りローラーの清掃

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

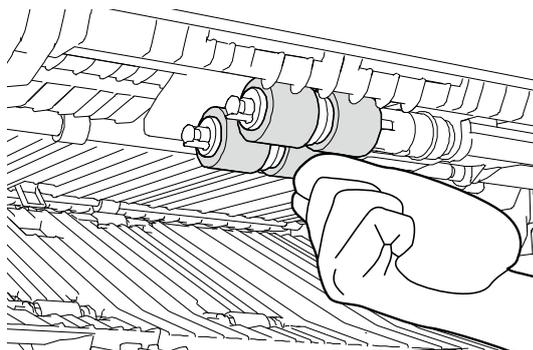
2 給紙カセットを留まる位置までゆっくりと引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。



3 両面カバーの青色のレバーを押し下げ、両面カバーを開けます。



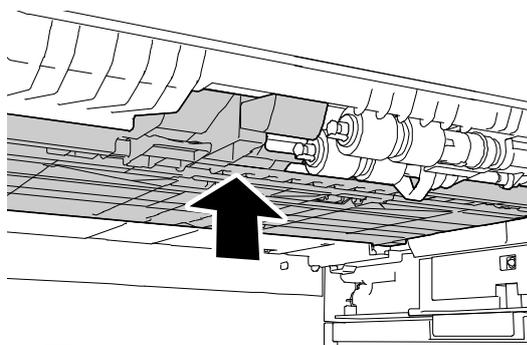
- 4 水で湿らせ固く絞った柔らかい布でゴム部分を回転させながら全体を拭きます。



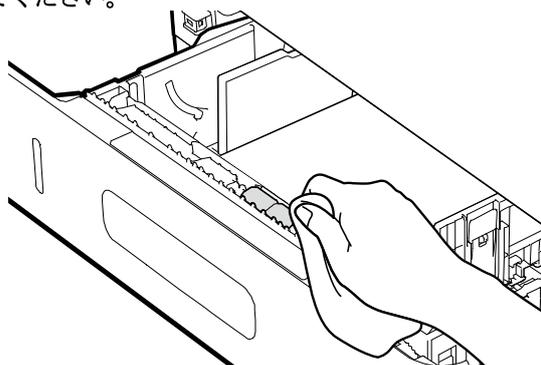
■ 重要

- ・プリンタ本体を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・プリンタ内部の他の部品には触れないでください。

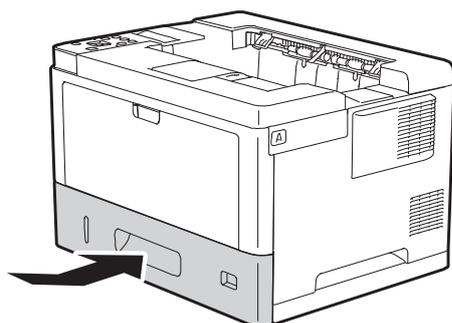
- 5 青色のレバーを上げて、両面カバーを閉じます。



- 6 水で湿らせ固く絞った柔らかい布で、給紙カセット内側の用紙送りローラーを回転させながら全体を拭いてください。



- 7 手前側を持ち上げた状態で給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

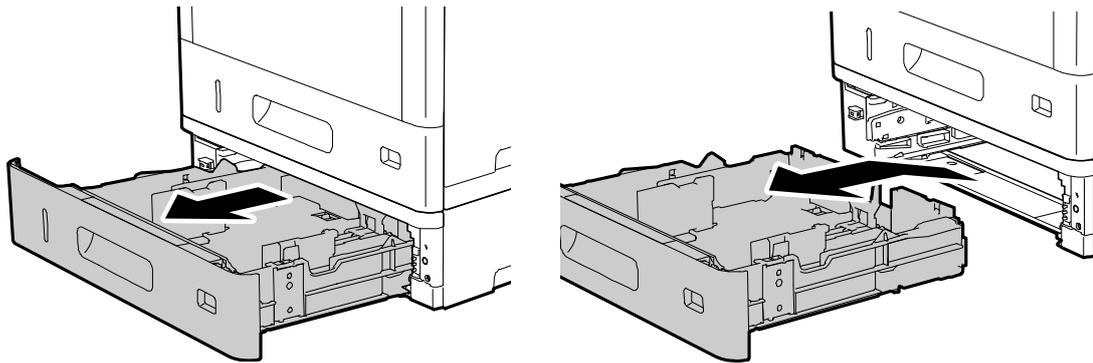


- 8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

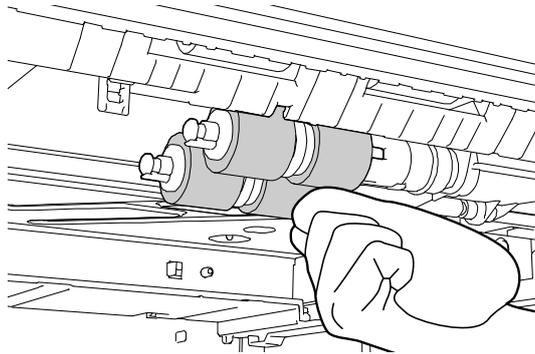
■拡張給紙ユニット（給紙カセット2～4：オプション）の用紙送りローラーの清掃

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

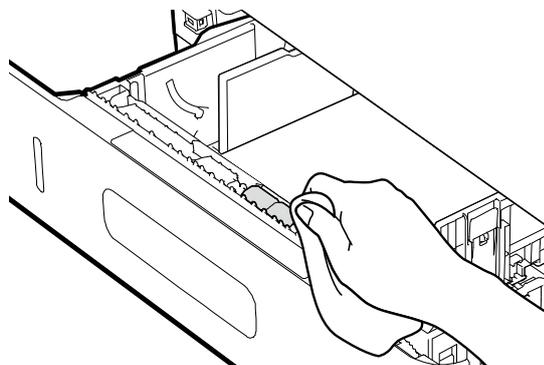
2 給紙カセットを留まる位置までゆっくりと引き出し、手前側を持ち上げて引き抜きます。



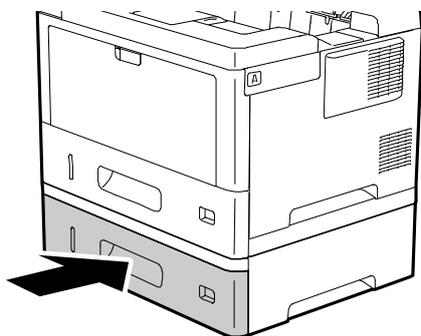
3 水で湿らせ固く絞った柔らかい布で、拡張給紙ユニット上側の用紙送りローラーのゴム部分を回転させながら全体を拭きます。



4 水で湿らせ固く絞った柔らかい布で、給紙カセット内側の用紙送りローラーを回転させながら全体を拭いてください。



- 5 手前側を持ち上げた状態で給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



- 6 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

10.3 手差しトレイの用紙送りローラーを清掃する

手差しトレイの用紙送りローラーの清掃手順について説明します。

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て用紙送りローラーが汚れると、用紙が送られなかったり、つまったりする原因になります。その場合、手差しトレイの用紙送りローラーを清掃します。

■ 重要

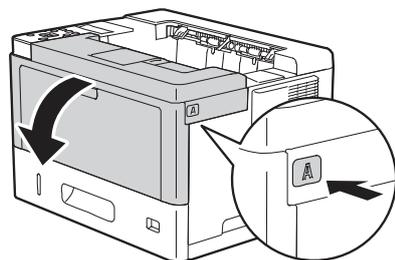
- ・ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所で作業しないでください。
- ・アルコールや洗剤などは使用しないでください。

◆ 補足

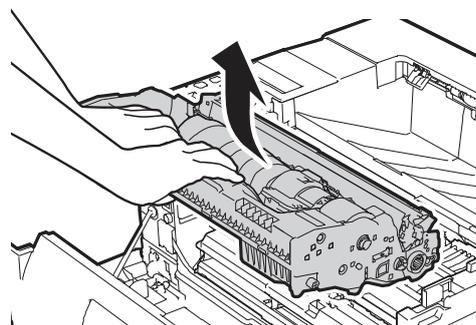
- ・用紙送りローラーを清掃しても用紙が多重送りされたり、つまったりする場合は、「第5章 5.2.2 給紙がうまくいかないとき」を参照してください。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 前カバーオープンボタン [A] を押して、前カバーをゆっくり開きます。



3 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げ、平らなところに置きます。

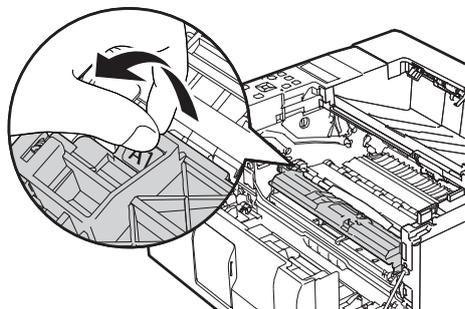


■ 重要

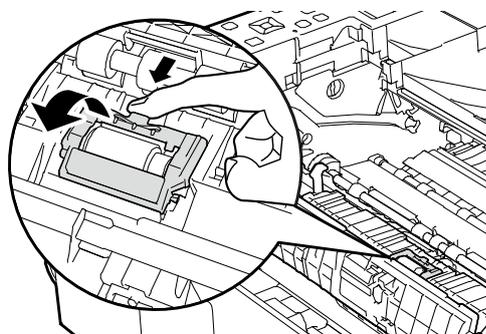
- ・トナーカートリッジとドラムカートリッジはセットで取り出します。
- ・ドラムカートリッジは、水平に置いてください。立てたり、斜めにするとトナーがこぼれたり、印字不良になるおそれがあります。

4 給紙カバー [A1] 部を手前に開きます。

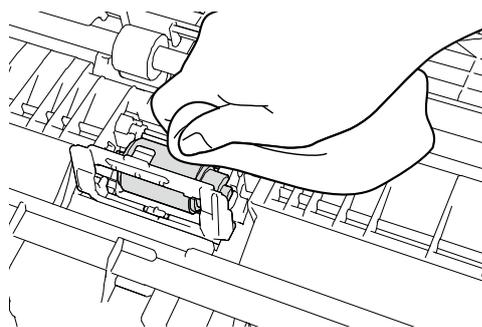
[A1]部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



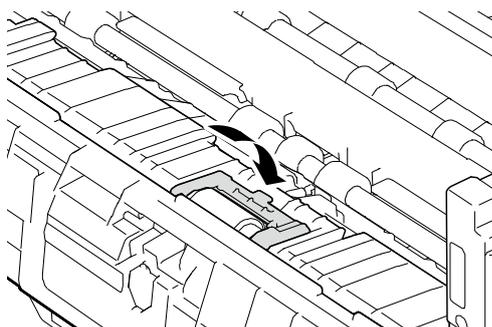
5 用紙送りローラーのカバーの突起を押しながら、手前に開きます。



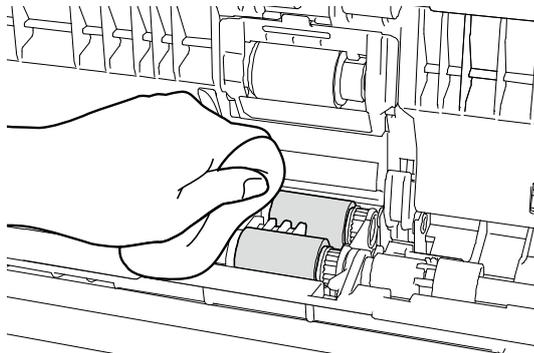
6 用紙送りローラーを水で湿らせ固く絞った柔らかい布で回転させながら全体を拭きます。
この時、ローラーは奥に押すように回転させてください(手前に回転させるとローラーが外れる場合があります)。



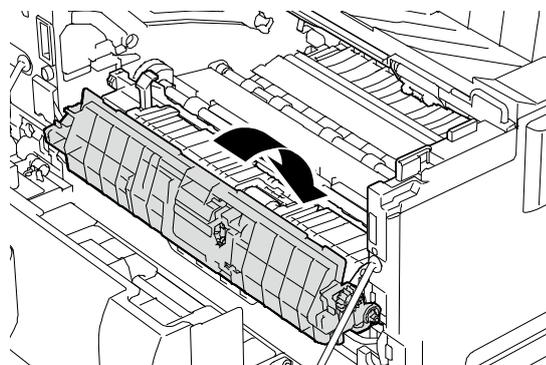
7 用紙送りローラーのカバーを閉じます。



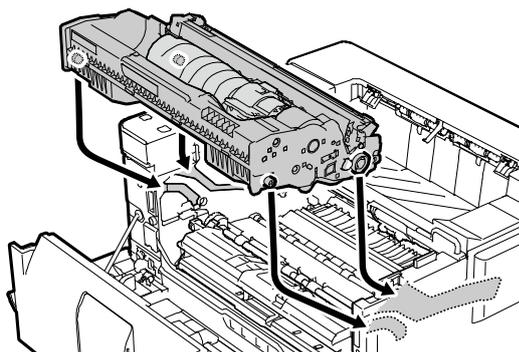
8 水で湿らせ固く絞った柔らかい布で[A1]部の裏側にあるゴム部分を回転させながら全体を拭きます。



9 [A1]部を閉じます。

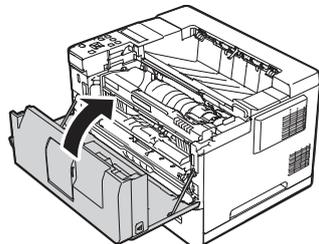


10 ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、左右にある突起をプリンタ本体の溝に合わせて、しっかりと押し込みます。



11 前カバーを両手で静かに閉めます。

前カバーが閉まらないときは、前カバーを無理に閉めずに、ドラムカートリッジが正しくセットされているかどうか確認してください。



12 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

付録1 メッセージ一覧

付1.1 通常動作

メッセージ	内容	操作
INITIALIZING → → → → → →	IPL時、装置初期化中	初期化終了後、スタート画面へ
スタート ①②③ *****	動作可能状態（共通画面） *****：消耗品ライフ、装置寿命、またはストレージデバイス寿命発生時メッセージ表示する	
ストップ ①②③ *****	ストップ画面（共通画面） *****：消耗品ライフ、装置寿命、またはストレージデバイス寿命発生時メッセージ表示する	スタート・ストップキー押下でスタート画面へ遷移する
スタート 6 6 X X	66XXスタート画面	
ストップ 6 6 X X	66XXストップ画面	スタート・ストップキー押下でスタート画面へ遷移する
スタート 6 9 X X	69XXスタート画面	
ストップ 6 9 X X	69XXストップ画面	スタート・ストップキー押下でスタート画面へ遷移する
オンライン 400 F 左 75%縦余白 1-A4	FMスタート画面	
オフライン 400 F 左 75%縦余白 1-A4	FMストップ画面	スタート・ストップキー押下でスタート画面へ遷移する
オンライン 600 左 66%縦 1-A4	FNPスタート画面	
オンライン 600 左 66%縦 1-A4	FNPオフライン画面	スタート・ストップキー押下でスタート画面へ遷移する
オンライン 400 F 上位装置電源断	上位装置との接続が不可能である	上位装置との接続が確立するとエラー表示消去
電源断準備中 メカ情報 退避中	メカ情報を退避中	
電源断準備中	電源断準備中	
文字キャッシュ情報 退避中	文字キャッシュ情報を退避中	
メカ シャットダウン 処理中	メカシャットダウン中	
用紙排出中	用紙排出動作中	
割込による中断 用紙排出中	割込印刷キー押下後、受信分のデータ排出中	
割込印刷 印刷しますか？ Y/N	割込印刷キー押下後、データ排出完了時の確認画面	セット：割込印刷開始 リセット：6680-NMC印刷再開
用紙づまり履歴 なし	用紙づまり履歴表示で、用紙づまり履歴がない状態の表示	リセットキー押下で、共通ストップ画面へ遷移する
用紙づまり履歴 1. ERXX-XX	用紙づまり履歴表示で、用紙づまり履歴が1つだけの状態の表示	リセットキー押下で、共通ストップ画面へ遷移する
用紙づまり履歴 1. ERXX-XX/2. ERXX-YY	用紙づまり履歴表示で、用紙づまり履歴が2つある状態の表示	リセットキー押下で、共通ストップ画面へ遷移する
リクエスト未接続モード ^①	リクエスト未接続モード立ち上げ中表示	
6680-NMC未接続モード ^②	6680-NMC未接続モード立ち上げ中表示	

付1.2 共通ストップ画面

メッセージ	内容	操作
ストップ ***** 1 2 3	ストップ画面（共通画面）	スタート・ストップキー押下でスタート画面へ遷移する
トナーカートリッジ 残量 XXX%	装置情報キー押下による消耗品情報画面	装置情報：カセット情報画面へ遷移する 上/下：前/次の情報画面へ遷移する リセット：共通ストップ画面へ戻る
ドラムカートリッジ 残量 XXX%		
定期交換キット(CE) 消耗率 YYY%		
600K交換キット(CE) 消耗率 YYY%		
カセット ## 用紙あり カセット ## 用紙なし	装置情報キー押下によるカセット情報画面	装置情報：ネットワーク情報画面へ遷移する 上/下：前/次の情報画面へ遷移する リセット：共通ストップ画面へ戻る
カセット ## 用紙あり カセット ## 用紙なし		
有効プロトコル IPv4	装置情報キー押下によるネットワーク情報画面 有効プロトコル表示画面	装置情報：消耗品情報画面へ遷移する 上/下：前/次の情報画面へ遷移する リセット：共通ストップ画面へ戻る
有効プロトコル IPv6		
有効プロトコル IPv4 / IPv6		
IPv4-IPアドレス NNN:NNN:NNN:NNN	装置情報キー押下によるネットワーク情報画面 IPv4ネットワーク表示画面 ※有効プロトコルがIPv4またはIPv4/IPv6の場合に表示	装置情報：消耗品情報画面へ遷移する 上/下：前/次の情報画面へ遷移する リセット：共通ストップ画面へ戻る
IPv4-ネットマスク NNN:NNN:NNN:NNN		
IPv4-デフォルトルータ NNN:NNN:NNN:NNN		
IPv6-リンクローカル 1/2 XXXX:XXXX:XXXX:XXXX	装置情報キー押下によるネットワーク情報画面 IPv6ネットワーク表示画面 ※有効プロトコルがIPv6またはIPv4/IPv6の場合に表示	装置情報：消耗品情報画面へ遷移する 上/下：前/次の情報画面へ遷移する リセット：共通ストップ画面へ戻る
IPv6-リンクローカル 2/2 XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
IPv6-グローバル 1/2 XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
IPv6-グローバル 2/2 XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
IPv6-ゲートウェイ 1/2 XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
IPv6-ゲートウェイ 2/2 XXXX:XXXX:XXXX:XXXX		
IPv6-AAAAA 0:0:0:0:0:0		

付1.3 異常メッセージ (消耗品)

メッセージ	内 容	操 作
スタート トナーカートリッジ準備	トナーカートリッジ交換準備	新しいトナーカートリッジを用意する
スタート ドラムカートリッジ準備	ドラムカートリッジ交換準備	新しいドラムカートリッジを用意する
スタート 定期交換キット準備	定期交換キット交換準備	定期交換キット交換準備(保守員作業)保守員に連絡
スタート 600K交換キット準備	600K交換キット交換準備	600K交換キット交換準備(保守員作業)保守員に連絡
スタート 定期交換キット交換	定期交換キット交換	定期交換キット交換(保守員作業)保守員に連絡
スタート 600K交換キット交換	600K交換キット交換	600K定期交換キット交換(保守員作業)保守員に連絡
トナーエンブティ トナーカートリッジ交換	トナーカートリッジ寿命 (トナーエンブティ)	トナーカートリッジを交換する
トナーエンブティ トナーカートリッジを振り再セット	新品トナーカートリッジで供給不良	トナーカートリッジを振って再セットする
ドラムカートリッジ寿命 ドラムカートリッジ交換	ドラムカートリッジ寿命	ドラムカートリッジを交換する
トナーカートリッジなし トナーカートリッジをセット	トナーカートリッジが本体にセットされていない	トナーカートリッジをセットする
ドラムカートリッジなし ドラムカートリッジをセット	ドラムカートリッジが本体にセットされていない	ドラムカートリッジをセットする
トナーカートリッジ確認 トナーカートリッジを再セット	トナーカートリッジのセット不良	トナーカートリッジを再セットする
ドラムカートリッジ確認 ドラムカートリッジを再セット	ドラムカートリッジのセット不良	ドラムカートリッジを再セットする
ドラムカートリッジ確認 トナーシール引抜いて下さい	トナーシールの引抜き忘れ	ドラムカートリッジのトナーシールを引抜く
トナーカートリッジ異常 正しいカートリッジをセット	非正規品のトナーカートリッジがセットされた	正しいトナーカートリッジをセットする
ドラムカートリッジ異常 正しいカートリッジをセット	非正規品のドラムカートリッジがセットされた	正しいドラムカートリッジをセットする
スタート ストレージデバイス交換	ストレージデバイス寿命	ストレージデバイスの交換(保守員作業)保守員に連絡
スタート 電池交換	RTC用電池(プリンタに搭載されている電池)寿命	RTC用電池の交換(保守員作業)保守員に連絡
スタート 装置寿命	装置寿命	

付1.4 異常メッセージ（受信データ 66XX/69XX）

メッセージ	内 容
スタート ****  データエラー=XX	XX：異常コード（66XX） 10：水平スキップオーバー 11：MPP・LM指定エラー 12：SAオーダーエラー 13：SLDオーダーエラー 14：オーダーインバリッド 15：用紙指定ミス 16：文字バッファフル 17：フォームズオーバーレイバッファフル 18：フォームズオーバーレイパターンなし 1A：フォームズオーバーレイデータエラー 1B：ホッパ 指定オーダーエラー 1C：フォームズオーバーレイコピーシーケンスエラー 1D：印刷モード指定ミス/MPL・TM指定エラー 1E：フォームズオーバーレイIDエラー 1F：フォームズオーバーレイサイズエラー 20：未サポートコマンド 21：DTPシーケンスエラー 23：コマンドシーケンスエラー 24：原点位置指定エラー 25：文字セットIDエラー 26：文字コード未定義 29：グラフ出力機構なし(拡張出力機構未実装) 2A：文字パターンローディングタイムアウト (10分以内に転送されなかった) 2B：OVLパターンローディングタイムアウト (10分以内に転送されなかった) 34：イメージデータエラー 39：イメージ出力機構なし(拡張出力機構未実装)
スタート ****  データエラー=XX	XX：異常コード（69XX） 2A：文字パターンローディングタイムアウト (10分以内に転送されなかった) 2B：OVLパターンローディングタイムアウト (10分以内に転送されなかった) 3D：SND CG未受信状態でデータを受信した。 30, 33~35, 37, 38 : キャラクタに関する異常コード 3A, 3B 40, 44~4F, 51 : グラフィックに関する異常コード 60, 64~6E : イメージに関する異常コード 84~8F, 91 : フォームオーバーレイに関する異常コード A2, A3, A8~AE, E1 : 新プリントアウトコントロールに関する異常コード B2, B3 : フォームコントロールデータに関する異常コード C2~C4 : セットエミュレートモードに関する異常コード

メッセージ	内 容	操 作
スタート ****  上位装置電源断	上位装置との接続が不可能である ****：66XX/69XX	上位装置との接続が確立するとエラー表示消去
スタート 69XX  SND CG未受信	SND CG未受信 (69XXエミュレーション)	装置にSND CGを行う
スタート 69XX  SND CG受信	SND CG受信 (69XXエミュレーション)	SND CG実行中
スタート 69XX  SND CG完了 電源再投入	SND CG受信終了 (69XXエミュレーション)	電源再投入により受信済みCGが利用可能となる
ストップ **** 	未印刷データを保持中である ****：66XX/69XX	

付1.5 異常メッセージ (オペレータコール)

メッセージ	内 容	操 作
カセット*を 確認して下さい	カセットオープン * : カセット番号	指定カセットを閉める リセット : 装置復旧
用紙がありません カセット* = # #	カセット用紙なし * : カセット番号 # # : 用紙サイズ	用紙補給 リセット : 装置復旧
用紙がありません 手差しトレイ = # #	手差しトレイ用紙なし # # : 用紙サイズ	用紙補給 リセット : 装置復旧
排紙トレイ フル 紙を取り除いて下さい	排紙トレイが満杯	用紙を取り除く リセット : 装置復旧
スタート 1 2 3 トナーカートリッジ準備	トナーカートリッジのニアライフ発生	
スタート 1 2 3 ドラムカートリッジ準備	ドラムカートリッジのニアライフ発生	
スタート 1 2 3 装置寿命	装置寿命	
スタート 1 2 3 定期交換キット準備	定期交換部品のニアライフ発生	定期交換キット交換準備 (保守員作業) 保守員に連絡
スタート 1 2 3 定期交換キット交換	定期交換部品劣化発生	定期交換キット交換 (保守員作業) 保守員に連絡
トナーエンブティ トナーカートリッジ交換	トナーカートリッジ寿命 (トナーエンブティ)	トナーカートリッジを交換する
ドラムカートリッジ寿命 ドラムカートリッジ交換	ドラムカートリッジ寿命	ドラムカートリッジを交換する
カバーオープン 前カバー	前カバーオープン	前カバーを閉める リセット : 装置復旧
カバーオープン 後カバー	後カバーオープン	後カバーを閉める リセット : 装置復旧
トナーカートリッジなし トナーカートリッジをセット	トナーカートリッジが本体にセットされていない	トナーカートリッジをセット
ドラムカートリッジなし ドラムカートリッジをセット	ドラムカートリッジが本体にセットされていない	ドラムカートリッジをセット

(続く)

(続き)

メッセージ	内 容	操 作
用紙づまり 9X-YY *****	9X：90は残紙の用紙づまりを示す。91は通常の用紙づまりを示す YY：用紙づまり詳細コード *****：メッセージと用紙除去アクセス場所	
	・残紙用紙づまり	
	01：手差しトレイ	A
	02：カセット 1	T1
	03：カセット 2 出口	T2
	04：カセット 2	T2
	05：カセット 3 出口	T3
	06：カセット 3	T3
	07：カセット 4 出口	T4
	08：カセット 4	T4
	09：本体定着	B
	0A：本体転写	A
	0B：本体排紙	B
	0C：カセット 1-本体転写	A
	0D：本体転写	A
	0E：両面内部	Z
	0F：両面入口	B
	10：両面出口	A
	・通常用紙づまり	
	11：カセット 1	T1
	12：カセット 2	T2
	13：カセット 3	T3
	14：カセット 4	T4
	15：カセット 2-カセット 1	T2
	16：カセット 3-カセット 2	T3
	17：カセット 4-カセット 3	T4
	21：用紙サイズ不一致	A
	22：用紙サイズ不一致	A
	23：本体転写	A
	24：本体転写	A
	25：本体定着	A
	26：本体定着-本体排紙	A
	27：本体定着-本体排紙	B
	28：本体定着-本体排紙	B
	29：本体排紙	B
	31：両面入口	B
	32：両面内部	Z

付1.6 異常メッセージ (メカエラー CEコール)

メッセージ	内 容	操 作
6 X-Y Y CEコール# *****	メカサービスコール Y Y : SV-callコード(\$ 0 0 ~ \$ F F)	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
	6 X 6 0 : モータ系 6 2 : 帯電系 #部 T : 定期交換キット 6 3 : 定着系 6 4 : 光学系 S : 600K交換キット 6 5 : 通信系 6 6 : その他 B : 定期交換キット+600K交換キット ***** : 異常部表示	
	[モータ系] 6 0-2 1 : カセット2モータ異常 6 0-2 2 : カセット3モータ異常 6 0-2 3 : カセット4モータ異常 6 0-4 3 : メインモータ異常	
	[帯電系]	
	[定着系] 6 3-5 4 : 高温異常検知 6 3-9 1, 9 2, 9 3, 9 E, 9 F, A 0, A 2, A 3 A 7, A 8, A 9, A A, A B, A C, A D, A E B 0, B 1, B 4, B 5, B 8, B 9 : 定着器異常	
	[光学系] 6 4-7 E : ビデオASIC異常 6 4-6 7, 6 B, 6 F, 7 9, 8 B, 8 F : LPH異常 6 4-8 0 : ATC異常 6 4-F 2 : メカボード異常	
	[通信系] 6 5-2 C : カセットI/F異常 6 5-6 3, 8 7 : LPH通信異常 6 5-D B : コントローラI/F異常 6 5-D C : SPI通信異常	
	[その他] 6 6-5 F : ファン異常 6 6-3 0, 2 0 : 給紙カセット構成異常 6 6-2 7 : カセット2異常 6 6-2 8 : カセット3異常 6 6-2 9 : カセット4異常 6 6-F 3 : 装置異常 6 6-F C : 搬送異常	
XX **** ***** # CE コール *****	各種ハード異常 4X : 機構部(メカ) 8X : 制御部 CX : INFL異常 DX : ストレージ異常 # : 消耗状態のCE交換部品	電源再投入 復旧しない場合、または頻発する場合は保守員に連絡
8 6 **** **** * CE コール **** *	T : 定期交換キット S : 600K交換キット B : 定期交換キット+600K交換キット	

付1.7 異常メッセージ（電源投入時／通常動作中）

メッセージ	内 容	操 作
IPエラー xxxxxxxx ***.***.***.***	IPアドレス重複エラー xx：相手MACアドレス *：IPアドレス	「電源切断キー」により電源切断後、アドレスの重複を解決し、電源再投入 プリンタの設定変更が必要な場合は、いったんLAN から切り離して再設定を行う
MACアドレス設定ミス 再設定して下さい	同一ネット上に同じMACアドレスの装置あり	
INITIALIZING 6 6 X X資源ロード中	立ち上げ前、66XX資源のダウンロード中 PrintWalker/PM TCP/IP 66XXまたは1pd TCP/IP 66XX設定時	資源ロード 完了後スタート画面へ
リクエストサーバ 接続不可 再接続中です	リクエストサーバからの資源ローディングで異常発生	セットアップ：共通セットアップ画面に遷移し、リクエストサーバのIPアドレスを確認する セットアップを行わない場合は、リクエストとの接続をポーリング
本設定後、電源断必要 設定しますか？ Y/N	リクエストサーバからの資源ローディングで異常発生時、セットアップキーを押下	Yes：環境設定メニュー画面へ No：リクエストサーバ接続異常画面へ
***** しばらくお待ち下さい	メカの準備中 *****：プリンタ準備中 プロセス調整中 クールダウン1	メカの状態が解除されると元の画面に戻る。印刷依頼している場合は印刷を起動する
クールダウン2 しばらくお待ち下さい	機械内部が高温状態のため印刷を停止しています	機械内部の高温状態が解除されると印刷を再開する
データ受信中 印刷を 継続しますか？ Y/N	データ受信中に電源キーを押下時、印刷を継続するかのメッセージ	セット：ストップ画面に戻る リセット：電源断準備中へ遷移

付1.8 異常メッセージ (セットアップ)

メッセージ	内 容	操 作
データ受信中のため セットアップできません	データ受信中にセットアップキーが押された	リセット：ストップ画面
拡張出力機構なし 論理プリンタ再設定? Y/N	拡張出力機構の取り外しによる論理プリンタ再設定を確認	セット：「INITIALIZING」画面の後、 環境設定メニュー「論理プリンタ」表示画面へ リセット：リクエストサーバ接続異常画面へ
電源切断後、拡張出力機構を確認して下さい	拡張出力機構確認画面	「電源切断キー」により電源を切断し、拡張出力機構を確認する
選択不可 拡張出力機構なし	1. 拡張出力機構未搭載時、2つ目の論理プリンタを選択したとき 2. 拡張出力機構未搭載時、「69XX」を選択したとき	リセット：選択画面へ
設定に誤りがあります 再設定して下さい	マシン名設定時、一文字目に空白を入力したため、設定不可	リセット：選択画面へ戻る
選択不可 設定可能最大数オーバ	「1.4.3 オプションと論理プリンタ設定数」参照	リセット：論理プリンタ設定メニューに戻る 他の論理プリンタのサポートサーバ/エミュレーションの設定を確認
エラー 使用可能カセットなし	論理プリンタセットアップのカセット設定時、すべてのカセットが使用不可となっている	リセット：選択画面へ戻る 1つ以上のカセットを設定する
ポート番号に矛盾 再定義して下さい	異なるサーバ連携で、同一ポート番号を設定しているか、同一サーバ連携で、異なるポート番号を設定している 注) BSNPSとPrintWalker/PMは同一サーバ扱いとする	リセット：IPL継続 ポート番号設定を以下のように変更しIPLを継続する FNAサーバ →00747 lpd →00515 BSNPS →09313 PrintWalker/PM →09313 リクエストサーバ→06670
トナーカートリッジ異常 正しいカートリッジをセット	非正規品のトナーカートリッジがセットされた	正しいトナーカートリッジをセット
ドラムカートリッジ異常 正しいカートリッジをセット	非正規品のドラムカートリッジがセットされた	正しいドラムカートリッジをセット

付録2 PrintWalker/EMのご紹介

PrintWalker/EM (Eco Manager) は、PS5000シリーズおよびVSPシリーズプリンタ装置の情報管理や状態表示を行うソフトウェアです。

本ソフトウェアには次の機能があります。

(1) 情報管理機能

プリンタ装置の消費電力情報や印刷情報などの統計情報を一元管理します。

お客様利用環境にて、消費電力や印刷出力量など環境負荷状況(CO2)を把握する方法を提供することで、運用改善や最適配置の計画に役立てることができます。

本機能はSystemwalker Desktopシリーズと連携した環境配慮ソリューションとして提供しています。

(2) プリンタ管理機能

プリンタ装置の状態や消耗品状況を表示したりログに記録することで、定期保守や消耗品管理の計画に役立てることができます。また、プリンター一覧画面から、プリンタ装置の電源をOFFすることができます(注1)、運用の利便性向上が期待できます。

本機能は従来のPrintWalker/RS_Lightの機能に相当します。

注1) 対象プリンタのみ。本装置は可能です。

付録3 リモート電源制御機能

本製品は、PRIMERGY 6000とPrintWalker/EMからリモート電源切断制御が可能です。

プリンタ装置の各状態における、リモート電源制御を実施した場合の動作について説明します。

- ① オンライン（スタート）およびオフライン（ストップ）状態
電源を切断します。
- ② 印刷中
印刷中の用紙を排出した後に、電源を切断します。
- ③ PRIMERGY 6000からのSNDCG中
 - ・PRIMERGY 6000からのリモート電源切断：不可
 - ・PrintWalker/EMからのリモート電源切断：電源を切断します。
- ④ PRIMERGY 6000からのSNDOVL中
 - ・PRIMERGY 6000からのリモート電源切断：不可
 - ・PrintWalker/EMからのリモート電源切断：電源を切断します。
- ⑤ VSPリクエスト経由での資源ロード中
資源ロード途中でも、電源を切断します。
受信途中のデータは破棄されますが、それまでに保存したデータは有効です。
- ⑥ エラー発生時
電源を切断します。
ただし、プリンタ制御部が停止するようなエラーの場合は動作しません。
- ⑦ UNIX(Solaris) サーバからの66xx(JEF)用CG/OVLパターンロード中
電源を切断します。
パターンロード途中でも、電源を切断します。
受信途中のデータは破棄されますが、それまで正常に受信したパターンについては有効です。

注1) PRIMERGY 6000から本機能を使用する場合は、装置側で設定が必要です。保守員にご確認ください。

注2) 6680-NMC 定義のプリンタがある場合は、PRIMERGY 6000からのリモートパワーオフは無効となります。

付録4 外字登録(TrueType)ツールのご紹介

外字登録ツールは、Microsoft Windowsシステム（以降、Windows）上で動作し、Windows上で作成した外字フォントファイル（以降、外字ファイル）をVSP4540Cに登録、登録済みの外字ファイルの削除および登録済みの外字ファイルの確認を可能とするソフトウェアです。

※詳しくは、添付のPrintWalker CD-ROM内の外字フォント登録コマンド.txtをご覧ください。

CD-ROM格納場所：¥PRINTMON¥外字フォント登録コマンド.txt

※Windows付属の外字エディタで作成された外字フォントを印刷する場合は、プリンタ装置に外字ファイルを登録する前に、外字変換ツール(PWTTFCNV.EXE)にて外字ファイルの変換処理が必要となります。変換処理を実施後、外字をプリンタ装置に登録してから印刷を実行してください。

変換処理を行わずにWindows付属の外字エディタで作成された外字を印刷した場合は、ボールド指定時に外字の線が細く印刷されるなどの不具合が発生することがあります。

なお、Interstage Charset Managerにて作成された外字フォントについては、変換処理は不要です。

また、上記以外の外字エディタによって作成された外字フォントについては、運用前に実際に使用される文字サイズにて試し印刷を実施いただき、不具合が発生しなければ変換処理は不要です。

外字変換ツールの使用方法については、添付のPrintWalker CD-ROM内のReadme.txtをご覧ください。

CD-ROM格納場所：¥PWTTFCNV¥Readme.txt

※外字は400dpi以上でご使用されることを推奨します。
240dpiでは文字によって字形がくずれる場合があります。

付4.1 インストール

特にインストールの必要はありません。CD-ROMよりそのまま実行可能です。

必要であれば、実行するOSにあった以下のものをコピーください。

- 外字フォント登録コマンド : PRINTMON¥WINX86¥Utility¥F5eqtfld.exe または
PRINTMON¥WINX64¥Utility¥F5eqtfld.exe
- 登録情報定義ファイルの雛型 : PRINTMON¥WINX86¥Utility¥F5eqtfld.sam または
PRINTMON¥WINX64¥Utility¥F5eqtfld.sam

付4.2 動作概要

Windows上の外字エディタで作成した外字フォントファイル(TrueTypeフォント)をプリンタ装置へ登録するコマンドです。

コマンドパラメタ指定により、登録/登録済みフォントの確認/登録済みフォントの削除が可能です。

明朝体、ゴシック体フォントをそれぞれ1ファイルの登録が可能です。

付4.3 外字フォントファイルの登録手順

付4.3.1 外字の作成

外字エディタを起動し、文字を作成します。

[ファイル]メニューより“フォントのリンク”を選びます。

フォントのリンク画面で「外字フォントの種類」で“指定したフォントにリンクする”を指定し、「フォントの選択」で“MS明朝”または“MSゴシック”を指定して作成します。

付4.3.2 登録情報定義ファイルの作成

作成した外字フォントの情報および外字フォントを登録するプリンタ装置に関する情報を定義ファイルとして作成します。

雛型ファイル(F5eqtf1d.sam)では“;”により各情報はコメントとして記述してあります。

登録情報定義ファイルは以下のような形式で記述する必要があります。

```
[section]
key=string
.
.
[section]
key=string
.
.
```

sectionには[COMINFO]およびIPアドレス[xxxxxxxxxxxx]が指定可能です。

[COMINFO]セクションは省略可能です。

① [COMINFO]セクション

[COMINFO]セクションは登録コマンドの動作指定を定義するもので指定可能なkeyを以下に説明します。

- TRCGET=0 or 1 or 2 : 通信トレースログの採取の有無を指定します。
 0 : 採取しません。
 1 : トレースサイズに従いサイクリックで採取します(デフォルト)。
 2 : トレースサイズに関係なく採取します。
 f5eqtfld.logおよびf5eqtfld.log.oldのファイル名で採取します。
- TRCSIZE=SIZE : トレースログファイルサイズをKB単位で指定します。
 デフォルトは512KBです。
 サイズには1~4194303(KB)の範囲が指定可能ですが、システム環境に応じて設定してください。
 また、範囲外の値を指定した場合はサイズが不定となりますのでご注意ください。
- TRCDIR=FOLDER : トレースログファイルの格納先フォルダを指定します。
 デフォルト(指定なし)はシステム環境変数"TEMP"で設定されているフォルダです。
 ※Windows Serverで任意の格納先フォルダを指定してコマンドを実行する場合、フォルダのアクセス許可で実行ユーザーに"変更"を許可してください。
- OUTPUT=0 or 1 : コマンド処理結果をファイルに出力する・しないを指定します。
 0 : 出力しません。
 1 : 出力します(デフォルト)。
 f5eqtfld.outおよびf5eqtfld.out.oldのファイル名で採取します。
- OUTPUTDIR=FOLDER : コマンド処理結果出力ファイルの格納先フォルダを指定します。デフォルト(指定なし)はシステム環境変数"TEMP"で設定されているフォルダです。
 ※Windows Serverで任意の格納先フォルダを指定してコマンドを実行する場合、フォルダのアクセス許可で実行ユーザーに"変更"を許可してください。
- OUTPUTSIZE=SIZE : コマンド処理結果出力ファイルサイズをKB単位で指定します。デフォルトは512KBです。
 サイズには1~4194303(KB)の範囲が指定可能ですが、システム環境に応じて設定してください。
 また、範囲外の値を指定した場合はサイズが不定となりますのでご注意ください。

② [IPアドレス]セクション

[IPアドレス]セクションは外字フォントを登録するプリンタ装置のIPアドレスを記述します。

記述可能なアドレス形式は以下のとおりです。

- IPv4形式のIPアドレス (以降、IPv4アドレス)
- IPv6形式のIPアドレス (以降、IPv6アドレス)
- ホスト名

IPv6アドレスは、プリンタ装置でIPv6アドレスがサポートされている機種のみ有効となります。

複数イーサネットアダプタ構成の環境で、プリンタ装置のリンクローカルアドレスを指定する場合は、IPv6アドレスの後にスコープIDを指定する必要があります。スコープIDはイーサネット アダプタのインタフェースIDです。

以下のコマンドで確認できます。

- netsh interface ipv6 show interface
- または
- ipconfig

IPv4アドレスの場合、複数の論理プリンタに対し、同時に処理を行いたい場合などは、論理プリンタ番号を“:”の後に記述することで可能となります。

IPv6アドレス、または、ホスト名の場合、後述するLOGCALPNUMキーで指定できます。

複数のプリンタ装置に対し、同時に処理を行いたい場合は、[IPアドレス]セクションを複数記述することで可能となります。

例) IPv4アドレスが“10. 111. 222. 233”のプリンタ装置の論理プリンタ1~3に対して処理を行う場合は

[10. 111. 222. 233:1-3]または[10. 111. 222. 233:1, 2, 3]

と記述することができます。

なお、論理プリンタ番号が指定されていない場合は論理プリンタ1が指定されたとして処理します。

また、論理プリンタ番号は1~8の範囲で指定可能です。範囲外の値を指定した場合は指定されていないものとして処理します。

[IPアドレス]セクションで指定可能なkeyを以下に説明します。

- HOSTNAME=Y or N : [IPアドレス]セクションがホスト名であるか指定します。
 Y : ホスト名形式
 N : IPv4、またはIPv6アドレス形式 (デフォルト)
- PORTNUM=NUM : プリンタ装置のポート番号を指定します。
 デフォルトは9313です。
- LOGCALPNUM=NUM2 : 対象となる論理プリンタ番号を半角数字で指定します。
 デフォルトは論理プリンタ番号1です。
 複数の論理プリンタに対して同時に処理を行う場合は、“1, 2, 5”のようにカンマで区切って指定するか、“1-3”のようにハイフンで範囲を指定します。
 [IPアドレス]セクションで有効な論理プリンタ番号を指定している場合、本キーで指定した論理プリンタ番号と合わせて共に有効になります。

- TTFOLDER=PATH : 外字フォントファイルの格納先フォルダを記述します。
- TTFNAME=FILENAME : 明朝体の外字フォントファイル名を指定します。
- TTFNAMEG=FILENAME2 : ゴシック体の外字フォントファイル名を指定します。
- TTFAREA=AREA : 登録する外字フォントの有効範囲を指定します。
 A : UNICODE全範囲[0xE000~0xF8FF] (デフォルト)
 J : JEF拡張文字登録範囲[0xF1F0~0xF84F]を除く範囲

設定例

```

;;[COMINFO]
;;TRCGET=1
;;TRCSIZE=512
;;TRCDIR=
;;OUTPUT=1
;;OUTPUTSIZE=512
;;OUTPUTDIR=
[192.168.1.10]
PORTNUM=9313
TTFOLDER=C:¥Temp
TTFNAME=MENCYOU.TTE
TTFAREA=A
[192.168.1.20:1,3,5,7]
PORTNUM=9313
TTFOLDER=C:¥Temp
TTFNAME=MENCYOU2.TTE
TTFAREA=A
[192.168.1.30:1-3,5-8]
PORTNUM=9313
TTFOLDER=C:¥Temp
TTFNAME=MENCYOU3.TTE
TTFAREA=A

```

付4.3.3 登録コマンドにより外字フォントをプリンタ装置へ登録

コマンド起動パラメタは「付4.4 コマンド起動形式」で説明します。

付4.4 コマンド起動形式

F5EQTFLD.EXE [-a コマンド処理モード] -d 登録情報定義ファイルパス [-e 動作モード]
[] は省略可能。

[コマンドパラメタ]

- a コマンド処理モード : 対話型かバッチ型かを指定します。
1:メッセージBOXで処理結果を通知します(デフォルト)。
2:メッセージBOXで処理結果を通知しません。
- d 登録情報定義ファイルパス : 登録情報定義ファイル名パス
(フルパス)を指定します。
- e 動作指定モード : コマンド動作モードを指定します。
1:登録済みの外字フォントを確認します(デフォルト)。
2:外字フォントを登録します。
3:登録済みの外字フォントを削除します。

例) F5EQTFLD.exe -a 1 -d c:\temp\F5EQTFLD.inf -e 1

付4.5 メッセージ一覧

登録コマンドが対話型処理モード時に表示するメッセージです。

付4.5.1 登録動作時に表示するメッセージ

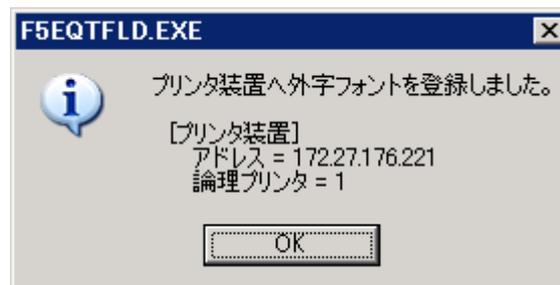
対話型動作時、以下のメッセージが出力されます。

注) メッセージボックスの内容は表示例です。

ー 登録確認メッセージ

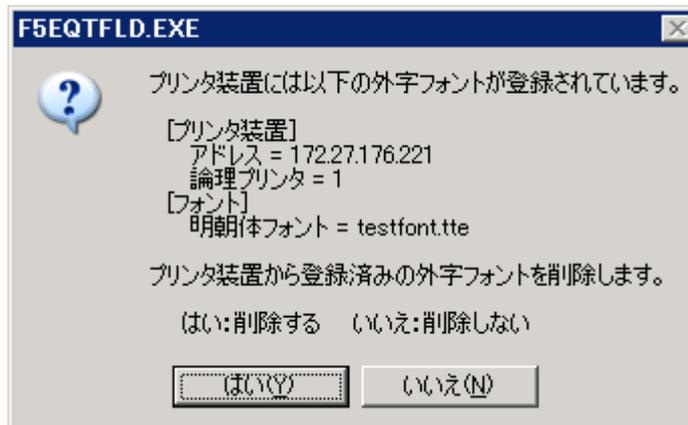


ー 登録完了メッセージ (例)

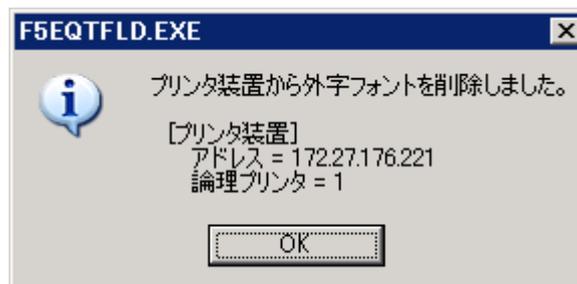


付4.5.2 削除動作時に表示するメッセージ

- － 削除動作時

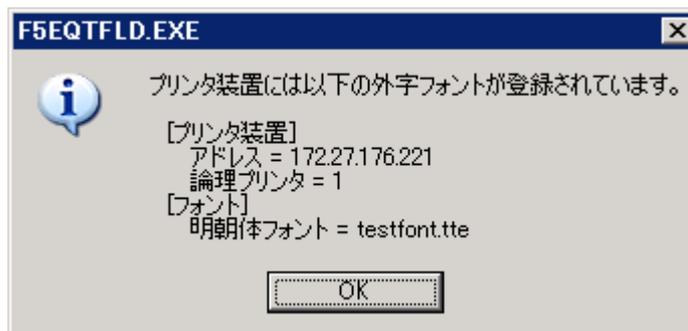


- － 削除完了時

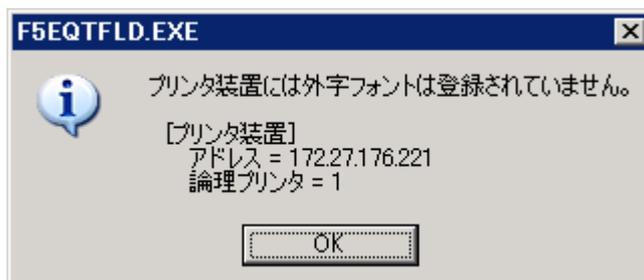


付4.5.3 確認動作時に表示するメッセージ

- － 登録確認メッセージ

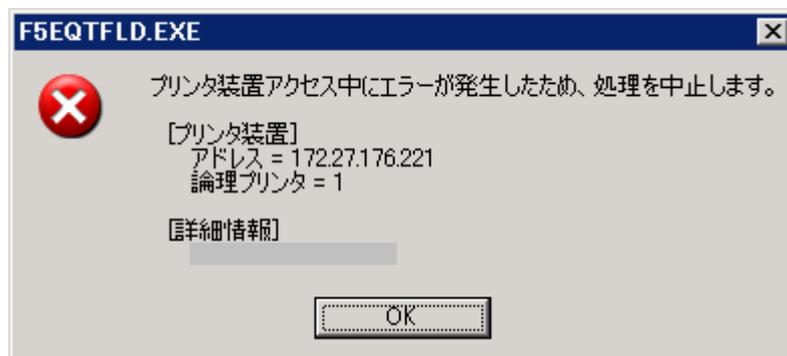


- － 登録済みフォントが存在しない場合



付4.5.4 その他のメッセージ

- プリンタ装置アクセスでエラー発生時



詳細情報 = ステータスエラー詳細を表示します。

ステータス一覧は以下のとおりです。

20010000	:	ストップ状態またはカバーオープン
20010100	:	用紙なし
20010200	:	カセット関連エラー
20010400	:	スタックフル
20010500	:	トナーなし
20010600	:	カバーオープンまたは搬送系異常
20010800	:	用紙づまり
20010900	:	用紙エラー
20020000	:	ハードエラー
20030000	:	パラメタエラー
20030100	:	未定義コマンド受診
20030200	:	コマンドヘッダエラー
20030300	:	コマンドシーケンスエラー
20030400	:	データチェックエラー
20040000	:	プリンタ装置獲得エラー
20040100	:	ユニットアテンション
20050000	:	プリンタ装置が他で使用中(プリンタビジー)
20070000	:	オペレータコール系エラー発生
20080000	:	インタロック系エラー発生
30000004	:	電源断、通信異常
200f0000	:	上記以外のエラー発生

付録5 PrintWalker/LXEのご紹介

付5.1 PrintWalker/LXEの概要

付5.1.1 概要

PrintWalker/LXEは、LinuxシステムからLAN(Ethernet TCP/IP)接続されたVSP4540Cプリンタ装置の印刷制御を行うソフトウェア製品です。

PrintWalker/LXEは、弊社ホームページよりダウンロードできます。

付5.1.2 機能

- 1) 操作性
 - － 用紙づまりや用紙なしなどが発生した場合、PrintWalker/LXEはアラート機能により、詳細なメッセージを操作端末上に表示し、プリンタ装置側の処置だけで、異常が発生したページから再印刷を行います(ページリカバリ)。
 - － PrintWalker/LXEのアラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です。
 - － バナーページの排紙口指定が可能です。バナーページに色紙などを使用することで、仕分けが簡単になります。
 - － VSPシリーズは、他の弊社サーバ(GS/PRIMEFORCE、SPARC Servers、SPARC Enterprise、PRIMEQUEST、PRIMERGY 6000、PRIMERGY)、またはパソコン(FMVシリーズ)プリンタとして共用が可能です。
- 2) NetCOBOLシリーズとMeFtとの連携
 - － 本ソフトウェアは、NetCOBOLシリーズとMeFtとの連携印刷が可能です。フォームオーバーレイ印刷、バーコード(カスタマコードを含む)印刷、用紙コードの指定、給紙口指定、用紙サイズ指定等、きめ細やかな印刷制御が可能です。
- 3) サポートデータ形式

PrintWalker/LXEからVSP4540C装置などのカット紙ページプリンタや連続紙ページプリンタへの印刷で利用できるデータ形式は、以下のとおりです。

 - － MeFtまたはFNP出力可能なアプリケーション
 - － simple出力
 - － cobol(UVPI)

また、VSPシリーズのラインインパクトプリンタや多目的インパクトプリンタでは、以下のデータ形式をサポートしています。

 - － simple出力
 - － cobol(UVPI)

付5.2 動作環境

PrintWalker/LXEは、以下の動作環境で動作するソフトウェアです。

(1) サポートOS

- － Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)
- － Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)
- － Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- － Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- － Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)

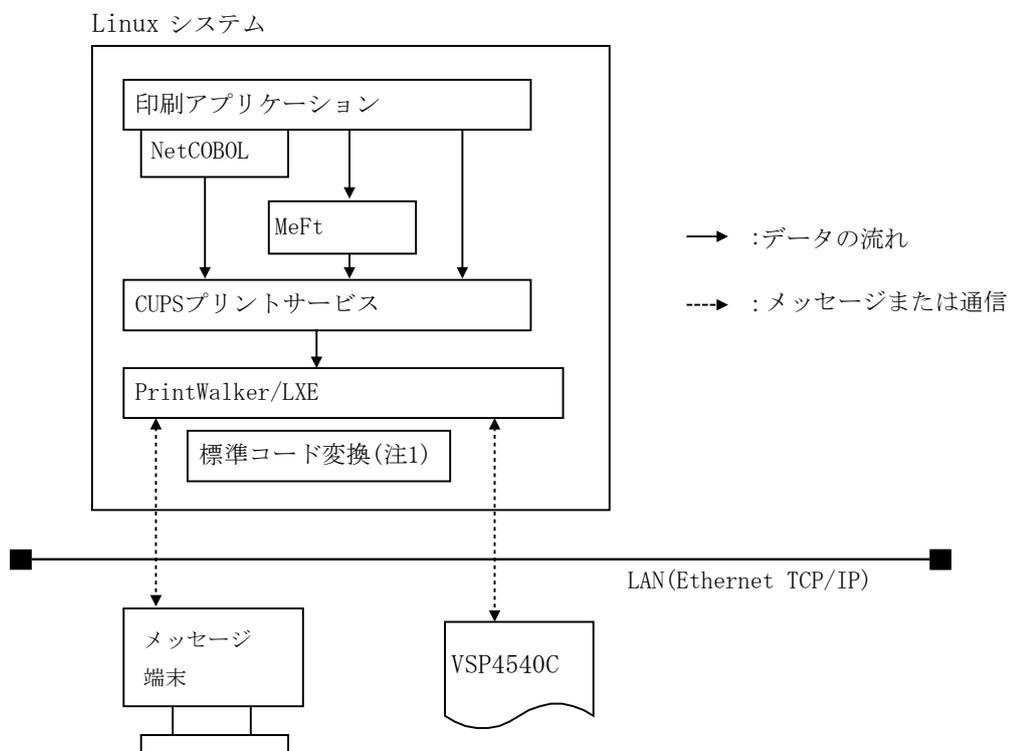
(2) 対応印刷システム

- － CUPS 1.4.2以降

(3) 必須ソフトウェア

- － Interstage Charaset Manager Standard Edition Agent V9.2.1以上
動作させるOSによって、サポートしているバージョンが異なりますのでご注意ください。

付5.3 システム構成



注1) 標準コード変換は、Interstage Charset Managerに含まれており、別途購入していただくことが必要です。

付5.4 留意事項

- (1) PrintWalker/LXEでは、Interstage Charset Manager Standard Edition Agentは必須製品ですので、必ず購入してください。
- (2) 本製品には環境ファイルが1個ありますが、環境ファイルを変更しているときのみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です。
- (3) KOL5,6オーバーレイのサポートには、いくつかの制限があります。詳細については、本製品のオンラインマニュアルを参照してください。
- (4) 直打ち印刷(イミデート印刷)は、未サポートです。
- (5) PrintWalker/LXEは、1サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けておりません。ただし、印刷性能など十分考慮し、接続するプリンタ台数など運用システムの構築を行ってください。
- (6) PrintWalker/LXEでの印刷時、プリンタ装置側の設定は、
“サポートサーバ”をBSNPSに設定
“エミュレーション”をFMに設定
してください。
- (7) 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください。印字完了後に設定変更を行ってください。
- (8) 本ソフトウェアをご使用になる場合は、「Support Desk Product」の契約をお願いします。

付録6 リクエスト未接続モード立ち上げ

付6.1 リクエスト未接続モード

本モードは、リクエストサーバと正しく接続できない状態でも、他の論理プリンタの印刷を可能として装置を立ち上げるモードです。

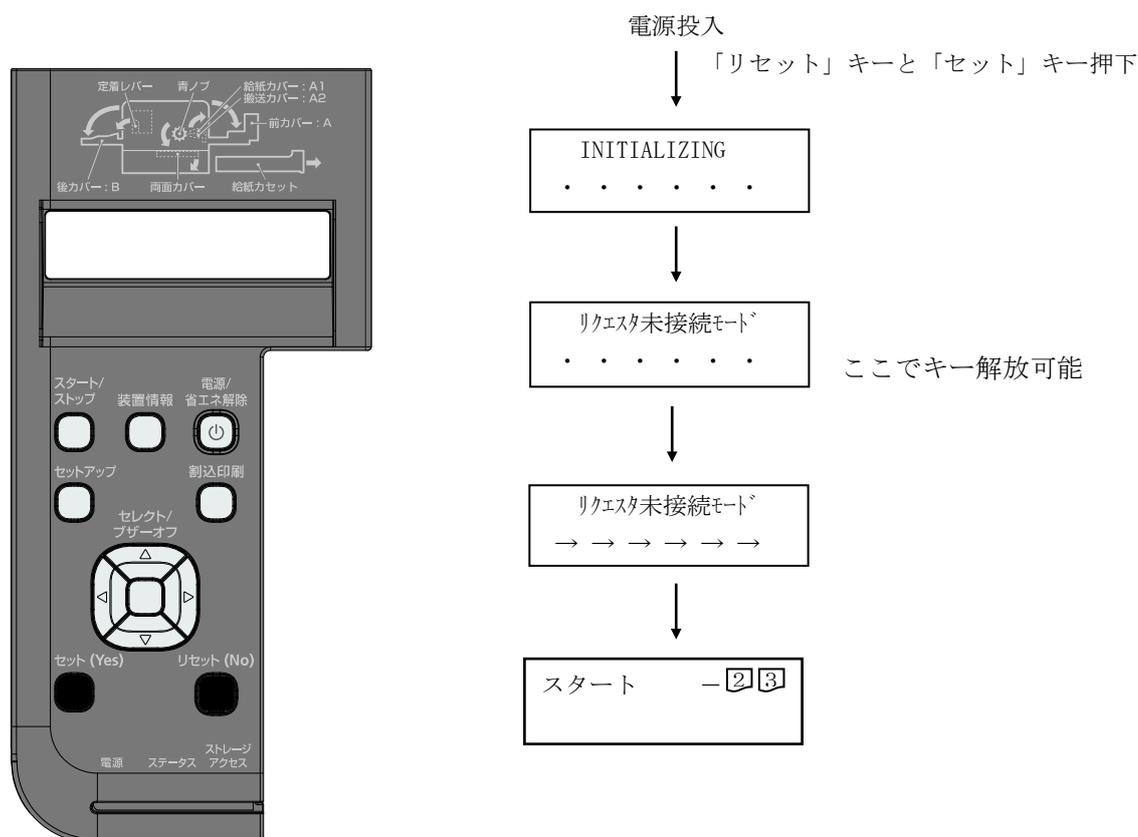
リクエスト接続の論理プリンタ（サポートサーバがPrintWalker/PM、またはlpdの66XXエミュレーション）において、リクエストが未接続の場合でも、他の論理プリンタに割り付いているエミュレーションを有効にします。

このモードではリクエスト接続の論理プリンタは無効となり印刷不可ですが、他の論理プリンタに割り付いているエミュレーションの印刷は可能となります。

付6.2 立ち上げ方法

電源投入時に、「リセット」キーと「セット」キーを押下しながら、電源を投入します。

キー押下は「INITIALIZING」表示が「リクエスト未接続モード」表示に変わるまで必要です。



「-」はリクエスト未接続の論理プリンタ

付6.3 解除方法

リクエスト未接続モードを解除するには、装置の再立ち上げを行ってください。

付6.4 リクエスト未接続モードでの注意事項

- (1) リクエスト未接続の論理プリンタはパネル上「-」で表示されます。
- (2) リクエスト未接続モードでは、「セレクト」キー押下による、リクエスト接続のプリンタ画面は表示されません（リクエスト接続以外のプリンタ画面は表示されます）。
- (3) リクエスト未接続モードでは、共通セットアップおよび各論理プリンタセットアップはできません。
- (4) リクエスト接続の論理プリンタのみ割り付いている場合は、リクエスト未接続モードの立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
- (5) リクエスト接続の論理プリンタが存在しない場合は、リクエスト未接続モード立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
- (6) リクエスト未接続モードでの立ち上げ後、電源を再投入し通常モードで立ち上げた場合は、リクエスト未接続モード立ち上げ前の論理プリンタ設定となります。

付録7 6680-NMC未接続モード立ち上げ

付7.1 6680-NMC未接続モード

サポートサーバ=“6680-NMC”の論理プリンタ(すなわち、HOST PRINT<VSPサービス>で利用する論理プリンタ)が定義されている場合、自動的に“6680-NMC優先状態”となり、他の論理プリンタへの後述の各コマンド／ツールは、装置からのBusy応答にて処理を中断することから、“6680-NMC優先状態”では正しく動作しません。

このため、一時的に「6680-NMC」の論理プリンタを無効として起動し、各種コマンドが正しく動作するようにするためのモードです。

本モード起動時は、同時にリクエスト未接続モードも起動となります(リクエスト接続プリンタも無効となります)。

本モードは、6680-NMC接続／リクエスト接続以外の論理プリンタから資源ロードを実施する場合に使用するモードです(ただし、実際は資源ロードだけでなく、印刷も可能です)。

以下のコマンド／ツールを利用する場合は、本装置を6680-NMC未接続モードで起動してから実行してください。

<PRIMERGY 6000>

- CGパターンの一括ダウンロードコマンド (SND CG)
- オーバレイの一括ダウンロードコマンド (SND OVL)
- リモート電源切断コマンド (POFFPRT, POWEROFF, CANALJOB)

<UUNIX(Solaris)サーバ>

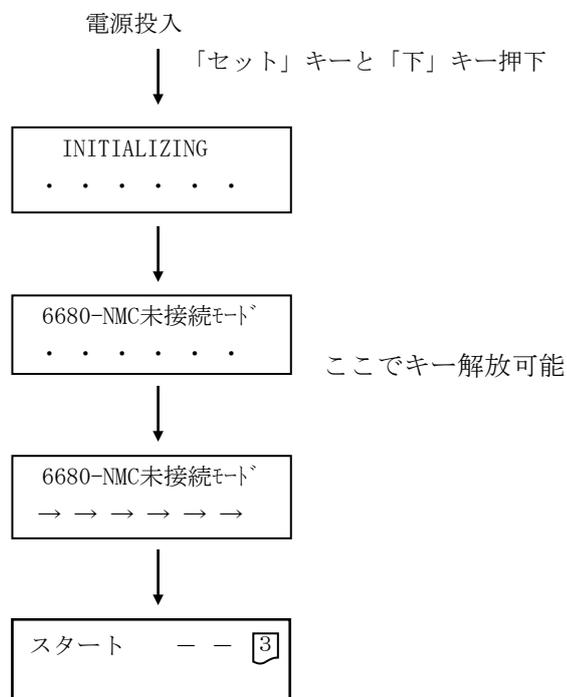
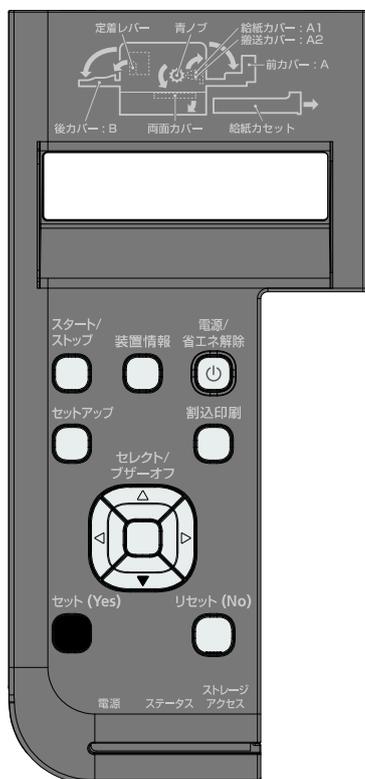
- 66XXのCGプレロードコマンド (stupfont)
- 66XXのOVLプレロードコマンド (stupovly)
- FNP外字登録コマンド (stup.ttf)

<Windowsサーバ>

- 外字登録ツール (F5eqtfld.exe)

付7.2 立ち上げ方法

電源投入時に、「セット」キーと「下」キー（▽キー）を押下しながら、電源を投入します。
 キー押下は「INITIALIZING」表示が「6680-NMC未接続モード」表示に変わるまで必要です。



「-」は6680-NMCおよびリクエスト未接続の論理プリンタ

付7.3 解除方法

6680-NMC未接続モードを解除するには、装置の再立ち上げを行ってください。

付7.4 6680-NMC未接続モードでの注意事項

- (1) 6680-NMCおよびリクエスト未接続の論理プリンタはパネル上「-」で表示されます。
- (2) 6680-NMC未接続モードでは、「セレクト」キー押下により、6680-NMC接続のプリンタ画面およびリクエスト接続のプリンタ画面は表示されません（それ以外のプリンタ画面は表示されます）。
- (3) 6680-NMC未接続モードでは、共通セットアップおよび各論理プリンタセットアップはできません。
- (4) リクエスト接続の論理プリンタのみ割り付いている場合は、リクエスト未接続モードの立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
- (5) 以下のケースでは6680-NMC未接続モードの立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
 - ・ 6680-NMC接続の論理プリンタのみ割り付いている場合
 - ・ リクエスト接続の論理プリンタのみ割り付いている場合
 - ・ 6680-NMC接続とリクエスト接続の2つの論理プリンタのみ割り付いている場合
- (6) 6680-NMC接続、リクエスト接続の論理プリンタがいずれも定義されていない場合は、6680-NMC未接続モード立ち上げは無効であり、通常モードで立ち上がります。
- (7) 6680-NMC未接続モードでの立ち上げ後、電源を再投入し通常モードで立ち上げた場合は、6680-NMC未接続モード立ち上げ前の論理プリンタ設定となります。

付録8 綴じ方向揃えについて

本機能は、綴じ方向が固定の用紙（穴あき用紙／プレプリント用紙）を使用した混在出力時の印刷方向を制御し、綴じ方向を揃える機能です。

本機能により、印刷方向（ポート／ランド）ごと、両面／片面ごとに用紙セット方向を変更する必要がなくなります。

ただし、ポートレート出力においては「左綴じ」、ランドスケープ出力においては「上綴じ」のみ考慮するもので、すべての綴じ方向について対応する機能ではありません。

また、対応するエミュレーションは、「FM/FNP」および「69xx」であり、66xxでは機能しません。

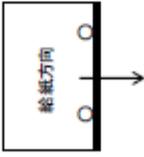
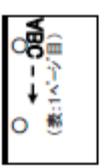
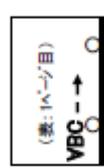
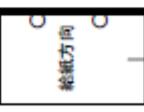
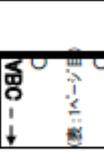
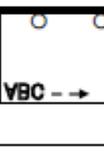
本機能をご使用の場合は、上記内容と用紙セット方向をご確認の上、ご利用ください。

〔機能〕

1. ポートレート出力／ランドスケープ出力混在時の、綴じ位置に対する印刷方向を揃える
※ ただし、手差しトレイからの給紙は未対応
2. 片面出力／両面出力混在時の、綴じ位置に対する印刷方向を揃える
※ ただし、手差しトレイからの給紙は未対応

FM/FNPの綴じ方向揃え仕様

下図は、本体トレイに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 - -> : 見えない面の展開方向 (点線の矢印) -> : 見える面の展開方向 (実線の矢印)

送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	片面				両面		
		綴じ方向揃え:無効		綴じ方向揃え:有効		ポートを揃じ	ランド方向揃え:無効/有効	
短辺送り (A4/A5/B5/LT)		ポートを揃じ		ポートを揃じ		ポートを揃じ		
		ランド上揃じ		ランド上揃じ				
長辺送り (A3/B4)		ポートを揃じ		ポートを揃じ		ポートを揃じ		
		ランド上揃じ		ランド上揃じ				

注意1:FNPエミュレーションにおいては、手差しトレイからの給紙も可能(プリンタドライバからの印刷時のみ)であるが、本機能では未サポートである。
 よって、手差しトレイから給紙された用紙に対しては、綴じ揃え機能に関する動作保証はしない。

※未対応の綴じ方向（ポート出力時の”右綴じ”，”上綴じ”，”下綴じ”/ランド出力時の”左綴じ”，”右綴じ”，”下綴じ”）における印刷展開方向は、以下の通り。

【片面印刷—未対応綴じ方向—ポート出力時（FM/FNP）】

下図は、本体トレイに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 -> : 見えない面の展開方向（点線の矢印） -> : 見える面の展開方向（実線の矢印）

		片面					
		綴じ方向揃え：無効			綴じ方向揃え：有効		
送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ
短辺送り (A4/A5/B5/LT)							
長辺送り (A3/B4)							

【片面印刷－未対応縦じ方向－ランドスケープ出力時(FM/FNP)】

下図は、本体レイアウトに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 ->: 見える面の展開方向(点線の矢印) ->: 見えない面の展開方向(実線の矢印)

送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	片面			
		縦じ方向揃え:無効		縦じ方向揃え:有効	
		ランド左揃じ	ランド右揃じ	ランド下揃じ	ランド左揃じ
短辺送り (A4, A3, B5, L, T)					
長辺送り (A3, B4)					

【両面印刷—未対応綴じ方向—(FM/FNP)】

下図は、本体レイアウトに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 - -> : 見える面の展開方向(点線の矢印) → : 見えない面の展開方向(実線の矢印)

		両面					
		綴じ方向揃え: 無効/有効					
送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ランド左綴じ	ランド右綴じ	ランド下綴じ
短辺送り (A4, A3, B5, L, T)	給紙方向 						
	給紙方向 						
長辺送り (A3, B4)	給紙方向 						

69XXXの綴じ方向揃え仕様

下図は、本体トレイに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 - -> : 見えない面の展開方向(点線の矢印) -> : 見える面の展開方向(実線の矢印)

送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	片面				両面			
		綴じ方向揃え:無効		綴じ方向揃え:有効		ポート左綴じ		ランド上綴じ	
		ポート左綴じ	ランド上綴じ	ポート左綴じ	ランド上綴じ	ポート左綴じ	ランド上綴じ	ポート左綴じ	ランド上綴じ
短辺送り (A4, A5, B5, LT)									
長辺送り (A3, B4)									

※未対応の綴じ方向（ポート出力時の”右綴じ”，”上綴じ”，”下綴じ”/ランド出力時の”左綴じ”，”右綴じ”，”下綴じ”）における印刷展開方向は、以下の通り。

【片面印刷—未対応綴じ方向—ポートレート出力時(69XX)】

下図は、本体レイアウトに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、裏上から見た場合を示す。
文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。

→: 見える面の展開方向(点線の矢印) →: 見える面の展開方向(実線の矢印)

送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 裏上から見た場合)	片面					
		綴じ方向揃え、無効		綴じ方向揃え、有効			
		ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ
短辺送り (A4, A5, B5, L, T)							
長辺送り (A3, B4)							

【片面印刷—未対応縦じ方向—ランドスケープ出力時(69XX)】

下図は、本体トレイに挿入された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 -> : 見える面の展開方向(点線の矢印) -> : 見えない面の展開方向(実線の矢印)

		片面					
		縦じ方向揃え: 無効			縦じ方向揃え: 有効		
送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	ランド左揃じ	ランド右揃じ	ランド下揃じ	ランド左揃じ	ランド右揃じ	ランド下揃じ
		短辺送り (A4/A5/B5/LT)					
長辺送り (A3/B4)							

【両面印刷—未対応綴じ方向—(69XX)】

下図は、本体トレイに排出された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示す。
 文字列と矢印は、印刷面における印刷展開方向を示す。
 -> : 見えない面の展開方向(点線の矢印) → : 見える面の展開方向(実線の矢印)

送り方向	カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、 真上から見た場合)	両面					
		ポート右綴じ	ポート上綴じ	ポート下綴じ	ランド左綴じ	ランド右綴じ	ランド下綴じ
短辺送り (A4, A5, B5, LT)							
長辺送り (A3, B4)							

付録9 綴じ向き揃えについて

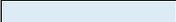
本機能は、片面印刷と両面印刷を同一カセットから給紙する際に、片面印刷を一時的に両面印刷に変換することで、片面印刷と両面印刷の綴じ向きを揃える機能です。

- FNPエミュレーションにおいては、手差しトレイからの給紙も可能(プリンタドライバからの印刷時のみ)ですが、本機能は未サポートです。
手差しトレイから給紙された用紙に対しては、綴じ向き揃え機能は無効となります。
- 本機能を使用する場合は、上記内容と用紙セット方向(次ページの※1)を確認してください。
- 綴じ揃え機能も有効になっている場合は、本機能が優先されます。
- 片面印刷時に両面印刷機構を通すことに伴い、印刷性能は通常の片面印刷より低下します。
- 片面印刷時に両面印刷機構を通すことに伴い、両面印刷ページ数がカウントアップされます。
また、プリントカウンタ(総印刷枚数)が2ページ分カウントされます。
- ホッパ指定に対するカセットグループに対して、綴じ向き揃え設定は必ず同じ設定にしてください。
カセットグループとは、1つの用紙サイズの用紙に対して給紙対象となるカセットが2段以上割り当てされている場合を示します。
- 綴じ向き揃え機能を利用時は、上位側から印刷依頼時に給紙カセットが特定できるようにする必要がありますが、給紙カセットが引き出されていると用紙サイズが認識できないことから、期待した印刷結果にならない可能性があります。このため、印刷依頼時には給紙カセットをセットしておいてください。
- 本機能を有効にして、富士通メインフレーム上のAPSライタから印刷する場合は、APSライタのライタ定義(DFNWTRコマンド)のBINDHOLEオペランドを取り除くかBINDHOLE(NO)を指定してください。また、DFNWTOPTコマンドにBINDHOLEオペランドが指定されている場合は、そのオペランドも取り除いてください。

付9.1 カセットと排紙トレイとの用紙位置関係

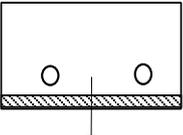
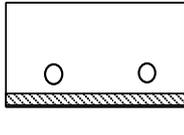
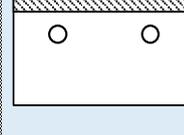
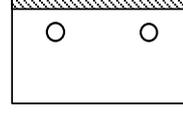
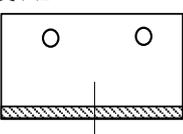
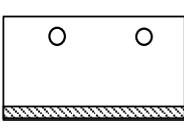
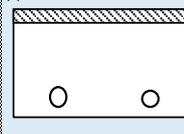
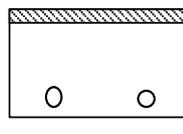
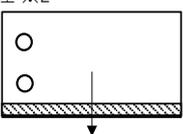
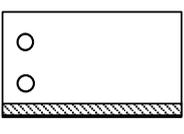
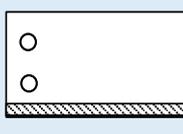
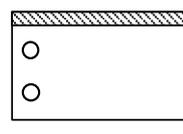
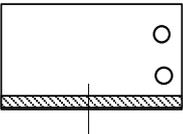
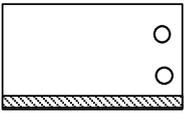
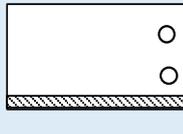
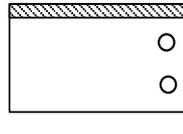
下図に、本体トレイに排出された用紙の状態を、装置正面に立ち、真上から見た場合を示します。

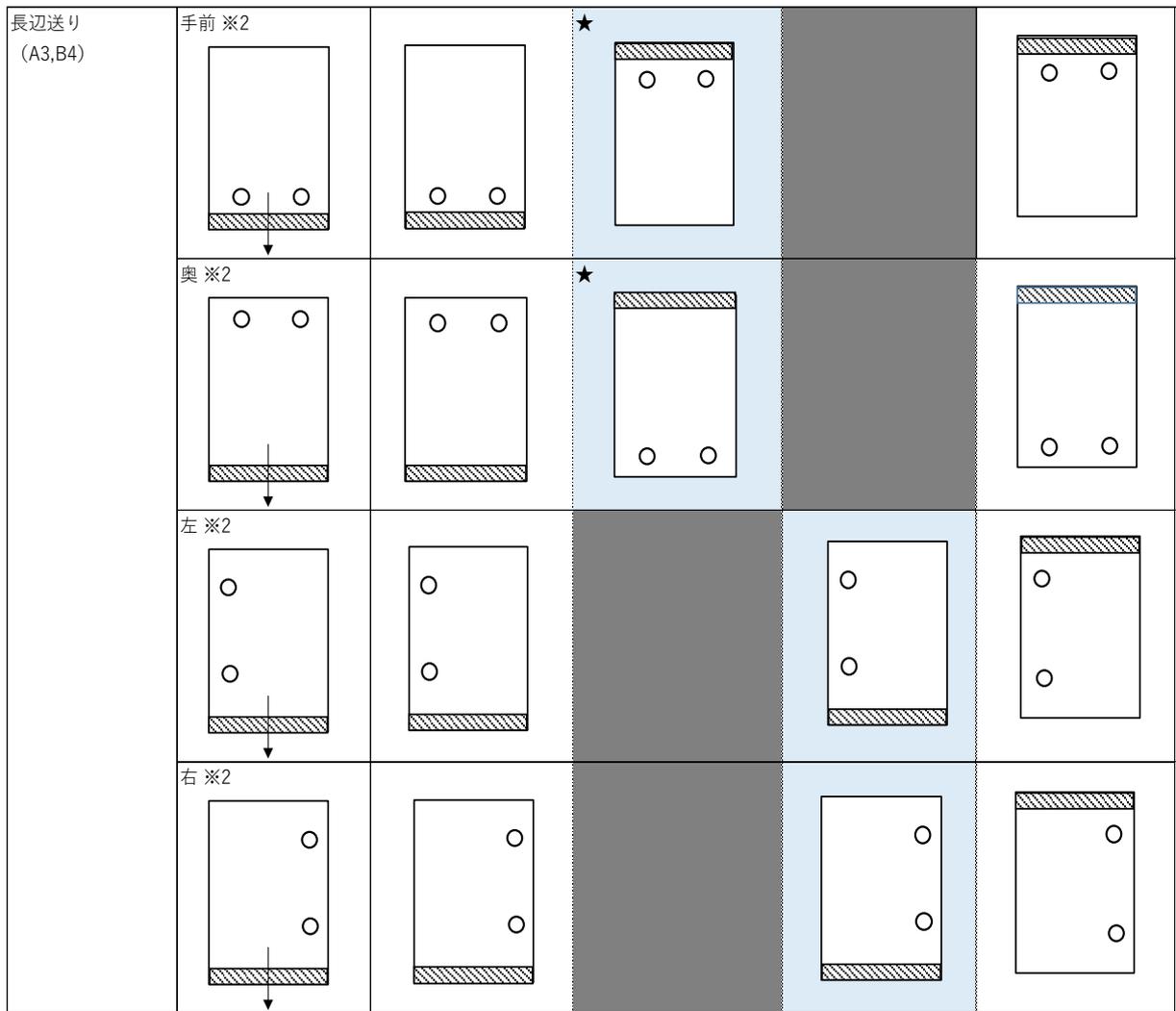
凡例

	綴じ位置を示します。
	両面印刷と綴じ方向が一致するケース。
	組み合わせがないことを示します。
	カセットから給紙時の用紙送り方向先端を示します。
	カセットからの用紙送り方向を示します。

★ 片面印刷⇒両面印刷変換

※2 給紙カセットに用紙をセットした時の綴じ位置

送り方向	※1 カセットへの用紙セット方向 (装置正面に立ち、真上から見た場合)	本体トレイに排出された用紙の状態			
		片面印刷			両面印刷
		パネル：綴じ向き揃え設定			
		無効	短辺綴じ	長辺綴じ	—
短辺送り (A4,A5,B5,LT)	手前 ※2 			★ 	
	奥 ※2 			★ 	
	左 ※2 				
	右 ※2 				

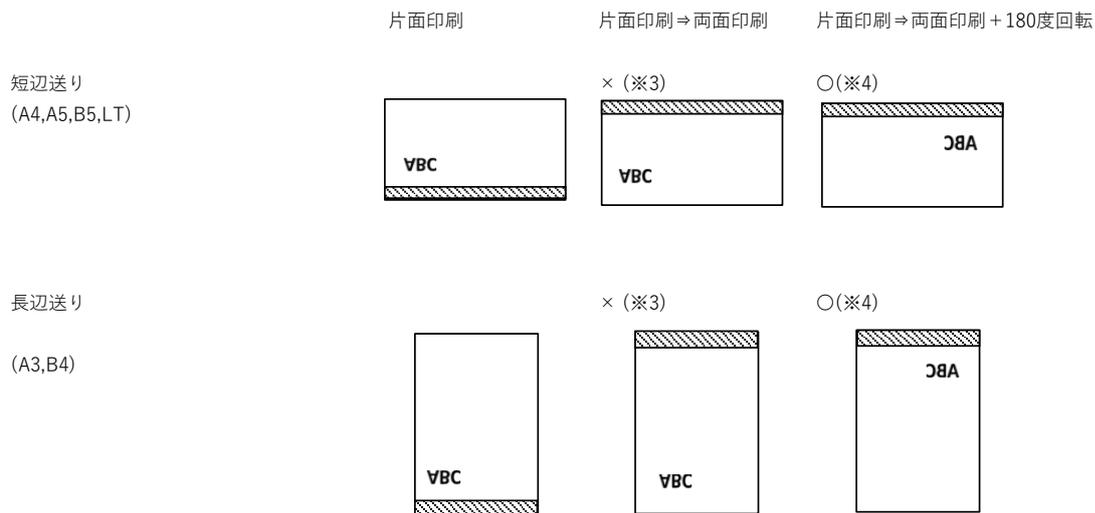


付9.2 綴じ向き揃え機能による描画回転処理

片面印刷⇒両面印刷変換とした場合の印字開始位置について

片面印刷を両面印刷に変換することで、用紙方向は両面印刷に揃えられますが、片面印刷時に対して用紙に対する印刷開始位置が変わることがあります。その場合には、印字開始位置を180度回転させます。本180度回転機能は、「短辺綴じ2」と「長辺綴じ2」設定時のみ有効となります。

例



※3：片面印刷を両面印刷にするだけでは印刷方向が違っている

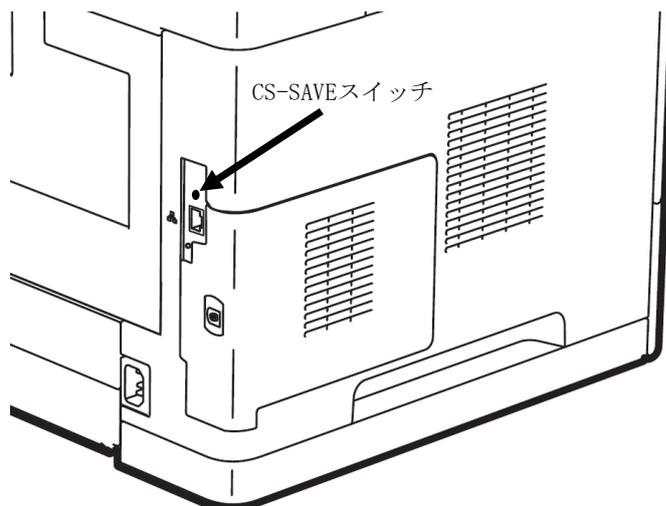
※4：印刷方向を合わせるために※3に加え180度回転させる

付録10 CS-SAVEの採取方法

本製品では、装置内部の動作記録を採取する手段として「CS-SAVE(シーエスセーブ)」という機能を備えています。

本スイッチは、保守員から指示があった場合のみ操作してください。(通常の運用時は操作しないでください。)

CS-SAVEスイッチは、装置左側後方の下図の場所にあります。(LANケーブルコネクタの上側)



[操作方法]

- 1) 上図の「CS-SAVEスイッチ」をペン先などの細い物で押してください。
この時、強く押して破損させないように注意してください。
- 2) スイッチを押すと、操作パネルに以下が表示されます。

CSセーブ中

この表示が出ている間は、装置の電源OFF/ONや操作パネルの操作は行わないでください。

- 3) CS-SAVEの採取が完了すると、操作パネルの表示が以下のように変わりますので、指示のあった保守員に採取が終了した旨のご連絡をお願いいたします。

CSセーブ終了
電源再投入して下さい

- 4) 電源を再投入していただくと、通常の運用が行えます。

■ 重要

- ・CS-SAVEボタンは、保守員から指示があった場合のみ操作してください。(通常の運用時は操作しないでください。)
- ・印刷実行中に本ボタンが操作された場合、印刷が途中で中断され不完全な印刷データが排出されます。

付録11

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : LB502 シリーズ 現像剤 (ブラック)

会社名 : 富士通株式会社
問合せ先
会社名 : 富士通コワーコ株式会社
住所 : 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中二丁目12番5号
担当部門 : 営業推進統括部 技術部
電話番号 : 0120-505-279
整理番号 : TR18-M014 (全4頁)

作成・改定 : 2019. 2. 14

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分および含有量 :

化学名	含有量 (重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
酸化鉄 (フェライトとして)	60-70%	1-357	1309-37-1
酸化マンガン (フェライトとして)	20%	1-475	1344-43-0
ポリエステル樹脂	<10%	非開示	非開示
パラフィンワックス	<10%	8-430	8002-74-2
カーボンブラック	<10%	非該当	1333-86-4
青色顔料	<10%	5-3299	147-14-8
無定形シリカ	<10%	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	<1%	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類 (PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE 類)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル (DEHP))、ブチルベンジルフタレート (BBP)、ジブチルフタレート (DBP)、およびジイソブチルフタレート (DIBP) を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。
ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。
使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 吸入はできるかぎり避ける。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	: 下水道や河川への漏出を防ぐ。 : 周囲に火種がないことを確認する。 ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。 こぼれたトナーは電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
局所排気・全体換気	: 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
注意事項	: 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
安全取扱い注意事項	: 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

保管

技術的対策	: 必要なし
適切な保管条件	: 直射日光を避け、乾燥した換気の良いところに、低温で保管する。 子供の手の届くところに保管しない。
安全な容器包装材料	: 当社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
管理濃度	: 設定されていない。		
許容濃度	: 日本産業衛生学会（2015年版） ACGIH（2015年版）	第3種粉塵	8 mg/m ³ （総粉塵） 2 mg/m ³ （吸入性粉塵）
		粒子状物質	10 mg/m ³ （総粉塵） 3 mg/m ³ （吸入性粉塵）
保護具	: 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 粉体
色	: 黒色
臭い	: 微かなプラスチック臭
pH	: 適用外
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: 適用外
引火点	: 適用外
自然発火温度	: 発火性なし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	: データなし
蒸気圧	: 適用外
蒸気密度	: 適用外
比重	: データなし
溶解性	: 不溶（水）
オクタノール/水分係数	: 適用外
分解温度	: データなし
粘度	: 適用外

10. 安定性及び反応性

安定性/反応性	: 安定
危険有害反応可能性	: 可能性なし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)	
経口→LD50 (ラット)	: > 2000mg/kg (実質上無毒)
皮膚刺激性 (ラビット)	: 刺激性なし
皮膚腐食性	: 腐食性なし
眼に対する重篤な損傷 又は刺激性 (ラビット)	: 刺激性なし (印字成分)
呼吸器感受性	
又は皮膚感受性 (モルモット)	: 皮膚感受性なし
生殖細胞変異原性	: AMES 試験 陰性
生殖毒性	: 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	: ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入曝露試験において、毎日、中用量 (4mg/m ³) もしくは高用量 (16mg/m ³) の曝露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量 (1mg/m ³) の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり 1mg/m ³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。
吸引性呼吸器有害性	: 対象外
その他	: データなし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性	
魚類 96 時間 LL50 (ヒメダカ)	: >500mg/L (実質上無毒) (印字成分)
ミジンコ類 48 時間 EL50 (オオミジンコ)	: >100mg/L (実質上無毒) (印字成分)
藻類 72 時間 ErL50 (ムレミカツキモ)	: >100mg/L (実質上無毒) (印字成分)
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
他の有害影響	: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 非危険物
国連番号	: 非該当
海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送 される液体物質	: 適用されない
IBCコード	: 適用されない

国内規制

海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
その他の情報	: 規制されていない

15. 適用法令

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9） カーボンブラック政令番号：130（<10%） 酸化チタン（IV）政令番号：191（<10%） 酸化鉄（政令番号：192）（60～70%） 銅及びその化合物（政令番号：379）（<10%） マンガン及びその無機化合物（政令番号：550） （20～30%）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 指定可燃物（ただし、合成樹脂類：3000kg以上）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 第一種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） マンガン及びその化合物（政令番号：412）マンガンとして（16%）

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number (R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- 文献1: ◆ IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans (WHO, IARC: 国際癌研究機関)
◆ National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP: 米国・国家毒性プログラム)
◆ TLVs and BEIs (ACGIH: 米国・政府産業衛生専門家会議)
◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)
◆ 産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- 文献2: ◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : LB502 シリーズ トナー (ブラック)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中二丁目12番5号

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 0120-505-279

整理番号 : TR18-M016 (全4頁)

作成・改定 : 2019.2.13

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分および含有量 :

化学名	含有量 (重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
ポリエステル樹脂	< 90%	非開示	非開示
カーボンブラック	< 10%	非該当	1333-86-4
パラフィンワックス	< 10%	8-430	8002-74-2
青色顔料	< 10%	5-3299	147-14-8
無定形シリカ	< 10%	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	<1%	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類 (PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE 類)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル (DEHP))、ブチルベンジルフタレート (BBP)、ジブチルフタレート (DBP)、およびジイソブチルフタレート (DIBP) を含有しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
目に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。
ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。
使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
- : 吸入はできるかぎり避ける。
 - : 下水道や河川への漏出を防ぐ。
 - : 周囲に火種がないことを確認する。
ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。
こぼれたトナーは電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子のトナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
局所排気・全体換気 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
安全取扱い注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

保管

- 技術的対策 : 必要なし
適切な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気の良いところに、低温で保管する。
子供の手の届くところに保管しない。
安全な容器包装材料 : 当社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2015年版) 第3種粉塵 8 mg/m³ (総粉塵)
2 mg/m³ (吸入性粉塵)
ACGIH (2015年版) 粒子状物質 10 mg/m³ (総粉塵)
3 mg/m³ (吸入性粉塵)
保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 粉体
色 : 黒色
臭い : 微かなプラスチック臭
pH : 適用外
融点/凝固点 : データなし
沸点、初留点と沸騰範囲 : 適用外
引火点 : 適用外
自然発火温度 : 発火性なし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : データなし
蒸気圧 : 適用外
蒸気密度 : 適用外
比重 : データなし
溶解性 : 不溶 (水)
オクタノール/水分配係数 : 適用外
分解温度 : データなし
粘度 : 適用外

10. 安定性及び反応性

安定性/反応性	: 安定
危険有害反応可能性	: 可能性なし
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50(ラット)	: >2000 mg/kg (実質上無毒)
経皮→LD50(-)	: データなし

皮膚刺激性 : 刺激性なし

皮膚腐食性 : 腐食性なし

眼に対する重篤な損傷又は刺激性 (ラビット) : 刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性(モルモット) : 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性 : AMES 試験 陰性

発がん性 : カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって“グループ 2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)”に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。

二酸化チタンは IARC の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。

これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。

生殖毒性 : 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。

特定標的臓器毒性 (単回曝露) : データなし

特定標的臓器毒性 (反復曝露) : ラットを用いた 2 年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量 (4mg/m³) もしくは高用量 (16mg/m³) の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量 (1mg/m³) の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1 日当たり 1mg/m³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。

吸引性呼吸器有害性 : 対象外

その他 : データなし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ) : >500 mg/L (実質上無毒)

ミジンコ類 48 時間 EL50

(オオミジンコ) : >100 mg/L (実質上無毒)

藻類 72 時間 ErL50(ムレミカツキモ) : >100 mg/L (実質上無毒)

残留性/分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

他の有害影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 非危険物
国連番号	: 非該当
海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送 される液体物質	: 適用されない
IBCコード	: 適用されない

国内規制

海上規制情報	: 非危険物
航空規制情報	: 非危険物
その他の情報	: 規制されていない

15. 適用法令

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9） カーボンブラック（政令番号：130）（<10%） 固形パラフィン（政令番号：170）（<10%） 酸化チタン（Ⅳ）（政令番号：191）（<10%） 銅及びその化合物（政令番号：379）（<10%）
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 指定可燃物（ただし、合成樹脂類：3000kg以上）
化学物質排出把握管理促進法（PRTTR法）	: 非該当

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

GAS Registry Number (R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- 文献1: ◆ IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans (WHO, IARC: 国際癌研究機関)
◆ National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP: 米国・国家毒性プログラム)
◆ TLVs and BEIs (ACGIH: 米国・政府産業衛生専門家会議)
◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)
◆ 産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- 文献2: ◆ 物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)

Fujitsu Printer
VSP4540C プリンタ装置
取扱説明書

C145-0009-01Z3

発行日 2023年 3月

Copyright Fujitsu Limited 2023

- このマニュアルは無断転載を禁じます。
- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

FUJITSU